



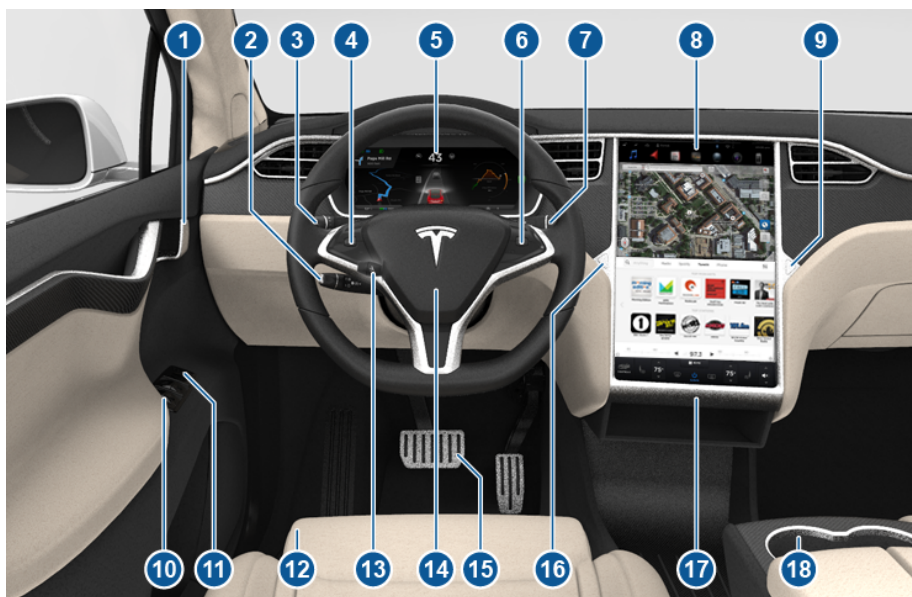
MODEL X オーナーズ マニュアル



8.0

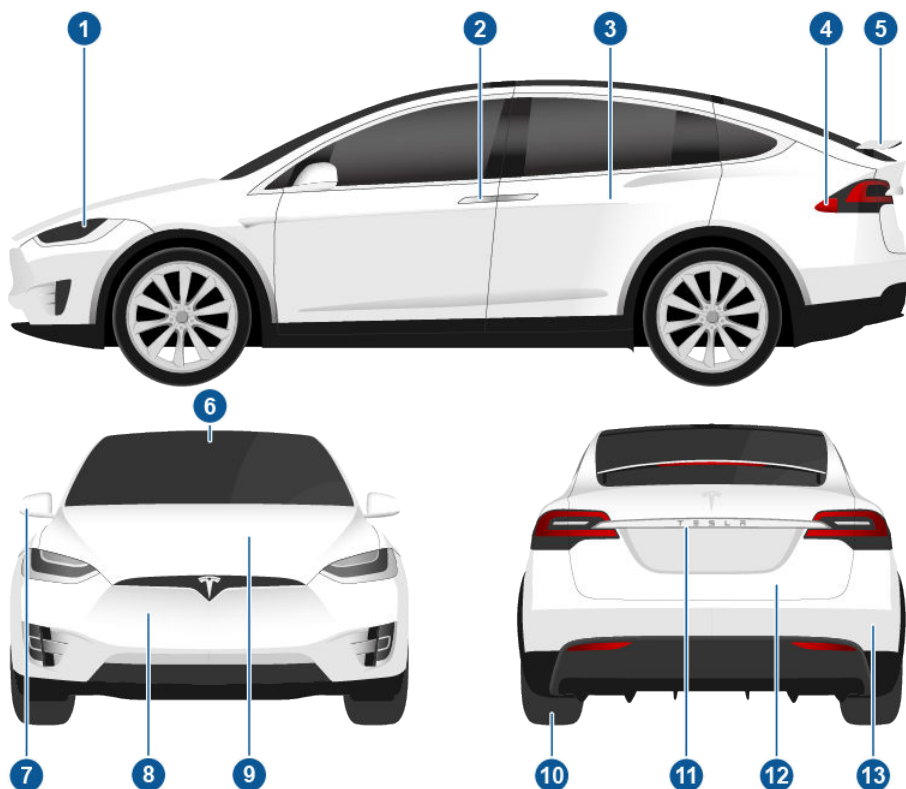


概要	2	タイヤの応急修理.....	148
インテリアの概要.....	2	クリーニング.....	152
エクステリアの概要.....	3	ワイパー ブレードとウォッシュャー液ノズル.....	155
開閉	4	フルードリザーバ.....	156
ドア.....	4	ジャッキアップと引き上げ.....	158
ウィンドウ.....	11	部品とアクセサリー.....	159
リアトランク.....	12	仕様	160
フロントトランク.....	14	識別ラベル.....	160
グローブボックス.....	16	車両総重量.....	161
カップホルダー.....	17	寸法および重量.....	163
座席と安全拘束具	18	サブシステム.....	165
フロントおよびリアシート.....	18	ホイールとタイヤ.....	168
シートベルト.....	22	ロードサイドアシスタンス	171
チャイルドシート.....	25	ロードサイドアシスタンスへのご連絡.....	171
エアバッグ.....	35	ロードサービスご利用の注意.....	172
運転	40	消費者情報	174
ドライバードフィードバック.....	40	この「所有者情報」について.....	174
ハンドル.....	42	免責事項.....	176
ミラー.....	45	安全上の不具合を報告する.....	180
始動と停止.....	46	適合宣言.....	181
ギア.....	47		
計器パネル.....	48		
ライト.....	53		
ワイパーとウォッシュャー.....	58		
ブレーキ.....	59		
トラクションコントロール.....	61		
パーキングアシスト.....	62		
オートブレーキホールド.....	64		
ローンチモード.....	65		
走行情報.....	66		
航続距離を最大限に伸ばす.....	67		
リアビューカメラ.....	68		
アクティブスボイラー.....	69		
トラレーラーの牽引.....	70		
ドライビングアシスト	75		
ドライビングアシストについて.....	75		
トラフィックアウェアクルーズコントロール.....	77		
オートステアリング.....	82		
自動車線変更.....	85		
オートパーキング.....	87		
レーンアシスト.....	91		
衝突回避アシスト.....	93		
スピードアシスト機能.....	95		
タッチスクリーンの使用	97		
タッチスクリーンの概要.....	97		
コントロール.....	102		
設定.....	106		
温度調整.....	110		
スマートエアサスペンション.....	115		
メディアとオーディオ.....	117		
電話.....	122		
地図とナビゲーション.....	124		
カレンダー.....	127		
セキュリティ設定.....	129		
Wi-Fi への接続.....	130		
ソフトウェアアップデート.....	131		
モバイルアプリ.....	132		
充電	133		
電気車両コンポーネント.....	133		
バッテリーに関する情報.....	135		
充電方法.....	136		
メンテナンス	142		
メンテナンススケジュール.....	142		
タイヤの手入れと保守.....	143		



注：右ハンドル（RHD）車では、上記のパーツが車両右側に左右対称になるように配置されています。

1. インテリア ドア ハンドル（[車内からドアを開ける](#) - 6 ページ）
2. トラフィックアウェアクルーズコントロール（[トラフィックアウェア クルーズコントロール](#) - 77 ページ）とオートステアリング（[オートステアリング](#) - 82 ページを参照）
3. ハイビーム（[ハイビーム ヘッドライト](#) - 56 ページ）、ウィンカー（[ウィンカー](#) - 56 ページ）、ワイパー、ウォッシャー（[ワイパーとウォッシャー](#) - 58 ページ）
4. ステアリング ホイール ボタン - 左（[ハンドルの左ボタンを使用する](#) - 42 ページ）
5. 計器パネル（[計器パネル](#) - 48 ページ）
6. ステアリング ホイール ボタン - 右（[ハンドルの右ボタンを使用する](#) - 43 ページ）
7. ギア セレクター（[ギアシフト](#) - 47 ページ）
8. タッチスクリーン（[タッチスクリーンの概要](#) - 97 ページ）
9. グローブボックス ボタン（[グローブボックス](#) - 16 ページ）
10. パワー ウィンドウ スイッチ（[ウィンドウを開ける、閉じる](#) - 11 ページ）
11. サイド ミラー調整スイッチ（[ミラー](#) - 45 ページ）
12. シート（[フロントおよびリアシート](#) - 18 ページ）
13. ステアリング コラム アジャスター（上図には非表示）（[ハンドル](#) - 42 ページ）
14. クラクション（[クラクション](#) - 44 ページ）
15. ブレーキ（[ブレーキ](#) - 59 ページ）
16. ハザードランプ（[ハザードランプの点滅](#) - 57 ページ）
17. キャビン環境コントロール（[温度調整](#) - 110 ページ）
18. カップ ホルダー（[カップホルダー](#) - 17 ページ）



1. エクステリア ライト (ライト - 53 ページ)
2. フロント ドア [Model X のドアを車外から開閉する](#) - 7 ページ
3. ファルコン ウィングドア [ドア](#) - 4 ページ
4. 充電ポート ([充電方法](#) - 136 ページ)
5. アクティブ スポイラー (オプション) ([アクティブ スポイラー](#) - 69 ページ)
6. 前方監視カメラ ([ドライビングアシストについて](#) - 75 ページ)
7. 外部ミラー ([ミラー](#) - 45 ページ)
8. レーダー センサー (上図には非表示) ([ドライビングアシストについて](#) - 75 ページ)
9. フード / フロント トランク ([フロントトランク](#) - 14 ページ)
10. ホイールおよびタイヤ ([ホイールとタイヤ](#) - 168 ページ)
11. リア ビュー カメラ ([リア ビュー カメラ](#) - 68 ページ)
12. リア トランク/リフトゲート ([リアトランク](#) - 12 ページ)
13. 超音波センサー ([パーキングアシスト](#) - 62 ページ および [ドライビングアシストについて](#) - 75 ページ)



キーレスロックとロック解除

Model X はロックやロック解除を簡単に行うことが出来ます。有効なキーを携帯している必要がありますが、必ずしも使用する必要はありません。Model X には、約 1 メートルの範囲内にキーが存在することを認識できるセンサーが付いています。したがって、ポケットやバッグにキーを入れておく、Model X がキーを検出します。

この便利なオプションが搭載されている場合は、キーを携帯して Model X に近づくと、全てのドアは自動的にアンロックされ、ドライバー側のドア ハンドルを自動的に押してドアを少し開けます。**自動フロント ドア**設定がオンになっている場合、ドア ハンドルに触る必要はありません。Model X に近づくと運転席側のドアが自動的に開き、離れると自動的に閉まります。

注: キーを携帯して Model X に近づいた際に、全てのドアのロックを解除するか、もしくは運転席側のドアのみを解除するかを選択できます (**ドア アンロックモード** - 9 ページを参照)。

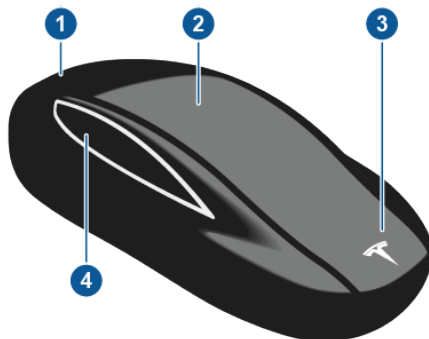
キーを携帯しているときは、リア トランクもキーを使わずに開くことができます。トランクのエクステリア ハンドルの下のスイッチを押すだけです。ドア アンロックモード **ドア アンロックモード - 9** ページは必ず「**すべて**」に設定する必要があります。

Model X はロックも自動的に行われます。**降車後オートロックをオン**に設定していれば、Model X はキーを携帯して遠ざかったときにロックされます (**降車後オートロック** - 9 ページを参照)。

Model X の車内にいる間に、タッチスクリーンのステータスバーにあるアイコンをタッチする、またはコントロール画面を使用して車両をロックまたはアンロックすることもできます。

キーを使用する

キーのご使用に慣れるために、キーを Model X のミニチュア版と考えてください (Tesla のエンブレムのある側が前方です)。キーの上面はフロント、リア、その中間で 3 つのボタンに分かれており、両サイドにはファルコン ドアに対応する金属ボタンがあります。



1. トランク

- ダブルクリックしてリアトランクを開けます。
- パワー リフトゲートが搭載されている場合、ダブルクリックしてリアトランクを閉めます。シングルクリックすると、動いているリフトゲートを止めることができます。
- 充電ポート ドアを開くには、ボタンを 1 ～ 2 秒間押し続けます。

2. 全ロック/アンロック

- ダブルクリックして Model X をアンロックして、運転席側のドアを開けてください。ハザードライトが 2 回点滅します。

注: Model X に自動フロントドアが装備されている場合のみ、運転席側ドアのみが開きます。

注: 「**ドア アンロックモード**」が「**運転席**」に設定されている場合は、ダブルクリックしてもアンロックされるのは運転席側のドアのみとなり、全てのドアとトランクをアンロックするには再度ダブルクリックする必要があります。「**すべて**」に設定されている場合は、最初のダブルクリックで全てのドアとトランクがアンロックされます。タッチスクリーンを使用してこの設定を変更します (「**コントロール**」 > 「**設定**」 > 「**車両**」 > 「**ドア アンロックモード**」の順にタッチします)。

- ・ シングルクリックして全てのドアとリアトランクを閉じてロックします（ドアやトランクが開いている場合は閉じます）。ハザードライトが1回点滅します。

注：Model X のすべてのドア（リアトランクを含む）をシングルクリックで閉じてロックさせるようにするには、「コントロール」>「設定」>「車両」>「キーフォブですべて閉じる」>「ON」をタッチしてください。デフォルトでは、この設定は「オフ」になっています。

3. フロントトランク（フランク）

- ・ ダブルクリックしてフロントトランクを開けます。

4. ファルコン ウィングドア

- ・ ダブルクリックすると、対応するファルコン ウィングドアが開閉されます。
- ・ シングルクリックすると、対応するファルコン ウィングドアの動きが止まります。続いてダブルクリックすると、ファルコン ウィングドアの動きが逆になります。たとえば、ドアを開いていたときは閉じ、閉じていたときは開きます。

注：ファルコン ウィングドアは、事前に障害物を検出し、障害物が検出されたときはドアが動かないように設計されています。障害物検出を解除するときは、上ボタンを押したままダブルクリックし、ドアを開閉します。

⚠ 警告：Model X ファルコン ウィングドアには、ドアの動線にある物体の存在を検出するセンサーが複数取り付けられています。大半の場合、物体が検出されるとドアの動きは止まります。ただし、センサーはどんな場合でも、特にドアが閉まりかけている場合に、あらゆるエリアで何でも検出できるわけではありません。そのため、ドライバーは常に、ドアの動線に障害物がないようファルコン ウィングドアを見守り、いかなるときもドアが何か（人を含む）に接触することを事前に防止できるようそばにいてください。確認を怠ると、重大な損傷や負傷事故につながる可能性があります。

この場合、キーを Model X に向ける必要はありませんが、キーの作動範囲内にいる必要があります（作動範囲はキーのバッテリーの強さによって異なります）。

Model X がキーを検出できない場合は、キーが車内に表示されます。キーを、Model X が最も検出しやすい位置である 12 V 電源ソケットの下に置きます（**キーは車内にありません** - 46 ページを参照）。

周波数の近い無線機器がキーに影響を与える場合があります。その場合は、キーを他の電子機器（携帯電話、ノートパソコンなど）から 30 cm 以上離してください。キーが動作しない場合は、バッテリーの交換が必要となる場合があります。キーのバッテリーが切れている場合は、以下のアンロックの手順に従って Model X のドアを開けることができます。（**キーが動作しないときのアンロック** - 10 ページを参照）。

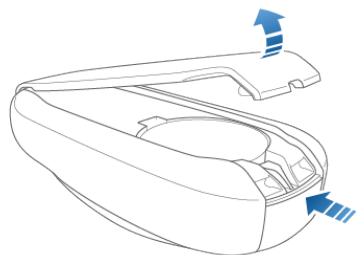
⚠ 注意：運転する際は、必ずキーを携帯してください。キーを携帯していない場合でも Model X を運転することはできますが、その場合は電源を一度切ると、再度オンにすることができません。

⚠ 注意：キーを衝撃、高温、液体による損傷から保護してください。キーが溶剤、ワックス、研磨洗浄剤に触れないようにしてください。

キーのバッテリー交換

キーのバッテリーの寿命は約1年です。バッテリー残量が低下すると、計器パネルにメッセージが表示されます。以下の手順に従ってバッテリーを交換します。

1. キーの裏面を上にして、マイナス ドライバー状のもの、爪または Tesla 提供のツール を用いて底面のカバーを開きます。

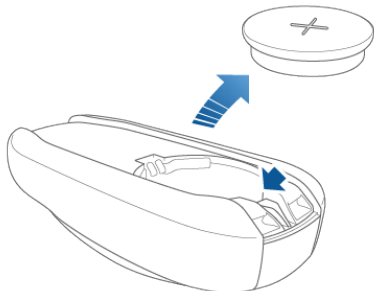


* 便宜上、Tesla はバッテリー カバーを簡単に開ける特殊なツールを提供しています。このツールは、Model X をお買い求めいただいたときにキーが入っているボックスの中に入っています。

注：キーにストラップ が付いているときは（**ストラップを取り付ける** - 6 ページを参照）、底面のカバーの「X」の文字のところに指で押してストラップを引くと（カバーを押して開けるような感じで）、カバーを外すことができます。また、キーとカバーの間に小さなマイナスドライバー状のもの、爪または Tesla 提供のツールを差し込んでもカバーをこじ開けることができます。

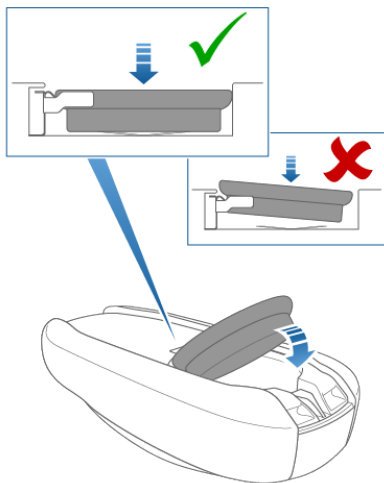


2. バッテリーは、斜めにするのと取り出すことができます。



3. プラス (+) 面を上にして新しいバッテリー (CR2354) を挿入します。バッテリーが所定の位置にぴったりとはまるようある程度角度を付けて + 面 (接触面はキーのほぼ中央にあります) に向けてスライドさせ、その後反対側にしっかりと押し込んで所定の位置にしっかりとまっていることを確認してください。

⚠ 注意: バッテリーは+の接触面に対してスプリングで押さえられていなければなりません。バッテリーを接触面の上に置いて無理に押さえつけることはしないでください。接触面を損傷する恐れがあります。

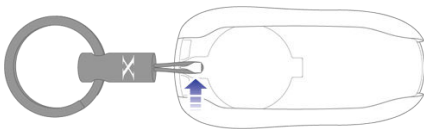


注: バッテリーはきれいに拭いて、平らな面に指を触れないようにして挿入します。バッテリーの平らな面に指紋が付いていると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。

4. カバーは、フロント側をキー本体に付け、横に付いているタブとキー本体側のスロットの位置を合わせて、パチンという音がするまで押し込んで固定します。

ストラップを取り付ける

Model X のキーは小さなストラップを付けられるようになっています。ストラップを付けるときは、上記の要領で底面のカバーを外します。キーの裏側のピンにストラップをかけます。カバーを合わせて、パチンと押し込みます。



追加のキーを入手する

キーを紛失した場合または追加のキーが必要な場合は、Tesla にご連絡ください。Model X は最大 8 個までキーを認識することができます。

Model X の新しいキーを注文したときは、お手持ちのキーすべてをプログラミングし直してください。

車内からドアを開ける

フロント ドアを開くためには、インテリア ドアハンドルを内側に向かって引っ張ってください。



Model X の車内からタッチスクリーンを利用してドアの開閉を行うこともできます。「コントロール」 > 「ドア」をタッチし、開閉したいドアを選んでください。これに加え、ブレーキペダルを踏みと運転席側ドアは自動的に閉まります。

注: お子さまが内部ドアハンドルを使用してファルコンドアを開けないようにするには、タッチスクリーンで「コントロール」 > 「設定」 > 「車両」 > 「チャイルドロック」の順にタッチしてチャイルド

ロックをかけます (**チャイルドロック** - 9 ページを参照)。

Model X のドアを車外から開閉する

Model X のドアは電動です。キーを持って Model X に近づいた時に、運転席側ドアのみをアンロックするか、全てのドアをアンロックするかを指定することができます。タッチスクリーンで、「**コントロール**」>「**設定**」>「**車両**」>「**ドア アンロックモード**」の順にタッチしてから**運転席またはすべて**を選択してください。また、運転席のドアは近くと自動的に開くように設定することもできます。ドアが途中まで開きます (センサーが検出する障害物によって 20 度から 45 度の角度で開きます)。「**コントロール**」>「**設定**」>「**車両**」>「**自動フロントドア**」>「**ON**」をタッチしてください。

注: 製造日と購入時に選択したオプションによっては、Model X に**自動フロントドア**が搭載されていない場合があります。



ドアが開いていると、計器パネルに「ドアが開いています」インジケータが表示されます。タッチスクリーンの「**コントロール**」ウィンドウの Model X の画像にも、開いているドアやトランクが表示されます。

ドアは、手動でもタッチ スクリーンを使用しても閉じることができます。

ドアがすでに開いている時にハンドルを触ると外側フロントドアを閉めることができます。

注: 電動式のドアは、障害物が検出されると動作を停止します。

注: 電動式のフロント ドアも、手動で開閉することを選択した場合は、手動動作に切り換わります。

ファルコン ウィングドアの開閉

Model X 電動ファルコン ウィングドアを装備しており、ボタンひとつで、あるいはキーもしくはタッチスクリーン («**コントロール**」>「**ドア**») をタッチすることで簡単に開閉できます。ファルコン ウィングドアには、人や物を検知するセンサーが複数装備されており、何かを検知した場合はドアの動きが止まります。検知した物体に応じて、ドアはそれに接触しないように外側および上方向の動きを調整します。たとえば、物体が Model X の上方に検知された場合、ドアはさらに外側には動くものの低めになり、一方、物体がドアのそばに検知された場合には、ドアが外に出る動きはずっと少なくなります。

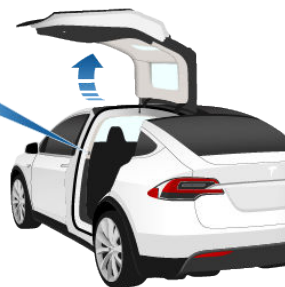
警告: いかなる時でも、ファルコン ウィングドア フレームには手を置かないでください。ドアを閉じる前はドアフレーム周辺を確認し、閉じ始めたらドアの動きを注視し人や物が挟

まらないことを確認してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

警告: ファルコン ウィングドアの開け閉めをする前に、ドア周囲に障害物 (人や物) がないことを確認してください。ドアには多くのセンサーがついていますが、いつでもすべての物体を検知できるとは限らず、特にドアが動いているときにはその傾向が高まります。ある時点において、ドア近くに検出できないゾーンが生じる場合があります。そのため、ファルコン ウィングドアを開閉する場合、ドライバーおよびその他のパッセンジャーは、ドアの動きを意識し、いつでも対応できるようにしながら、動いているドアから離れてください。ドアを動かないようにするには、キーにあるファルコン ウィング ボタンをシングルクリックするか、ドアまたはドアピラーにあるスイッチを押す、あるいはタッチスクリーンにあるボタンをタッチしてください。

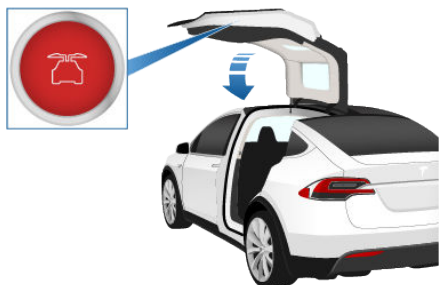
ファルコン ウィングドアを Model X の外から開けるには、ドアハンドルを押すかまたはキーのファルコン ドア ボタンを押します (**キーを使用する** - 4 ページを参照)。

Model X 車内からファルコン ウィングドアを開くには、ドア ピラーにあるスイッチを引っ張るか、タッチスクリーンの**ドア コントロール**をタッチしてください («**コントロール**」>「**ドア**») :



注: Model X がロックされている場合、スイッチ (上図参照) を一度引っ張るとドアのロックが解除されます。もう一度引っ張るとドアが開きます。

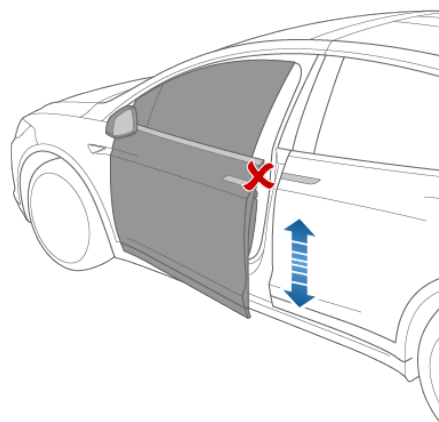
ドアを閉じるには、ドアの内側にあるボタンを押してください。キーを使用する (**キーを使用する** - 4 ページを参照)、ドア ピラーのスイッチを押す (上図参照)、またはタッチスクリーンの**ドア コントロール**をタッチしても行えます («**コントロール**」>「**ドア**») :



注：お子様が誤って内側のスイッチを押してドアを開けることを防ぐには、タッチスクリーンで「コントロール」>「設定」>「車両」>「チャイルドロック」の順にタッチしてチャイルドロックを有効にします。チャイルドロック - 9 ページを参照してください。

注：ファルコンウィングドアが閉じる時に障害物を検出すると、数センチ戻って動きを止めます。

▲ 警告：対応するファルコンウィングドアを開閉しようとしているときにフロントドアが開いている場合は常に、フロントドアの開口部から手（あるいは物）を離してください。ファルコンウィングドアが開きかけているフロントドアを通過する際、両ドアの間隔は非常に狭くなります。その部分に置いた手や指などはセンサーに検出されず、ドアとドアの間に挟まれることがあります。ファルコンウィングドアの開閉時には、負傷事故の発生を防止するために、手はフロントドアから常に離しておく習慣をつけてください。



▲ 警告：ファルコンウィングドアの開閉時には、ドアが人や物に触れることがないようにドアの動きを意識することが重要です。確認を怠

ると、重大な損傷や負傷事故につながる可能性があります。

▲ 注意：ドアに積雪や氷がある場合は、ドアを開ける前に取り払ってください。雪が Model X 内部に入り、ドアが開かなくなる恐れがあります。

▲ 注意：雨天時には、リフトゲートを開く際にファルコンウィングドアを開けたままにしていると、雨水がリフトゲートからリアシート部に侵入します。

注：ファルコンウィングドアは、Model X が停止しているときにしか開きません。

障害物検出

ファルコンウィングドアは、それがもつ多くのセンサーが物体を検知したとき、あるいはドアが何かに接触したことにより抵抗を感じたときに動きを止めます。タッチスクリーンが「ドア」タブに警告を表示します。その場合、ファルコンウィングドアの開閉動作を続行させることが適切であれば、次のいずれかを行うことで障害物の検出を一旦解除することができます：

- ドアピラーにあるスイッチを引っ張り続けます（または長押しします）。
- タッチスクリーンにある適当なボタンをタッチして長押ししてください。

Model X が天井低いことを検知すると、他に障害物が無くてもファルコンウィングドア（およびトランク）を低めの高さで開きます。タッチスクリーンでこの高さに変更を加えると、Model X はその場所での変更を記憶します。次回この場所でファルコンウィングドアを開くと、Model X は保存した高さでドアを開きます。

▲ 警告：ファルコンウィングドアの外側にラップやステッカー、ラバーコーティングなどの粘着性物質を付けると、センサーが物体を認識する性能に悪影響を与えることがあります。

キャリブレーション

ファルコンウィングドアが正しくキャリブレーションされていない場合、タッチスクリーン上に警告が表示されます。ドアのキャリブレーションを行うには、まず両方のドアの周囲に十分な空間があり乗員や物がいないことを確認してから、Calibrate ボタンをキャリブレーションが終了してから 5 秒間押し続けてください。キャリブレーション中は、下部ドアが全開し（Model X の側面側に十分な空間が必要で）、上部ドアがいったいまで動いてからドアが閉まります。

内部ロックとアンロック

Model X の車内に有効なキーがある場合、タッチスクリーンで車内からドアとトランクをロック/ロック解除することができます。タッチスクリーンのステータスバーのロックアイコンにタッチします。

停車して Model X パーキングにシフトした時に、ドアをアンロックするか、ロックしたままにするかを選択できます。これを行うには、「コントロール」>「設定」>「車両」>「パーキング時のロック解除」の順にタッチします。ON に設定すると、パーキングにシフトした時にドアが自動的にアンロックされます。

また、ギアセレクトターの端にあるパーキングボタンをもう1度（パーキングにシフトした時に1度目を押した後）押して、ドアをアンロックして。

注：Model X をロックする際にドアまたはトランクがまだ開いている場合は、それを閉じたときにロックがかかります。

ドア アンロックモード

キーを携帯して車両に近づいた際に、全てのドアのロックを解除するか、もしくは運転席のドアのみを解除するかを選択できます。これを行うには、「コントロール」>「設定」>「車両」>「ドアアンロックモード」の順にタッチしてから**運転席またはすべて**を選択してください。

チャイルドロック

Model X は、お子さまが内部ハンドルを使用してフアルコンウィングドアやリフトゲートを開けるのを防ぐために、リアドアとリフトゲートにチャイルドロックを備えています。タッチスクリーンを使用してチャイルドロックをオンまたはオフにするには、「コントロール」>「設定」>「車両」>「チャイルドロック」の順にタッチします。

注：後部座席にお子さまを乗せている場合は、チャイルドロックを ON にすることをお勧めします。

走行時オートロック

Model X は、走行速度が時速 8 km を超える場合、すべてのドア（トランクを含む）を自動的にロックします。

降車後オートロック

ドアとトランクは、キーを携帯して遠ざかっただけで自動的にロックすることができます。

この機能をオンまたはオフにするには、「コントロール」>「設定」>「車両」>「降車後オートロック」の順にタッチします。

注：すべてのドアが閉まっているときにキーを使用して Model X のロックを解除すると、降車後オートロック機能は一分間に無効になります。1 分以内にドアを開ければ、全てのドアが再び閉めてからキーを持って車から離れるまでロックされません。



キーが動作しないときのアンロック

Model X に近づいたり、キーのアンロックボタンを押したりしてもロックが解除されない場合は、キーのバッテリーが切れている可能性があります。その場合でも、Model X をアンロックして運転することができます。

Model X をアンロック（さらにセキュリティアラームを無効に）するには、図のように、まずキーを車両のドライバー側でフロント ドアとファルコンドアの間のドア ピラー下に置きます。次に運転席側のドアハンドルを押します。Model X のロックが解除されない場合は、キーの位置を調整してください。キーは必ず正しい位置にする必要があります。まだ Model X をアンロックできない場合は、キーのバッテリーを一度取り外して、もう一度試してください。 [キーのバッテリー交換](#) - 5 ページを参照してください。

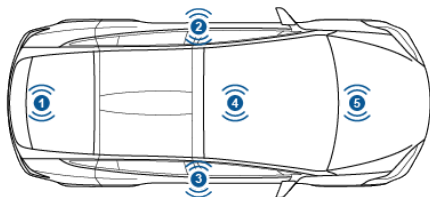
Model X を運転するには、12 V 電源ソケットの真下にあるセンター コンソールにキーを置き、ブレーキペダルを踏んだまま Model X の電源をオンにします。

注：上記の方法で Model X のロックを解除すると、降車後オートロック機能は無効になります。この場合、キーのバッテリーを交換した後、降車後オートロック機能を手で再び有効にする必要があります。

キーのバッテリーを交換する方法については、[キーのバッテリー交換](#) - 5 ページを参照してください。

電波干渉

心臓ペースメーカーを使用している方は、キーレスシステムのキー アンテナからの電波によるペースメーカーへのいかなる影響も避けるため、Model X に取り付けられた任意のキー アンテナから少なくとも 22 cm 離れるようにしてください。アンテナは以下の場所に設置されています。



1. リアバンパーの中央。
2. 左側の 1 列目と 2 列目の座席位置の間のドアピラー。
3. 右側の 1 列目と 2 列目の座席位置の間のドアピラー。
4. センターコンソール。

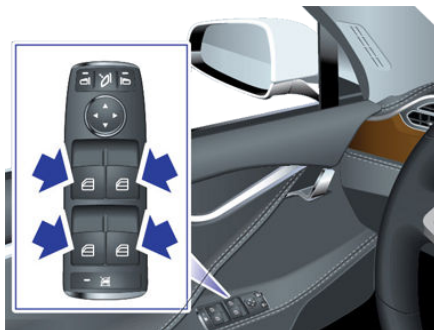
5. フロント トランクの中央。



警告：電波は医療用電気機器に悪影響を及ぼすことがあります。植込み型ペースメーカーを使用している方は、想定される影響について使用前に医療用電気機器の製造元にお問い合わせ下さい。

ウィンドウを開ける、閉じる

ウィンドウスイッチを押して、ウィンドウを一番下まで下げます。スイッチの操作には 2 段階あります。ウィンドウを途中まで下げるには、スイッチを押したまま希望の位置まで下がったらスイッチを離します。



同様に、スイッチを引いてウィンドウを一番上まで上げます。この際も、スイッチの操作には 2 段階あります。スイッチを引いて希望の位置まで上がったからスイッチを離します。

⚠ 警告： パワーウィンドウを閉める前に、すべての乗員、特にお子さまの身体の一部がウィンドウの外に出ていないことを確認してください。確認を怠ると、大けがにつながる可能性があります。

⚠ 警告： Model X から降車する際は、キーを必ず携帯してください。Model X の車内にキーを放置しておくと、すべてのドア、ウィンドウおよびコントロールが操作可能な状態になり、Model X の危険な使用、無許可での使用や意図しない使用につながる可能性があります。

リアウィンドウをロックする

乗員がリアウィンドウのスイッチを使用するのを制限するには、リアウィンドウロック スイッチを押します。スイッチのランプが点灯します。リアウィンドウのロックを解除するには、もう一度スイッチを押します。



⚠ 警告： 安全確保のため、後部座席にお子さまが乗っている場合は、リアウィンドウをロックすることをお勧めします。

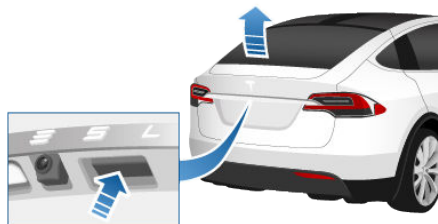
⚠ 警告： お子さまを付き添いなしで Model X 内に放置しないでください。



開く

リアトランクは以下のいずれかの操作で開きます。

- タッチスクリーンで、「**コントロール**」>「**トランク**」の順にタッチします。
- キーの「リア トランク」ボタンをダブルクリックする。
- 外部ハンドルの下にあるスイッチを押す。



リフトゲートが開いているときは、計器パネルに「ドアが開いています」のインジケーターが表示されます。タッチスクリーンの「コントロール」ウィンドウでも Model X のトランクの状態が表示されます。

動作中のリフトゲートを停止するには、キーのトランクボタンをシングルクリックします。さらに、トランクボタンをダブルクリックすると、動作が逆方向に再開されます（停止時にほぼ全開の状態または閉じた状態をのぞく）。例えば、リフトゲートを開いている途中にシングルクリックで動作を停止すると、次にダブルクリックするとリフトゲートの閉じる動作が開始します。

Model X の電源が全くない状況でトランクを開ける方法については、[電源がない状態で開ける - 13 ページ](#)を参照してください。

Model X が天井低いことを検知した場合、他に障害物が無くてもトランク（およびファルコンウィングドア）を低めの高さで開きます。タッチスクリーンでこの高さに変更を加えると、Model X はその場所での変更を記憶します。次回この場所でファルコンウィングドアを開くと、Model X は保存した高さでドアを開きます。

閉める

電動リフトゲートを閉めるには、次のいずれかを行います。

- キーのトランク ボタンをダブルクリックする。
- タッチスクリーンで、「**コントロール**」>「**トランク**」の順にタッチします。
- リフトゲートの下にあるスイッチを押す（[開いたときの高さを調整する - 12 ページ](#)を参照）。

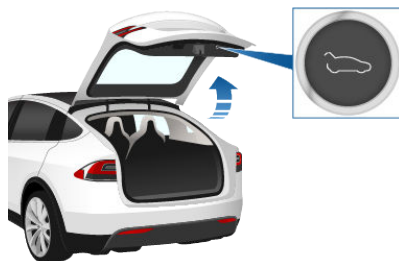
通電したリフトゲートが閉じている途中で障害物を検出すると、自動的に開く動作に切り替わり、チャイムが 2 回なります。障害物を取り除き、もう一度閉じる操作を行ってください。それでも閉じない場合は、一時的に電動動作を無効にします。手で閉めることにより、再び電動機能が働くようにします。

注：電動リフトゲートを 1 時間以上開けたままの状態にした場合にも、パークローズ機能は一時的に無効になります。

開いたときの高さを調整する

リフトゲートを開いたときの高さを、お好みの高さに調整することができます。

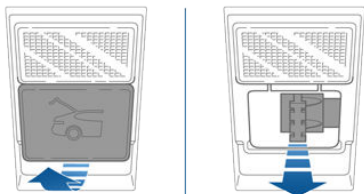
1. リフトゲートを開いてから、手で任意の高さに下げてください。
2. リフトゲート下方のボタンを 2 秒間押したままにして、確認のチャイム音が聞こえるのを待ちます。



3. リフトゲートを閉めてもう一度開き、開いたときの高さがお好みの高さであることを確認します。

電源がない状態で開ける

Model X に電源がない場合は、内側からリアトランクを開くことができます。リフトゲート内側のインテリア ライト横にある機械式解除ケーブルを利用します。



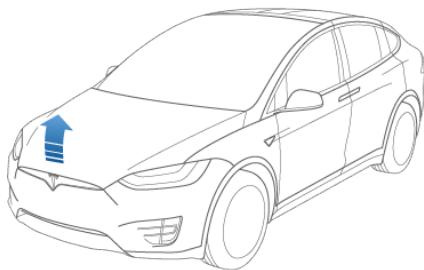
1. カバーの下側を手前に強く引き、カバーを外します。
2. ケーブルを引っ張り、ラッチを外します。
3. リフトゲートを押し開きます。



開く

フロントトランクを開ける方法:

- タッチスクリーンで「コントロール」>「フロントトランク」の順にタッチするか、キーのフロントトランク ボタンをダブルクリックします。
- ボンネットを引き上げます。



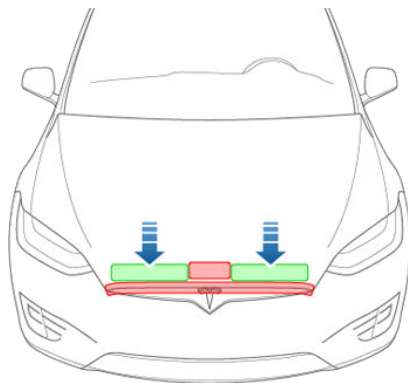
フロントトランクが開くと、計器パネルにドアオープンインジケータが表示されます。タッチスクリーンの「コントロール」ウィンドウでも Model X のトランクの状態が表示されます。

注: フロントトランクは、Model X がタッチスクリーンからロックされるか、キーまたは降車後オートロック機能で外部からロックするか、もしくはパレーモードが動作中の場合にロックされます ([パレーモード](#) - 40 ページを参照)。

閉める

Model X のボディは軽量アルミニウム製です。したがって、ボンネットは自重でラッチがかかるほどの重量はありません。ボンネット フロント端部または中央を無理に押すと損傷することがあります。フロントトランクを閉める方法:

- ラッチに触れるまでボンネットを下げます。
- 以下に示すように (緑色の箇所)、両手をフードのフロント部分に置き、しっかりと押し下げてラッチにはまるようにします。
- ボンネットのフロント端部を持ち上げてしっかりと閉まっていることを確認します。



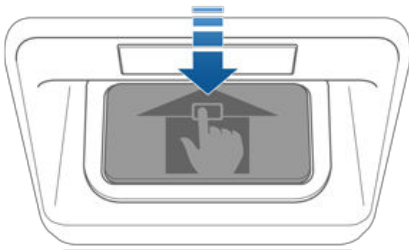
⚠ 注意: 損傷を防止する方法:

- 上の図に示す緑色の領域以外には力を加えないでください。赤色の領域に無理な力を加えると、損傷することがあります。
- ボンネットは片手で閉めないでください。片手で閉めると力が一個所に集中し、凹みや波打ちの原因となります。
- ボンネットの先端に圧力をかけないでください。フード端部の波打ちの原因となります。
- ボンネットを強く閉めたり、落としたりしないでください。

⚠ 警告: セカンダリー キャッチだけでボンネットを固定した状態で車両を運転しないでください。

内部緊急解除

フロントトランク内の内部解除ボタンを使用すると、トランク内部に閉じ込められた人が脱出できるようになります。この解除ボタンは **Model X** が停止状態であればいつでも有効です。



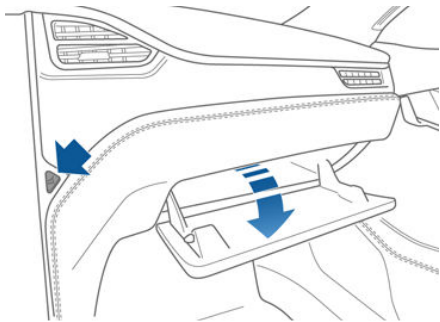
内部解除ボタンを押して、フロントトランクを開けて、ボンネットを押し上げます。

注：このボタンは外光に短時間当たった後、数時間光ります。



グローブボックスを開ける、閉じる

グローブボックスを開けるには、タッチスクリーンの横にあるスイッチを押します。グローブボックスを 5 分以上開けたままにしておくと、グローブボックスのライトが自動的に消灯します。



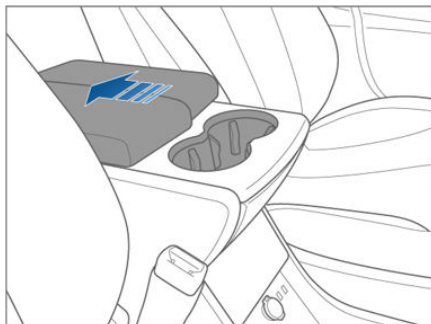
注: キーまたは降車後オートロック機能で

Model X を外部からロックすると、グローブボックスもロックされます。Model X がパレー モードにある時もロックされます ([パレーモード - 40 ページ](#)を参照)。Model X をタッチスクリーンでロックしたときは、グローブボックスはロックされません。

⚠ 警告: 走行時はグローブボックスを開め、衝突発生時や急停車時に乗員が負傷しないようにしてください。

カップホルダーを開ける、閉じる

フロント カップ ホルダーを出すにはアームレストを後ろにスライドします。



リア カップ ホルダーを出すには (車両に装備されている場合)、センター コンソール後部にあるカップホルダーのフェース プレートを押して離します。





正しい運転位置

シート、ヘッド拘束装置、シートベルト、エアバッグはそれぞれ運動しており、乗員の安全性を最大限に確保するようになっています。これらの機能を正しく使用することで、保護性能を向上させることができます。

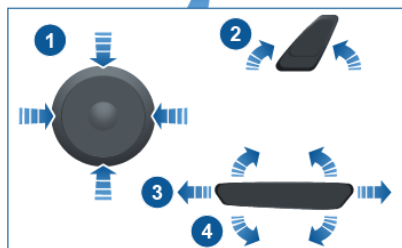
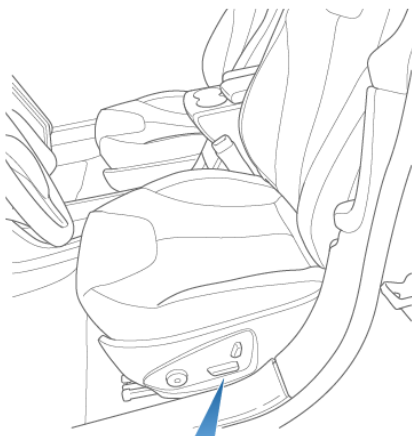


シート位置を正しく設定すると、フロントエアバッグからできるだけ離れた位置でシートベルトを正しく装着することができます。

1. 上体を起こし両足をフロアに着けた状態で着座し、シートのリクライニングが 30° を超えないようにします。
2. ペダルに足が十分に届き、ハンドルを握ったとき腕が少し曲がることを確認します。胸がエアバッグカバーの中央から 25 cm 以上離れるようにしてください。
3. シートベルトの肩ベルトが乗員の首と肩の間を通るようにします。シートベルトの腰ベルトが腹回りに通らず腰回りに密着するように装着します。

Model X のシートにはヘッド拘束装置が組み込まれています。運転席と助手席のフロントシートのヘッド拘束装置は、シートの位置により自動的に調節されます。

運転席シートの調整



1. ランパー サポートを調整する。
2. バックレストを調整する。
3. シートを前後に移動させる。ヘッド拘束装置の高さは、シートの位置に応じて自動的に調節されます。例えば、シートが後ろに下げられている場合は、比較的に背の高いドライバーとなるため、ヘッドレストが上がります。背の低いドライバーのためにシートが前方に動かされている場合ヘッドレストは下がります。
4. シートの高さと同きを調整する。

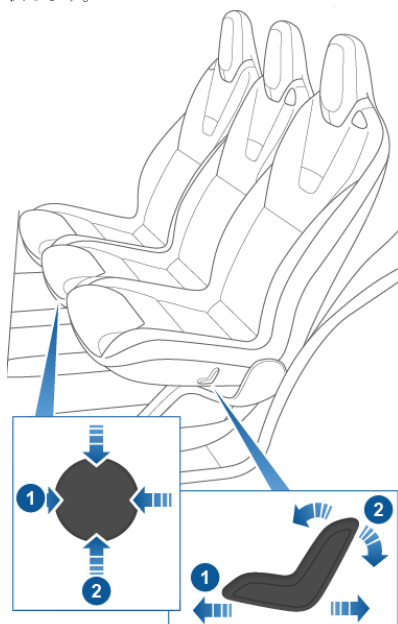
⚠ 警告： 運転中にシートの調整をしないでください。事故につながる恐れがあります。

⚠ 警告： 走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は必ず、シートのリクライニングを 30° 未満にしてください。

2 列目シートのモノポスト調整

購入時に選択されたオプションにより、モノポストシートが装備された Model X なら 2 列目に 2 人または 3 人の人が座ることができます。これらのシートの位置の調整には 2 つの方法があります：

- タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「シート」の順にタッチします。
- 以下のイラストにあるように手動調整を使用します。シートを前後に移動させるだけでなく、手動のシート位置調整では背もたれの調整も可能です。外側シートのコントロール ボタンは L 字型をしており、中央のシートのコントロール ボタンは円形ですが、両方とも同じ機能を提供します。



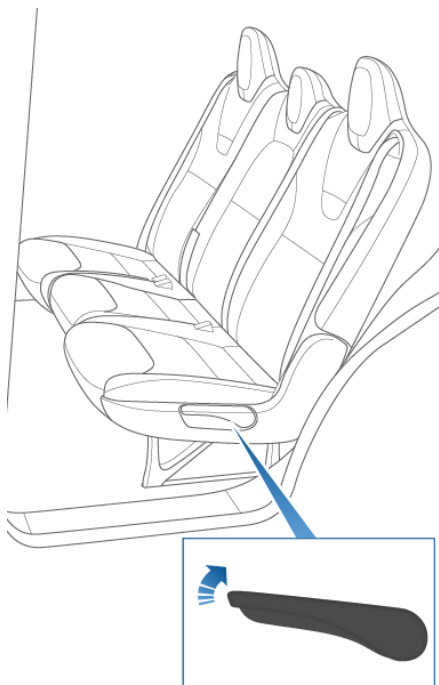
1. シートを前後に移動させる。
2. バックレストを調整する。

注：バックレストは、レバーを離れたときの位置にロックされます。走行用ギアにシフトしたときにバックレストがロックされていないと、計器パネルが警報を表示します。バックレストを調整し直して、ロックされていることを確認します。

2 列目ベンチシートの調整

ベンチシートが装備された Model X なら、3 人の人が 2 列目に座ることができます。各シート外側にある機械式調整レバーを使用して、背もたれを折りたたむ、またはリクライニングさせます。ベンチシートは 60 対 40 で分割され、左側にある調整レバーは左側と中央のシートの背もたれを動かします（それに対し、右側のレバーは最も右側にある背もたれを動かします）。

レバーを引き上げている間に背もたれを任意の位置に動かしたらレバーを放します。背もたれを直立位置に戻したときは、押したり引いたりしてラッチがその位置でしっかりはまっていることを確認してください。



注：5 シーターの車両に装備されるベンチシートは前後に動かすことができません。

3 列目シートへのアクセス

Model X は、3 列目シートから人の乗り降りがしやすくなっています（装備されている場合）。2 列目の各外側シートのバックレストにある「かんたん乗車」ボタンを押します。ボタンを押した外側シートのバックレストが前方に傾きシートが前方いっぱいまで移動します。中央のシートも前方に少し移動します。



「かんたん乗車」ボタンを押したときにシートの一方に乗員が座っている場合は、両方のシートが前方にすこし移動しますが、シートのコンフォート調整機能を使用していれば座っている乗員が動ける程度までしか移動しません。かんたん乗車機能によって前方に移動しなくてはならない2列目シートにチャイルドシートが取り付けられていてチャイルドシートの直前のフロントシートに乗員が検知されない場合は、チャイルドシートを取り付けた2列目シートが前方に移動できるようにフロントシートも前方に移動します。

「かんたん乗車」が作動すると、2列目シートがぶつかる位置にフロントシートがある場合、2列目シートを前方に移動させるのに十分なだけフロントシートが自動的に移動します。

注：2列目シートが前方へ移動中に乗員がそれを調整すると移動はキャンセルされます。

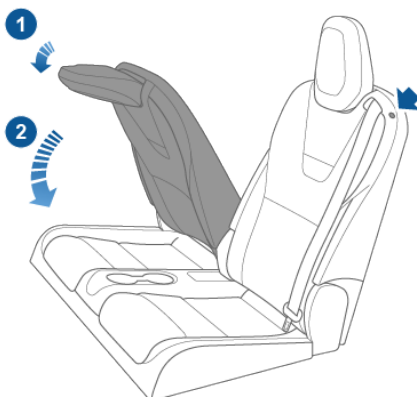
注：外側シートがかんたん乗車のために傾けられたとき、そのバックレストは中立位置にリセットされますので、再調整が必要になります。

注：「かんたん乗車」のためにシートが前方に移動中に障害物が検知されると、前方への移動は止まりシートは後ろへ戻ります。

3列目シートの折りたたみ

Model X に3列目シートが搭載されている場合は、折りたたむ前にシートやリアシートの足下部分から物を取り除いてください。3列目シートバックを完全に平らにするには、2列目シートを前方へ移動させる必要がある場合もあります。

3列目シートを折りたたむには、シートの外側上部のかどにあるボタンを押します。ボタンには2つの戻り止めがついています。



1. ヘッド拘束装置を前にたたみます。

2. シートを前方にたたみます。

注：必要があれば、3列目シートを前方に動かせるように2列目シートを少し前に移動します。

注：シートを起すには、ラッチが引っかかるまでシートバックを上方に引いてください。シートバックを前方へ引き、直立位置でロックされていることを確認します。

⚠ 警告：シートバックが必ず、直立位置でロックされているようにしてください。これを怠ると事故の危険が増します。

ヘッド拘束装置

取り外しできないヘッド拘束装置を含むフロントシートはシートの位置により自動的に調節します（[運転席シートの調整](#) - 18 ページを参照）。

2列目シートおよび3列目シートには調節機能のないヘッドレストが装備されており、これは取り外しできません。しかし、3列目シートのヘッド拘束装置は折りたたんで格納することができます（[3列目シートの折りたたみ](#) - 20 ページを参照）。



シート ヒーター

フロント シートは 3 (強) から 1 (弱) の 3 つのレベルで動作するヒーターを備えています。シートヒーターの操作方法は[温度調整](#) - 110 ページを参照してください。

Model X に寒冷地オプションが搭載されている場合、全てのリアシートと加熱式ワイパー、ウォッシャーノズルを「[コントロール](#)」 > 「[寒冷地設定](#)」の順にタッチすることで操作できます ([コントロール](#) - 102 ページを参照)。

シートカバー

Model X にシートカバーを使用しないでください。使用すると事故発生時にサイドエアバッグの展開が制限される可能性があります。乗員感知システムが装備されている場合は、その精度が低下する恐れもあります。



シートベルトの着用

シートベルトとチャイルドシートは、衝突の発生時に乗員を保護する最も効果的な手段です。したがって、シートベルトの着用はほとんどの地域で義務づけられています。

運転席と助手席の両方に、3点慣性リールシートベルトが装備されています。慣性リールベルトは、通常の運転状態で乗員が快適に移動できるように自動的に張力がかかるようになっています。チャイルドシートを固定するために、すべての座席の着座位置にALR（自動ロック式巻き取り装置）が取り付けられています。シートベルトを必要以上の長さに引っ張ると、ALRが作動してベルトがロックされます。バックルが外されないかぎりベルトはロックされたままです（**シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける** - 29 ページ参照）。

シートベルトリールは、Model X が急加速、ブレーキング、コーナリング、または衝突の衝撃に伴う力を受けると、乗員の身体移動を防止するために自動的にロックされます。

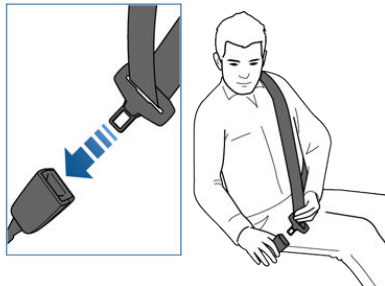


計器パネル上のシートベルト リマインダーは、座席にいる乗員がシートベルトを着用していない場合に警告を出します。シートベルトが着用されないままの状態であると、リマインダーが点滅し断続的なチャイム音を鳴らします。すべての乗員がシートベルトを着用したにもかかわらずリマインダーがオンのままの場合は、シートベルトが正しく着用されていることを確認するために再度着用し直します。また乗員がいない座席から重い物（書類かばんなど）を移動してください。リマインダーランプが引き続き点灯している場合は、Tesla にご連絡ください。

シートベルトを着用するには

1. 座席の正しい位置を確認します。
2. ベルトをスムーズに引き出して、ベルトが骨盤、胸、鎖骨の中間点の上、首と肩の間に平らに位置するようにします。

3. ラッチプレートをバックルの中にカチッという音がするまで差込みます。



4. 安全に固定されたことを確認するため、ベルトを引きます。
5. ベルトの対角線部分をリールに向かって引き、余分な緩みを取り除きます。

シートベルトを着用するには

シートベルトが速く巻き込まれすぎないようにするために、バックル近くのベルトを持ち、バックルのボタンを押します。そうすることで、ベルトが自動的に巻き込まれます。ベルトが完全に巻き込む際に邪魔になるような障害物がないことを確認し、ベルトが完全に巻き込まれるようにします。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、Tesla にご連絡ください。

妊娠中の女性がシートベルトを着用するとき

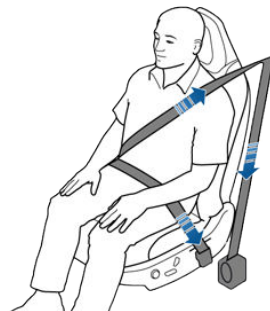
腰ベルトは、腹部のふくらみを避け腰骨の最も低い位置にくるように調整します。肩ベルトは胸の中央を通るようにします。詳しくは医師の指示に従ってください。



⚠ 警告：事故が発生した場合の衝撃を和らげるため、乗員とシートベルトの間に絶対に物を入れないでください。

シートベルトプリテンショナー

前席シートベルトには、前方向からの激しい衝突の際にエアバッグと連動して作動するプリテンショナーが装備されています。プリテンショナーはシートベルトアンカーとシートベルトウェビングを巻き込み、腰ベルトと肩ベルトの緩みを減らし、乗員の前方への移動を減少させます。



プリテンショナーとエアバッグが衝突時に作動しなかった場合、故障ではなくこれらの作動条件を満たすほどの強い衝撃が存在しなかったことを意味します。

⚠ 警告：シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。一度作動したら、交換する必要があります。事故の後、エアバッグ、シートベルトプリテンショナー、すべての関連コンポーネントを確認し、必要に応じて交換します。



シートベルトのテスト

シートベルトが正しく作動することを確認するため、各シートベルトで3つの簡単な点検を行ってください。

1. シートベルトを着用している状態で、バックルに最も近いウェビングを素早く引きします。バックルはしっかりとロックされたままでなければなりません。
2. ベルトを外した状態で、ウェビングを限界まで引き出します。引き出し操作がスムーズに行えることを確認し、ウェビングに摩耗がないか確認します。ウェビングを引き込ませて、引き込みがスムーズで完全であることを確認します。
3. ウェビングを半分引き出した状態で、タングプレートを持ち、前方に素早く引きします。シートベルトが自動的にロックし、それ以上引き出せなくなったことを確認します。

シートベルトがこれらのテストのいずれかに合格しない場合、Tesla にただちにご連絡ください。

シートベルトに関する警告

警告: シートベルトは、短距離の運転であっても、すべての乗員が必ず着用しなければなりません。着用しない場合は、事故が発生した場合に負傷や死亡事故につながる危険性が増大します。

警告: 小さなお子様は適切なチャイルドシートに安全に座らせてください。取り付ける際は、必ずチャイルドシート製造元の取扱説明書の指示に従ってください。

警告: すべてのシートベルトが正しく着用されていることを確認してください。シートベルトを正しく着用しないと、事故が発生した場合に負傷や死亡事故につながる危険性が増大します。

警告: ペン、鍵、眼鏡など硬くて先端が尖った物、壊れやすい物を入れた衣服の上からシートベルトを着用しないでください。

警告: ストラップがねじれた状態でシートベルトを着用するのは避けてください。

警告: シートベルトは乗員1人につき1本使用します。お子さまを膝の上に乘せたまま、シートベルトを着用するのは危険です。

警告: 事故で摩耗したシートベルトは、シートベルトへの目に見える損傷がない場合でも、必ず Tesla に検査または交換を依頼してください。

警告: シートベルトに摩耗の兆候（擦り切れなど）がある、もしくは何らかの切り込みまたは損傷がある場合は、必ず Tesla に交換を依頼してください。

警告: シートベルトを化学物質、液体、埃、ゴミ、または洗浄液等で汚さないようにしてください。シートベルトが巻き込まない、またはバックルで固定できない場合は、ただちに交換する必要があります。Tesla にご連絡ください。

警告: シートベルトの緩みを除去することを妨げる、またはシートベルトが緩みを調整することを妨げるような部品の追加や改造はしないでください。ベルトが緩むと、乗員保護の効果が大幅に減少します。

警告: シートベルトの操作を妨げる、または操作に影響を与えるような改造はしないでください。

警告: シートベルトは、未使用時に完全に巻き込まれ、緩みのない状態である必要があります。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、Tesla にご連絡ください。

お子さまを乗せるときのガイドライン

お子さまを乗せる際は、年齢、体重、身長に合ったチャイルドシートで身体を固定する必要があります。助手席ヘッドエアバッグが ON になっているときは、お子さまを乳幼児用または小児用チャイルドシートで助手席に乗車させないでください。助手席用フロントエアバッグを無効にするには、[助手席ヘッドエアバッグを OFF にする](#) - 37 ページをご参照ください。チャイルドシートを使用する際は、チャイルドシートの取扱説明書に必ず従ってください。

⚠ 警告：前方にある「作動可能状態のエアバッグ」によって保護されている座席上で後ろ向きチャイルドシートを使用するのは絶対に避けてください。お子さまが重傷を負ったり死亡事故につながる危険性があります。

サンバイザーに貼付されるラベルを参照してください。

注：以下はイメージ画像となり、実際の車両と異なる場合があります。





チャイルドシートを選ぶ

シートベルト保持式のチャイルドシートおよび ISOFIX チャイルドシートの種類はお子さまの体重に合わせて選ぶ必要があります。次の表をガイドラインとして参照してください。

シートベルト保持式チャイルドシート

モノポスト シート:

質量グループ		助手席	2 列目	3 列目
グループ O	10 kg 以下	X	U	U
グループ O +	13 kg 以下	L*	U	U
グループ I	9～18 kg	UF*	U、UF	U、UF
グループ II	15～25 kg	UF*	U、UF	U、UF
グループ III	22～36 kg	UF*	U、UF	U、UF

* シートは最後部かつ最も高い位置に配置しなければなりません。

U: この質量グループで使用が承認されている汎用チャイルドシートに推奨されます。

UF: この質量グループで使用が承認されている汎用前向きチャイルドシートに推奨されます。

L: 推奨するチャイルドシート - Maxi-Cosi Cabrio/Cabriofix E4 04443517 または Takata Mini E4 04443717

X: シート位置がこの質量グループのお子さまには不適切です。

ベンチシート (5 シーター仕様車のみ) :

質量グループ		助手席	リア外側 (60%)	後部中央	リア外側 (40%)
グループ O	10 kg 以下	X	U	U	U
グループ O +	13 kg 以下	L*	U	U	U
グループ I	9～18 kg	UF*	U、UF	U、UF	U、UF
グループ II	15～25 kg	UF*	U、UF	U、UF	U、UF
グループ III	22～36 kg	UF*	U、UF	U、UF	U、UF

* シートは最も後ろに引いて、背もたれを直立位置にする必要があります (最後部位置と直立位置のみ)。

U: この質量グループで使用が承認されている汎用チャイルドシートに推奨されます。

UF: この質量グループで使用が承認されている汎用前向きチャイルドシートに推奨されます。

L: 推奨するチャイルドシート - Maxi-Cosi Cabrio/Cabriofix E4 04443517 または Takata Mini E4 04443717

X: シート位置がこの質量グループのお子さまには不適切です。



ISOFIX* チャイルドシート

モノポストシート:

質量グループ		サイズ等級	固定具	助手席	2 列目外側シート	2 列目中央シート	3 列目
グループ 0	10 kg 以下	E	R1	X	IL	X	IL*
グループ 0 +	13 kg 以下	E	R1	X	IL	X	IL*
		D	R2	X	IL	X	IL*
		C	R3	X	X	X	IL*
グループ I	9～18 kg	D	R2	X	IL	X	IL*
		C	R3	X	X	X	IL*
		B	F2	X	IUF	X	IUF
		B1	F2X	X	IUF	X	IUF
		A	F3	X	IUF	X	IUF

*汎用チャイルドシートが後列（右または左側）に取り付けられている場合、2 列目中央とチャイルドシートシステムの前方にある外側シートを使用することはできません。これは、汎用チャイルドシートシステムに対応するためにシートを完全に前方に動かす必要があるためです。

IUF: この質量グループで使用が認可されている汎用 ISOFIX 前向きチャイルドシートに適しています。

IL: 特定の汎用 ISOFIX チャイルドシートに適しています（〔特定車両〕、「制限」、または「準汎用」カテゴリのチャイルドシートシステム）。

X: シート位置は、この質量グループ/サイズクラスにある ISOFIX チャイルドシートシステムに対応していません。



ベンチ シート (5 シーター仕様車のみ) :

質量グループ		サイズ等級	固定具	助手席	後部窓際席	後部中央
グループ 0	10 kg 以下	E	R1	X	IL	X
グループ 0 +	13 kg 以下	E	R1	X	IL	X
		D	R2	X	IL	X
		C	R3	X	IL	X
グループ 1	9～18 kg	D	R2	X	IL	X
		C	R3	X	IL	X
		B	F2	X	IUF	X
		B1	F2X	X	IUF	X
		A	F3	X	IUF	X

IUF: この質量グループで使用が認可されている汎用 ISOFIX 前向きチャイルドシートに適しています。

IL: 特定の汎用 ISOFIX チャイルドシートに適しています（〔特定車両〕、「制限」、または「準汎用」カテゴリのチャイルドシートシステム）。

X: シート位置は、この質量グループ/サイズクラスにある ISOFIX チャイルドシートシステムに対応していません。

*ISOFIX - 乗用車内にチャイルドシートを取り付ける方法の国際標準規格

注: お子さまとチャイルドシートを合わせた重量が **29kg** を超える場合、Tesla はシートベルトとトップテザーストラップでチャイルドシートを取り付けることを推奨します。安全なうえ、シートベルト警告灯が確実に消灯するという利点があります。取り付ける際は、必ずチャイルドシート製造元の取扱説明書の指示に従ってください。

より大きなお子さまを乗せるとき

お子さまの体格が大きくてチャイルドシート内に収まらない、しかし標準的なシートベルトで固定するには小さすぎるという場合は、年齢・体格に合った補助シートを使用してください。シートベルトで補助シートを固定する際は、メーカーの取扱説明書の指示に必ず従ってください。ISOFIX システム付きのブースターシートの場合でも、ISOFIX システムを使用してブースターシートを固定することは避けてください。

チャイルドシートを取り付ける

チャイルドシートを取り付ける一般的な方法は次の2通りがあります。

- シートベルトで取り付ける - 車両に備え付けのシートベルトでチャイルドシートを固定します(シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける - 29 ページを参照)。
- ISOFIX で取り付ける - 後部座席に組み込まれたアンカーバーにチャイルドシートを取り付けることができます(ISOFIX 対応チャイルドシートを取り付ける - 29 ページを参照)。

チャイルドシートメーカーの取扱説明書およびチャイルドシート - 25 ページの表を参照して、取り付け方法を確認してください。チャイルドシートによってはどちらの方法でも取り付けられます。取り付けに際しては必ずチャイルドシートメーカーの取扱説明書の指示に従ってください。

シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける

最初に、お子さまの体重がチャイルドシートの許容範囲内であることを確認します。

お子さまに厚い生地服を着せるのは避けて、お子さまとチャイルドシートの間には何も置かないでください。

お子さまに合わせて毎回ハーネスを調整します。

チャイルドシートを固定するために、すべての座席の着座位置に ALR (自動ロック式巻き取り装置) が取り付けられています。シートベルトを必要以上の長さに引くと、ALR が作動してベルトがロックされます。バックルが外されウェビングが巻き込まれないかぎりベルトはロックされたままです。ALR 機構はラチェットの働きをします。シートベルトの緩みを取り、ベルトが完全に巻き戻されるまでベルトがそれ以上延びるのを防ぎます。チャイルドシートを取り付ける際は、ウェビングが完全に伸びきるまでシートベルトを引っ張って ALR を作動させてください。ALR システムは、シートベルトが伸びきった状態の際に作動します。

注: シートベルトのバックルが外されベルトが完全に巻き込まれると、ALR のエンゲージが外れます。

これでベルトは通常のシートベルトとして使えるようになり、内外に自由にスライドして緊急時のみロックします。チャイルドシートを取り付ける際は、ALR のエンゲージが外れた状態でシートベルトを限界まで伸ばして ALR をエンゲージします。

チャイルドシートを取り付ける際は、必ずチャイルドシートメーカーの指示に従ってください。以下に一般的なガイドラインを示します。

- チャイルドシートを Model X の中に置き、シートベルトを限界まで伸ばします。チャイルドシートの製造元の指示に従ってシートベルトを通し、バックルで固定します。



- シートベルトを巻き込み、チャイルドシートを Model X の座席にしっかりと押し込みながらシートベルトの緩みを完全に取り除きます。
- シートベルト保持式のチャイルドシートにトップテザーが付いている場合は、トップテザーをチャイルドシートの背部に取り付けます(トップテザーストラップを取り付ける - 32 ページを参照)。

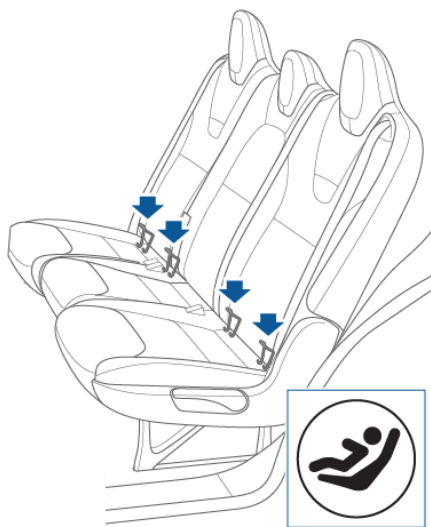
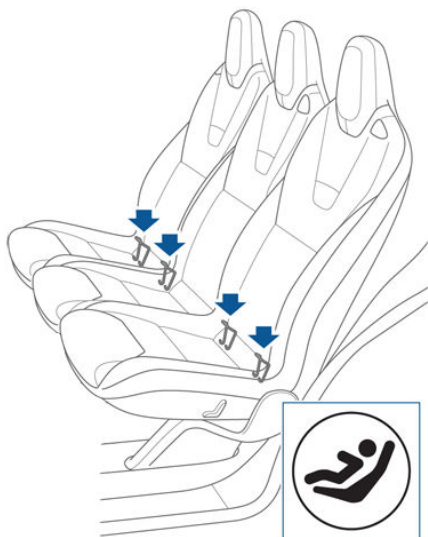
ISOFIX 対応チャイルドシートを取り付ける

ISOFIX 対応チャイルドシートを取り付けるためのロアアンカーには用意されており、座席の背もたれとクッションの間にあります。各アンカーの正確な位置は、下図に示すようにチャイルドシート識別ボタンによって識別されます。このボタンは座席の背面にあり、対応アンカーの真上に位置しています。

モノポストシート:



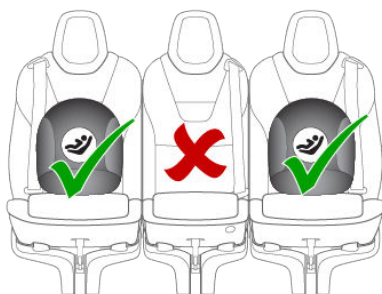
ベンチシート:



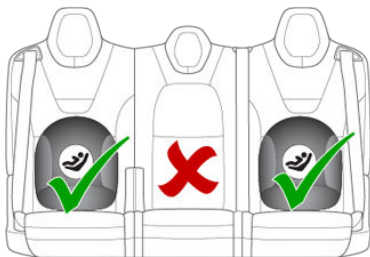
2 列目に、ISOFIX チャイルドシートを外側のシート位置だけに取り付けてください。シート中央にはシートベルト保持式のシートだけを使用します。

注：Model X の 2 列目が 2 座の場合、いずれのシートも ISOFIX チャイルドシートに対応しています。

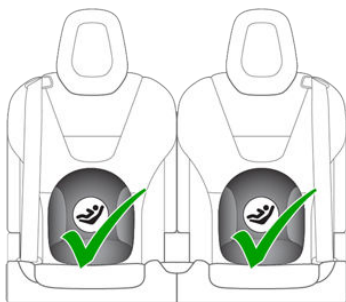
モノポストシート:



ベンチ シート:

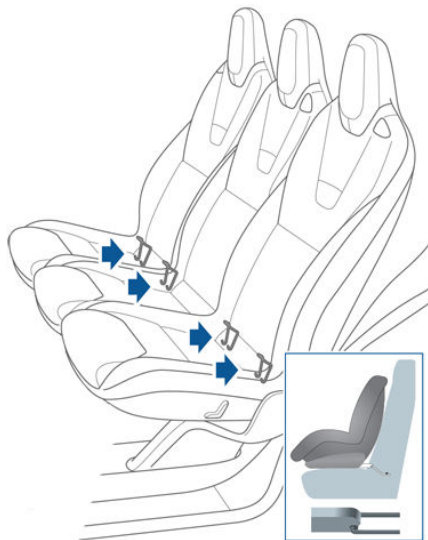


3列目が装備されている場合、3列目には ISOFIX チャイルドシートをどちらのシート位置にも取り付けることができます。

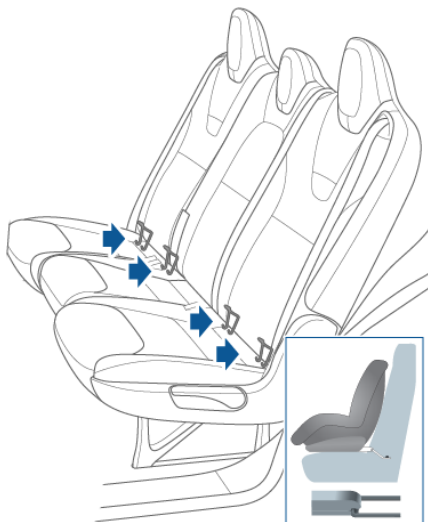


ISOFIX チャイルドシートを取り付けるには、チャイルドシートラッチをカチッと音がするまでアンカー上へスライドさせます。チャイルドシートを取り付ける際は、必ずチャイルドシートメーカーの指示に従ってください。

モノポスト シート:



ベンチ シート:





お子さまを座らせる前に、チャイルドシートが確実に取り付けられていることを確認します。チャイルドシートを左右にねじろうとしたり、座席から引き離そうと力を加えてもアンカーが動かないことを確認してください。

トップテザーストラップを取り付ける

トップテザーストラップがある場合は、そのフック2列目、3列目座席の背面にあるアンカーポイントに取り付けます。

デュアルストラップテザーでは、ヘッド拘束装置の両脇にストラップを通します。

シングルストラップテザーを2列目シートに引いて使用する方法は、Model X にモノポストまたはベンチシートが装備されているかどうかで異なります。

- モノポストシートでは、シートの外側からシートベルト巻き込み機構のあるヘッド拘束装置の同じ側面にストラップを通します。中央のシート位置（装備されている場合）、ヘッド拘束装置の上部にストラップを引いてください。
- ベンチシートでは、シート外側からシートベルト巻き込み機構のようにヘッド拘束装置の反対側にストラップを引いてください。中央のシート位置では、ヘッド拘束装置の左側にストラップを引いてください。

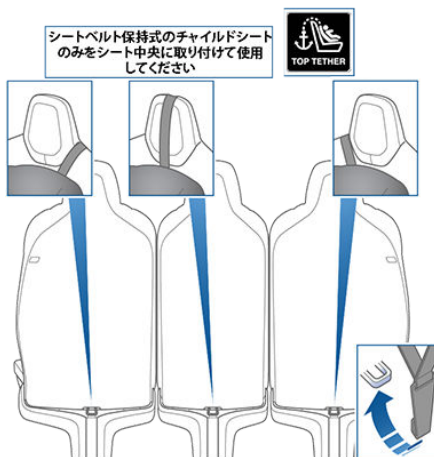
チャイルドシートの製造元の説明書に従い、テザー上部を締め付けてください。

注：中央シートのシングルストラップテザーが側面から動いてしまわないよう、ヘッド拘束装置がへこみます。

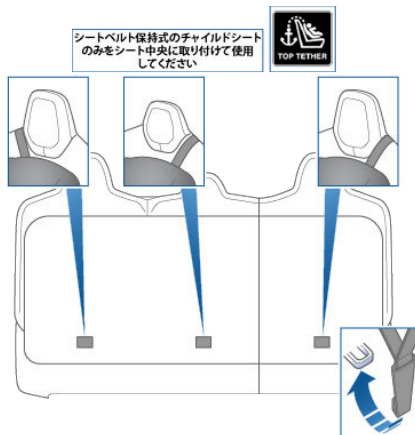
注：アンカーの位置はすぐに目の付くところにありませんので、シート布地にある切り目を探してください。

注：Model X に6シートインテリアがオプションで搭載されている場合、2列目の中央シート位置は利用できません。

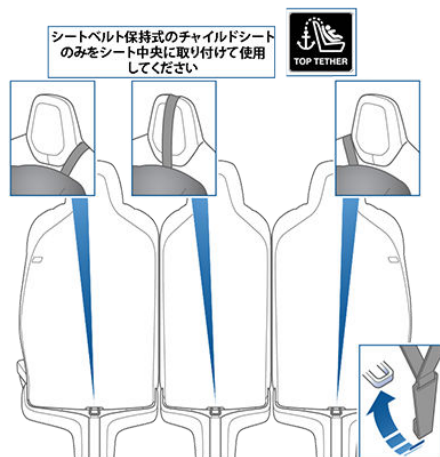
シングルストラップ - 2列目モノポストシート:



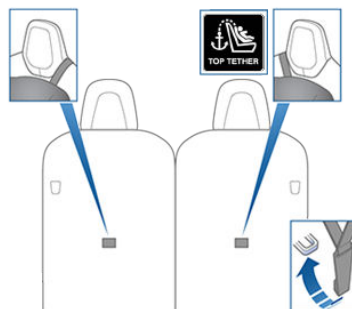
シングルストラップ - 2列目ベンチシート:



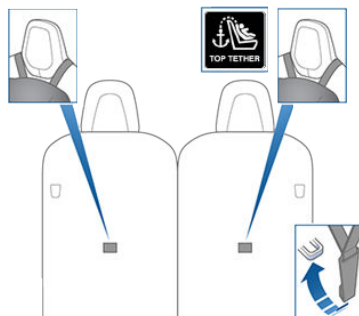
デュアルトラップ - 2列目モノポストシート:



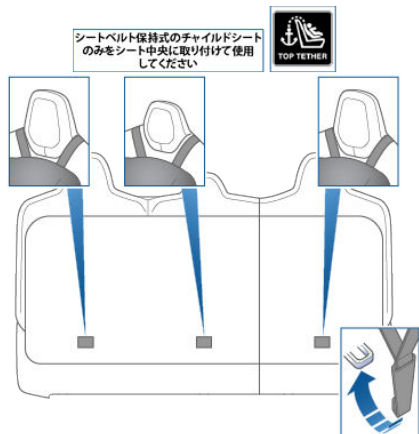
シングルストラップ - 3列目シート



デュアルストラップ - 3列目シート



デュアルトラップ - 2列目ベンチシート:





チャイルドシートをテストする

チャイルドシートにお子さまを座らせる前に、チャイルドシートの取り付けに緩みがないことを必ず確認してください。

1. ベルトごとチャイルドシートをつかみ、前後左右にスライドさせてください。
2. シートが 2.5 cm 以上動く場合は、取り付けが不十分です。ベルトの長さを調節するか、あるいは ISOFIX チャイルドシートの場合は取り付けをやり直します。
3. 緩みが残る場合は、取り付け位置を変えるか、または別のチャイルドシートに替えてください。

チャイルドシートに関する警告

- 警告：**助手席ヘッドエアバッグが ON になっているときは、お子さまを乳幼児用または小児用チャイルドシートで助手席に乗車させないでください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。
- 警告：**作動可能状態のエアバッグで保護されている座席上で後ろ向きチャイルドシートを使用するのは絶対に避けてください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。助手席側のサンバイザーにある警告ラベルをお読みください。
- 警告：**チャイルドシートシステムは、膝ベルト、あるいは 3 点式シートベルトの腰部分で車両のシートに固定するように作られています。チャイルドシートが適切に車両に固定されていないと、衝突時にお子さまが危険になります。
- 警告：**事故に関する統計によると、前席よりも後席で正しくシートベルトをしている方がより安全です。
- 警告：**お子さまが体重 9 kg 以下で自分一人では座れない場合は、前向きチャイルドシートの使用は避けてください。2 歳以下のお子さまは背骨と首の発達が十分でなく、正面からの衝撃による負傷を避けることができません。
- 警告：**小さいお子さまを膝上にのせるのは避けてください。常にお子さまに合ったチャイルドシートで保護する必要があります。
- 警告：**お子さまの安全な着座を確実にするため、本書およびチャイルドシートの取扱説明書に記載されている全ての指示に従ってください。
- 警告：**お子さまはできるだけ長期間、5 点式統合ハーネス使用の後ろ向きチャイルドシートに着座させる必要があります。
- 警告：**チャイルドシートまたは補助シートの取り付けに使用されているシートベルトに対し

て、シートベルトエクステンダーは使用しないでください。

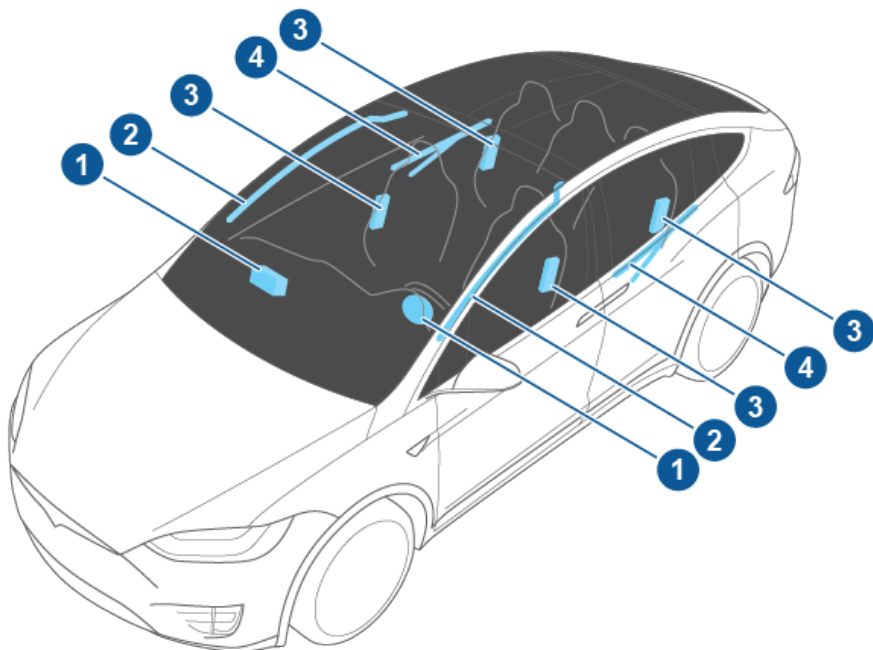
- 警告：**より大きいお子さまを着座させる場合は、頭部が支持され、シートベルトが適切に調整され、しっかり着用されていることを確認してください。肩ベルトは顔および首から離れている必要があります。また、腰ベルトが腹部にかからないようにする必要があります。
- 警告：**2 つのチャイルドシートを 1 つのアンカーポイントに取り付けることは絶対に避けてください。万一衝突事故が発生した場合、1 つのアンカーポイントでは 2 つのシートを支えきれない可能性があります。
- 警告：**チャイルドシート固定アンカーは、チャイルドシートが正しく取り付けられた状態で受ける荷重にのみ耐えられるように設計されています。大人用のシートベルトやハーネスを固定するために使用したり、他の物や機器を固定するために使用したりすることは絶対に避けてください。
- 警告：**ハーネスやテザーストラップが損傷したり摩耗したりしていないか、必ず点検してください。
- 警告：**お子さまがチャイルドシート内にしっかり固定されている場合でも、お子さまのそばから離れないようにしてください。
- 警告：**事故の際に使用していたチャイルドシートを再度使用することは絶対に避けてください。チャイルドシートの検査や取り替えはチャイルドシートの取扱説明書に従って行ってください。

エアバッグの位置

エアバッグは下図に示す位置に設置されています。エアバッグについての注意事項は、サンバイザーに表示されています。

Model X は、前席の両側窓際座席にエアバッグと座席用安全ベルトが備えられています。エアバッグは、これらの座先位置での補助拘束装置です。衝突時の大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。

注：右ハンドル車では、助手席と運転席の位置が逆になります。



1. フロント エアバッグ
2. カーテン エアバッグ
3. シート搭載サイドエアバッグ
4. ドア搭載エアバッグ



エアバッグの動作

エアバッグは、衝突時のキャビンの速度の変化に反応して展開します。エアバッグの展開は減速率によって決定されます。

エアバッグは、大きな力で瞬時に展開し、大きな音を立てます。展開したエアバッグは、シートベルトとともに乗員の体の動きを制限し、けがのリスクを低減させます。

ヘッドエアバッグは、通常は追突、横転、正面または側面の軽微な接触、急ブレーキ、悪路の走行では展開しないように設計されています。このため、車体の外見が大きく変形してもエアバッグが展開しないことがあり、逆に、構造的な破損の場合には、比較的軽微な破損でもエアバッグが展開することがあります。

障がいをお持ちの方のために、エアバッグシステムに影響が及ぶような改造をお考えの場合は、Tesla までご連絡ください。

エアバッグの種類

Model X は、次のような種類のエアバッグを装備しています。

- **先進ヘッドエアバッグ:** ヘッドエアバッグは、お子さまや小柄な成人がフロントシートに乗車されていてもできるだけエアバッグに関連したけがを負わないように設計された先進エアバッグです。運転席のヘッドエアバッグはシート位置センサーで作動し、乗員の座っている位置をもとに展開レベルを調整します。乳幼児または小児の安全のために、助手席ヘッドエアバッグは以下のようにオフにしなければなりません。
- **シート搭載サイドエアバッグ** 前列運転席、助手席、後部窓側席それぞれにシート搭載サイドエアバッグが装備されています。シート搭載サイドエアバッグは胸郭および骨盤を保護します。それらは、側面から大きな衝撃を受けた場合、あるいは斜め前方から大きな衝撃を受けた場合に展開します。シート搭載サイドエアバッグは、車両の衝撃を受けた側と受けていない側の両方で展開します。窓側席の背もたれを前方に完全に倒した状態では、サイドエアバッグが展開しません。
- **カーテン エアバッグ:** カーテン エアバッグはモデル X の両側のフロント ルーフレールに搭載されています。カーテン エアバッグは頭部を保護するもので、通常は大きな側面衝撃がかかったとき、斜め前方から大きな衝撃がかかったとき、または車両が横転したときに展開します。カーテン エアバッグは、車両の衝撃を受けた側と受けていない側の両方で展開します。
- **ドア搭載エアバッグ:** Model X のファルコンウィングドア両方のトリムにエアバッグが設置されています。これらはカーテン エアバッグと同じで頭部を保護し、通常は大きな側面衝撃がかかったとき、斜め前方から大きな衝撃がかかったとき、あるいは車両が横転したときに展開します。ドア搭載エアバッグは、車両の衝撃を受けた側と受けていない側の両方で展開します。

助手席ヘッドエアバッグを OFF にする

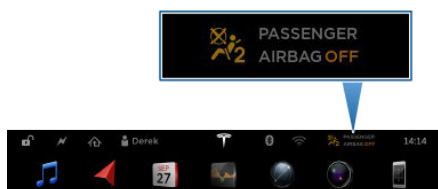
お子さまが助手席に乗車するときは（乳児用または小児用チャイルドシートを利用する場合でも）お子さまが衝突時にエアバッグだけがをしないように助手席ヘッドエアバッグをオフにする必要があります。

注：お子さまをチャイルドシートで乗車させるときは、できるだけリアシートに乗車させてください。

助手席側フロントとサイドのエアバッグの設定を行うには、「コントロール」>「設定」>「安全とセキュリティ」>「助手席 フロントエアバッグ」の順にタッチします。



エアバッグが OFF になっている場合、助手席エアバッグのステータスがタッチスクリーンの右上に表示されます。（エアバッグが ON となっている場合ステータスは表示されません。）このインジケータをタッチして上記した設定を表示させることもできます。



OFF にする操作をしたのにステータスが ON になっている場合（あるいは、その逆の場合）は、ただちに Tesla までご連絡ください。

注：Model X は静電容量式のタッチスクリーンを搭載しており、通常の手袋をしている場合は、タッチしても反応しないことがあります。タッチスクリーンが反応しない場合は、手袋を外すか、指先に導電性の素材を使った専用の手袋を着用してください。

警告：お子さまが助手席に乗車するとき、フロントエアバッグをオフになっていることを確認することはドライバーの責任となります。エアバッグをオフにするために、乗員感知システムに頼らないでください。お子様を助手席に乗せて運転する前は、タッチスクリーンの右上角にある助手席エアバッグ ステータスを必ずチェックしてください。

警告：助手席ヘッドエアバッグが ON になっているときは、お子さまを乳幼児用または小児用チャイルドシートで助手席に乗車させないでください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。

警告：助手席エアバッグのコントロールが機能していないと思われる場合は、助手席に人を乗せないようにしてください。ただちに Tesla に連絡して車両点検を受け、必要であれば修理を依頼してください。

警告：Model X にシートカバーを使用しないでください。使用すると事故発生時にサイドエアバッグの展開が制限される可能性があります。



乗員感知システム

Model X は、助手席シートに乗員センサーを備え、乗員の体重に基づいてエアバッグの状態を制御します。

助手席使用中*	助手席用エアバッグの状態
表示しない	OFF
チャイルドシートに乳幼児 (9 kg まで)	OFF
子供または小さな乗員 (9 ~ 45 kg まで)	**ON または OFF
重いもの/重い乗員	**ON
*値は概算値です。体重が下限すれすれの乗員の場合は、座る位置や体型によってこの状態がオンになるかオフになるかが変わることがあります。	
**「PASS AIRBAG OFF」ステータスがタッチスクリーンの右上に表示されていなければ助手席側のエアバッグはオンになっているので、衝突時には膨らみます。	

注：Model X の電源を入れてから乗員センサーが前列助手席エアバッグの正確なステータスを報告するのに約 6 秒かかります。Model X を最初に起動させた時、エアバッグがオフになっていたとしても (助手席に誰も座っていない、または 9 kg 以下の荷物が載せられている場合など)、タッチスクリーンが「PASS AIRBAG OFF」ステータスを表示するまでに約 6 秒かかります。お子様がフロント助手席に座っている時にこれに失敗した場合は、すぐに Tesla サービス までご連絡して、マニュアルでエアバッグをオフにしてください。

シートに誰も座っておらず、シートベルトがバックルに留められていないにもかかわらず、エアバッグの状態が継続してオンとなっている場合、ただちに Tesla に連絡してください。

感知システムが乗員の状態を正しく検出できるよう、次のことは行わないでください。

- ・ シート下に物を置くこと。
- ・ シートに重い物 (書類や大きなハンドバッグ) を乗せること。
- ・ シート背もたれとシートクッションの間に物をはさむこと。
- ・ 積み荷がシートに干渉すること。
- ・ シートに市販品 (カバー、マット、毛布等) が取り付けられている、または置いてある。

こういった状態の場合、乗員センサーと干渉することがあります。上記の可能性を排除してもなお、エアバッグの状態が不正であれば、乗員をリアシートに座らせ、Tesla に連絡してエアバッグシステムを点検させてください。

注：助手席用フロント エアバッグの感知システムは、助手席側のヘッドエアバッグとサイドエアバッグのみに影響します。他の助手席エアバッグは影響を受けません。

⚠ 警告：乗員感知システムの精度を確保するために、前列助手席を改造しないでください。

⚠ 警告：Model X にシートカバーを使用しないでください。使用すると事故発生時にサイドエアバッグの展開が制限される可能性があります。また、乗員感知システムの精度が低下する可能性もあります。

エアバッグ展開の影響

エアバッグが展開するときは微粉末が放出されます。この粉末には皮膚に刺激を与える成分が含まれるため、目、切り傷や擦り傷に付着した際は、流水で完全に洗い流すようにしてください。

展開したエアバッグは収縮し、乗員にクッション効果を及ぼすと同時に、ドライバーの前方の視界が遮られないようにします。

エアバッグが展開したとき、あるいは車が事故にあったときは、必ずエアバッグとシートベルトのブレンショナーなどの関連部品をチェックし、必要であれば Tesla に交換を依頼してください。

衝突時には、エアバッグの展開以外に以下のようなことが起こります。

- ・ ドアがアンロックされ、ドアハンドルがせり出します。
- ・ ハザード警告灯が点灯します。
- ・ 室内灯が点灯します。
- ・ 高電圧系統が OFF になります。

バッテリー電源を復旧させるには、タッチスクリーンで Model X、ブレーキを踏んで再度オンにします。

エアバッグインジケーター



エアバッグシステムが故障している際は、計器パネルのエアバッグインジケーターが点灯したままになります。このインジケーターが点灯するのは本来

Model X を始動したときだけで、そのときは数秒で消灯します。点灯したままの状態の場合は、運転するのを控え、ただちに Tesla にご連絡ください。

エアバッグについてのご注意

-  **警告：**計器パネル上のエアバッグの上や近くに物を置かないでください。物があると、車両がエアバッグが膨らむほど強く衝突した際に怪我をすることがあります。
-  **警告：**衝突時の大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。
-  **警告：**フロントシートの乗員は、展開したエアバッグが破裂してけがをすることがありますので、エアバッグモジュールの上に腕を載せないでください。
-  **警告：**Model X にシートカバーを使用しないでください。使用すると事故発生時にサイドエアバッグの展開が制限される可能性があります。乗員感知システムが装備されている場合は、その精度が低下する可能性もあります。
-  **警告：**エアバッグはかなりの速度と力で展開し、それによってけがをすることがあります。けがを減らすため、乗員は必ずシートベルトを着用し、できるだけシートを後ろへ引いて正しく座るようにしてください。
-  **警告：**前方でエアバッグが作動するシートにはチャイルドシートの使用を控え、お子さまを座らせないでください。エアバッグが展開したときに、けがや死亡事故につながる可能性があります。
-  **警告：**サイドエアバッグが正しく展開するように、乗員の胴体と Model X の側面の間のすきまはふさがないでください。
-  **警告：**乗員は頭をドアにもたせかけないでください。カーテンエアバッグが展開したときに、けがをすることがあります。
-  **警告：**乗員は、エアバッグの上または近くに足、ひざなど、体の一部を置いてエアバッグの作動を遮らないようにしてください。
-  **警告：**ヘッドエアバッグの上または近く、フロントシートの横、車両側面のヘッドライナー、エアバッグカバーなどには、物を取り付けたり置いたりしないでください。エアバッグの展開が妨げられる可能性があります。また、エアバッグが作動するほどの重大な衝突事故のときは、それらの物によって大けがをすることがあります。
-  **警告：**展開したエアバッグは部分的に熱くなっています。熱がさめるまで、手で触れないでください。



ドライバープロフィールの作成

Model X に調整は一回のみ必要です。運転席シート、ハンドル、または運転席側のサイドミラーの調整を初めて行う場合、タッチスクリーンがこれらの情報を保存するようにドライバープロフィールを作成して保存するようメッセージを表示します。プロフィールにはタッチスクリーンの「設定」ウィンドウを使用して好みの値を他にも複数保存することができます。

「コントロール」>「設定」>「ドライバープロフィール」の順にタッチすると（またはタッチスクリーンのステータスバーのドライバーアイコンをタッチして、「プロフィールを作成」にタッチすると）新しいドライバーについてもプロフィールを追加することができます。ドライバー名を入力し、「プロフィールを作成」をタッチします。

プロフィールの保存後、ハンドル、運転席シート、または運転席側ミラーの位置を変更すると、新しい位置を保存するか、または前回保存した位置を復元するかを選択するメッセージがタッチスクリーンに表示されます（その他の設定は自動的に保存されます）。保存または復元せずに設定を使用するには、そのままメッセージを無視します。

注：車両の製造日によっては、運転席側のサイドミラーに行った調整がドライバープロフィールに保存されない場合があります。

注：パレー モードは、速度制限および Model X の一部の機能へのアクセスを制限する場合に使用するビルトイン ドライバー プロフィールです（[パレーモード - 40](#) ページを参照）。

ドライバープロフィールの復元



Model X をドライバープロフィールに基づいて調整するには、タッチスクリーンのステータスバーの Tesla の「T」の左側にあるドライバープロフィールアイコンにタッチします。次にドライバーを選択すると、保存済みの調整内容が自動的に適用されます。

保存済みのドライバー設定

どの設定がドライバープロフィールに関連しているかを見るには、「コントロール」>「設定」>「ドライバープロフィール」の順にタッチします。次に、「保存内容を確認」にタッチします。ドライバープロフィールに登録されている設定内容がポップアップウィンドウに一覧表示されます。設定内容は、Model X で現在実行されているソフトウェアバージョンによって異なります。

パレーモード

Model X がパレー モードになっているときは、次の制限がかかります。

- 速度は時速 113 km 以下に規制されます。
- 最大加速と最大出力は制限されています。
- フロント トランクとグローブ ボックスはロックされます。
- ナビゲーション システムには、**目的地**は表示されません（これにより、自宅と職場の場所が保護されます）。
- 音声指示が無効になります。
- クルーズ コントロールが無効になります。
- ほとんどのステータス バーの機能が無効になります。
- **モバイル アクセス** 設定が無効になります。
- Wifi と Bluetooth が無効です。Model X がパレーモードにある時、新しい Bluetooth 機器をペアリングしたり、接続されている既存の機器を閲覧したり削除したりすることはできません。

注：Bluetooth でペアリングされた機器または既知の Wifi ネットワークの操作範囲内（約 9 メートル）にパレーモードに設定されている Model X がある場合、Model X は接続されます。

パレー モードの開始

Model X をパーキングにして、タッチスクリーンのステータスバーの Tesla の「T」の文字の左にあるドライバー プロファイル アイコンにタッチしてから、「パレー モード」にタッチします。

パレー モードを初めて開始すると、パレー モードのキャンセルに使用する 4 桁の PIN を入力するように指示されます。

パレー モードが動作している場合、計器パネルの速度計の上に「パレー (Valet)」の文字が表示され、タッチスクリーンのステータスバーにはパレー モードのドライバープロフィールが表示されます。

また、Model X のモバイル アプリを使って、パレーモードを開始またはキャンセルすることもできます (Model X のギアがパーキングに入っていることが前提)。モバイル アプリを使用している場合は、アプリにログインする際、すでにマイ TESLA 認証情報を使ってログインしているため、PIN を入力する必要はありません。

注：PIN を忘れた場合は、Model X 内でマイ TESLA 認証情報を入力するとリセットできます (パレー モードもキャンセルされます)。Model X のモバイル アプリを使って PIN をリセットすることもできます。



パレー モードのキャンセル

Model X をパーキングにして、タッチスクリーンのステータス バーの「**パレー モード**」ドライバー アイコンにタッチし、4 桁の PIN を入力します。

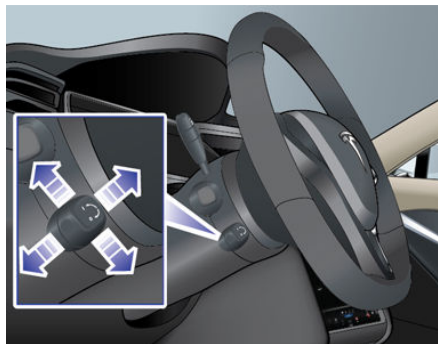
パレー モードをキャンセルすると、直前まで使用していたドライバープロフィールと温度調整の設定に関連するすべての設定が回復し、すべての機能が使用可能になります。

注: モバイル アプリから PIN を入力してパレー モードをキャンセルする必要はありません。



位置の調整

シフトレバーの左側にあるノブを動かしてハンドルを好みの運転位置に調整します。このノブで、ステアリングホイールを前後上下に動かすことができます。



警告：運転中に位置を調整しないでください。

感度の調整

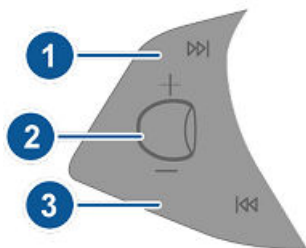
ステアリングシステムの感触と感度をお好みに合わせて調整できます。

1. タッチスクリーンで「コントロール」にタッチします。
2. ステアリングのオプションを選択します。
 - コンフォート：ハンドルを楽に回せます。この設定にすると、市街地での Model X の運転と駐車が容易になります。
 - 標準：あらゆる条件で最適な操作性と応答性が得られる Tesla 推奨の設定です。
 - スポーツ：ホイールを回すのに力が必要です。高速で運転する際に Model X の応答性がよくなります。

実際にお試しになって、お好みのオプションを選択してください。

ハンドルの左ボタンを使用する

ハンドルの左側のボタンを使用して、ラジオ局を変更したり、メディア プレーヤーの音量を調整したり、計器パネルの左側に表示される情報を変更したりすることができます (ナビゲーション アプリに指示が表示されていない場合)。



1. 次へ

地上波ラジオまたは衛星ラジオを聞いており、複数のラジオ局がプリセットにある場合、このボタンを押すと現在再生中のラジオ局の次にあるプリセットを再生します。複数のプリセットが設定されていない場合は、このボタンを押すと次に受信可能な周波数へ移動します。

インターネット ラジオ、接続している Bluetooth 機器または USB 機器のオーディオ ファイルを聞いているときにこのボタンを押すと、次の曲またはラジオ局へスキップします。

複数のお気に入り登録されている場合は、長押しするとお気に入り切り替えて表示します。

2. スクロール ホイール

- 上または下に回してメディアの音量を調整します。

注：スクロール ホイールは、使用中のメディア、ナビゲーション指示、または電話通話の音量を調整します。メディア、ナビゲーション、電話のいずれかの音量を調整すると、計器パネルに音量レベルが表示されます。

- メディアの音量をミュートしたり、オーディオ ファイルを一時停止/再生したりするには、スクロール ホイールをタップします。
- 計器パネルの左側に表示される情報を選択するには、スクロール ホイールを押し続けて利用可能なオプションを表示します。スクロール ホイールをスクロールして「空」、「車両の状態」、「時計」、「メディア」、「エネルギー」または「走行データ」などを選択します。希望するオプションが反転表示されたらスクロール ホイールをタップします。

注：オプションで選択した左スクロールホイールの表示設定は、手動で変更されるまで保持されます。また、ドライバープロフィールでも保存されます。

3. 戻る

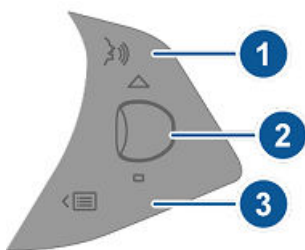
前の曲またはラジオ局へスキップする点を除いて、操作方法は上記の「次へ」と同じです。複数のお気に入り登録されている場合は、長押しするとお気に入り切り替えて表示します。

注：計器パネル左側がどのようにカスタマイズされても、ナビゲーションの指示（該当する場合）や、Model X がドライブ ギアに入っているときにドアやトランクが開いていることを知らせるメッセージは、計器パネルの左側に自動的に表示されます。

ハンドルの右ボタンを使用する

ハンドルの右側にあるボタンを使用して、通話中に通話オプションにアクセスしたり、計器パネルの右側に表示されるものを選択したり、Model X 機能の調整や、音声コマンドの利用ができます。

注：電話を受信中または発信中は、計器パネルの右側に自動的に通話オプションが表示され、Bluetooth 接続されている電話の通話を簡単に操作できます。



1. 押すと音声コマンドを使用して目的地までナビゲートさせることができます。トーンが聞こえたら、認識させたいコマンドを話します。再度押すと音声コマンドが終了しますが、話すことをやめることでも終了します。詳細は[音声コマンドの利用](#) - 43 ページを参照してください。
2. スクロール ホイール

- 通話中に、スクロールホイールをタッチして通話オプションを表示させ、通話中に利用できるアクションを使用することができます。
- ホイールを回転させると、機能リストの中から最近選択した機能を並べ替えることができます（「メニュー」ボタンを参照）。

- 計器パネルの左側に表示される情報を選択するには、スクロール ホイールを押し続けて利用可能なオプションを表示します。スクロール ホイールを回して「空」、「車両の状態」、「時計」、「メディア」、「エネルギー」または「走行データ」などを選択します。希望するオプションが反転表示されたらスクロール ホイールをタップします。

注：オプションで選択した右スクロールホイールの表示設定は、手動で変更されるまで保持されます。ドライバー プロフィールにも保存されます。

3. メニューボタン

ボタンを押すと表示されるメニューから、Model X の以下の機能を操作することができます。

- **温度。**ホイールを回して運転席側の温度を変更するか、ホイールを押して空調システムを ON/OFF します。
- **「ファン速度」：**ホイールを回してキャビンの冷房または暖房に使用されるファンの速度を調整します。
- **「画面の明るさ」：**ホイールを回してディスプレイの明るさの度合いを調整したり、ホイールを押して標準設定に戻したりします。
- **通話履歴。**携帯電話が Model X とペアリングされている場合は、ホイールを回して通話履歴が表示できます。ホイールを押して表示されている連絡先に電話をかけます。携帯電話をペアリングするには、[Bluetooth 対応の携帯電話の接続](#) - 122 ページを参照してください。

機能リストを閉じるには、もう一度メニュー ボタンを押します。

音声コマンドの利用

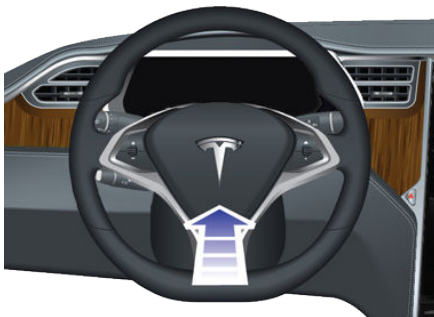
ナビゲーションの言語が日本語に設定されている場合（[設定](#) - 106 ページを参照）、音声コマンドを使用して目的地までナビゲートさせることができます。ナビゲーションの言語が英語に設定されている場合でも、音声コマンドを使用して連絡先に電話をかけたり、TuneIn を検索することができます。音声認識を開始するには、ハンドルの右上にある音声ボタンを押します。トーンが聞こえたら、認識させたいコマンドを話します。話しかけると、計器パネルには解釈された音声コマンドが表示されます（声で入力できるコマンドの種類に関するヒントも表示されます）。話し終えたら、音声ボタンをもう一度押します。何もしなくても音声認識は終了します。



- ナビゲーションの言語が英語に設定されている場合、目的地の検索またはナビゲートするには、住所、ビジネスの名称、カテゴリーまたは目印に続いて「Drive」または「Navigate」と発話してください。例えば、「Drive to Tesla in Tokyo」と言います。自宅または勤務先の住所を設定している場合、Navigate home または Navigate to work などの音声コマンドを使用することができます。もしナビゲーションの言語が日本語に設定されている場合は、「Drive」または「Navigate」などのキーワードを言う必要はありません。単に、住所、ビジネスの名称、カテゴリーまたは目印などを言ってください。
- Bluetooth に接続された電話に含まれる連絡先に電話をかける場合(ナビゲーション言語が英語に設定されている場合のみ)、連絡先の名前および/または苗字に続いて「Call」と言います。例えば、「鈴木さんに Call」または「鈴木太郎さんに電話」などと言います。
- TuneIn を検索するには(言語が英語に設定されている時のみ利用可能です)、「Listen to」または曲、アルバム、アーティストの名前(またはその組み合わせ)に続いて「Play」と発話してください。音声認識の精度を改善するには、アーティスト名と曲名(例、Play Yellow Brick Road by Elton John または Listen to Yellow Brick Road)など、コマンド内に複数の要素を含めます。

クラクション

クラクションを鳴らすには、ハンドル中央のパッドを押します。

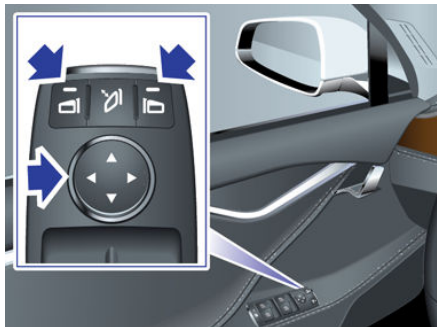


ヒートッド ステアリング ホイール

Model X に寒冷地オプションが搭載されている場合、「コントロール」>「寒冷地設定」>「ヒートッドホイール」の順にタッチすることで、ハンドルを即座に温めるように調整できます。オンにするとハンドル内部のヒーターから熱が放射され、ハンドルを快適な温度に保ちます。

サイドミラーの調整

左または右のサイドミラーボタンを押します。ボタンのランプが点灯している状態でダイヤルを押すと、ミラーを希望の位置まで動かすことができます。もう一方のサイドミラーも同様に調整します。入力を求められた時点で、タッチスクリーンにある「保存」をタッチしてミラー調整をドライバープロフィールに保存します。



サイドミラーを畳んだり元に戻すには、センターボタンを押します。Model X がロックされたとき自動的にミラーをたたむように設定するには、「コントロール」>「設定」>「車両」>「ミラー自動格納」>「ON」の順にタッチします。

注：ミラーが畳まれたまま時速 16 km 以上で走行するとミラーは自動的に開きます。また、この速度を超えてからミラーを畳むことはできません。



運転席側のサイドミラーは、後続の車両からのヘッドライトのグレア（眩しさ）に応じて自動的に薄暗くなります（ギアがリバースに入っている場合を除く）。また、左右どちらのサイドミラーも、リアウィンドウ デフロスターとともにオン/オフするヒーターを備えています。

バックするときのミラー角度自動調節

バックするとき、左右どちらの外部ミラーも下へ傾けることができます。自動調整される角度を調整するには、ギアをリバースに入れてからミラーを前述のように調整します（調整したいミラーに付いているボタンを押し、ダイヤルを押してミラーを希望の位置まで動かします）。タッチスクリーン上の「保存」にタッチし、ミラーの調整角度をドライバープロフィールに保存します。

ギアをドライブに戻すと、ミラーの角度はまた通常の位置（上）へ戻ります。しかし、ミラーの角度は既に調整され保存されているため、ギアをリバースに入れるたびに、ミラーは選択した角度だけ自動的に下へ傾きます。

「コントロール」>「設定」>「車両」>「ミラー角度自動調節」の順にタッチして、自動角度調整機能をオン/オフすることができます。

バックミラー

ギアをリバースに入れているとき以外、バックミラーは後続の車両のヘッドライトからのグレア（眩しさ）に応じて自動的に薄暗くなります。



開始中

Model X のドアを開けると、計器パネルとタッチスクリーンに電源が入ります。計器パネルにドアの開閉状況と充電レベルが表示され、全てのコントロールを行なうことができます。

始動操作:

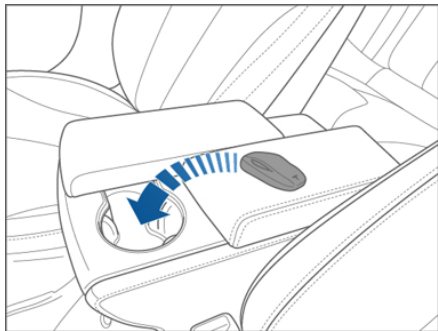
- **ブレーキを押す** - Model X 電源が入り、運転できるようになります。
- **ギアを入れる** - ドライブからリバースまでのいずれかを選択します。

Model X の運転に必要な事項はすべて計器パネルに表示されます。

キーは車内にありません

ブレーキを踏んだときに Model X がキーを検出しない場合、キーが検出されなかったことを知らせるメッセージが計器パネルに表示されます。

その場合は、Model X がキーを最も検出しやすいセンター コンソールのカップホルダーに、キーを入れてください。



それでも Model X のキーが検出されないときは、キーをセンター コンソールの 12 V 電源ソケット (12V 電源ソケット - 121 ページを参照) の真下に置いて試してください。まだキーが検出されない場合は、キーのバッテリーを一度取り外して、もう一度試してください。 [キーのバッテリー交換](#) - 5 ページを参照してください。あるいは、代わりのキーを試します。キーを代えても検出されないときは、Tesla に連絡してください。

Model X によるキーの検出には、さまざまな要因が影響することがあります。たとえば、キーのバッテリー残量低下、他の無線デバイスとの干渉、キーとレシーバーとの間の障害物などです。

キーは常に携帯してください。走行終了後も、Model X を停止してから再始動するときにはキーが必要です。また、Model X から降車後、Model X を手動または自動でロックするときにもキーが必要です ([降車後オートロック](#) - 9 ページを参照)。

停止

目的地に着いたら、ギア セレクターの端のボタンを押してギアをパーキングに切り換えます。自動的にパーキングブレーキがかかりますが、まだすべてのシステムが動作しています。キーを持って Model X から降りると、その時点で自動的に電源オフとなり、タッチスクリーンと計器パネルもオフになります。

また、Model X の運転席に座っていても、ギアをパーキングに切り換えて 15 分が経過したら、やはり自動的に電源がオフになります。

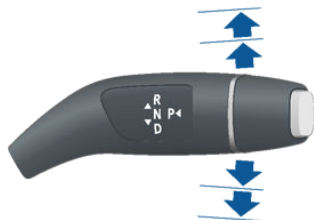
ふだんは必要な操作ではありませんが、車両が動いていなければ運転席に座ったまま手動で Model X の電源をオフにすることもできます。「コントロール」 > 「E ブレーキと電源オフ」 > 「電源オフ」の順にタッチします。ブレーキを踏むか、タッチスクリーンのどこかにタッチすると、Model X の電源は再び自動的にオンになります。

注: Model X は、降車するときにギアをニュートラルにしている、キーを持った人が車外に出ると、自動的にギアをパーキングに切り換えます。Model X をニュートラルにしておく方法については、[車両をニュートラルのままにする \(ニュートラルモード\)](#) - 47 ページを参照してください。

ギアシフト

Model X のギアをパーキングに入れている場合、ギアをシフトするにはブレーキを踏みます。

レバーを上方向または下方向に動かしてギアを変更します。



現在の走行速度で使用が制限されているギアへのシフトを試みると、チャイムが鳴りギアを変更することができません。

バック

レバーを上方向いっぱいまで押して、放します。リバースへのシフトは Model X が停止状態かまたは走行速度が時速 8 km 未満の場合にのみ行うことができます。時速 1.6 km 未満で走行している場合、ブレーキを踏んでください。

ニュートラル

レバーを上方向または下方向に押して最初の位置に戻してから放すとニュートラルにシフトされます。ニュートラルでは Model X が惰性走行します。

Model X がパーキングに入っている状態で、タッチスクリーンを使ってパーキングブレーキを解除すると (「コントロール」 > 「E ブレーキと電源オフ」)、Model X はニュートラルにシフトされます (パーキング ブレーキ - 60 ページ参照)。

車両から降りると、Model X は自動的にパーキングにシフトされます。Model X をニュートラルのままにしておくには、タッチスクリーンでニュートラルモードにします (車両をニュートラルのままにする (ニュートラルモード) - 47 ページを参照)。

走行

レバーを下方向いっぱいまで押して、放します。ドライブへのシフトは Model X が停止状態かまたはリバースに入った状態で、走行速度が時速 8 km 未満の場合にのみ行うことができます。Model X の走行速度が時速 1.6 km 未満の場合、ドライブにシフトするにはブレーキを踏んでください。

パーキング

Model X が停止している状態で、ギア セクターの先端部を押します。Model X がパーキングに入っているときは常時、サイドブレーキがかかります。



以下の場合、Model X が自動的にパーキングにシフトされます。

- 車両から降りた場合。
- 充電ケーブルを接続した場合。

車両に乗車しやすくするために、シフトレバーをパーキングに入れてから「P」ボタンを再度押し、全てのドアをロック解除することもできます。

車両をニュートラルのままにする (ニュートラルモード)

停車して Model X から降りると Model X は自動的にパーキングにシフトされます。降車しても Model X をニュートラルのままにしてホイールをフリーの状態にするには (例えば、車両輸送車に載せる場合など) ニュートラルモードを有効にします。

1. パーキングにシフトします。
2. ブレーキ ペダルを踏みます。
3. 「コントロール」 > 「設定」 > 「サービスとリセット」 > 「ニュートラルモード」の順にタッチします。

Model X のピープ音が鳴り、ニュートラルにシフトされます (サイドブレーキが解除されたことを示しています)。

[N] ニュートラルモードが起動していると、Model X の計器パネルにこの表示灯と同時に Model X のホイールがフリー状態であることを知らせるメッセージが表示されます。

注: ニュートラルモードでは、Model X のギアをドライブにシフトすることはできません。ニュートラルモードをキャンセルするには、パーキングにシフトするかニュートラルモードを再度タッチします。または、タッチスクリーンでパーキングブレーキをかけることで (「コントロール」 > 「E ブレーキと電源オフ」 > 「パーキングブレーキ」)、ニュートラルモードを解除することもできます。



計器パネルについて

計器パネルは以下のように Model X の状況によって変わります。

- オフ (以下参照)。
- 走行中 ([計器パネルについて - 運転中](#) - 51 ページを参照)。
- 充電中 ([充電ステータス](#) - 141 ページを参照)。

Model X がオフの場合、計器パネルには残りの後続距離、ドアの状態、外気温が表示されます。ブレーキを踏むと、上部のインジケータ ライトが短く点灯します。現状に該当するインジケータがない限り、その後インジケータは消灯します。インジケータが点灯または消灯しない場合は、Tesla に連絡してください。

注: 以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



計器パネルに点灯する次のインジケータは、特定の状況を伝え、警告するものです。

インジケータ 詳細



ロービーム ヘッドライトが点灯しています。



ハイビーム ヘッドライトが点灯しています。オプションの自動運転テックパッケージを装備した Model X の照明は、ハイビームがオンで、オートハイビーム設定がオンになっている場合のみです。[ハイビーム ヘッドライト](#) - 56 ページを参照してください。



ハイビーム ヘッドライトが現在オンになっており、Model X の前方に光を検知した場合には オートハイビームがハイビームをオフにする準備ができています。[ハイビーム ヘッドライト](#) - 56 ページを参照してください。



Model X の前方に光が検知されたため、オートハイビームにより一時的にハイビーム ヘッドライトがオフになっています。光が検知されなくなると自動的にオンに戻ります。[ハイビーム ヘッドライト](#) - 56 ページを参照してください。



パーキングランプ (側面標識灯、テールランプ、ナンバーランプ) が点灯しています。[ライト](#) - 53 ページを参照してください。

インジケータ 詳細



フロント フォグランプ (オプション)。ライト - 53 ページを参照してください。



アダプティブ フロント ライティングアダプティブ フロント ライティング システム (AFS) - 56 ページを参照してください。



横滑り防止装置 (ESC) システムは、ブレーキ圧とモーター出力を制御して、ホイールスピンを最小限に抑えます (インジケータが点滅します)。トラクション コントロール - 61 ページを参照してください。もし異常が検出されると、このインジケータは点灯し続けます (直ちに Tesla にご連絡ください)。



スマートエアサスペンションの自動セルフレベルリングが無効になっています。これは、Model X がジャッキ モードになっており、持ち上げたり、車両輸送車に載せたりする準備が整っていることを意味します。ジャッキ モードは Model X が時速 7 km を超える速度で動かされると解除されます。スマート エア サスペンション - 115 ページを参照してください。



スマートエアサスペンションの不具合が検出されています。Tesla に連絡してください。スマート エア サスペンション - 115 ページを参照してください。



ブレーキ システムの不具合が検出されているか、ブレーキフルードのレベルが低下しています。ブレーキ - 59 ページを参照してください。ただちに Tesla に連絡してください。



エアバッグの安全性。Model X の運転の準備が整ったときにこのインジケータが点滅しない場合、または点灯し続ける場合は、ただちに Tesla に連絡してください。エアバッグインジケータ - 38 ページを参照してください。



ABS (アンチロック ブレーキ システム) の不具合が検出されています。ブレーキ - 59 ページを参照してください。ただちに Tesla に連絡してください。



パーキングブレーキが手動で作動しています。パーキング ブレーキ - 60 ページを参照してください。



パーキングブレーキの不具合が検出されています。Tesla に連絡してください。パーキング ブレーキ - 60 ページを参照してください。



オートブレーキホールドがブレーキをかけています。オートブレーキホールド - 64 ページを参照してください。



空気圧警告。タイヤの空気圧が許容範囲外になっています。タイヤ空気圧監視システム (TPMS) の不具合が検出されると、インジケータが点滅します。TPMS が故障した場合は、Tesla に連絡してください。タイヤの手入れと保守 - 143 ページを参照してください。



ドアまたはトランクが開いています。ドア - 4 ページ、リアトランク - 12 ページ、またはフロントトランク - 14 ページを参照してください。



インジ ケータ ー 詳細



人が座っている座席のシートベルトが締められていません。[シートベルト](#) - 22 ページ 参照してください。



助手席用フロント エアバッグが無効になっています。[エアバッグ](#) - 35 ページを参照してください。



横滑り防止装置システムがホイール スピンを最小限に制御していません（例：シングル モーターの場合、トラクション コントロール システムがオフになっており、デュアルモーターの場合、スリップスタートが有効になっています）。[トラクション コントロール](#) - 61 ページを参照してください。



Model X が牽引モードになっており、ホイールがフリーの状態です。車両から降りても自動的にパーキングにシフトしません。[ロードサービスご利用の注意](#) - 172 ページを参照してください。



けん引モード（装備されている場合）が有効です。



左折の方向指示器が動作していると緑色で点滅します。ハザードランプが動作していると、左右両方の方向指示器が緑色で点滅します。

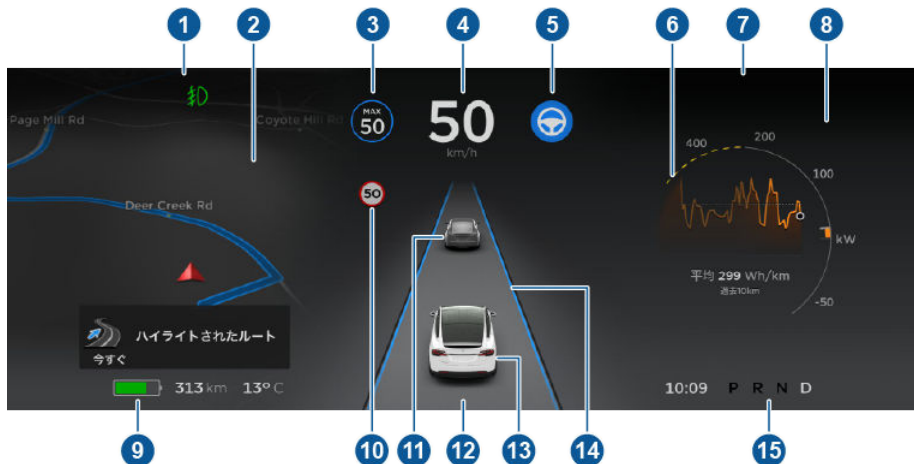


右折の方向指示器が動作していると緑色で点滅します。ハザードランプが動作していると、左右両方の方向指示器が緑色で点滅します。

計器パネルについて - 運転中

Model X の運転中（または運転可能なとき）は、計器パネルに現在の運転状況と Model X の自動運転コンポーネント（[ドライビングアシストについて - 75 ページ](#)を参照）が検出した道路のリアルタイム画像が表示されます。

注：以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



- インジケーターが上部に沿って状況を提供します（[計器パネルについて - 48 ページ](#)を参照）。
- 目的地へのナビゲーションを使っているときには、ナビゲーション指示がここに表示されます。計器パネルの左側に表示される内容を変更するには、ナビゲーション指示が表示されていないときに、ステアリングホイール左側のボタンを使用してください（[ハンドルの左ボタンを使用する - 42 ページ](#)を参照）。
- トラフィックウェア クルーズコントロールが設定速度で走行中です。トラフィックウェア クルーズコントロールが使える状態で、巡航速度を設定していない場合、アイコンはグレーになり速度は表示されません（[トラフィックウェア クルーズコントロール - 77 ページ](#)を参照）。
- 巡航速度。
- オートステアリングが Model X のステアリング操作をしている。オートステアリングが利用可能で有効化していない時は、アイコンは灰色です（[オートステアリング - 82 ページ](#)を参照）。
- Model X が電力を制限している場合は、エネルギー グラフのパワー メーターに点線が表示されます。加速用の電力が制限されていると、上部（エネルギー使用中）に点線が表示され、回生ブレーキからの電力が制限されている場合には、下部（エネルギー獲得中）に点線が表示されます。Model X が電力を制限するには多くの理由があります。以下にいくつかの例を挙げます。
 - バッテリーの残量低下していたり、パワートレインが熱い場合は、加速が制限されることがあります。
 - 外気温が非常に高い場合または非常に低い場合は、加速と回生ブレーキの両方が制限されることがあります。
 - バッテリーがフル充電されていると回生ブレーキが制限されることがあります。

注：計器パネルの右側に表示される内容は、ステアリングホイール右側のボタンで変更します（[ハンドルの右ボタンを使用する - 43 ページ](#)を参照）。

- ここに表示される重要なメッセージに注意してください。警告が出ている場合は、タッチスクリーンのステータスバー（タッチスクリーンの最上部）の警告アイコン（! マーク）にタッチして警告の詳細を表示することができます。



8. 電話をしていないときに計器パネルの右側に表示される内容を変更するには、ステアリング ホイール右側のボタンを使用します (**ハンドルの右ボタンを使用する** - 43 ページを参照)。
9. 推定航続可能距離 (エネルギー)。航続距離の代わりに、バッテリー残量 (%) を表示することもできます。それを行うには、「コントロール」>「設定」>「言語と単位」>「エネルギーと充電」をタッチします (**設定** - 106 ページを参照)。

注: 充電の必要性が迫っている場合は、予想航続距離を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。

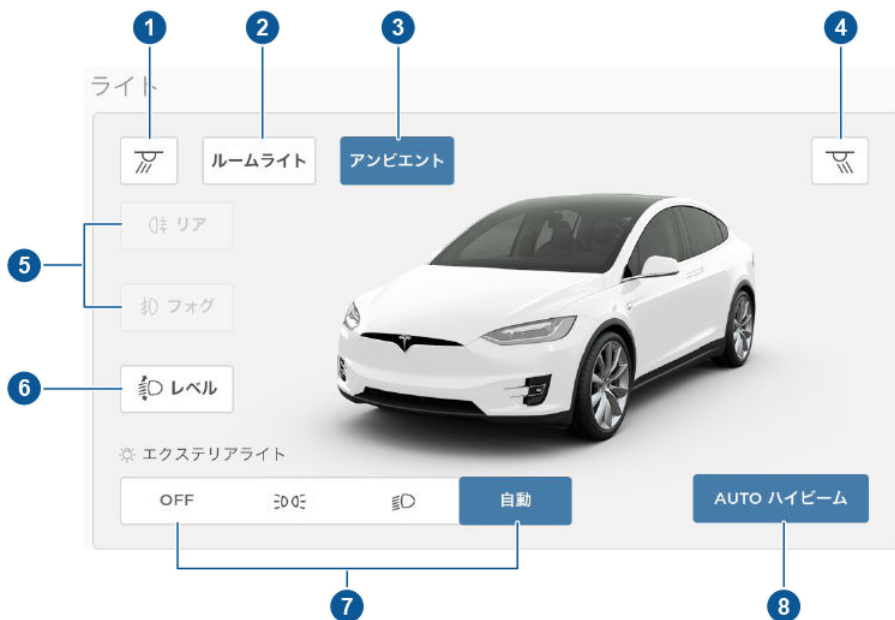
注: 寒冷地では、バッテリーの温度が低すぎるため、バッテリーに蓄積されたエネルギーの一部が利用できない可能性があります。その場合は、バッテリー メーターの一部が青くなり、航続距離値の横に雪片のマークが表示されます。Model X が充電のために電源に接続されている場合、モバイルアプリを使用して温度調整機能を オン にすることで、バッテリーを温めることができます。バッテリーが暖まると、メーターの青い部分と雪片のマークが表示されなくなります。

10. スピードアシストが検出している速度制限 (設定されている場合) (**スピードアシスト機能** - 95 ページを参照)。
11. 前方の車 (該当する場合)。
12. 計器パネルの下部中央に表示される運転に関連した警告メッセージに注意してください。
13. お客様の Model X。
14. オートステアリングが使える状態の場合、走行車線が青色で強調表示されます (**オートステアリング** - 82 ページ を参照)。
15. 現在選択されているギア: パーキング、リバース、ニュートラル、ドライブ。

ライトの調整

大半のライト類は、タッチスクリーン下隅の「コントロール」にタッチして調整します。

Model X は、タッチスクリーンから調整できるライト類のほか、ドライバーの行動に応じて自動的にオン、オフする便利なライト類を備えています。たとえば、ルームライト、標識灯、テールランプ、ドアハンドルランプ、パドルランプは、Model X のロックを解除したとき、ドアを開けたとき、パーキングにシフトしたときに点灯します。これらのライト類は、ドライブギアにシフトしてから、または Model X をロックしてから 1 ～ 2 分後に自動的に消灯します。





1. タッチして運転席側のマップライトを操作してください。
2. 「ルームライト」をタッチすると、キャビン ライトを操作するポップアップが表示されます。室内灯をオンにしておくと、Model X のロックを解除したとき、車から降りるためにドアを開けたとき、または P (パーキング) にシフトしたとき、リア トランク内のライトも含めて、すべてのルーム ライトが点灯します。点灯したライトは、Model X をロックしてから、またはドライブギアにシフトしてから 60 秒後に消灯します。自動に設定した場合は、光がほとんどまたはまったく検出されないときだけルームライトが点灯します。

ルームライトのレンズを押して、それぞれのルームライトを点灯させることもできます。手動で点灯させたルームライトは、Model X の電源がオフになったとき消灯します。手動でライトを点灯させたとき、すでに Model X の電源がオフになっていた場合、ライトは 60 秒後に消灯します。

3. アンビエントライトをオンにすると、ヘッドライトを点灯させるたびにドアアームレストのライトが点灯します。
4. タッチして助手席側のマップライトを操作します。
5. これをタッチしてフォグランプをオン、オフします。フォグランプはヘッドライトがロービームで点灯している場合のみ作動します。ヘッドライトが消灯しているときは、フォグ ランプも消灯します。



オプションのリア フォグランプが点灯していると、必ず計器パネルのリア フォグインジケータが表示されます。



オプションのフロントフォグランプが点灯していると、必ず計器パネルのフロント フォグインジケータが表示されます。

6. Model X がコイル サスペンション システムを装備している場合は、搭載荷重に応じてヘッドライトの角度を調整できます。リアトランクの荷物がかなり重い場合など、対向車の運転者がまぶしくないように、ヘッドライトの角度を下げる必要が生じることがあります。そのような場合は、「レベル」にタッチし、スライドを目的の位置までドラッグします。

- 0 ヘッドライトの角度を下げません。フロントシートとリアシートに乗員が座っており、フロントトランクだけに荷物が入っている場合、ヘッドライトの角度を変更する必要はありません。
- 1 ヘッドライトが 1 レベル下がります。フロントシートとリアシートに乗員が座っており、リアトランクに荷物が入っている場合に適しています。
- 2 ヘッドライトが 2 レベル下がります。重い積載物を運ぶ場合に適しています。

注: Model X がスマート エア サスペンションを装備している場合は、Model X の高さが自動的に調整されるため、ヘッドライトの角度は調整できません。

7. Model X を起動するたびに外部ライト（ヘッドライト、テールライト、サイド マーカークライト、パーキングライト、ナンバープレート ライト）は自動に設定されます。

自動

外部ライトは、暗くなると自動的に点灯します。この設定を変更した場合、ライトは次に運転する際にこの自動設定に戻ります。

外部ライトの設定を一時的に変更するには、以下のオプションのいずれかにタッチします。

オフ

外部ライトは、手動で ON に戻すか、次回 Model X を運転するまで消灯されます。昼間走行灯が必要な地域では、外部ライトはこの目的で使用されるため消灯しないでください。



側面標識灯、パーキング ランプ、ナンバー ライトだけがオンになります。



外部ライトが点灯します。

注：Model X にはヘッドライトのリム下部に、「シグネチャー」ライトと呼ばれる一連のライトが装備されています。これらのライトは、Model X の電源がオンになってドライブギアにシフトすると自動的に点灯します。

⚠ 警告：視認性の低い所では、状況に応じて常にヘッドライトを「自動」または「ON」に設定するようにしてください。これを怠ると、衝突事故につながる危険があります。

8. オートハイビーム機能をオンにしている場合は、Model X の前方の光が検出されるかどうかでハイビームヘッドライトのオン/オフが自動的に切り替わります（[ハイビーム ヘッドライト](#) - 56 ページを参照）。この機能は、Model X にオプションの自動運転テックパッケージが装備されている場合にのみ利用できます。



ハイビーム ヘッドライト

左側のステアリングコラムレバーを奥に向かって押します。操作を取り消すには、レバーを手前に引きます。



Model X にドライビングアシストのコンポーネントが装備されていて(ドライビングアシストについて - 75 ページを参照)、オプションの自動運転テクノロジーパッケージをご購入された場合、Model X の前方で光が検知されると(対向車両や街灯など)、ハイビームをロービームに自動的に切り換えることができます。この機能を有効にするには、「コントロール」>「オートハイビーム」の順にタッチします。

注: 選択した設定は、手動で変更されるまで保持されます。ドライブプロファイルに保存することもできます。

オートハイビームがオンの際に Model X の前方に光を検知したことによってハイビームが消灯した場合、レバーをドライバー側に引くと一時的にハイビームを点灯できます。

ハイビームをオンにしている場合、計器パネル上に以下のようなインジケーターが1つないし2つ以上表示されます。



ハイビームが点灯します。



ハイビームが点灯し、オートハイビーム設定はオフになります。



ハイビームが現在オンになっており、Model X の前方に光を検知した場合にはオートハイビームがハイビームをオフにする準備ができています。



Model X の前方に光が検知されたため、オートハイビームにより一時的にハイビームがオフになっています。光が検知されなくなると自動的にオンに戻ります。

ヘッドライトハイビームを点滅させるには、レバーを手前いっぱい引いた後、離します。

警告: オートハイビームは補助に過ぎず、動作に制約があります。気象条件や走行状態に合

わせて適切なヘッドライトを使用することは、ドライバーの責任です。

降車後のヘッドライト

周囲が暗い場所に Model X を停めて駐車すると、外部ライトが自動的に点灯します。1 分後または Model X をロックするとヘッドライトは自動的に消灯します。

タッチスクリーンを使用してこの機能をオン/オフすることができます。「コントロール」>「設定」>「車両」>「降車後ヘッドライト」の順にタッチします。「降車後ヘッドライト」を「Off」に設定していると、ギアを Park にしたときヘッドライトは消灯します。

アダプティブ フロント ライティング システム (AFS)

アダプティブ フロント ライティング システム (AFS) は、運転時の視認性をよくするためにヘッドライトのビームを自動調整します。電気センサーが運転速度、ステアリング角度、ヨー(垂直軸を中心にした車両の回転角度)を検知し、現在の運転条件に基づいてヘッドライトの最適位置を決定します。たとえば、曲がりくねった道を夜間に走行するときの視認性をよくするため、AFS はカーブと同じ方向にビームを投射します。ヘッドライトをロービームで点灯して低速で運転している時、AFS は側面照明効果を向上させることで歩行者や縁石などの見通しを良くするとともに、暗い交差点や車庫までの道、または U ターンを行う時の視界を向上させます。

アダプティブ フロント ライティング システム (AFS) は、ヘッドライトがオンのときは常に動作します。Model X が移動していないとき、または逆方向に移動しているときは、アダプティブ ヘッドライトは機能しません。これは、ヘッドライトが他のドライバーの目くらませるのを防ぐためです。AFS をオフするには、「コントロール」>「設定」>「車両」>「アダプティブ ヘッドライト」>「オフ」をタッチしてください。



AFS が故障した場合、計器パネルに警告が表示されます。Tesla サービスにご連絡ください。

ウィンカー

左側のステアリングコラムレバーを上げるか(右折する前)、下げます(左折する前)。



ハンドルを操作するか、レバーを中央の位置に戻すと、ウィンカーが停止します。



ウィンカーが動作していると、計器パネルの対応する方向指示器インジケーターが点灯します。カチカチという音も聞こえます。



⚠ 警告： Model X に自動運転ハードウェアとオプションの自動運転テック パッケージが装備され、トラフィックアウェア クルーズ コントロールが有効になっている場合、特定の状況下でトラフィックアウェア クルーズ コントロールを使用しながらウィンカーを動作させると、Model X が加速することがあります（[追い越し加速](#) - 79 ページを参照）。

⚠ 警告： Model X に自動運転ハードウェアと自動運転テックパッケージが装備されていて、オートステアリングがアクティブになっている場合、ウィンカーを動作させると Model X の車線を変更することができます（[自動車線変更](#) - 85 ページを参照）。

車線変更の点滅

車線変更の意思を示すには、レバーをすばやく押し上げるか押し下げた後、離します。対応するウィンカーが 3 回点滅します。

ハザードランプの点滅

ハザードランプを点滅させるには、タッチスクリーン脇のハンドルに近い側にあるボタンを押します。すべてのハザードランプが点滅します。もう一度押すとハザードランプが消灯します。

注： ハザードランプは Model X のキーが近くになくても動作します。



ワイパー

フロントガラスのワイパーを動作させるには、左側のステアリング コラム レバーの先端を奥へ回します。4 つのレベルから選択できます。

- 1st: 自動と低レインセンサー感度*
- 2nd: 自動と高レインセンサー感度*
- 3rd: 連続、低速。
- 4th: 連続、高速。



ワイパーを 1 回動かすには、レバーの先端を押して離します。

ワイパーが自動に設定され、センサーが水を感知しない場合は、ワイパーは動きません。

ワイパーを動かすと、ヘッドライトが (すでに点灯していなければ) 自動的に点灯します。

*Model X は、フロントガラスの内側、車内ミラーの基部にレイン センサーを備えています。ワイパーが自動に設定されていると、センサーが感知した水の量に応じてワイパーの動く頻度が変わります。ワイパーを 2nd レベルに設定すると、センサーの感度がより高くなります。

ワイパーブレードを長持ちさせるために、ワイパーを ON にする前にフロントガラスの氷を除去してください。氷はエッジが尖っており、ブレードのゴムを傷める可能性があります。

ワイパーブレードのエッジを定期的にチェックし、クリーニングしてください。損傷している場合は、Tesla サービスセンターにご連絡ください。

⚠ 注意: 厳しい気象条件では、ワイパーブレードが凍結していたり、フロントガラスに付着していないことを確認してください。

ワイパーの除氷

氷や雪を除去するため、ワイパー ブレードに手が届きやすくなるよう、ワイパーをオフにし、Model X をパーキングにシフトしてから、タッチスクリーンを操作して、ワイパーを整備位置に動かします。「コントロール」>「設定」>「サービスとリセット」>「サービスモード」>「ON」の順にタッチします。寒い屋外に駐車するときは、Model X のワイパーをサービス ポジションにしておくとう便利です。このポジションではワイパーが除霜通気口により近くなるため、空調システムから出る空気をフロントガラスに向けることによって氷を溶かすことができます。

注: Model X をパーキング以外にシフトすると、ワイパーは自動的に通常的位置に戻ります。

Model X にオプションの寒冷地パッケージが装備されている場合、「コントロール」>「寒冷地設定」>「ヒートッドワイパー」の順にタッチして、ワイパーを除氷することができます。ワイパー ヒーターは 15 分後、自動的にオフになります。

ウォッシャー

左側のステアリング コラム レバーの先端のボタンを押すと、フロント ガラスにウォッシャー液が噴射されます。このボタンを押すレベルには 2 段階あります。軽く押すとワイパーが 1 回作動し、ウォッシャー液は噴射されません。ワイパーとウォッシャーの両方をしっかり押します。フロント ガラスの洗浄では、ボタンを離した後ワイパーが 2 回作動し、数秒後にもう 1 回作動します。



ウォッシャー液は定期的に補充してください ([ウォッシャー液の補充](#) - 157 ページを参照)。

ブレーキシステム

Model X は、最大のブレーキ圧をかけたときにホイールがロックすることを防止するアンチロック ブレーキ システム (ABS) を装備しています。この機構によって、大半の路面状態で急ブレーキ時のステアリング制御が改善されます。

緊急ブレーキ操作中は ABS が常に各ホイールの速度をモニターし、利用可能なグリップに応じてブレーキ圧を変更します。

ブレーキ圧が変わると、ブレーキ ペダルから振動が伝わります。これは ABS が作動していることを示すもので、異常な動作ではありません。振動が感じられる間は、ブレーキ ペダルを一定の圧力でしっかり踏み続けてください。



初めて Model X を始動すると、計器パネル上で ABS インジケーターが一時的に点滅します。このインジケーターが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなることがあります。



Model X の始動時に短く点滅する以外にこのインジケーターが計器パネルに表示された場合は、ブレーキ システムの故障が検出されたか、ブレーキ フルードのレベルが低下しています。ただちに Tesla にご連絡ください。

緊急ブレーキ操作

緊急時は、摩擦力の低い路面上でも、ブレーキ ペダルを床まで力一杯踏み込んで圧力を保ち続けます。ABS は、利用可能な摩擦力的に従って各ホイールのブレーキ圧を調整します。この機能によってホイールのロックが防止され、可能な限り安全に停車することができます。

⚠ 警告：ブレーキ ペダルを軽く何度も踏むボンピングはしないでください。ボンピングは ABS の動作を妨げ、制動距離を長くするおそれがあります。

⚠ 警告：常に前の車との間に安全距離を保ち、危険な運転状況に注意してください。ABS は制動距離を改善することができますが、物理法則を変えることはできません。ABS はハイドロブレーニング現象 (水の層がタイヤと路面との直接の接触を妨げる現象) の危険を防ぐこともできません。

Model X が自動運転ハードウェアを装備している場合は、衝突が迫っていると判断されると、自動緊急ブレーキによって自動的にフルにブレーキがかかります ([自動緊急ブレーキ - 93 ページ](#)を参照)。

ブレーキの摩耗

Model X のブレーキパッドはウェア インジケーターを備えています。ウェア インジケーターは、ブレーキパッドに取り付けられた薄い金属片で、パッドが摩耗するとローターとの間でこすれてスキール音が鳴ります。このスキール音は、ブレーキパッドの耐用寿命が尽き、交換が必要であることを示します。スキール音を止めるには、Tesla サービスにお問い合わせください。

タイヤとホイールを取り外して定期的にブレーキを点検する必要があります。ローターとブレーキパッドの詳細な仕様と整備期限については、[ブレーキ - 166 ページ](#)を参照してください。

⚠ 警告：摩耗したブレーキパッドを交換しないと、ブレーキ システムを損傷し、危険なブレーキ動作を招くおそれがあります。



回生ブレーキ

Model X が走行しており、運転者の足がアクセルから離れているときは、常に回生ブレーキが Model X を減速させ、余ったエネルギーをバッテリーに戻します。

停車に備えアクセルを離して減速することで、回生ブレーキを利用して航続距離を伸ばすことができます。もちろん、回生ブレーキは安全のために必要とされる通常のブレーキと同じ役割を果たすものではありません。

注: 急な坂などで回生ブレーキが効き、Model X が著しく減速すると、ブレーキランプが点灯し、減速していることを後続車に知らせて警告します。

エネルギー アプリに回生ブレーキから得られるエネルギー量に関するリアルタイムのフィードバックが表示されます。ハンドルのスクロール ボタンを使って「エネルギー」を選択すれば、計器パネルの両側にパワー メーターを表示させることもできます (ハンドル - 42 ページを参照)。

回生ブレーキを利用してバッテリーに戻されるエネルギー量は、バッテリーの現在の状態と使用している充電レベルの設定によって異なることがあります。回生ブレーキが制限されていると、パワーメーターに黄色い点線が表示されます。たとえば、バッテリーがすでにフル充電されていたり、外気温が低い場合は、回生ブレーキ動作が制限されることがあります。



回生ブレーキ レベルを設定するには

タッチスクリーンを使用して回生ブレーキのレベルを変更できます。

1. 「コントロール」 > 「運転モード」 > 「回生ブレーキ」の順にタッチします。
2. 2 つのレベルのどちらかを選択します。
 - 「標準」: 回生ブレーキのレベルを最大にします。アクセルを離すと Model X を早く減速できるため、ブレーキの使用頻度が削減されます。
 - 「弱」: 回生ブレーキを制限します。アクセルから足を離したときに Model X が減速するまでの時間がより長くなり、惰性走行がより長く続きます。

パーキング ブレーキ

Model X をパーキング位置にシフトすると、パーキングブレーキが自動的に作動し、他のギアにシフトするとパーキングブレーキが解除されます。



注: パーキングブレーキは後輪のみに作用し、足踏みブレーキ システムからは独立しています。

手動でパーキングブレーキを解除するには、タッチスクリーンを使用します (パーキングブレーキが解除されると、Model X はニュートラルにシフトします)。

1. 「コントロール」 > 「E ブレーキと電源オフ」の順にタッチします。
2. ブレーキ ペダルを踏み、「パーキングブレーキ」にタッチします。Model X がパーキングになっていた場合は、ニュートラルにシフトします。



タッチスクリーンを使用して手動でパーキングブレーキを作動させると、計器パネルのパーキングブレーキ インジケーターが点灯します。



パーキングブレーキに電気的な問題が発生すると、タッチスクリーンの上部中央に黄色いパーキングブレーキ故障メッセージが表示されます。

注意: 万一 Model X の電源が切れた場合、パーキングブレーキを解除することはできません。

動作の仕組み

トラクション コントロール システムは、フロントとリアのホイールの速度を常に監視しています。

Model X の牽引力が低下すると、牽引摩擦制御システムがブレーキ圧とモーターの電力を制御して車輪の回転を最小にします。初期設定ではトラクションコントロールシステムは常にアクティブです。通常の条件下では、安全性を最大にするためアクティブのままにしてください。



計器パネルにあるこのインジケータは、トラクション コントロール システムがホイールスピンを最小限に抑えるためにブレーキ圧とモーター出力を制御している際に常に点滅しています。トラクションコントロールシステムに異常が検出されると、このインジケータが点灯します。Tesla サービスにお問い合わせください。

⚠ 警告：トラクション コントロール システムは、危険な運転や高速で急転回することで引き起こされる事故を防止するものではありません。

⚠ 警告：上のインディケータがスリップスタートを有効にしていない状況で点灯したままの場合（次に示します）、トラクションコントロールシステムが正常に作動していない可能性があります。その場合は直ちに Tesla サービスにご連絡ください。

ホイールのスリップを可能にする

スリップスタートを有効にすると、ホイールが一定の速度以下で回転するようになります。スリップスタートは、Model X が 時速 48 km 以下の速度で走行している場合にのみ有効にすることができます。スリップスタートは、走行速度が 時速 80 km を超えると自動的に無効になります。

通常時には、スリップスタートを有効にしないでください。ホイールを故意にスピンさせたい次のような場合にのみ有効にしてください。

- ・ 砂利や雪などの緩い路面での発進。
- ・ 深雪や砂、泥道での走行。
- ・ 穴や深い轍からの脱出。

ホイールを回転させるには、「コントロール」>「運転モード」>「トラクションコントロール」>「スリップスタート」の順にタッチします。



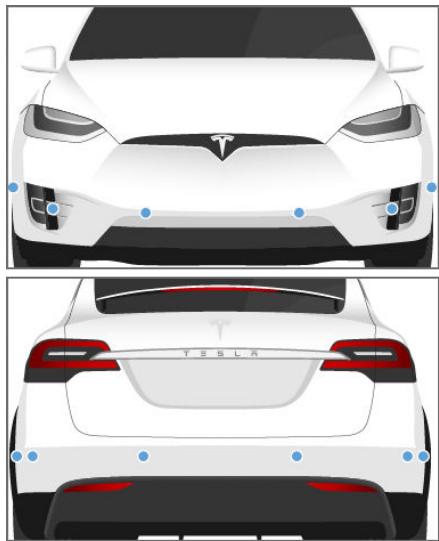
計器パネルにスリップスタートが有効になったことを知らせる警告メッセージが表示されます。

スリップスタートは次回 Model X を始動したとき自動的に無効になりますが、有効にする必要がなくなった場合はすみやかに無効にすることを強く推奨します。

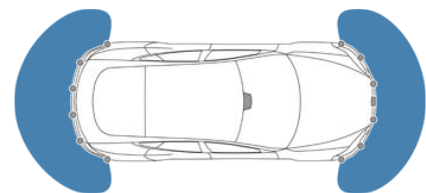


パーキングアシストの動作原理

Model X には、近くの物体の存在を検出するためのセンサーがいくつか搭載されています。ドライブまたはリバースでゆっくり動いているときに Model X の前方直近位置または後方直近位置に物体が検出されると、センサーが警告を発します。



時速 8 km 未満で運転すると、センサーが作動します。



注：自転車を検出されたり、Model X が牽引モードの場合、リヤ センサーは無効になります。

警告：近づいている場所に物体があったり人がいたりするかどうかを調べるときに、パーキングアシストに頼らないでください。外部要因によってパーキングアシストの性能が低下し、センサーが読み取り不能になったり読み取りエラーが生じる場合があります(制約と誤警告 - 63 ページを参照)。したがって、Model X が障害物に近づいているかどうかをパーキングアシストに頼って判断すると、車両や物品を損傷したり、大けがの原因となるおそれがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべての

ミラーを使用するようにし、パーキングアシストはお子さま、歩行者、自転車、動物、または移動したり突起している物体、センサーのはるか上または下にある物体、センサーのすぐ近くもしくは離れたところにある物体を検出できません。パーキングアシストは誘導のみを目的としており、運転者自身の直接の目視による確認を肩代わりすることは意図していません。パーキングアシストは注意深い運転に代わるものではありません。

視覚的、聴覚的フィードバック

リバースにシフトすると、計器パネルの左側にパーキングアシスト ビューが現れ、Model X の前後の直近位置に存在する物体を表示します。Model X の前方に物体が検出されていない状態でドライブにシフトし、速度が時速 8 km を超えると、自動的にパーキングアシスト ビューが終了します。バックしていると、視覚的フィードバックもタッチスクリーンのカメラ ビューの真下に表示されます(リアビュー カメラ - 68 ページを参照)。タッチスクリーンの左上隅にある X にタッチすると、手動でパーキングアシスト ビューを終了できます。

タッチスクリーンにカメラ アプリを表示し、時速 8 km 以下で運転している場合、パーキングアシスト ビューに切り替えることができます。カメラ アプリ ウィンドウの左上隅にあるボタンをタッチしてください。縦列駐車の手助けが必要な場合に便利です。

チャイムがオンになっていれば(チャイムによるフィードバックの調整 - 63 ページを参照)、物体に近づいたときにビープ音が鳴ります。ハンドルの左にあるスクロール ホイールを押すかパーキングアシスト ビューの左下隅にあるミュート ボタンを押すと一時的にチャイムをミュートすることができます。

注：タッチスクリーンにカメラ アプリを表示して運転している場合、カメラ アプリ ウィンドウの左上隅にあるアイコンにタッチするとパーキングアシスト ビューに切り替えることができます。時速 8 km 以下で走行してください。

注：センサーがフィードバックを出力できない場合は、計器パネルに警告メッセージが表示されます。

注意：センサーに泥、ゴミ、雪、氷が付着しないように注意してください。高压洗浄機をセンサーに使用しないでください。センサーの表面を傷つけたり損傷したりするおそれのある尖ったものや研磨剤でセンサーをクリーニングしないでください。

注意：パーキング センサーの上または近くにアクセサリを取り付けたりステッカーを貼ったりしないでください。

チャイムによるフィードバックの調整

パーキングアシストを使用するときの音によるフィードバックをオン/オフすることができます。チャイムをオン/オフするには、「コントロール」>「設定」>「安全とセキュリティ」>「パーキングアシストチャイム」の順にタッチします。

ハンドルの左にあるスクロールホイールを押すかパーキングアシストビューの左下隅にあるミュートボタンを押すと、一時的にチャイムをミュートすることができます。その場合、チャイムは、他のギアにシフトするまで、または速度が時速 8 km を超えるまでミュートされます。

制約と誤警告

以下の場合にはパーキング センサーが正しく機能しないことがあります。

- 1 つまたは複数のパーキング センサーが損傷していたり、汚れていたり、(泥、氷、雪などで) 覆われていたりする場合。
- 物体がおおよそ 20 cm 下にある場合 (縁石や低い柵など)。
- 気象条件 (豪雨、降雪、濃霧) がセンサーの動作に干渉している場合。
- 物体が薄い場合 (道路標識など)。
- センサーの動作範囲を超えている場合。
- 物体が音を吸収する場合またはやわらかい場合 (粉雪など)。
- 物体が傾斜している場合 (傾斜している土手など)。
- 外気温度が極端に高いまたは低い環境で Model X を駐車したり運転したりした場合。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- 物体がバンパーに近すぎる場合。
- バンパーがずれている場合または損傷している場合。
- Model X に取り付けられている物体 (バイクラックやバンパーステッカーなど) がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。

その他のパーキング補助装置

パーキング アシストによる補助に加えて、リバースギアにシフトするとバックアップ カメラに Model X の周囲の映像が表示されます(リアビューカメラ - 68 ページを参照)。



オートブレーキホールド

Model X が停止したときに、ブレーキペダルから足を離したあとも、オートブレーキホールドにより、ブレーキをかけ続けるようにすることもできます。坂道を登っているときまたは平坦な道で、通常通りにブレーキをかけます。計器パネルにホールドインジケータースタイルが表示されているときは、坂道でブレーキペダルから足を離したとしても車両は動きません。



このインジケータースタイルは、オートブレーキホールドが動作しているときは常に計器パネルに表示されます。

オートブレーキホールドを解除するには、アクセルペダルを踏むか、ブレーキペダルを踏んでから放します。

注：ギアをニュートラルにシフトしてもホールドは解除されません。

注：走行用のギアに入れたまま、Model X のブレーキを約 10 分間有効にしておくと、Model X はパーキングにシフトされオートブレーキホールドはキャンセルされます。Model X はドライバーが車両を降りたことを検知した場合にもパーキングにシフトされます。

パフォーマンス デュアルモーター車両 のみ

ローンチモード（パフォーマンス デュアルモーター車両のみ）は、トラクションが良好な路面で最適な加速を実現します。

⚠ 警告：ローンチモードは交通の妨げにならず、歩行者のいない適切な状況下だけに限り使用してください。ローンチモードはレースサーキット場での走行のために設計されています。ドライバーは、他の道路使用者への危険行為および迷惑行為にならないように、運転方法および加速に責任を持つ必要があります。

ローンチモードを作動させる

ローンチモードを作動させる前に、数分間運転をし、さらにブレーキを数回使用して少し温めておくことを推奨します。

1. 加速レベルを「インセイン」または「Ludicrous」に設定して、「バッテリー出力最大化」を有効にします。（[コントロール - 102 ページ](#)を参照）。
2. Model X のシフトを「D」位置にし、完全に停止している状態でハンドルをまっすぐにし、ブレーキペダルを左足でしっかりと奥まで踏み込みます。
3. 左足でブレーキペダルを踏みながら、アクセルペダルを右足でしっかりと奥まで踏み込んでからアクセルペダルを離します。計器パネルに、ローンチモードが有効になったことを示すメッセージが表示されます。
4. 8 秒以内に、アクセルペダルをもう一度しっかりと奥まで踏み込んでモータートルクを引き上げ、4 秒以内にブレーキを離します。

ブレーキを離すと、Model X が前方に出ます。

注：スリップスタートが有効になっている場合（ホイール スピンが起きます）、ローンチモード [トラクション コントロール - 61 ページ](#)を参照してください。

注：ローンチモードは、「バッテリー出力最大化」が有効になったらすぐに使用することができます。バッテリー出力最大化が READY 状態になるのを待つ必要はありません。

制限事項

ローンチモードは、周囲温度が 3° C またそれ以上ある場合に利用できます。



走行情報を表示する

コントロール > 走行データの順にタッチすると、タッチスクリーン上に走行情報が表示されます。現在の走行データとして、距離、期間、平均エネルギー使用量を表示できます。前回の充電以降の距離とエネルギーの総使用量および平均使用量、さらにこの後の走行についてのエネルギーの総使用量および平均使用量も表示できます。

トリップに名前を付ける、あるいは既存の名前を変更するには、トリップ名をタッチしてからトリップの新しい名前を入力し、最後に**保存**を押します。特定の走行データのメーターをリセットするには、対応する**リセット**にタッチします。

最大3つまでのトリップの情報を計器パネルに表示できます。チェックボックスを使って表示させたいトリップを指定します。次にハンドルのスクロールバーを使って選択したトリップを表示します（[ハンドルの左ボタンを使用する - 42 ページ](#)または[ハンドルの右ボタンを使用する - 43 ページ](#)を参照）。

オドメーター

オドメーターを表示させるには、タッチスクリーンの最上部中央の Tesla の「T」をタッチします。

航続距離を最大限に伸ばすヒント

ガソリンエンジン車で燃料を節約するのと同様の運転方法で航続距離を最大限に伸ばすことができます。エネルギー消費量は運転方法に加え、環境条件によっても変わります(寒冷な気候や山岳路など)。1回の充電で最大限の航続距離を確保するには以下の点に留意してください:

- 運転速度を落とし、急激および頻繁な加速を避けてください。
- 減速の際にブレーキを使用せずに、アクセルペダルで調節します。アクセルペダルを踏まずに Model X を走行している際は、常に回生ブレーキが Model X を減速させ、余剰エネルギーをバッテリーに戻します(回生ブレーキ - 60 ページを参照)。
- タイヤは推奨空気圧を維持してください(タイヤの手入れと保守 - 143 ページを参照)。
- 必要のない荷物は車両から降ろして、負荷を軽減します。
- エアコンなどの電装品の使用を抑えます。キャビン内を暖房するより、シートヒーターを利用するほうが効果的です。バッテリーやキャビンエリアの温度調整システムが使用する電力の量を制限するには、「コントロール」>「運転モード」>「レンジモード」>「ON」の順にタッチします。

計器パネルの電力メーターとエネルギー アプリ(次項で説明)が電力使用量についてのフィードバックを表示します。このフィードバックで運転習慣と環境条件が Model X のエネルギー消費量に与える影響を確認することができます。

エネルギー アプリ

エネルギー アプリを使用すると、リアルタイムのエネルギー使用量を表示できます。消費量チャートは、Model X が過去 10、25、または 50 km で消費したエネルギー量を表示します。

平均値ボタンをタッチして、過去 10、25、または 50 km でのエネルギー消費量の平均値を示すグラフを表示します。平均値とエネルギー消費量データは、予想航続距離を計算するために使用されます。瞬間値ボタンをタッチして、直前の数データポイントでのエネルギー消費量のグラフを表示します。瞬間値とエネルギー消費量データは予想航続距離の計算に使用されます。

エネルギーの節約

Model X には省エネ機能があり、Model X を使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。「コントロール」>「スクリーン」>「省エネモード」の順にタッチし、以下のオプションを選択します:

- 「OFF」: 夜間(午後 10 時から朝 5 時まで) Model X が省エネモードに移行します。
- 「ON」: Model X を使用していないときのエネルギー消費はかなり少なくなります。計器パネルと Bluetooth の起動が遅くなります。
- 「常時接続」: 省エネモードが機能しているときも電池の接続を維持します。このオプションにより、モバイルアプリと Model X の接続が速くなり、車に乗ってからすぐにインターネット接続が可能です。電力消費量は若干多くなります。

レンジプランナー

Model X は、ドライバーをエネルギー切れから守ります。Model X は常にエネルギー レベルと最寄りの充電ステーションをモニターします。

充電ステーションの地図上の表示をコントロールするには、マップ/ナビゲーション ウィンドウの右隅にあるレンジプランナーアイコンをタッチします。



地図にはスーパーチャージャーだけが表示されます。



地図には、過去に使用したすべての充電器、CHADEMO チャージャー、目的地の充電ステーションが表示されます。現在可能な航続距離では到達できない可能性のある充電場所については、その関連アイコンが地図上で半透明の表示になります。

既知の充電ステーションの範囲外に出ようとする時、タッチスクリーンにポップアップ メッセージが表示されて、範囲内にある充電ステーションのリストを表示するかどうかを尋ねます。充電場所をリストから選択する時、Model X がナビゲーションの指示とターンバイターン方式の方向リストを表示し、充電場所に到着するまでのエネルギーの残量を予想します。

既知の充電ステーションへの到達可能範囲を越えて運転している恐れがある場合は、ポップアップ メッセージが表示され、さらにレンジプランナーアイコンに警告シンボルが表示されます。



タッチすると、航続距離内にあると推定される充電場所が検索できます。次に検索リスト上の充電場所をタッチすると、そこへのナビゲーションが始まります。

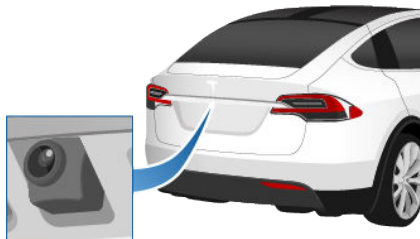


Model X に現在残っているエネルギー量に基づく、航続距離範囲内に充電場所がありません。



カメラ位置

Model X は、リア ナンバー プレート の上方にリア ビュー カメラが搭載されています。



ギアをリバースに入れると、このカメラの画像がタッチスクリーンに表示されます。ガイドラインが、ステアリング ホイールの位置に基づいて運転進路を示します。ステアリング ホイールを動かすにつれて、これらのガイドラインは適切に調整されます。

注：カメラ画像の下にパーキング センサーからの視覚的フィードバックが表示されます ([パーキングアシスト](#) - 62 ページを参照)。

⚠ 警告：車両をバックする際に、車両の背後に人がいるか、または障害物があるか、リアビューカメラの映像だけで判断しないでください。このカメラでは、車両への損傷や人身事故につながる可能性のある障害物や人を検出できない場合があります。また、カメラの検出能力はレンズの汚れや視界の遮断など、いくつかの外的要因によって低下することがあります。このため、リアビューカメラによってのみ

Model X の背後に障害物があるかどうかを確認するのは、車両や物品の損傷、さらには重大な人身事故につながる危険性があります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、カメラは補助としてご利用ください。カメラは目視確認の代わりおよび安全運転にとって代わるものではありません。

カメラのクリーニング

カメラのレンズはできるだけ鮮明な画像が得られるように清潔に保ち、視界が遮られないようにしてください。たまってくるゴミは、ときどき湿らせた軟らかい布でカメラのレンズを拭いて取り除いてください。

⚠ 注意：薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。これらを使用すると、カメラレンズの表面に傷がつく可能性があります。

Model X は、空力抵抗を低減するためのリア スпойラーを装備しています。Model X にアクティブスポイラーが装備されている場合は、Model X の状態と速度によってスポイラーの位置が変わります。

- Model X のギアがリバースに入っているかまたは走行速度が時速 16 km 未満の場合は、Model X の背後の視界を最大限確保します。
- 運転速度が 72 km/h を超えると、スポイラーが最も効果的なエアロダイナミクスを実現する位置まで下がります。
- Model X の電源を切り、ロックすると、スポイラーは格納されます。

上記で示したようにスポイラーを自動的に可動させるには、「コントロール」>「設定」>「サービスとリセット」>「スポイラー」>「自動」の順でタッチしてください。スポイラーの自動的な動作を止め、延長位置で保持するには、「延長」設定を選択します。

注：スポイラーを自動昇降できない場合は、計器パネルに警報が出ます。Tesla サービスにお問い合わせください。



牽引能力

Model X には、牽引パッケージがオプションで装備され、トレーラーを牽引することができます。総牽引重量（積み荷や付加機器を含めたトレーラー重量）およびトレーラーヒッチ荷重は以下の上限を超えないようにしてください。

タイヤ	最大牽引能力*	最大ヒッチ荷重**
20" または 22"	2270 kg	90 kg

**ヒッチ荷重とは、トレーラーの重量がヒッチにかかる下向き荷重のことです。けん引荷重の 4% を下回ってはなりません。Model X に載せる荷物や乗員、積み荷の量が多い場合は、許容されるヒッチ荷重が減少し、さらに最大牽引能力も下がります。最大牽引能力は、Model X の GVWR (Gross Vehicle Weight Rating、車両総重量定格) を超えない前提で計算します。GVWR は、法定プレートに印刷されています（法定プレート - 162 ページを参照を参照）。

注：最大牽引能力は、必要な牽引機器が正しく使用されている前提で計算されます。牽引能力を把握する際には、牽引車内に置かれる追加の荷物や乗員、積み荷を勘案しなければなりません。

注意：Tesla は、牽引機器の指示書のミスや抜け、あるいは指示に適切に従わないという過失に対し、トレーラーを牽引したことによって生じる損傷や怪我に対する責任を負いません。トレーラー牽引によって生じた損傷は保証対象にはなりません。

警告：車両やトレーラーを過積載しないでください。過積載は、パフォーマンスの劣化、車両の損傷、車両制御喪失などを発生させ、深刻な怪我や死亡につながることがあります。

警告：トレーラーヒッチを使って Model X を牽引したり輸送しないでください。

牽引時のタイヤ空気圧

トレーラーを牽引する場合、タイヤ空気圧はその負荷荷重に適合するように調整してください。以下に示す空気圧までタイヤに空気を入れてください（この数値はタイヤと荷重情報ラベルに印刷されたタイヤ空気圧に優先します）。

前輪	後輪	タイヤ空気圧 (冷間時)
255/45R20 265/45R20	275/45R20	46 psi (317 kPa)
255/45R20 265/35ZR22	285/35ZR22	50 psi (345 kPa)

警告：タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用して圧力をチェックしてください。このタイヤ空気圧でタイヤを温めるためには、1.6 kms ほど運転すれば十分です。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になり大変危険です。

警告：Model X のタイヤに異常があるかまたはタイヤリペアキットで空気を入れた場合には、トレーラーを牽引することはできません。応急修理されたタイヤは、けん引荷重に耐えられません。異常があるか応急修理されたタイヤによる牽引は、故障あるいは車両の安定性を損なうことがあります。

トレーラーを牽引する前に

トレーラーを牽引する前に次のことを行ってください。

- 上記に指定された冷間時タイヤ空気圧でタイヤに空気を入れる。
- スマートエアサスペンションを標準高に設定（サスペンション > コントロール > 標準をタッチ）。
- トレーラーのけん引に関して定められているすべての規制、法的義務を理解し、遵守してください。規制に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。
- ブラインドスポットが大きくなり、リアの視界がよく見えるようにサイドミラーを調整する。
- トレーラー モード（後述）が有効になっていることを確認してください。

以下をチェックします。

- Model X が、取り付けられたトレーラーと水平になっている。車両前方がもち上がり、後方が下がっている場合、本節冒頭の表にある最大けん引荷重およびヒッチ負荷を超えていないかどうか確認してください。

- ・ トレーラー ヒッチの部品や付属品、と電気コネクター（リバース ライトやフォグライトなど）すべてに不具合がなく、正しく接続されていること。問題がある場合は、トレーラーをけん引しないでください。
- ・ トレーラーの灯火類が正しく点灯することを確認してください（ブレーキ灯、方向指示灯、標識灯）。
- ・ トレーラーヒッチがヒッチボールにしっかりと接合されている。
- ・ 積み荷がすべて固定されている。
- ・ トレーラー荷重は、トレーラーヒッチ荷重が総牽引重量の約 4% になるよう、均等に分散し、上述の最大ヒッチ荷重を超えない。

⚠ 警告： トレーラーヒッチ荷重は総牽引重量の約 4% で、最大ヒッチ荷重を超えないにしてください。荷重はタイヤに均等に加わり、リアに片寄るとトレーラーがふらつき、車両のコントロールを失う結果となります。

⚠ 警告： トレーラー内で積み荷がしっかりと、動かないように固定されている。荷重が状況によって変化すると、車両のコントロールを失う結果となり、深刻な怪我や死亡につながる可能性があります。

けん引モード

トレーラーを牽引している時は、牽引モードを常に動作させてください。トレーラーの電氣的接続を繋げると、Model X は自動的にトレーラー モードを有効にします。トレーラーの電氣的接続を切断すると、けん引モードは無効になります。牽引モードに入る、あるいは牽引モードから出るには、タッチスクリーンで「コントロール」>「運転モード」>「牽引モード」をタッチしてください。以下のいずれかが計器パネルに表示されます。



けん引モードが有効です。



Model X はトレーラー灯火類の接続を検出していますが、けん引モードが無効になっています。



Model X は、トレーラー灯火類の電気接続不良を検出しました。いくつかあるいはすべてのトレーラー灯火類が点灯していない恐れがあります。なるべく早く安全に停車して、トレーラーの灯火類のケーブルや接続に不良がないかを点検してください。

- ・ オートパーキング。
- ・ トラフィック アウエア クルーズ コントロールは、前方にある車との車間距離を増やします。
- ・ パーキング アシスト（リア）。
- ・ スマート エアサスペンションの、標準から LOW への速度に応じた車高調整。
- ・ スマート エアサスペンションは、保存済のロケーションベース設定に応じた自動車高調整を行いません。
- ・ 側方衝突警告は作動しますが、ステアリング自動介入は無効になります。

また、自動緊急ブレーキ（衝突回避アシスト - 93 ページを参照）による制動力は大幅に制限されます。

注： Model X が過大な負荷を検出した場合は、トレーラーが接続されたことを認識し、自動的に牽引モードになります。牽引モードになったことを知らせるため、計器パネルにメッセージが表示されます。過大な負荷を検出したことで牽引モードに自動的にはいった場合、牽引モード設定を変えるには Model X を停車させ、ギアをパークに入れるかニュートラルギアに入れ、タッチスクリーンを用いて手動でパーキングブレーキをかけます（「コントロール」>「運転モード」>「E ブレーキと電源オフ」>「パーキングブレーキ」）。

⚠ 警告： Model X がトレーラーを検出して自動的に牽引モードに入るとはいえ、それに任せっぱなしにはしないでください。トレーラーを引く前に必ず、牽引モードになっていることを常に確認してください。

⚠ 警告： トレーラーを牽引している時には、いかなる状況でも牽引モードを終了してはなりません。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。

⚠ 警告： ヒッチの高さとトレーラーの高さを合わせようと、エアサスペンションの設定を使用してはいけません。

トレーラーを牽引中

Model X は基本的には乗員を運ぶ車両として設計されています。トレーラーを牽引することは、モーターやドライブトレイン、ブレーキ、タイヤやサスペンションに負荷を加え、航続距離を大幅に減少させます。トレーラーを牽引しようとする場合には、次のガイドラインを留意し、従ってください。

- ・ 走行速度を下げ、急激な操作を防止します。トレーラー牽引時にはトレーラーをつながない時に比べて、ステアリング、安定性、回転半径、制動距離、ブレーキ性能といった面に大きな違いがあります。

牽引モードでは、Model X の次の機能が無効になります。

- ・ オートステアリング。



トレーラーの牽引

- 前方の車両との車間を通常の倍ほどとるようにしてください。あこれにより、急ブレーキの必要性を減らすことができます。急ブレーキをかけると、スキッドやジャックナイフを発生させ、コントロール不能に陥る場合があります。
- 急な旋回を避けてください。急な旋回をするとトレーラーが Model X に接触し、損傷を与える可能性があります。トレーラーの車輪は車両の車輪より旋回の内側を通ることに注意してください。そのため、トレーラーが道路の縁石や標識、木々やその他の物に触れないように大きな旋回をしてください。
- トレーラーの灯火類、方向指示器の電球が切れていないことを定期的に点検してください。トレーラーを牽引する場合、トレーラーの電球が切れていても、Model X の計器クラスターは右左折時に平常状態を示します。
- 積み荷がしっかりと固定されているか定期的に点検してください。
- トレーラーのブレーキが動作することを定期的に点検してください。
- 勾配のある場所に駐車しないでください(下記参照)。
- 牽引用のコンポーネントがいずれもしっかりと締められていることを定期的に点検してください。

トレーラーをつけた状態での駐車

可能な限り、勾配のある場所には駐車しないでください。勾配のある場所での駐車がどうしても避けられない場合には、トレーラーの車輪に車輪止めをつけてください。

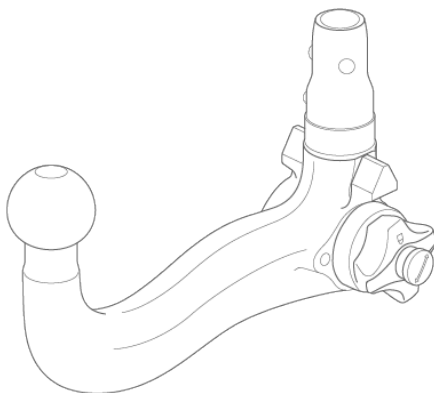
- ブレーキペダルを踏み、維持します。
- もう一人がタイヤの坂道側に車輪止めを差し込みます。
- 車輪止めが置かれたら、ブレーキペダルを離し、車輪止めが車両とトレーラーの重量を支えていることを確認します。
- Model X がパークになっていることを確認します(パーキングブレーキが作動します)。

注: 車輪止めを置いてブレーキペダルを離す際に、ホールド(オートブレーキホールド - 64 ページ参照)機構が Model X を支えていないようにします。これが作動していると、Model X とトレーラーの重量を車輪止めが支えているかどうかのチェックができません。ホールドが Model X にブレーキをかけているときは、計器パネルにホールドインジケータが表示されます。ホールドを解除するには、ブレーキペダルを踏んでから離します。

- 警告:** 勾配のある場所での駐車が必要な場合は、常にトレーラーの全車輪に確実に車輪止めを置いてください。巻き込み確認を怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

トレーラーヒッチ レシーバー

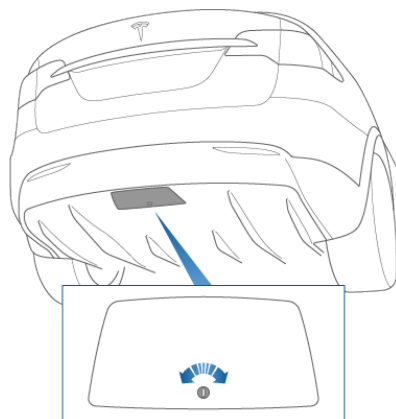
Model X にオプションの牽引パッケージが装備されている場合、50 mm 径 ボールがついている重量物運搬ヒッチが付属します。ヒッチ レシーバーを使用しない時は、ヒッチを取り外し、錆や腐食を防止するために乾燥した場所に保管してください。ヒッチハウジング上にダストカバーをつけたままにし、汚れやごみがロック内に入るのを防止ししてください。



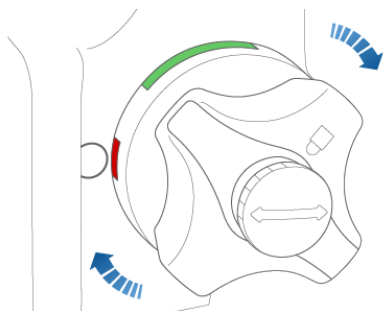
- 警告:** トレーラーを牽引する際には必ず Model X 用トレーラーヒッチを使う必要があります。異なるタイプのトレーラーヒッチは取り付けしないでください。

トレーラーヒッチ は次のように取り付けます。

1. ダストカバーをヒッチハウジングから取り外します。



2. ヒッチのロッキング シリンダーにキーを挿入し、シリンダーを回してキーのトップを「アンロック」位置に合わせます。
3. アダプターからロッキング シリンダーを .5 cm ほど引き出し、時計方向に回してロッキング シリンダーの赤いマーキングを白いドットに合わせます。



⚠ 警告：ロッキング シリンダーは慎重に回してください。それが「開位置」にロックされない場合、元の「閉位置」に自動的に戻ってしまい、指を挟むことがあります。

4. ヒッチを底からしっかりとつかみ、ヒッチ側面の三角形のガイドをヒッチハウジングの対応する切り欠きに合わせます。

注：ロッキング シリンダーは自由に回転させる必要があるため、そこをつかまないでください。

5. ヒッチをロッキング シリンダーが約 120 度反時計方向に回し、閉位置で自動的にロックするまでヒッチハウジングに押し入れます。ロッキング シリンダーの緑色部分（白い矢印の上）はヒッチの白いドットに合わせます。
6. ヒッチが完全にヒッチハウジングに差し込まれていることを目視で確認してください。ヒッチを引き下げてみます。ヒッチは引いても落ちないはずです。

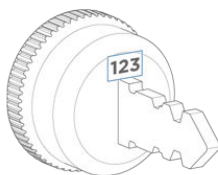
注：ヒッチがハウジング内でロックされていない場合は、引いた時に落ちてしまいます。

7. キーを回して矢印をロッキング シリンダーの「ロック」マークに合わせます。

8. キーを外し、安全な場所に保管します (Model X の室内など)。

注：キーはヒッチがロックされた時しか外せません。これにより、接続が適性であるということになります。キーが取り外されていない場合にはヒッチを使用しないでください。

注：Tesla ではキーコードをメモしておくことをお勧めしています。キーを紛失して代替品を注文する場合には、このコードが必要になります。



9. ダストカバーを閉じ、汚れやごみがロック内に入らないようにします。

牽引後は、ヒッチを取り外します。

1. キーを挿入し、「アンロック」位置にキー上部を合わせます。
2. ヒッチを床に落とさないようにその底をしっかりと支えながら、ロッキング シリンダーを .5 cm ほど引き出し、ロッキング シリンダー赤いマーキングがヒッチの白いドットに合うまで時計方向に回します。この位置で、ロッキング シリンダーは「開」位置でロックされ、ヒッチがヒッチハウジングから外れます。

⚠ 警告：ロッキング シリンダーは慎重に回してください。それが「開位置」にロックされない場合、元の「閉位置」に自動的に戻ってしまい、指を挟むことがあります。

3. ハウジング内にごみがたまらないよう、ヒッチハウジングにダストカバーを再取り付けします。
4. ヒッチのロッキング シリンダー上のダストカバーを閉じ、ヒッチアダプターを安全な場所に保管します。
5. ダストカバーをヒッチハウジング コンパートメントに再取り付けします。

注：ヒッチを長持ちさせるには、定期的にその表面に樹脂非含有のグリスを塗布します。



電気系の接続

トレーラーは、テールランプ、ブレーキランプ、側面標識灯、方向指示灯を装備するよう規則で求められています。トレーラー灯火類に電力を供給するために、13 ピン ワイヤリング コネクタ牽引ヒッチ近くの、Model X の牽引バーに取り付けられています。ほとんどのトレーラータイプで使用する配線プラグを、このコネクタに接続することができます。



1. 左折灯 (黄色)
2. リアフォグ (青)
3. アースのピン 1-8 (白)
4. 右折灯 (緑)
5. 右テールランプ (茶)
6. ストップ ランプ (赤)
7. 左テールランプ (黒)
8. リバースランプ (ピンク)
9. 12V 電源 - 常設 (オレンジ)
10. 12V 電源 - 切替/イグニッション (灰)
11. アースのピン 10 (黒/白)
12. サービス ブレーキ (オーストラリアのみ) (薄灰)
13. アースのピン 9 (赤/白)

注: トレーラーのワイヤーを Model X の電気的コネクタに接続させるとトレーラーモードが自動的に有効になります (けん引モード - 71 ページを参照)。

注: すべての電気的接続が作動し、すべてのトレーラー灯火が事前におよび牽引中に作動するようにすることは、運転者の責任です。実際に点検してください。

注: 牽引中にトレーラー灯火類が消えた場合は、ヒューズ切れの可能性があります。Model X は、ヒューズ

ズが切れても警告は出しません。Tesla サービスにお問い合わせください。

注: トレーラーのフォグランプが検出されると、Modes X はリヤ フォグランプを無効にします (装備されている場合)。

注意: トレーラーの電気ケーブルが地面に接触あるいは引きずっていないこと、および旋回時にケーブルの余裕が十分あることを確認してください。

警告: 電気的接続は Tesla 設計品のみを使用してください。トレーラーの電気配線の継ぎ合わせや他の方法で直接接続することはしないでください。Model X の電気系に損傷を与え、誤動作させる可能性があります。

トレーラーのふらつき軽減

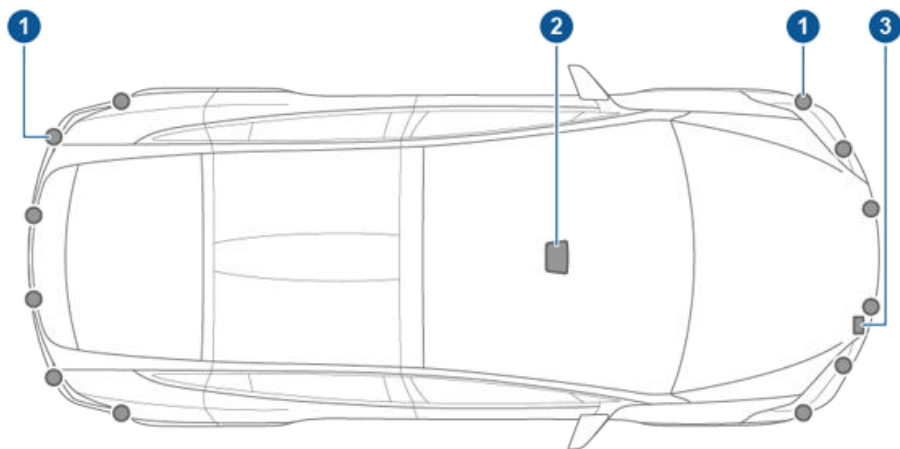
トレーラーがふらついていることが検出されると、Model X の電子安定性制御システムが適切な程度のブレーキを加えてトレーラーのふらつきを最小化しようとします。計器パネルには、トラクションコントロール システムのインジケーターが短時間表示されます。このシステムが作動してトレーラーのふらつきを軽減しようとしている時にブレーキペダルを踏んでも、自動ブレーキは解除されません。

航続距離への影響

牽引は Model X の重量と抵抗を増加させます。その結果、航続距離が大幅に減少し、トリッププランナーがけん引モードに基づき予想航続距離を調整しようとしますが、実際のエネルギー消費量は異なる場合があります。旅行の計画を立てる場合や充電場所を事前に確認する際には、この点にご留意ください。

ドライビングアシスト コンポーネント

ドライビングアシスト機能を装備した Model X は、周囲の道路環境を能動的にモニターする以下のようなコンポーネントを搭載しています。



1. フロント/リア バンパーの近くには、超音波センサーを搭載しています。
2. 前方監視カメラは、フロントガラスのバックミラー上側に取り付けられています。
3. レーダーは、車両のフロントバンパー右側の背後に取り付けてあります。

ドライビングアシスト機能付き車両には、高精度の電動アシスト ブレーキおよびステアリング システムも搭載しています。



ドライビングアシスト機能

以下の安全機能は、ドライビングアシスト コンポーネントを搭載したすべての Model X 車両に装備されています。

- レーンアシスト(レーンアシスト - 91 ページを参照)。
- 衝突回避アシスト(衝突回避アシスト - 93 ページを参照)。
- スピードアシスト(スピードアシスト機能 - 95 ページを参照)。

ドライバーの負担を軽減するように設計されたこれらの便利な機能は、Model X がオプションの自動運転デックパッケージを装備している場合にのみ利用できます。

- トラフィックアウェア クルーズコントロール(トラフィックアウェア クルーズコントロール - 77 ページを参照)。
- オートステアリング(オートステアリング - 82 ページを参照)。
- 自動車線変更(自動車線変更 - 85 ページを参照)。
- オートパーキング(オートパーキング - 87 ページを参照)。
- オートハイビーム(ハイビーム ヘッドライト - 56 ページを参照)。

ドライビングアシスト機能は有効/無効にすることができ、場合によっては機能を制御することもできます。ドライビングアシスト機能を設定するには、「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」の順にタッチします。

制限事項

多くの要因がドライビングアシスト コンポーネントのパフォーマンスに影響を与え、意図したとおり機能しないこともあります。これらの要因には以下のようなものがあります(ただし、これらに限定されません)。

- 視界不良(激しい雨、雪、霧など)。
- 明るい光(対向車のヘッドライトや直射日光)がカメラの視野を妨げている。
- 自動運転コンポーネントが泥、氷、雪などによる損害を受けているまたは妨害されている。
- Model X に取り付けたいアイテムがコンポーネントに干渉したり、妨害したりしている(バイクラックなど)。
- 粘着性のあるものを Model X に付けることによる妨害(ラップ、ステッカー、ラバーコーティングなど)。
- 極端にせまい道や曲がりくねった道を運転している。

- バンパーが損傷している、または位置がずれている。
- 超音波を発生する他の機器がセンサーに干渉している。
- 外気温度が極端に高いまたは低い。

⚠ 警告: 前記のリストはドライビングアシスト コンポーネントの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。運転の際は、自動運転機能だけに頼らないようにしてください。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。

⚠ 注意: 前方監視カメラ搭載の Model X でフロント ガラスの交換が必要になった場合は、Tesla サービスまで車両をお持ちください。サービスセンターで、前方監視カメラの適切な取り扱いおよび取り付けを行います。これを怠ると、ドライビングアシスト機能が誤動作を起こすことがあります。

ドライビングアシスト コンポーネントの洗浄

ドライビングアシスト コンポーネントができるだけ正確な情報を提供できるように、コンポーネントを常にきれいにし、周囲に障害物がないようにしてください。時々、ぬるま湯に湿した柔らかい布で蓄積した汚れを拭き取ります。

⚠ 注意: 薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。表面を傷つける恐れがあります。

⚠ 注意: 高圧洗浄機は使用しないでください。

⚠ 注意: 超音波センサーを洗浄する際にその表面を傷つけたり損傷したりする恐れのある尖った物や研磨剤を使用しないでください。

Model X にドライビングアシスト機能(ドライビングアシストについて - 75 ページを参照)が装備されており、お客様がオプションの自動運転 テック パッケージを購入している場合、前方監視カメラとレーダー センサーは同じ車線上の前方に車両がいるかどうかを検出するように設計されています。

Model X の前方を車両が走行していない場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定されている走行速度を維持します。車両が検出された場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは、前方車両との間に時間に基づいて設定された車間距離が保たれるように、設定速度を上限として、必要に応じて Model X を減速させるように設計されています。トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用している場合、ドライバーが前方の道路を監視し、状況に応じてブレーキを踏む必要はなくなります。

トラフィックアウェア クルーズコントロールは高速道路など、乾燥した直線道路の走行を想定して設計されています。市街地の道路では使用しないでください。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。Model X を適切に減速させる操作をトラフィックアウェア クルーズコントロールに依存してはいけません。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは歩行者や自転車を認識することが可能ですが、決してトラフィックアウェア クルーズコントロールだけに頼って Model X の速度を減速させないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

警告: 交通状況が常に変化している市街地の道路では、トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用しないでください。

警告: 急カーブが続く曲がりくねった道、表面が凍結していたり滑りやすくなっている道路、または一定速度での運転が不適切な悪天候(豪雨、雪、霧など)の中でトラフィックアウェア クルーズコントロールを使用しないでください。トラフィックアウェア クルーズコントロールは道路や運転状況に応じて運転速度を調整しません。

トラフィックアウェア クルーズコントロールの操作



52

計器パネルの走行速度の左側にグレーのスピードメーターアイコンが表示されるときは、トラフィックアウェア クルーズコントロールが使用できる状態であるのに巡航速度が設定されていません。前方に車両が検出されない限り、トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用するには、時速 8 km 以上の速度で運転する必要があります。前方に車両が検出されていれば、静止状態を含むどんな速度でもトラフィックアウェア クルーズコントロールを使用できます。

希望の速度で運転している場合は、クルーズコントロール レバーを上または下に動かし(または一瞬手前に引き)、その後レバーを放せば巡航速度が設定されます。



52

計器パネルのスピードメーターアイコンが青くなり、設定速度が表示されれば、トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動して設定速度を維持しています。

この状態でアクセルペダルを離すと、トラフィックアウェア クルーズコントロールが設定速度の維持を開始します。前方に車両の存在が検出されない場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定速度を維持し続けます。車両が検出された場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは選択されている車間距離を保つために、設定速度を上限として、必要に応じて Model X を加速させたり減速させたりします。前方に検出される車両がいなくなった場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定速度まで加速します。トラフィックアウェア クルーズコントロールは進入または脱出するカーブに合わせて適切な速度に調整します。

トラフィックアウェア クルーズコントロールを用いて設定速度を維持している場合、いつでも加速することが可能です。ただし、アクセルペダルを放すと、Model X は設定速度に戻ります。

前方に車両がある場合、Model X はその車両に追従している間に停車したとしても、トラフィックアウェアクルーズコントロールの有効状態を維持します。車両が再び動き始めると、トラフィックアウェアクルーズコントロールが設定してある速度で作動を再開します。ただし、Model X の前方にまたは物体を検知すると、トラフィックアウェアクルーズコントロールは「保留」状態となり、計器パネルにクルーズコントロールを再開するようメッセージが表示されます。再開させるにはアクセルペダルを踏みか、クルーズコントロールレバーを手前に引いてください（キャンセルおよび再開 - 80 ページを参照）。

右側通行の場合、最右車線を走行している時に出口の 50 メートル手前で右側に方向指示器を出すと（高速道路など侵入制限されている道路のみ）、トラフィックアウェアクルーズコントロールはその道路から出ようとしていると判断します。これにより、トラフィックアウェアクルーズコントロールは車両を減速し始めます。同様に左側通行の場合は、最左車線を走行している時に出口の 50 メートル手前で右側に方向指示器を出します。走行している地域が右側通行か左側通行かは、車載 GPS（グローバルポジショニングシステム）が判断します。GPS データが利用できない状況（例えば、電波が弱い場合など）では、出口手前で方向指示器を出してもトラフィックアウェアクルーズコントロールは車両を減速しません。

注：クルーズコントロールレバーを 2 度引くと（トラフィックアウェアクルーズコントロールがアクティブのときは 1 回）、オートステアリングが有効になり、現在の走行速度か予めオフセットを設定した制限速度のどちらか速い方に設定速度が変更されます。（制限速度での巡航 - 79 ページを参照）。

注：トラフィックアウェアクルーズコントロールが前方車両との車間距離を選択されている距離に保つために Model X を減速させているときは、ブレーキランプが点灯し、他のドライバーに自車が減速していることを知らせます。また、ブレーキペダルがわずかに動きます。

警告：車載 GPS に限界があり、特に高速道路出口付近でカーブが検出されたり、またはナビを使って目的地に向かっていている時に提示ルートに従わない時など、トラフィックアウェアクルーズコントロールが車両を減速することがあります。

警告：トラフィックアウェアクルーズコントロールは、物体を検知できない場合があります。静止した車両と衝突しないようにブレーキをかけた後減速したりできなくなることがあります。特に時速 80 km 以上で走行しているとき

に追尾していた車両がいなくなり、その代わりに静止した車両や物体などが前方に現れると、この現象が起きやすくなります。常に前方の道路に注意を払い、ただちに対処できるように備えてください。衝突回避をトラフィックアウェアクルーズコントロールに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。さらに、トラフィックアウェアクルーズコントロールが、走行車線上を走行していない車両や走行車線上に存在しない物体に反応し、Model X を不必要または不適切に減速させる場合もあります。

警告：制動能力が限定されている、坂道を走行しているなどの理由でトラフィックアウェアクルーズコントロールが適切な速度制御を行えないこともあります。トラフィックアウェアクルーズコントロールが前方車両との車間距離を誤判定することもあります。下り坂では走行速度が上昇し、Model X の速度が設定速度を超えることがあります。衝突回避のための減速をトラフィックアウェアクルーズコントロールに任せきりにしないでください。常に道路に注意を払い、いつでも必要に応じて対応できるようにしてください。衝突回避のための減速をトラフィックアウェアクルーズコントロールに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

警告：制動が必要でないとき、または制動を予期していないときにトラフィックアウェアクルーズコントロールが Model X にブレーキをかけることがときどきあります。その原因は、前方車両との車間距離が短いことや（特にカーブで）隣の車線上の車両や物体を検出することなどです。

車間距離の調整

Model X と前方を走行する車両との車間距離を調整するには、クルーズコントロールレバーを回して 1（最短車間距離）から 7（最長車間距離）の設定を選びます。各設定は、Model X が現在の位置から前方車両のリアバンパーの位置に到達するまでにかかる時間に基づいた距離に相当します。



クルーズコントロールレバーの回転に従い、計器パネルに現在の設定が表示されます。希望の設定が表示されたら、レバーを離します。



制限速度での巡航

トラフィックアウェア クルーズ コントロールを使用すれば、簡単に制限速度で巡航できます。設定された巡航速度は、スピードアシストで設定されている速度制限に調整することができます（[スピードアシスト機能 - 95 ページ](#)を参照）。調整するには、クルーズ コントロール レバーを手前に引いたままにします（0.5 秒ほど）。レバーから手を離すと、事前に指定された条件に応じて、自動的または手動でスピードアシストで決定した速度に設定されます。レバーを引いて短時間そのままにした時、すでに制限速度以上で走行していた場合は、速度は制限速度に調整されず、現在の走行速度で速度が設定されます。

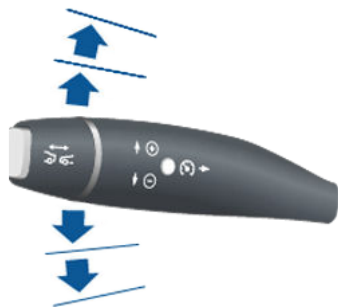
注：制限速度を基にクルーズ速度を調整する場合は、制限速度を変更しても設定速度は変更されません。変更された制限速度で巡航するには、クルーズコントロール レバーを再び手前に引いたままにする必要があります。常時巡航速度を手動で調整することもできます（[設定速度の変更 - 79 ページ](#)を参照）。

注：スピードアシストが制限速度を特定できない場合、クルーズ コントロール レバーを手前に引いたままにしても、設定速度を変更することはできません。

⚠ 警告：スピードアシストに依存して、正確または適切なクルーズ速度を決定しないようにしてください。常に道路状況に応じた安全な速度でクルーズするようにしてください。

設定速度の変更

トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用中に設定速度を変更するには、必要な速度になるまで、クルーズコントロール レバーを上（増加）または下（減少）に動かします。



時速 1 km 刻みで加速または減速するには、レバーを第 1 ポジションまで上げるか、下げるかした後、放します。現在の速度に最も近い時速 5 km の倍数まで加速または減速するには、レバーを第 2 ポジションまで上げるか、下げるかした後、放します。たとえば、時速 83 km で走行しているときにレバーを第 2 ポジションまで上げてから放すと、速度は時速 85 km になります。レバーを一番上まで上げたまま、または一番下まで下げたままにして、目的の速度がクルーズ コントロール アイコンの下に表示されたときにレバーを放すことによって、加速したり減速したりすることもできます。

スピードアシスト（設定したオフセットをすべてを含む）によって現在決められている制限速度で巡航するには、クルーズ コントロール レバーを手前に引き、短時間（およそ 0.5 秒）そのままにします。[スピードアシスト機能 - 95 ページ](#)を参照してください。

注：Model X が新たな設定速度に達するまで数秒かかる場合があります。

注：最大設定速度は、時速 150 km です。

追い越し加速

トラフィックアウェア クルーズ コントロールが作動している状態で前方車両を追尾している場合、方向指示器をオンにして自車が追い越し車線へ移動することを示すと、Model X は前方車両の方向へ短時間加速します。方向指示器レバーを（居住する国によって異なりますが）一瞬上げたままにするか、下げたままにすると、アクセルペダルを踏むことなく、設定速度まで素速く加速できます。方向指示器の操作で Model X が加速するのは、以下の条件が満たされている場合に限られます。

- トラフィックアウェア クルーズコントロールが操作中で前方に車両を検出している場合。
- 追い越し車線上で障害物または車両が検出されていない場合。
- Model X が設定速度未満かつ、時速 72 km を超える速度で走行している場合。



- 方向指示器が追い越し車線への移動を示している場合。

追い越し加速は前方車両を追い越す際の補助を目的としています。方向指示器が出されると、トラフィックアウェア クルーズコントロールは引き続き前方車両との車間距離を保ちますが、設定距離よりも若干短い車間距離で運転することができるようになります。

注：Model X は車載 GPS (グローバルポジショニングシステム) を使用して、走行している地域が右側通行か左側通行かを判断します。この機能により、適切な方向指示器によって追い越し加速を行うことができます。右側通行の地域で運転するときは、左折の方向指示器のみが追い越し車線への移動を示します。左側通行の地域では、右折の方向指示器 (方向指示器レバーを上げる操作) のみが追い越しを示します。GPS のデータが利用できない場合 (たとえば信号が弱い場合など)、方向指示器による追い越し加速は機能しません。

加速は次の場合にキャンセルされます。

- 設定したクルーズ速度に到達した場合。
- 車線変更に時間がかかる場合。
- Model X と前方車両との距離が近すぎる場合。
- または
- 方向指示を取り消した場合。

注：追い越し加速は方向指示器を出した場合、または方向指示器に若干触れた場合 (部分的に出した場合) に機能します。方向指示器から手を放したり、方向指示器をオフにした場合、Model X は (アクセルペダルを放した場合と同様に) 加速を中止し、設定速度での走行を再開します。

⚠ 警告： 追い越し加速は、上記の状況 (たとえば GPS データの欠落) 以外にも、予測不可能な理由によってキャンセルされることがあります。走行中は常に注意を払い、車両の加速を追い越し加速機能にのみ依存しないようにしてください。

⚠ 警告： 追い越し加速では、適切な方向指示が出されると必ず走行速度が増加し、Model X が前方車両に近づきます。トラフィックアウェア クルーズコントロールは前方車両との車間距離を保ち続けますが、特に前方車両を追い越すつもりがない場合は、追い越し加速が作動すると選択されている車間距離が短くなる点に注意することが重要です。

キャンセルおよび再開

トラフィックアウェア クルーズコントロールを手動でキャンセルするには、クルーズコントロールレバーを一瞬间に押し込むか、ブレーキペダルを踏みます。計器パネル上のスピードメーターアイコンがグレイになり、クルーズコントロールが運転速度を制御していないことを示します。



前回の設定速度で再びクルーズする場合は、クルーズコントロールレバーを少しだけ手前に引きます。



注：製造年月日によっては、一部の Model X 車両のクルーズコントロールレバーの先端にボタンが付いています。クルーズコントロールが作動しているときにこのボタンを押すと、クルーズコントロールがキャンセルされます。

注：トラフィックアウェア クルーズコントロールをキャンセルした場合、Model X は慣性走行しません。代わりに、クルーズコントロールが動作していないときにアクセルペダルから足を放した場合と同様、回生ブレーキによって Model X が減速します (回生ブレーキ - 60 ページを参照)。

⚠ 警告： トラフィックアウェア クルーズコントロールは次のような場合にキャンセルされるか、利用できない場合があります。

- ブレーキペダルを踏んだ場合。
- Model X が指定された車間距離内に前方車両を検出していない状態で、走行速度が時速 8 km 未満まで落ちた場合。
- 走行速度が最大巡航速度である時速 150 km を超えた場合。
- Model X を Drive 以外にシフトする。
- 運転席のシートベルトが外れた場合。
- ドアが開いた場合。
- レーダーセンサーまたはカメラの視界が遮られた場合。これは汚れ、泥、氷、雪、霧などが原因により発生する場合があります。

- トラクション コントロールの設定が手動で無効にされた、またはスリップを防ぐため何度も作動している場合。
- ホイールが回転しているにも関わらずその場から動かない場合。
- クルーズ コントロール システムが故障している場合。
- クルーズ コントロール システムが修理を必要としている場合。
- レーダー センサーが遮られている (汚れ、カバーなど)。
- フロント ガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている (くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど)。

トラフィックアウェア クルーズ コントロールが利用できない場合またはキャンセルされた場合、Model X は一定の設定速度で走行しなくなり、前方車両との間に指定された車間距離を保たなくなります。

警告：トラフィックアウェア クルーズコントロールは、予想外の理由により予期せずキャンセルされる可能性があります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をとれるようにしてください。Model X を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

クルーズ インジケータのまとめ



トラフィックアウェア クルーズコントロールは有効になっていますが、クルーズ速度を設定するまでは車両の速度をコントロールしません。希望のクルーズ速度まで加速してから、クルーズコントロール レバーを上または下にタップします (または手前に引きます)。



トラフィックアウェア クルーズコントロールが動作し、設定速度を維持している (前方に車両がない) かまたは前方の車両と設定した車間距離を保ちます (設定速度まで)。



Model X は追尾していた車両の後ろで完全に停車しましたが、Model X の前方に物体を検知すると、トラフィックアウェアクルーズコントロールは「保留」状態になります。巡航を再開するにはアクセル ペダルを軽く踏む必要があります。

制限事項

トラフィックアウェア クルーズコントロールは、以下の状況下では設計通りに動作しない可能性があります。

- 道が鋭くカーブしている。
- 視界が悪い (激しい雨、雪、霧など)。
- 明るい光 (対向車のヘッドライトや直射日光) がカメラの視野を妨げている。



注：オートステアリング機能は、ベータ版機能です。

Model X がドライビングアシスト コンポーネント (**ドライビングアシストについて** - 75 ページを参照) を装備し、オプションの自動運転テックパッケージを購入している場合は、一定の条件下でドライビングアシストを利用してステアリングや速度を操作することができます。オートステアリングでは、トラフィックアウェア クルーズコントロールに基づき、Model X が設定速度で走行中に走行車線を維持します。オートステアリングは前方カメラ、レーダーセンサー、超音波センサーを使用して、車線マーキングと直前の車両を検出し、それを元にアシスト操舵 Model X を行います。

警告：オートステアリングはハンズフリーの機能ではありません。使用中も常にハンドルを握っておいてください。

警告：オートステアリングは十分に注意力の働くドライバーが高速道路などのアクセスの制限された道路を走る場合に限って使用することを前提としています。オートステアリングを使用する時は、ハンドルを握り、道路条件や周囲の車両に十分に注意を払ってください。市街地、道路工事のある区間、自転車または歩行者がいる可能性のある地域では、オートステアリングを使用しないでください。適切な運転経路を決定する際に、オートステアリングに依存しないようにしてください。常に即座に対応できるようにしてください。これらの指示に従うことを怠ると、重大な物損、人身、または死亡事故が発生する可能性があります。

オートステアリングの操作

オートステアリングを利用するときは、事前にタッチスクリーンで「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」>「オートステアリング」>「ON」を選択し、この機能を有効にしておく必要があります。

オートステアリングが利用可能であること（ただし、現在は Model X をステアリング中ではないこと）を示すため、計器パネルの運転速度表示の右側にここで示すようなグレーのオートステアリングのアイコンが表示されます。



オートステアリングを起動するときは、クルーズコントロール レバーを素早く 2 度続けて手前に引きます。オートステアリングは周囲の交通状況に注意を払うよう計器パネルにメッセージを表示します。ハンドルに両手を置いておいてください。オートステアリングが作動して Model X の操舵をアシストし始めると、計器パネルのオートステアリングのアイコンの表示が青に変わります。オートステアリングが車線区分線を検出すると、走行車線を青色で表示します。



注：オートステアリングを起動するには、車線マーカーが可視の車道を時速 8 km 以上の速度で走行していなければなりません。前方車両が検出されているときには、停止中でも、任意の速度でオートステアリングを起動することができます。

注：オートステアリングは通常、Model X に走行車線の中央の位置を維持させようとします。ただし、センサーが障害物（車両またはガードレールなどの）を検出すると、Model X に車線の中央から外れた経路を選択させる場合もあります。

注：オートステアリングが作動できる運転速度で走行していない時にオートステアリングを有効にしようと試みたり、オートステアリングがカメラやセンサーから適切なデータを受信していない状況では、計器パネルにメッセージが表示され、オートステアリングが一時的に利用できないことを知らせます。

速度制限

オートステアリングは、高速道路などのように入口と出口が制限されている道路で使用するよう想定されています。住宅地や中央分離帯のない道路、または侵入が制限されていない道路でオートステアリングを使用すると、オートステアリングは運転速度を制限します。最大運転速度は検出された制限速度に時速 10 km を足した速度を元に計算されます。制限速度が検出できない状況では、運転速度は時速 70 km に制限されます。このような状況でオートステアリングが有効になっていると、運転速度はこの制限速度以内でセットされ速度を下げます。速度を手動で制限速度以上に上げることができますが、アクセルを緩めるとオートステアリングが Model X を制限速度まで減速させます。その道路から離れる時、またはハンドルを動かしてオートステアリングを無効にした時に、必要に応じて設定速度を上げることができます。

ハンドルを握ってください

オートステアリングは、カメラ、センサー、GPS からのデータを使用し、ドライバーのをアシストして、Model X を最適に運転する方法を決定します。これが有効になっている時、ハンドルを握っておく必要があります。ステアリングホイールにしばらくの間手が置かれていないことを検知すると、白色の警告ライトが計器パネルの周りで点滅し、以下の警告メッセージを計器パネルに表示します。

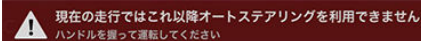


オートステアリングはハンドルに軽い抵抗を感じるかあるいはハンドルをわずかに（制御を取り戻すほどの力ではなく）回すことで運転者の手を検知します。ハンドルに手が置かれたのが検知されると、警告メッセージは消え、オートステアリング機能が通常動作に戻ります。

注：オートステアリングは、メッセージが表示された時と同時にチャイム音を鳴らす場合があります。

またオートステアリング使用時は、ドライバーは周囲に注意を配り、すぐに運転を代われるように備えていなければなりません。それでもハンドルに置いた手が検出されない場合、オートステアリングは徐々に速くチャイム音を鳴らします。

ハンドルに手を置くように促す警告を無視し続けると、以下のメッセージが表示され、その後の運転でオートステアリングは使用できなくなります。マニュアルで運転を再開しないと、オートステアリングは連続してチャイム音を鳴らし続け、警告灯を点滅し、走行速度を落として停止させます。



次の運転まで、オートステアリングを使用することはできません。オートステアリングは、一度パーキングにシフトすれば再び使用できるようになります。

オートステアリングが停止します

オートステアリングが Model X を操作できない状況では、オートステアリングは警告チャイムを鳴らし、計器パネルにメッセージを表示します：



オートステアリングをキャンセルする

オートステアリングは次の時に動作をキャンセルします。

- ハンドルをわずかでも回した時。
- ブレーキペダルを踏んだ時。
- クルーズコントロールレバーを前に倒した時。
- 運転席のシートベルトを外した時。
- オートステアリングの対応時速の上限 (150 km/h) を超えた時。
- シフトレバーをドライブギアから動かした時。

オートステアリングがキャンセルされると、オートステアリングのアイコンの色が作動していないことを示すグレーに変わります。

注：オートステアリングは、ハンドルを手で回し始めるとキャンセルされますが、トラフィックアウェアクルーズコントロールは有効状態を保ちます。ブレーキペダルを踏んだり、クルーズコントロールレバーを後方へ押すことで、通常通りトラフィックアウェアクルーズコントロールは無効になります。

オートステアリングを無効にするには、「コントロール」>「設定」>「ドライバーアシスト」>「オートステアリング」>「オフ」の順でタッチします。

制限事項

オートステアリングは、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- オートステアリングが（激しい雨、雪、霧などによる）視界不良で、あるいはカメラまたはセンサーの障害物、カバー、もしくは破損によって車線マーカを正しく判断できない場合。
- 坂道を運転している時。
- 料金所に接近している時。
- 道路が急カーブしている場合、または過度にでこぼこしている場合。



- (直射日光などの) 明るい光でカメラの視界が妨げられる場合。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている。



警告: 様々な不測の事態によって、オートステアリングの機能が妨害される場合があります。そのことに留意し、オートステアリングのアシスト Model X が適切にできないことがあることを覚えておいてください。常に運転に注意を払い、素早く行動できるようにしてください。



Model X にドライビングアシストのコンポーネント（[ドライビングアシストについて](#) - 75 ページを参照してください）が装備されていて、自動運転機能テックパッケージをオプションで購入している場合、自動車線変更機能を使ってハンドル操作せずに Model X を隣の車線に車線を変更することができます。トラフィック アウェア クルーズコントロールとオートステアリングの両方が有効になっている場合、自動車線変更機能がハンドル操作をアシストし Model X を隣の車線へ車線変更を行います。オートステアリングは、前方監視カメラ、レーダー、および超音波センサーを使用して、車線マーカーや他の車両の存在を検出します。

自動車線変更機能は、車線マークが鮮明な高速道路や主要な道路、ステアリングとドライバーの介入が最小限になる、比較的予測可能な状況下での使用を前提に設計されています。

⚠ 警告： 車線変更が安全で適切であるかどうかを判断するのはドライバーの責任です。自動車線変更機能は、目標車線上で近づいてくる車両、特に背後から高速で走ってくる車両は検出できません。したがって、車線変更を開始する前に、常に死角、車線マーカー、および周囲の道路状況をチェックし、目標車線への移動が安全で適切であることを確認してください。

⚠ 警告： 適切な運転経路を決定する際に、自動車線変更機能に依存しないようにしてください。前方の道路と車両を注視し、周囲を確認し、計器パネルの警告に気を配りながら注意深く運転してください。常に即座に対応できるようにしてください。

⚠ 警告： 交通状況が常に変化し自転車や歩行者が通っているような市街地の道路では、自動車線変更機能は使用しないでください。

⚠ 警告： 自動車線変更機能のパフォーマンスは、車線マーカーを認識する前方監視カメラの能力に左右されます。

⚠ 警告： 急なカーブのある曲がりくねった道路、凍結道路あるいは滑りやすい道路、または豪雨、雪や霧などの天候がカメラ、またはセンサーの機能を妨害している場合は、自動車線変更機能を使用しないでください。

自動車線変更機能の操作

自動車線変更機能进行操作する前に、「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」>「自動車線変更」>「On」の順にタッチして自動車線変更機能を有効にする必要があります。

注： 自動車線変更機能をオンにする前にオートステアリングをオンにする必要があります（[オートステアリング](#) - 82 ページを参照）。オートステアリングをオンにしないと自動車線変更機能は作動しません。

注： 選択した設定は、手動で変更されるまで保持されます。ドライバー プロフィールにも保存されます。

自動車線変更機能を使用して車線を変更する：

- 目標車線への移動が安全で適切であることを確認するために目視チェックを行います。
- 方向指示器を動かし、両手をハンドルに置き、車線変更を開始します。

自動車線変更機能は、次の条件が満たされた場合、方向指示器が示す隣接した車線に Model X を移動するアシストを行います：

- 自動車線変更機能は、手がハンドルに置かれていることを検知している。
- 自動車線変更機能の設定がオンになっている。
- 方向指示器を作動している。
- オートステアリングが Model X のステアリング操作をしている。
- 超音波センサーは、目標車線の中心線までの間に車両や障害物を検出していない。
- この車線区分線は車線変更が行えることを示します。
- カメラの視界が遮られていない。
- レーンアシストが死角に車両を検出していない（[レーンアシスト](#) - 91 ページを参照）。
- 車線変更の途中で、自動車線変更機能は目標車線の外側車線マーカーを検出できます。
- 最低運転速度は時速 45 km

車線変更を実行中に、追い越し加速が作動し Model X が前方の車両に近づくように加速します（[追い越し加速](#) - 79 ページを参照）。車線変更の途中で、自動車線変更機能は目標車線の外側車線マーカーを検出できなければなりません。この車線マーカーが検出できない場合は、自動車線変更機能とオートステアリングの両方がキャンセルされます。

注： 自動車線変更機能は 1 度に 1 車線ずつ移動するアシストを行います。さらに車線を変更する場合は、最初の車線変更が完了した時に方向指示器を再度作動させる必要があります。

⚠ 警告： 自動車線変更機能が車線変更の途中で目標車線の外側マーカーを検出できない場合は、自動車線変更機能とオートステアリングの両方がキャンセルされます。計器パネルは、ただちにハンドル操作を引き継ぐように指示するメッセージを表示します。

自動車線変更機能が作動している時は、前方の運転経路と周囲の状況を注視し、自動車線変更機能の動作を見守ることが重要です。いつでもハンドルを引き継げるように準備しておいてください。計器パネル上に、車が横切っている車線が青い点線で表示され、次のレーンに移り終わると、車線マークは青い実線で表示されます。



自動車線変更機能が最適な性能を発揮できない場合、またはデータが不十分なために機能しない場合、計器パネルが連続した警告を表示します。自動車線変更機能の使用中は、常に計器パネルに注意を払い、必要に応じて常時 **Model X** のハンドルを手動で制御できるようにしておく必要があります。

警告： 自動車線変更機能が **Model X** のステアリングをアシストしている操舵している場合、ハンドルもそれに応じて動きます。両手は必ずハンドルに置かれておかなければなりません。ステアリングホイールの動きを制限すると自動車線変更機能はキャンセルされます。

自動車線変更機能のキャンセル

自動車線変更機能は、走行中の車線のマーカーを **Model X** が超える前に手動でステアリングホイールを操作するかブレーキペダルを踏む、または方向指示器を取り消した場合にキャンセルされます。

自動車線変更機能を無効にするには、「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」>「自動車線変更」>「Off」の順にタッチします。

制限事項

自動車線変更機能は、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 自動車線変更機能が車線マーカーを正確に判別できない。たとえば、車線マーカーが過度に摩耗している、道路工事のために車線マーカーを調整している、車線マーカーが短区間で変更されている（車線の分岐、交差、合流）、車線マーカーに物体や景観物が影を落としている、あるいは道路の表面に舗装の継ぎ目あるいは他のコントラストの高い線がある。
- 方向指示器を作動させた時に側方衝突警告がアクティブになっている（[レーンアシスト](#) - 91 ページを参照）。
- 道が鋭くカーブしている場合。
- 視界不良（豪雨、降雪、濃霧など）あるいは気候条件がセンサーの動作を妨げている場合。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- センサーあるいはカメラが破損しているか遮られている（たとえば、泥、霧、氷あるいは雪などによる）。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている。
- 走行している **Model X** が前方の車両に近づきすぎて、カメラの視野がふさがっている場合。

警告： 様々な不測の事態によって、自動車線変更機能が妨害される場合があります。そのことに留意し、**Model X** のオートステアリングによる操舵アシストが適切にできないことがあることに留意してください。常に運転に注意

を払い、いつでも即座にステアリングを引き継ぐことができるようにしてください。

Model X にドライバーアシストのコンポーネントが装備されている場合（**ドライビングアシストについて** - 75 ページを参照）で、自動運転機能付きテックパッケージを購入している場合は、オートパーキングは超音波センサーとグローバル ポジショニング システム（GPS）からのデータを使用して以下を行います：

- 一般道路で Model X を操作して、縦列駐車や直角駐車スペースに駐車します。**一般道路での駐車** - 87 ページを参照してください。
- 一般住宅では、車外から Model X をパーキングまたは出庫させることができます。**サモンの使用** - 89 ページを参照してください。

⚠ 警告： サモンは、ベータ版の機能です。この機能を使用する時は注意して使用し、いつでも運転が引き継げるよう準備して待機してください。

⚠ 警告： オートパーキングのパフォーマンスは、超音波センサーが他の車両、物体、縁石などにどのくらい接近しているかにより左右されます。

一般道路での駐車

運転中、オートパーキングで、Model X を駐車スペースに駐車するには以下のステップに従ってください。

1. 15 mph（時速 24 km）時速 24 km 未満で走行している場合、オートパーキングが駐車可能なスペースを検出しているかを計器パネルで確認します。オートパーキングが駐車スペースを検出する時、計器パネルにパーキングアイコンが表示されます。オートパーキングは 24 km/h 以下で運転している時に縦列駐車できる場所を検出します。直角駐車できる場所の場合は、時速 16 キロ以下で運転している時に検出します。



注： パーキングアイコンは、車両の位置および/または車両の周囲で適切な運転経路を検出した時のみ表示されます。オートパーキングが適切な経路を検出できない場合（例えば、幅の狭い道路で駐車スペースに入ろうとすると車両の前部が隣接する車線をはみ出してしまうなど）は、車両の位置を変えるか、他の駐車スペースを探るか、手動で駐車してください。

注： 指示された速度で運転しているにもかかわらず、駐車ができそうな場所でオートパーキングアイコンが表示されない場合、オートパーキングがキャリブレーション中である可能性があります。Model X が新車の場合またはタイヤ交換を行った場合、オートパーキングのキャリブレーション処理が必要です（**キャリブレーション** - 88 ページを参照）。

2. 検出された駐車スペースが適切かつ安全であることを確認します。確認したら、縦列駐車と同様に車両を前に出し、駐車スペースの前方、車 1 台分のところに車を停車させます。
3. ハンドルを離し、シフトレバーを「R」にしてからタッチスクリーンの「**オートパーキング開始**」をタッチしてください。
4. パーキングが完了したら、オートパーキング画面に「完了」のメッセージが表示されます。

センサーのデータが不適切でオートパーキングを使用できない場合は、計器パネルに Model X を手動でパーキングすることを求める警告メッセージが表示されます。

注： オートパーキングが Model X の駐車中にドライバーがブレーキを踏むと、タッチスクリーンの**復帰**ボタンが押されるまで、駐車動作は停止します。

注： オートパーキングは、最少でも幅が 2.9 メートルあって両側に他の車両が駐車されている直角駐車



が出来るような場所を検出します。オートパーキングは、最少でも幅が 6 メートル、最大の長さが 15 メートル以下で縦列駐車ができそうな場所を検出します。オートパーキングは斜め駐車スペースには対応していません。

警告: 決してオートパーキングに任せきりにせず、合法的で、適切で、安全な駐車スペースを見つけてください。オートパーキングでは、常にパーキングスペースの目標物を検出できるとは限りません。駐車スペースが適切かつ安全であることを、常に目で見て確認してください。

警告: Model X のオートパーキングが作動している時、ハンドルはオートパーキングによる調整に従って動きます。ステアリングホイールの動きを邪魔しないようにしてください。ハンドルの動きを妨げると、オートパーキングがキャンセルされます。

警告: パーキング中は、常時周囲に目を配ってください。いつでもブレーキをかけて車両や歩行者や物体を避けられるようにしてください。

警告: オートパーキング作動中はタッチスクリーンや計器パネルにも目を配り、オートパーキングからの指示を認識できるようにしてください。

キャリブレーション

駐車動作中、オートパーキングは Model X を正確に誘導しなければなりません。このため、オートパーキングを使用する前にキャリブレーション処理を完了する必要があります。キャリブレーション処理には、走行状況に応じて 30 分〜数日間かかります。オートパーキングがキャリブレーション中の時は、ドライビングアシスト設定画面にキャリブレーション中であることを示すメッセージが表示されます。キャリブレーションが完了すると、メッセージが消えオートパーキングが利用できるようになります。

注: オートパーキングはタイヤ交換をするたびにキャリブレーション処理を行います。

パーキングをキャンセルする

駐車動作中、ハンドル操作を行ったり、ギアチェンジを行ったりするとオートパーキングがキャンセルされます。オートパーキングは以下の場合でもキャンセルされます:

- パーキングのシーケンスが最大 7 つの動作を超えた場合。
- 運転席のシートベルトが外れた場合。
- ドアが開いた場合。
- ドライバーがアクセルペダルを踏んだ場合。
- ドライバーがブレーキペダルを 2 度続けて踏んだ場合。

パーキングを一時停止する

オートパーキングを一時停止させるには、ブレーキペダルを一度踏んでください。Model X は停止し、タッチスクリーンにある「再開」を押すまで停止し続けます。

制限事項

オートステアリングは、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 道路に角度がある。オートパーキングは平らな道路のみで動作するよう設計されています。
- 視界が悪い (激しい雨、雪、霧など)。
- 縁石が石以外のものでできている場合、または縁石が検出できない場合。
- 1 つまたは複数の超音波センサーが損傷していたり、汚れていたり、泥、氷、雪などで覆われている。
- 気象条件 (豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温) がセンサーの動作を妨げている。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている。

警告: 予期しない状況により、オートパーキングで Model X を駐車できないことがあります。この点に留意し、結果的にオートパーキングでは Model X を適切に駐車できない場合があることに留意してください。Model X のパーキング時には注意を怠らず、いつでもすぐに制御ができるようにしてください。

サモンの使用

注: サモンは、ベータ版の機能です。サモンは、周囲の状況が予測しやすいため私有地でのみ使用するように設計されています。サモンを実行している時は、絶えず車両を監視しなければなりません。この機能が安全に、その用途のために使用されることはドライバーの責任となります。

サモンは、モバイル アプリを使用して、車外から Model X を駐車スペースから出し入れすることができます。超音波センサーからのデータを使用して、サモンは Model X を前進、後進させて駐車スペースに駐車させます。パーキングが完了すると、サモンは Model X をパーキングにシフトチェンジします。パーキングは以下の状況で完了します：

- Model X が運転経路に障害物を検出した場合（選択した距離以内で）。
- サモンが Model X を最大移動距離 12 メートル移動させた場合。

または

- 後進の場合は、呼び出し機能が最大**サモン距離**に到達した場合。

サモンを使用するには：

- 初めて使用する時のみ：サモンを有効にして、その挙動をカスタマイズしてください（**サモン機能のカスタマイズ** - 89 ページを参照）。
- 駐車するために Model X を所定の位置に置きます（**駐車するために車両を所定の位置に置く** - 90 ページを参照）。
- モバイルアプリ、オートパーキングを開始してください。以下、それぞれの方法の詳細な説明を示します。

オートパーキングで駐車させからパーキングギアが動かされていなければ、サモンで Model X を元の位置に戻すことができます。モバイルアプリを使用して、簡単に反対方向を指定するだけです。サモンは、周囲の状況が全く変わっていない（例、障害物が増えているなど）、車両を元の運転経路上で動かします。障害物が検出された場合は、Model X はそれを避けてなるべく同じ経路をとるように移動します。

オートパーキング中にサモンをキャンセルして Model X を停止させたい場合、キーにあるいずれかのボタンを押すか、モバイルアプリを使用する、または（車内にいる場合は）ステアリングハンドル、ブレーキペダル、アクセルペダル、またはギアスティックを操作してください。

注: サモンに、同じ方向へ数回動いてもらいたい場合、最大移動距離 12 メートルまで、呼び出しをキャンセルし、再度パーキングプロセスを開始して、同じ方向を選択してください。

注: これに加え、サモンは障害物を避けるために Model X を横方向に動かすことができますが、これにより同じドライビングパスに車両を戻すことはしません（例えば、オートパーキングは障害物を回り込んで Model X を動かすことできません）。

⚠ 警告: Model X は、フェイシアより低い位置にある物体、幅の狭い物体（例、自転車など）、または天井からぶら下がっている物体などを検知できません。これに加え、予期できない状況でオートパーキングが車両を駐車スペースから出し入れできなくなり、Model X を適切に操作できなくなることがあります。このため、車両の動きや周囲の状況を常に監視し、いつでもキーのいずれかのボタンを押して Model X を停止できるよう準備して待機する必要があります。サモンをキャンセルして Model X を停止するには、モバイルアプリを使用するか、またはドアハンドルを押すか（車内にいる場合）、ハンドル、ブレーキペダル、アクセルペダル、またはギアスティックなどを操作してください。

サモン機能のカスタマイズ

サモンを操作する前に、タッチスクリーンで有効にしてください。「コントロール」>「設定」>「ドライバーアシスト」>「サモン」>「オン」の順にタッチしてください。

その後、「カスタマイズ」をタッチして、サモンがどのように車の出し入れを行うかを指定します。

- **バンパークリアランス:** サモンが物体を検出して停止する距離を設定してください。例えば、ガレージの壁から数インチ以内でサモンを停止したい場合など。この距離は車両の真正面にある物体（前進している場合）または真後ろにある物体（後進している場合）のみに適用されます Model X
- **サモン距離:** Model X が駐車スペースからバックで出る時の移動距離をコントロールします。



- ・ **サイドクリアランス:** Model X を非常に狭い駐車スペースに入出入りを許可します。

⚠ 警告: 狭いスペースに駐車することは、センサーが障害物の位置を正確に検出する能力を制限するため、Model X または周囲にある物体に損傷を与えるリスクがあります。

注: サモンに関連するすべての設定は、手動で変更するまで保持されます。

駐車するために車両を所定の位置に置く

Model X を前進または後進して駐車スペースに入れられるよう Model X を駐車スペースに横方向向かって合わせてください。また、サモン機能が Model X を移動できる最大距離となるため、Model X を駐車スペースから 12 メートル以内に停車させる必要があります。

当てはまる場合、ガレージドア。

注: サモンは、突起したコンクリートの端部が約 2.5 cm を超えない、平坦なドライブウェイのみで使用してください。

モバイルアプリでサモンを操作する

モバイルアプリでは、呼び出しを開始して、前進または後進ボタンを長押しして Model X を駐車スペースに移動させます。

サモンは、Model X を「D」位置または「R」位置にシフトチェンジして（指定した進行方向による）、駐車スペースに移動します。

サモンの停止またはキャンセル

サモンが実行されている間、キーのいずれかのボタンまたはモバイルアプリを使って、いつでも Model X を停止することができます。サモンは以下の場合でもキャンセルされます。

- ・ ドア ハンドルが押されている、またはドアが開いている場合。
- ・ ステアリングハンドル、ブレーキペダル、アクセルペダル、またはギアスティックなどを操作します
- ・ Model X が物体を検出し、2 秒以上前進できない場合。
- ・ サモンが、Model X を最大移動距離約 12 メートル動かししました。

制限事項

サモンは、以下の状況では設計どおりに動作しない可能性があります。

- ・ 道路が傾斜している場合。サモンは平らな道路のみで動作するよう設計されています。
- ・ サモンが、駐車位置に向かって前進している時に突起したコンクリートの端部を検出しました。サモンは、端部が約 2.5 cm 以上であると前進しません。
- ・ 1 つまたは複数の超音波センサーが損傷していたり、汚れていたり、泥、氷、雪などで覆われている。
- ・ 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）がセンサーの動作を妨げている。
- ・ センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている。
- ・ Model X がトレーラーモードになっている、またはアクセサリ Hitch が取り付けられている

⚠ 警告: 前記のリストはオートパーキングのサモンの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。Model X を常にコントロールできる状態であることは、ドライバーの責任です。サモンが Model X を動かしている時その動きに注意を払い、素早く行動できるようにしてください。

Model X にドライビングアシストのコンポーネントが装備されている場合（**ドライビングアシストについて** - 75 ページを参照）、前方監視カメラが走行している車線のマーカーを監視し、超音波センサーが車両周囲やブラインドスポット、隣の車線にいる車両または障害物の存在を監視します。

物体がブラインドスポットで検知された、または Model X の側面側に物体が近接している場合（車両やガードレールなど）、計器パネル上の Model X の画像に放射状に色の付いたラインが表示されます。検出された物体の位置に対してラインが表示されます。ラインのカラー（白、黄、オレンジまたは赤）は、Model X に対する物体の近さを表します。白はまだ物体が遠くあることを示し、赤になると物体がごく近くまで接近したことを示すため、ただちに注意を払う必要があることを示します。この色の付いたラインは、約時速 16 km ~ 140 km で走行している時のみ表示されます。オートステアリングが有効になっていれば、この色付きラインは低速走行中や Model X が停止した場合でも表示されます（交差点や渋滞など）。



レーンアシストは、方向指示器を出さずにフロントホイールが車線をを超えて不用意に車線から逸脱するとハンドルをわずかに振動させてドライバーに警告を出します。この警告は、約時速 70 km を超える速度で走行している場合のみ動作します。この警告をオン、オフするには、「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」>「車線逸脱警報」をタッチします。選択した設定は、手動で変更されるまで保持されます。設定は、ドライバーのプロフィールにも保存されます。

上記の警告に加えて、Model X が車両などの物体が検出されている隣接する車線に進入しようとする（あるいは近づいたりすると）、レーンアシストはステアリングに介入することがあります。つまり、このような状況のとき、Model X は自動的にステアリングを制御して、現在の走行車線内の安全な位置に移動します。このステアリングによる運転の介入は、車線マーカーがよく見える主要道路を Model X が時速 70 km ~ 140 km で移動しているときのみ作動します。レーンアシストがステアリングで運転に介入する時、計器パネルで警告メッセージを短い時間表示します。

⚠ 警告：ステアリング介入は最小限しか行われず、Model X を走行車線外に移動させることはありません。側面衝突を避けるためにステアリング介入に頼ることはしないでください。

⚠ 警告：レーンアシストは誘導のみを目的としており、運転者の目視による確認の代わりになるものではありません。走行車線から逸脱していないか、車両や物体がブラインドスポットにあるかどうか、あるいは自車両横に近接していないかの確認のために、レーンアシストのみに頼らず、必ずドライバー自身が確認してください。レーンアシストの性能を低下させる外部要因がいくつかあります。常に注意を怠らず、走行車線に注意を払い、他の車両に注意することはドライバーの責任です。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

⚠ 警告：レーンアシストは、車線を検知するように設計されているため、縁石のない道路の辺縁を検知しない場合があります。注意深く運転し、車線内に留まることはドライバーの責任です。

⚠ 警告：車線を変更する場合は、必ず事前にサイドミラーを見たり、肩越しに後ろを振り返ったりして、自分の目で移動先車線を確認してください。レーンアシスト警告はいくつかの要因によって影響を受け、警告が出なかったり、誤ったものになったりする可能性もあります（下記の「制限および不正確な記述」参照）。

制限および不正確な記述

レーンアシストは、車線区分線を確実に検出できるとは限りません。以下のような場合に、不要あるいは無効な警報が出されることがあります：

- ・ 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。超音波センサーの厳密な検出ゾーンの幅は環境条件によって変わります。
- ・ 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- ・ Model X の前方を走行している車両が、カメラの視界を遮っている。



- フロント ガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている（くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど）。
- 車線区分線が摩耗しすぎている、道路工事のために変更されている、または急に変化している（たとえば、車線が分岐、交差、または合流している）場合。
- 道路がせまく、曲がりくねっている場合。
- 車線区分線上に影を落とすような物体や景観物がある場合。

以下の場合、レーンアシストが警告を出さなかったり、誤った警告を出したりすることがあります：

- 1つまたは複数の超音波センサーが損傷していたり、汚れていたり、泥、氷、雪などで覆われている。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）がセンサーの動作を妨げている。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている。
- Model X に取り付けられている物体（バイクラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。

さらに、以下の状況では、Model X を隣の車両から離れるようにステアリング操作しなかったり、不要なステアリング制御をする場合があります：

- Model X が急カーブを走行中か、比較的高速でカーブを曲がっている。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- 隣のレーンにふらついたが、物体（車両など）が存在しない。
- 隣のレーンにいる車両が前に割り込むかあるいは自分の車線にふらついてきた。
- Model X が時速 70 km 未満または 140 km 超で走行している。
- 1つまたは複数の超音波センサーが損傷していたり、汚れていたり、泥、氷、雪などで覆われている。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）がセンサーの動作を妨げている。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている。
- Model X に取り付けられている物（自転車ラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。
- 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。
- 車線区分線が摩耗しすぎている、または道路工事のために変更されている、または急激に変化している（車線が分岐、交差、または合流している、など）場合。

たものではありません。レーンアシストが正しい警告を出すことができなくなる理由は他にも数多くあります。Model X の運転中は、衝突を回避するために警戒を怠らず、常に道路の状況に注意を払い、できるだけ速やかに回避行動を行えるようにしてください。



注意：レーンアシスト システムが故障した場合、Model X は警告を表示します。テスラサービスにお問い合わせください。



警告：上記は、レーンアシスト警告の正しい動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅し

ドライビングアシスト コンポーネントを装備している Model X (ドライビングアシストについて - 75 ページを参照) は、次に挙げる衝突回避機能が乗員の安全性を高めるように設計されています。

- 正面衝突警告システムは、正面衝突の危険が高い状況で視覚的および音声的な警告を行います (正面衝突警告システム - 93 ページを参照)。
- 自動緊急ブレーキは、正面衝突の衝撃を緩和するためにブレーキを自動的に効かせます (自動緊急ブレーキ - 93 ページを参照)。

⚠ 警告： 正面衝突警告は運転補助の目的のみに作られており、注意深い運転や適切な判断に代わるものではありません。走行中は常に道路に注意を払い、正面衝突警告に頼らずに衝突を回避するように心がけてください。性能はさまざまな要因によって低下するが妨げられ、不必要または不正確な警告を行う、あるいは警告を行わない可能性があります。衝突危険性の探知を正面衝突警告のみに頼ることで、重大な事故や死亡事故が発生する恐れがあります。

⚠ 警告： 自動緊急ブレーキは、衝突を防止するために設計されたものではありません。最善の場合でも、走行スピードを落とすことによって正面衝突の衝撃を最小限にいくとめるにすぎません。衝突回避を自動緊急ブレーキに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

正面衝突警告システム

前方監視カメラとレーダー センサーによって、車両、自転車、歩行者がいないか、Model X 正面の領域がモニターされます。ドライバーがとっさの是正行動をとらず衝突しそうな場合、正面衝突警告がチャイムを鳴らし、計器パネルには前の車が赤く警告表示されます。



警告は衝突の危険性が低くなったとき自動的に停止します (たとえば Model X を減速または停止した場合や、前方の車両が X の進路から外れた場合など)。

Model X が正面衝突警告を発したときにとっさの行動がとられない場合、衝突の危険が差し迫っていると判断され、自動緊急ブレーキが自動的にブレーキをかけます (有効な場合) (自動緊急ブレーキ - 93 ページを参照)。

初期設定では正面衝突警告はオンになっています。正面衝突警告をオフにする、または感度を調整するには、「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」>「正面衝突警告」の順にタッチします。標準設定の「中間」のほか、警告を「OFF」、「遅め」または「早め」に設定することができます。

注： 正面衝突警告用に選択した設定は、手動で変更されるまで保持されます。ドライバー プロフィールにも保存されます。

⚠ 警告： 正面衝突警告に関係するカメラやセンサーは、走行ルート上およそ 160 メートルの範囲を監視するよう設計されています。正面衝突警告システムは道路や気象条件によって悪影響を受ける場合があります。運転時には適切な注意を払ってください。

⚠ 警告： 正面衝突警告は視覚的および音声的な警告を行うために設計されています。ブレーキを作動させたり、Model X を減速させるものではありません。警告を見たり聞いたりしたときに、ただちに是正措置をとるのはドライバーの責任です。

⚠ 警告： 正面衝突警告システムは、衝突の危険性がないにも関わらず誤って警告することがあります。常に警戒を怠らず、Model X の前方に注意を払い、何かアクションが必要ではないか予測してください。

⚠ 警告： 正面衝突警告は Model X が時速 7 km 未満で移動しているときには動作しません。

⚠ 警告： 正面衝突警告は、ドライバーがすでにブレーキを踏んでいる時警告を出しません。

自動緊急ブレーキ

前方監視カメラとレーダーセンサーは、Model X の前方で移動している物体 (車両、オートバイ、自転車または歩行者) からの距離を測定するように設計されています。自動緊急ブレーキは正面衝突が不可避と見なされたときに、ドライバーがすでにブレーキをかけていたとしても、自動的にブレーキをかけ、衝突の衝撃を和らげるように設計されています。

自動緊急ブレーキがかかると、計器パネルに警告が表示され、警告音も鳴ります。ブレーキ ペダルが急に下がるのにも気がつくでしょう。ブレーキ ライトも点灯し、他の道路ユーザーに減速中であることを知らせます。

A 緊急ブレーキ操作が進行中です



自動緊急ブレーキで走行速度が時速 40 キロ低下すると、ブレーキは解放されます。たとえば、時速 90 キロで走行中に自動緊急ブレーキがかかると、それによって速度が時速 50 キロまで低下したときにブレーキは解放されます。

自動緊急ブレーキは時速 8 ~ 140 km で走行中のみ作動します。

自動緊急ブレーキは以下の状況でブレーキをかけたり、その反対にブレーキをかけることを防ぎます：

- ドライバーが急ハンドルを切った場合。
- ドライバーがアクセルペダルを踏んだ場合。
- 車両、オートバイ、自転車、または歩行者もはや前方に検出されなくなった場合。

Model X を始動すると自動緊急ブレーキは常に有効になります。これを一時的に無効にするときは、「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」>「自動緊急ブレーキ」>「無効化」にタッチします。

警告：自動緊急ブレーキは無効にしないことを強く推奨します。無効にすると、Model X は衝突不可避と見られる状況でも自動的にブレーキをかけません。

警告：自動緊急ブレーキは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するようには設計されていません。

警告：自動緊急ブレーキは、いくつかの要因によって、かからなかったり、不十分になったり、タイミングがずれたりすることがあります。どのような場合にも、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。決して自動緊急ブレーキに頼って衝突の衝撃を回避または緩和しようとししないでください。

警告：自動緊急ブレーキは正面衝突の衝撃だけを緩和するように設計されており、Model X が後進中は機能しません。

警告：自動緊急ブレーキは、前方の車両との安全な車間距離を維持する代わりになるものではありません。

警告：自動ブレーキが作動すると、ブレーキペダルが急に下がります。ブレーキペダルは常に自由に動くようにしておいてください。Tesla 標準の運転席フロアマット（追加のマットも含め）の上には物を置かないようにして、常に運転席のフロアマットは正しく固定されているようにしてください。これを怠ると、ブレーキペダルの自由な動きが妨げられることがあります。

注：自動緊急ブレーキの作動を事前に通知するため、正面衝突警告がオンになります（[正面衝突警告システム](#) - 93 ページを参照）。オンになっていると、衝突が起こりそうだと判断されたときにチャイムが鳴り、計器パネルの中央に衝突警告が表示され

ます。そこで、ただちに是正措置をとらなければ、衝突切迫と見なされ、自動緊急ブレーキがかかり、走行速度が落ちます。自動緊急ブレーキが有効になっていると、たとえ正面衝突警告がオフになっていても、衝突不可避と見なされれば、常にブレーキがかけられます。

制限および不正確な記述

衝突回避機能は車両、自転車または歩行者を確実に検知できるものではなく、特に以下の場合を含むさまざまな理由から不必要、不正確な警告あるいは見逃しが起こる場合があります。

- 道が鋭くカーブしている場合。
- 視界が悪い（激しい雨、雪、霧など）。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- レーダーセンサーが遮られている（汚れ、カバーなど）。
- フロントガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている（くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど）。

警告：前記の制限事項は衝突回避補助機能の正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。これらの機能はその他の多くの理由でも当初の機能を発揮しない場合があります。ドライバーは、衝突を回避するために常に Model X の周囲に注意を払い、必要に応じて素早く是正措置が取れるようにする必要があります。

注意：衝突回避補助機能が故障した場合は、Model X に警告が表示されます。Tesla サービスにお問い合わせください。

スピードアシストの動作原理

自動運転コンポーネントが装備されている Model X では(「[ドライビングアシストについて](#)」 - 75 ページを参照)、前方監視カメラが速度制限標識を検出します。速度制限標識を分析し、GPS データと比較して、現在の運転場所での速度制限を決めます。標識のないルートでは、GPS データ(使用可能な場合)を使って速度制限を決めます。標識と GPS データに基づいて速度制限を決める代わりに、手動で任意の速度制限を入力することもできます。

スピードアシストがオンになっていると(以下に説明)、計器パネルに速度制限サインが表示されます。この制限を超えると、(以下に説明)警告が発動します。



スピードアシスト機能が速度を検出できない場合(例えば、速度標識と GPS データが現在位置で利用できない場合)や制限速度が正しいかどうかわからない場合(例えば、最初に速度標識が認識されてからしばらくの間次の標識が認識されない場合)、計器パネルに制限速度は表示されず、速度警告を発しません。

制限速度警告を「表示」に設定している場合(「[スピードアシストの制御](#)」 - 95 ページを参照)、計器パネルの速度制限サインはその速度制限を超えた時点で拡大表示されます。

制限速度警告を「チャイム」に設定し(「[スピードアシストの制御](#)」 - 95 ページを参照)、制限速度を超えた場合、警告チャイムが鳴ります。

注: 速度制限警告は 10 秒後または Model X が制限速度未満に減速すると解除されます。

⚠ 警告: 適切な速度制限を決めるためにスピードアシストに頼らないでください。常に交通条件と道路条件に基づいて安全速度で運転してください。

スピードアシストの制御

スピードアシストをオン/オフするには、「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」>「制限速度警告」の順にタッチします:

- 「OFF」。制限速度警告は計器パネルに表示されません。
- 「表示」。速度制限サインは計器パネルに表示され、その制限を超えたときに拡大表示されます。
- 「チャイム」。視覚的な表示に加えて、速度制限を超えるたびにチャイムの音を鳴らします。

速度制限をどのように決めるかを指定することもできます。

- 「**相対**」。速度制限は、検出された交通標識と GPS データに基づいて決められます。必要に応じて速度制限を指定した分だけ超えるときに警告を出したい場合は、速度制限のオフセット値(+ または -)を設定できます。たとえば、速度制限を時速 10 km 超えるときだけ警告を出したい場合、オフセット値を時速 10 km 上げます。
- 「**絶対**」。時速 30 から 240 km の間で速度制限を手動で指定します。

注: GPS データは必ずしも正確ではありません。GPS は道路の位置判断を誤って、隣接した道路の速度制限の異なる速度制限を提示することがあります。たとえば、Model X が高速道路にいると GPS が推測しても、実際には近くの一般道路を走っていることも、またその逆もあり得ます。

注: 選択した設定は、手動で変更されるまで保持されます。ドライバー プロフィールにも保存されます。

制限および不正確な記述

スピードアシストは完全に機能しないことがあり、以下のような場合に不正確な情報を提示することがあります。

- 視界が悪く、速度制限標識がはっきり見えない(豪雨、降雪、霧など)。
- 明るい光(対向車のヘッドライトや直射日光)がカメラの視野を妨げている。
- 走行している Model X が前方の車両に近づきすぎて、カメラの視野がふさがっている場合。
- フロント ガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている(くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど)。
- 速度制限標識が何かで隠れている。



- GPS データベースに保存されている速度制限は不正確で古い情報です。
- Model X が GPS データを使えない地域を走行している。
- 交通標識が標準的な認識できる形式と一致しない。
- 道路や速度制限が最近変わった。



警告：前記のリストは自動運転コンポーネントの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。スピードアシスト警報が正しい警報を発することができなくなる理由は他にも数多くあります。



大画面

ここでは、タッチスクリーンの各部について説明します。明るさとコントラストを手動で調節するには、「**コントロール**」>「**スクリーン**」の順にタッチします。「**自動**」に設定すると、周囲の明るさに応じてタッチスクリーンの「昼」（明るいバックグラウンド）と「夜」（暗いバックグラウンド）が自動的に切り替わります。

注：以下の図は説明のみを目的としています。タッチスクリーンは、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



タッチスクリーンの概要





1. ステータスバー

一番上の行には **Model X** のロック/アンロック、ドライバープロフィール、車両情報 (Tesla の「T」、ソフトウェア アップデートのダウンロード、Bluetooth® の状態 Wi-Fi 設定、助手席エアバッグ設定のショートカットがあります。警告アイコン (! マーク) が表示された場合、それにタッチして現在有効な警告メッセージを確認してください。

注: エアバッグのステータス記号は、**Model X** の電源が入っているときだけ表示されます。

注: 計器パネルに時刻と外気温を表示することもできます。ハンドルのスクロール ホイールを操作して、**時計**を選択してください ([ハンドル](#) - 42 ページを参照してください)。

注: ロック アイコンをタッチして全てのドアをロック/アンロックします。運転席のドアのロックのみが解除されている場合 (例えば「**ドア アンロックモード**」が**運転席**に設定されている)、ロック アイコンはアンロックされている状態で表示され、それをタッチするとすべてのドアをロックします。「**ドア アンロックモード**」の詳細は、[ドア](#) - 4 ページを参照してください。



2. アプリ

アプリをタッチしてそれを表示エリアに表示させます。アプリには既定の位置があります。ナビゲーションとカメラは表示エリア最上部に現れ、その他のアプリは表示エリアの下部に現れます。アプリを既定の表示エリアに表示させる代わりに、アプリのアイコンをタッチして表示エリアのお好きな場所にドラッグすることで表示位置を変えられます。



メディア： [メディアとオーディオ](#) - 117 ページを参照してください。



マップとナビゲーション (装備されている場合)。 [地図とナビゲーション](#) - 124 ページを参照してください。

注：ドライブギアが入っている時に地図を表示エリア上部 (または全体) に表示している場合、上部のステータス バーとアプリ バーは数秒で非表示となり、地図が最大化されます。それらを再表示するには、地図をタッチします。



カレンダー： [カレンダー](#) - 127 ページを参照してください。



エネルギー： [航続距離を最大限に伸ばす](#) - 67 ページを参照してください。



ウェブ：ウェブブラウザを使ってインターネットにアクセスします (装備されている場合)。



カメラ：Model X の後ろ側のエリアを映し出します。リバースにシフトしたときは必ずこのエリアが映し出されます。 [リア ビュー カメラ](#) - 68 ページを参照してください。



電話： [電話](#) - 122 ページを参照してください。

3. 主表示エリア

選んだアプリによって、主表示エリアの内容が変わります。アプリ (ナビやウェブなど) によっては、タッチスクリーンの一般的な指操作によって拡大、縮小ができます。

4. アプリの最大化/最小化

小さい四角型にタッチすると、対応するアプリが主表示エリアいっぱいに表示されます (拡大できないアプリもあります)。もう一度タッチすると、ふたつのアプリが画面の半分ずつに表示されます。



5. 音量調節

上向き矢印と下向き矢印にタッチしてスピーカーの音量を上げたり下げたりします。ハンドルの左側にあるスクロールホイールを使って音量を調節することもできます。

6. 温度調整 (温度調整 - 110 ページを参照)。

7. コントロール

タッチして、Model X のすべての制御や設定 (ドア、ロック、ライトなど) にアクセスします。

8. 現在表示されている 2 つのアプリの位置を入れ替えます。

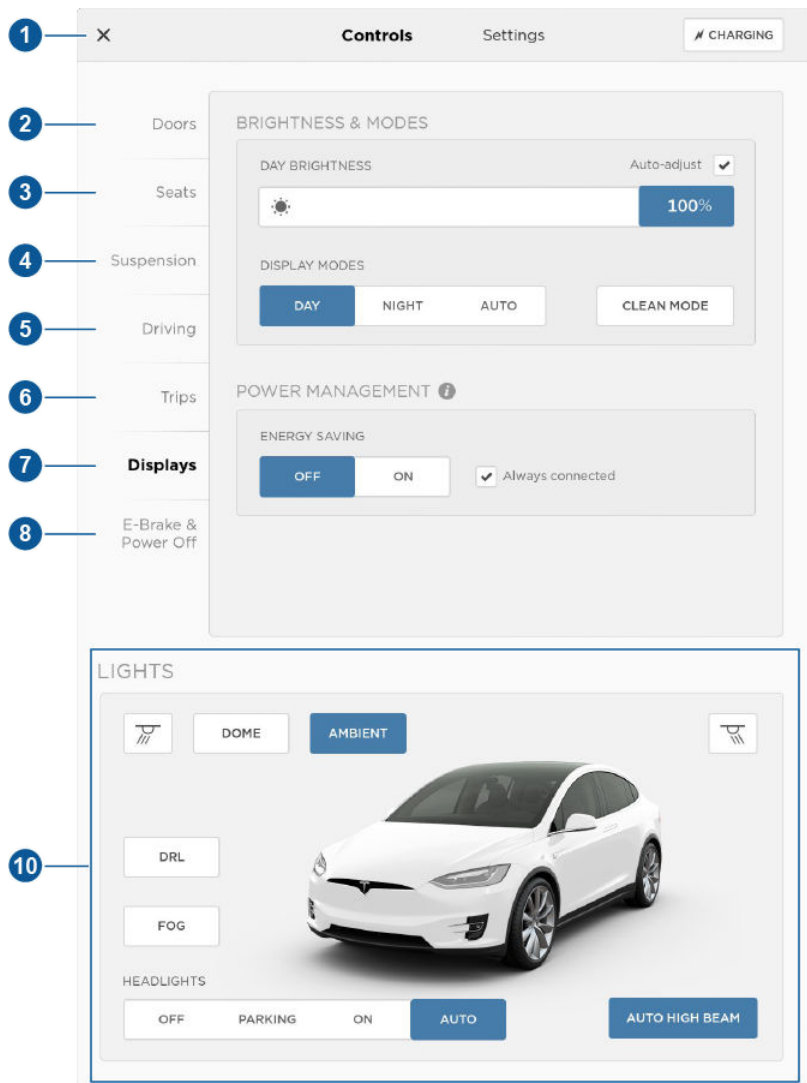
 **警告:** 運転者は、常に道路と交通状態に注意を払うことを最優先してください。車両乗員および道路歩行者の安全を確保するため、道路と交通状態が許す限りにおいてタッチスクリーンを操作してください。



機能のコントロール

タッチスクリーンの下隅にある「コントロール」にタッチして、Model X のすべての主要な機能のコントロールとカスタマイズを行います。

注：以下の図は説明のみを目的としています。コントロール画面で利用可能な機能は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



1. 閉じる

ウィンドウを閉じるには、ウィンドウ左上の丸囲みの X にタッチします (または、ウィンドウの外側の任意の場所をタッチします)。

2. ドア

タッチしてドアを開閉します。

3. シート

タッチして 2 列目シートを前後に動かします。

4. 寒冷地設定

Model X に寒冷地オプションが搭載されている場合、全座席のヒーターとヒートッドワイパーおよびヒートッドステアリングホイールを調節できます。オンになっているヒーターは赤色で表示されます。すべてのヒーターをオフにするには、「すべて OFF」にタッチします。さらに、タッチスクリーンの下にある主温度調整パネルを使って運転席と助手席のシートヒーターを調節できます (温度調整 - 110 ページを参照)。

5. サスペンション

Model X にスマートエアサスペンションが装備されている場合、タッチして Model X を手動で上下させるか、保存されている車高オート上昇場所を削除することができます (スマートエアサスペンション - 115 ページを参照)。サスペンションの設定を変更するには、Model X の電源がオンになっている状態でブレーキペダルを踏む必要があります。スマートエアサスペンションは、電源がオンになっていない場合も、Model X を水平に保ちます (セルフレベルリング)。そのため、牽引やジャッキアップの際にはセルフレベルリングを無効にする必要があります (ロードサービスご利用の注意 - 172 ページ および ジャッキアップと引き上げ - 158 ページを参照)。

6. 運転モード

- ステアリングモード

ハンドルを回すのに必要な力を調節します。「スポーツ」に設定するとより素早い反応が得られ、「コンフォート」に設定すると運転や駐車操作がより容易になります (ハンドル - 42 ページを参照)。



- 加速（パフォーマンス デュアルモーター車両のみ）

加速レベルを選択します。「スポーツ」は通常レベルの加速設定です。ドライビング レンジを最大化することができます。インセインを選択するとピークトルクが約 30% 増加し、LUDICROUS を選択すると約 60% 増加します。

インセインまたは Ludicrous を選択すると、直ちに出力が増加します。しかし、絶対的な最大出力（短時間で使用するよう設計されています）を得るには、加速設定のすぐ下で青い文字で表示されている「**バッテリー出力最大化**」をタッチします。バッテリー出力最大化は、バッテリーを加熱して 100% 利用できる電力を引き出せるよう最適な動作温度にします。バッテリーの加熱は 1 時間強かかりますが、環境条件や Model X が運転されたかどうかによって変わります。この間、待ち時間を知らせるメッセージが表示されます。追加電力が利用できるようになると、バッテリー出力最大化の準備が完了したメッセージが表示されます！バッテリー出力最大化を使用している時、Model X はバッテリーを最適な温度範囲に保つため電力を多く消費します。バッテリー出力最大化をキャンセルするには、加速設定を「スポーツ」に変更してください（またはバッテリー出力最大化モードのポップアップにあるボタンをタッチしてください）。過度に、または不必要に電力を消費することを防ぐために（例えば、バッテリー出力最大化をキャンセルせずに車を離れる）、バッテリー出力最大化は、運転中であっても、車を離れていたとしても 3 時間で自動的にキャンセルされます。

注：バッテリー出力最大化を保つには、充電レベルが 20% 以上でなければなりません。充電レベルが 20% 以下だと、バッテリー出力最大化を開始することはできません。これに加え、充電レベルが 20% 以下になるとすぐにバッテリー出力最大化はキャンセルされます。

注：バッテリー出力最大化は、パックを最適な温度範囲に保ちます。バッテリーのヒーティングに加え、バッテリー出力最大化は必要に応じてバッテリーを冷却します（例えば、アグレッシブなドライビングの間など）。

注：バッテリー出力最大化は、加速性能を短時間の間最大限発揮するよう設計されているので、日常的な利用には適していません。出力が増大する代わりにエネルギーが余分に消費されるため、最大出力モードでの走行を長く続けるほど電力消費量が増大します。インセインまたは Ludicrous 加速設定は、バッテリー出力最大化を使用しなくても大幅に性能を増加します。事実、通常の運転をする限りバッテリー出力最大化で得られる追加パワーを感じることはあまりないかも知れません。

- クリープ

オンになると、ブレーキを離したときに、Model X がドライブ状態であればゆっくり前進し、リバース状態であればゆっくり後退します（従来の自動車のオートマチック トランスミッションに相当します）。この設定は、Model X がパーキング状態のときだけ変更できます。

- トラクション コントロール

従来のシングル モーター Model X のホイールを回転させるようにするには、トラクション コントロールをオフにします。デュアルモーター Model X では、「スリップスタート」を有効にできます。トラクションコントロールをオフ（または「スリップスタート」を有効）にすると、計器パネルに警告が表示されます。トラクションコントロールは現在の走行でのみオフになります。デュアルモーター車の場合、速度が時速 64 km を超えるとトラクション コントロールが自動的に再度オンになります。[トラクション コントロール](#) - 61 ページを参照してください。

- 回生ブレーキ

運転中にアクセルを離すと、回生ブレーキにより Model X のスピードが落ち、余剰エネルギーがバッテリーに戻されます。「低」に設定すると、Model X のスピードが急激に落ちることはありませんが、航続距離が低下することがあります（[回生ブレーキ](#) - 60 ページを参照）。

注：設定に関わらず、バッテリーがフル充電されている場合や気温が極端に高いまたは低い場合は、回生ブレーキによって得られるエネルギー量は少なくなります（余剰エネルギーは、バッテリーを温めたり冷やしたりするために使われます）。

- レンジモード

オンになると、Model X は空調システムの電力を制限することによってエネルギーを節約シグネチャー ライティングをオフにします。キャンピンの冷暖房は効率的ではない場合もありますが、寒冷地では暖を取るためにシートヒーターを利用できます。デュアルモーター車の場合、オンになると航続距離を最大化するよう、トルク配分が最適化されます。



7. 走行データ

トリップ メーターでこれまでの走行データを確認し、メーターをリセットします ([走行情報](#) - 66 ページを参照)。

8. スクリーン

「**昼**」(明るいバックグラウンド) または「**夜**」(暗いバックグラウンド) 設定をマニュアルで調整します。「**自動**」に設定すると、周囲の明るさに応じてタッチスクリーンの昼モードと夜モードが自動的に切り替わります。「**自動調整**」がチェックされている場合、画面は周囲の状況とお客様のお好みに応じて自動的に調整します (お客様が行うマニュアル調整を記憶します)。

クリーニングのために一時的にタッチスクリーンを無効にするには、「**クリーニングモード**」を選択します。

また、**Model X** を省エネモードにしておくと、使用していないときの消費エネルギー量が少なくなります ([航続距離を最大限に伸ばす](#) - 67 ページを参照)。

注: 「スクリーン」設定は「設定」画面からアクセスすることもできます。

9. E ブレーキと電源オフ

手動で以下の操作ができます。

- サイドブレーキをかける/解除する ([パーキング ブレーキ](#) - 60 ページを参照)。
- 電源を切る ([停止](#) - 46 ページを参照)。

10. ライト ([ライト](#) - 53 ページを参照)

 **警告:** 運転中はタッチスクリーンを見ないでください。衝突の危険性が高くなります。運転中に必要な情報はすべて計器パネルに表示されます。



車両のカスタマイズ

「コントロール」ウィンドウの「設定」タブにタッチして、Model X をお好みに合わせて調整します。

注：以下の図は説明のみを目的としています。「設定」画面で利用できるオプションは、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域によって異なることがあります。例えば、多くの地域では[言語と単位]タブは[単位と形式]と呼ばれます。



1. インストールされているアプリ (アプリケーション) に関連のある設定を調整します。ご利用の Model X では利用できない、または設定できる内容がないアプリは淡色表示されます。
2. ドライバープロフィールを管理します ([ドライバープロフィール](#) - 40 ページを参照)。
3. 言語と単位

Model X の表示方法を調整します。

- 言語: Model X が警告、通知、メッセージおよびナビゲーションの指示 (装備されている場合) を表示する際の言語を設定します。

メモ: 言語設定を変更するには、Model X のギアをパーキングに入れる必要があります。言語を変更する際、Model X がシャットダウンされて再起動するため、若干時間がかかります。

- 距離: 航続距離表示、速度計、エネルギー チャート、トリップメーター、Google マップのルート検索およびナビゲーションの表示単位をマイルと km の間で切り替えることができます。
- 時間形式: 12 または 24 時間。
- 温度: °C または °F。
- エネルギーと設定電力残量および充電ユニットをパーセント、または走行可能な予測距離で表示します。「距離」を選択した場合、以下のいずれかに基づく距離が表示できます。
 - 定格値 - ECE R101 テストに基づく表示。
 - 標準値 - US EPA テストに基づく表示。

注: 充電の必要性が迫っている場合は、予想航続距離を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。

4. 車両

注: 製造日と購入時に選択したオプションによっては、以下の一覧に示す全ての機能が搭載されていない車両があります。

- ドア アンロックモード: キーを携帯して Model X に近づいた際に、**全ての**のドアのロックを解除するか、もしくは**運転席**のドアのみ解除するかを選択できます。
- チャイルドロック: オンにすると、セーフティ ロックが作動し、Model X の車内からリア ドアとリフトゲートを開けられなくなります。
- 降車後オートロックオンにすると、キーを携帯して Model X から離れたときに、すべてのドアが自動的にロックされます ([降車後オートロック](#) - 9 ページを参照)。
- 自動フロント ドアオンにすると、Model X がロックされているかに関係なく、ドライバーがキーを持って Model X に近づいたときに運転席側のフロントドアが少し開きます ([ドア](#) - 4 ページを参照)。バッテリーを長持ちさせるため、キーが 48 時間以上にわたって検出範囲外にある場合、またはすべてのドアが閉まってから 5 分経過してもキーが検出範囲内にある場合、Model X は一時的にオートプレゼント ドアハンドル機能を無効にするように設計されています。
- P でロック解除: オンになっていると、パーキングギアに入れた時にドアが自動的にアンロックされます。
- キー フォブで全て閉じる: これがオンになっている場合、キーを使用して Model X をロックすると全てのドア (およびリア トランク) が閉じます。
- 降車後のヘッドライトオンにすると、ドライバーが降車してから 2 分間、または Model X をロックするまで、ヘッドライトが点灯し続けます ([降車後のヘッドライト](#) - 56 ページを参照)。
- ミラー角度自動調節: オンにすると、バックするときに外部ミラーが下に傾きます ([ミラー](#) - 45 ページを参照)。
- ミラー自動格納: オンにすると、キーを使って、または降車後オートロック機能を利用して Model X をロックしたときに外部ミラーが折りたたまれます。Model X に戻るとハンドルが自動でせり出します。センター ミラー コントロール ボタンをタッチして、ミラーを自動的に折りたたむこともできます ([ミラー](#) - 45 ページを参照)。



- スマートエアコンディショニング: オンの場合、Model X は過去の運転スケジュールや最後に設定された温度に基づいて運転スケジュールを予測、キャビンの温度を調整し、Model X を快適に運転できるよう準備します。Model X が運転の習慣を学習するには、しばらく時間がかかる場合があります。また、定期的な運転スケジュールがない場合、パターン認識はできません。

注: Model X の電力が低下し、消費エネルギーを節約している状態ではスマートエアコンディショニングが機能しない場合があります。

注: スマートエアコンディショニングは自宅や職場の住所を登録している場合のみ利用可能です (**お気に入り、自宅、勤務先** - 125 ページを参照)。

- キャビン過熱保護: オンになっていると、空調システムは周囲の温度が著しく暑い時にキャビン内の温度を、Model X から降車してから最長 12 時間に渡って下げます (**キャビン過熱保護** - 114 ページを参照)。

⚠ 警告: 子供またはペットを車の中に放置しないでください。自動シャットダウンまたは気温が著しく暑い時などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。

注: キャビン過熱保護は、バッテリー残量が 20% 以下のときは働きません。

5. 安全とセキュリティ

さまざまな安全性とセキュリティの機能をオンまたはオフにします。

- 助手席フロントエアバッグ (**助手席ヘッドエアバッグを OFF にする** - 37 ページを参照)。
- パーキング アシスト チャイムなど、Model X が装備しているアクティブセーフティ装置 (**パーキングアシスト** - 62 ページを参照)。
- Model X が装備しているアラームおよびセキュリティ オプション (**セキュリティ設定** - 129 ページを参照)。
- テスラのモバイル アプリケーションを利用したリモート アクセス (**モバイルアプリ** - 132 ページを参照)。

6. スクリーン

「**昼**」(明るいバックグラウンド) または「**夜**」(暗いバックグラウンド) 設定をマニュアルで調整します。「**自動**」に設定すると、周囲の明るさに応じてタッチスクリーンの昼モードと夜モードが自動的に切り替わります。「**自動調整**」がチェックされている場合、画面は周囲の状況とお客様の好みに応じて自動的に調整します (お客様が行うマニュアル調整を記憶します)。

クリーニングのために一時的にタッチスクリーンを無効にするには、「**クリーニングモード**」を選択します。

また、Model X を省エネモードにしておくとし、使用していないときの消費エネルギー量が少なくなります (**航続距離を最大限に伸ばす** - 67 ページを参照)。

注: 「スクリーン」設定は「コントロール」ウィンドウからアクセスすることもできます。

7. ドライビング[#10]アシスト

ドライビング アシスト機能が搭載されている Model X の場合、運転を安全でより便利にする機能を利用することができます (**ドライビングアシストについて** - 75 ページを参照)。

8. サービスとリセット

サービスに関係するさまざまな機能をオンまたはオフにします。

- サービスモード: オンにすると、ワイパー ブレードを交換するときにアクセスしやすいように、ワイパー ブレードがサービス ポジションへ移動します。Model X をパーキング状態にする必要があります (**ワイパーとウォッシャー** - 58 ページを参照)。
- ニュートラルモード: Model X をニュートラルに保つため、牽引モードを起動します (**車両をニュートラルのままにする (ニュートラルモード)** - 47 ページを参照)。
- 工場出荷時リセット: 「**消去とリセット**」にタッチすると、すべての個人情報 (住所、曲、お気に入りなど) が消去され、すべてのカスタム設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。

9. 手動

オーナーズ マニュアルを表示します。

⚠ 警告: 運転中はタッチスクリーンを見ないでください。衝突の危険性が高くなります。

車両に名前を付ける

お客様の Model X をさらにカスタマイズするために、名前を付けることができます。Model X に付けた名前はモバイル アプリに表示されます。Model X に名前を付けるには、タッチスクリーンの最上部中央の「Tesla "T"」にタッチしてから、「**車の名前を入力**」にタッチします。

保存すると「**車の名前を入力**」が入力された車の名前に変わります。名前にタッチすることで、いつでも Model X の名前を変更できます。

個人情報の消去

すべての個人情報（保存した住所、お気に入りの音楽、インポートされた連絡先、 など）が消去され、すべてのカスタム設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。これは Model X の所有権を移す際に便利な機能です。「コントロール」>「設定」>「サービスとリセット」>「工場出荷時リセット」>「消去とリセット」の順にタッチします。消去を実行する前に、Model X がドライバーの認証情報を確認するため MY TESLA アカウントのユーザー名とパスワードの入力を求めます。

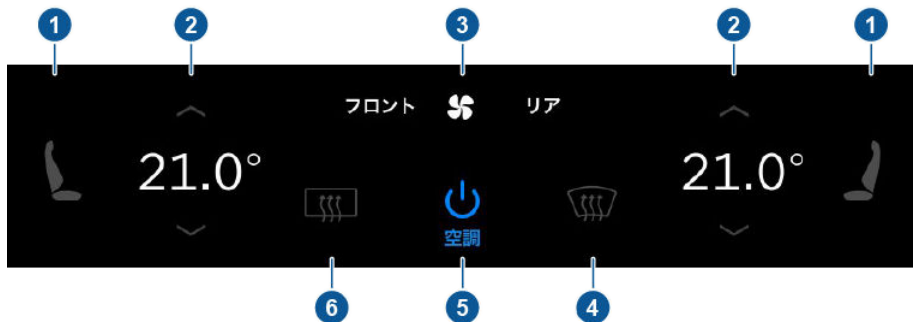


温度調節の概要

温度調整は、タッチスクリーンの最下部からいつでもアクセスできます。温度調整は標準で「オート」に設定されています。この設定では、過酷な気象条件を除くあらゆる環境で最高の快適さが保たれます。温度を調整すると、システムが暖房、空調、空気供給、空気循環、ファンの速度を自動的に調整して設定温度を維持します。これらの設定を変更するには、「オート」にタッチします（[空調のカスタマイズ](#) - 111 ページ 参照）。

ファン、暖房、空調はバッテリーを電源としています。したがって、長時間使用すると航続距離が減少します。

注：以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアバージョン、販売地域、設定により異なる場合があります。



1. フロントシートは3（強）から1（弱）の3つのレベルで動作するヒーターを備えています。

動作中はインジケーターが赤く点灯し、設定値が表示されます。

注：Model X に寒冷地オプションが搭載されている場合、後部座席のシートヒーターとヒートッドワイパーを「[コントロール](#)」 > 「[寒冷地設定](#)」の順にタッチすることで操作できます（[コントロール](#) - 102 ページを参照）。

2. 上矢印または下矢印にタッチしてキャビンの温度を設定してください。運転席側と助手席側に同じ温度設定を適用するには、矢印にタッチすると表示される温度表示ポップアップ画面の「[連動モード](#)」にタッチします。
3. フロントおよびリア キャビン用自動/手動空調システム（[空調のカスタマイズ](#) - 111 ページ参照）。
4. フロント ガラスのデフロスターはフロント ガラスの表面に空気を流します。一度タッチするとオンになり、もう一度タッチするとヒーターとファンが最大レベルで動作します。3 度目にタッチするとオフになり、空気供給、ヒーター、ファンが元の設定に戻ります。
5. 空調システムを ON/OFF にします。
6. リア ウィンドウのデフロスターは 15 分間リア ウィンドウを温めた後、自動的に停止します。外部サイドミラーも温められます。

警告：長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシートヒーターの使用の際に十分注意してください。

空調のカスタマイズ

空調システムは、多くの状況において自動的に最高の快適さを保つように設計されています。お好みの温度を設定するだけで、空調、空気再循環、空気供給、ファンの速度が調整され、設定温度が自動的に維持されます。

自動設定を変更するには、「フロント」または「リア」をタッチしてフロントまたはリアの座席エリアを個別に設定します。次に、変更したい設定にタッチします。パネルの設定すべてをデフォルト設定に戻すには、「リセット」をタッチします。個々の設定を初期設定に戻すには「オートモード」をタッチします。

フロントシートの温度調整：



1. カスタム設定パネルに現在表示されている設定すべてを初期設定に戻すには、「リセット」をタッチします。
2. 空調を ON/OFF にするには、「A/C ON」または「A/C OFF」にタッチします。オフにすると冷房効果は下がりますが、エネルギーの節約になります。

Model X はガソリン車より走行音が格段に静かなため、コンプレッサーの動作音が気になることがあります。騒音を抑えるには、ファンの速度を下げてください。



3. Model X に空気を取り込む方法を選択します。



外気が Model X の車内に取り込まれます (換気 - 114 ページを参照)。



Model X の車内で空気が再循環します。この設定では、外気 (排気ガスなど) が車内に入り込むことを防止できますが、除湿効果は低下します。空気を再循環させることが最も効率よく車内前方を冷やす方法です。状況の変化によってフロントガラスが曇るのを防止するために、1 時間ごとに短時間設定を変えて外気を車内に取り込んでください。



Model X にオプションで HEPA (高性能微粒子) フィルターが装備されている場合は、車内の空気を最良の状態に保つことができます。その場合、取り込まれた外気は医療用グレードの HEPA フィルターと、付随する補助フィルターシステムの両方を通過します。この HEPA フィルターは、大気汚染、アレルゲン、バクテリア、花粉、カビ孢子、ウィルスなどの微粒子を効率的に排除する超高性能フィルターです。また、HEPA フィルターと補助フィルターシステムの両方に活性炭が使用されているので、あらゆる種類のにおいやガスを除去します。この HEPA オプションを有効にすると、ファンは最大回転数で作動します。これに加え、車内が正圧となるため、外気が車内に入ってくることを最小限に抑えます。

注：一酸化炭素などの一部のガスは、活性炭では効率的に排除することができません。

4. 車内に流れ込む空気の通気口を選択します。複数の場所を選択できます。



足元の通気口



顔の高さの通気口



フロント ガラスの通気口

注：空気が足元の通気口から出るように設定すると、約 1/3 の空気がフロント ガラスの通気口から流れ続け曇りを除去します。しかし、空気が顔の高さの通気口から出るように設定すると、フロント ガラスの通気口からは空気は流れません。顔の高さの通気口から出る空気の流れがフロント ガラスの曇りを除去するのに十分だからです。

5. 矢印をタッチしてファンの速度を設定します。

注：ファンの速度を調整すると、空気吹出し風量を増加または減少させるために、Model X 内への空気吹出し設定が変更される場合があります。

リアシートの温度調整：



注：自動に設定されている場合に、Model X が 2 列目または 3 列目に誰も乗車していないことを検出するとリアヒーターと空調はオフになります。この節電機能が無効にするは、**空調オン / 空調オフ**設定の上にある**自動**ボタンをタッチしてください。これを行うと、次に**自動**をタッチするまでこの設定は保存されます。

1. カスタム設定パネルに現在表示されている設定すべてを初期設定に戻すには、「リセット」をタッチします。
2. 空調をオン/オフにするには、「**空調オン**」または「**空調オフ**」をタッチします。オフにすると冷房効果は下がりますが、エネルギーの節約になります。

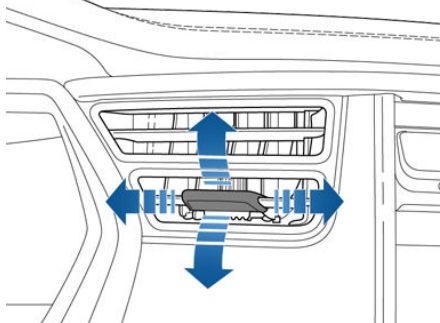
Model X はガソリン車より走行音が格段に静かなため、コンプレッサーの動作音が気になることがあります。騒音を最小限に抑えるには、ファンの速度を下げるか、空気を再循環させます。

3. 矢印をタッチして温度を調整します。
4. 矢印をタッチしてファンの速度を設定します。



換気

Model X 車内の空気の流れを変えるには、車内の通気口を上下左右に動かします。



注: 顔の高さにある外側の通気口をサイドウィンドウに向けると、サイドウィンドウの霜や曇りの除去に役立ちます。

キャビンエアフィルター

Model X は、花粉、産業降下物、道のほこり、その他の粒子が通気口から入り込むことを防止するエアフィルターを備えています。Tesla では、12 か月ごとの定期メンテナンス、または 20,000 km ごとにエアフィルターを交換します。

キャビン過熱保護

空調システムは周囲の温度が著しく暑い時にキャビン内の温度を、Model X を下車してから最長 12 時間に渡って下げます。有効になっている時、空調システムはキャビンが 40°C 以上になると働きます。この機能を無効にするには、「コントロール」>「設定」>「車両」>「キャビン過熱保護」>「オフ」をタッチしてください。

警告: 子供またはペットを車の中に放置しないでください。自動シャットダウンまたは気温が著しく暑い時などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。

注: キャビン過熱保護は、バッテリー残量が 20% 以下の場合動作しないか動作を停止します。

温度調整の使い方のヒント

- モバイル アプリを使用して空調システムを起動すると、システムは 30 分後に自動的に終了します。これより長く車内を冷房または暖房したい場合は、再度システムを起動してください。
- エネルギーを節約するために、レンジモードをオンにして空調システムの消費電力を制限することができます。車内の冷房暖房は効率的ではない場合もありますが、寒冷地では暖を取るためにシートヒーターを利用できます。「コントロール」>「運転モード」>「レンジモード」にタッチします。
- 空調システムの動作音が大きすぎる場合は、ファンの速度を落とすか、空気の流れを調整し、外気を取り込みます(空気を再循環させる代わりに)。
- 車内を冷房するほか、空調システムはバッテリーも冷却します。したがって、暑いときは、空調システムを OFF に設定したとしても、ON になることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要とされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。
- 空調システムを効率的に動作させるために、すべてのウィンドウを閉め、フロントガラス前面の外部のグリルに氷、雪、木の葉、その他の破片がつかまらないように注意してください。
- 湿度が非常に高い場合、空調を ON にした直後にフロントガラスが少し曇ることがあります。
- 駐車している間、Model X の下に小さい水溜まりができることがあります。これは、湿気を除去する過程で発生した余分な水分が下から排出されたためで、正常な動作です。
- 駐車中、高温の気象条件で車内の温度を下げるために、ファンで送風を行うことがあります。(これは充電量が 20% 以上ある時のみ作動します)

注: Model X にスマート エア サスペンションが搭載されている場合、Model X の始動時、システムのリザーバにエアが充填される際にコンプレッサーの音が聞こえることがあります。

スマート エア サスペンションの動作モードには手動と自動の両方があります。

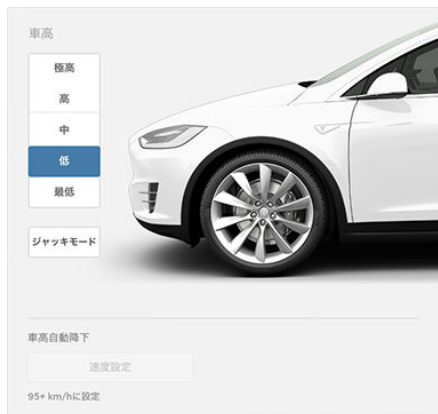
手動高さ調整

注意: サスペンションの高さを調整する際は、Model X の上方と下方に障害物が一切ないことを確認してください。

Model X の手動高さ調整は、自宅車庫までの急な道、スロープ、積雪、住宅街のスピードバンプなど、最低地上高が余分に必要な場合に、車高を調節できる便利な機能です。

Model X の電源をオンにした状態で、またはブレーキペダルを踏んだ状態で、タッチスクリーンを使って車高を手動で変更します。「コントロール」>「車高」の順にタッチし、次のいずれかを選びます。

- ・「**極高**」: 「極高」に設定されている場合、走行速度が時速 35 km に達すると自動的に車高が「HIGH」に下がります。
- ・「**高**」: 「高」に設定されている場合、走行速度が時速 55 km に達すると自動的に車高が「中」に下がります。
- ・「**中**」: 「中」に設定されている場合、あらゆる積載条件下で最大の快適性と最良の操作性が得られます。
- ・「**低**」: 車高を下げると、荷物の積み下ろしや乗員の乗降が楽になります。
- ・「**最低**」: この設定は手動で行われ、現在の走行でのみ適用されます。



注: 使用可能な設定は走行速度やその他の条件によって異なります。たとえば、ドアが開いていると車高を下げることはできません。

ロケーションベース サスペンション

ロケーションベース サスペンションは、車高を上げる必要がある場所（傾斜のあるスロープ、積雪、スピードバンプなど）を頻繁に訪れる場合、その都度サスペンションを手動で調整する手間を省きます。

「高」または「極高」に車高を上げるたびに、Model X はその場所をデータとして保存します。

保存された場所に次回戻ってくると、Model X は車高を上げ、計器パネルに次のメッセージが表示されます:

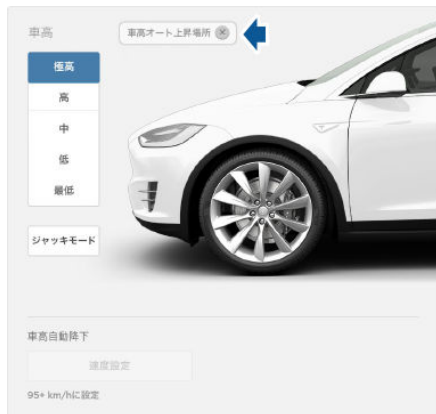


注:

- ・ 車高を「高」に上げるときは、走行速度が時速 55 km を超えないようにしてください。車高を「極高」に上げるときは、走行速度が時速 35 km を超えないようにしてください。保存された場所に戻るとき上記の速度以上で走行している場合は、Model X が減速するまで車高は上がりません。
- ・ 保存された場所を離れると、「コントロール」>「車高」>「地上高自動降下」により設定された車高自動降下速度になっても、上記の自動上昇速度のしきい値を上回る速度で走行するまで、車高が下がらないことがあります。
- ・ 保存された場所に Model X が着いても、その場所のために保存されたサスペンション設定の車高より現在のサスペンション設定の車高の方が高い場合は、サスペンションは調節されません。

車高オート上昇場所を取り消す

保存された場所でサスペンションのオート上昇を希望しないときは、そこで表示される車高オート上昇場所ステータスに関するメッセージ内の X をタッチします。その場所のオート上昇が取り消され、今後その場所に着いても車高が自動的に上がることはありません。



注：保存された場所にいる間に手動で「中」または「低」に車高を下げると、その車高オート上昇場所が取り消されます。

地上高自動低下

Model X の走行速度が、自宅車庫までの道や駐車場内を走行する速度を超えると、スマート エア サスペンションが自動的に車高を下げ、空力抵抗やハンドリングを改善します。ほぼ平均的な速度で走行している場合、サスペンションは自動的に「中」に設定されます。上述のとおり、手動高さ調整を行った場合は、走行速度の増加に応じてサスペンションが自動的に下がります。

荷物を積載する場合、スマート エア サスペンションがフロントとリア間の水平を自動的に維持します。

タッチスクリーンで「コントロール」 「車高」 > 「車高自動降下」 > の順にタッチすると、エアサスペンションが自動的に車高を「低」に切り替える際の速度を設定することができます。この設定は「ドライバープロフィール」に保存されます。

注：一時的に車高を変更するには、ブレーキペダルを踏み、「コントロール」 > 「車高」 の順にエアサスペンション コントロールにタッチしてから手動で車高を選択します。サスペンションを自動的に下げる保存済みの設定は、次の走行時に復元されます。



エア サスペンション システムの不具合が検知されると、計器パネル上で黄色の表示灯が点灯します。不具合が解消しない場合は、Tesla にご連絡ください。

ジャッキモード

ジャッキアップや引き上げを行う際は、サスペンションを「ジャッキモード」に設定し、Model X の電源がオフになった状態でもセルフレベルリングが機能しないようにします。

ブレーキペダルを踏み、次に「コントロール」 > 「車高」 > 「ジャッキモード」の順にタッチします。



Model X が「ジャッキモード」になると、計器パネルに赤色のエア サスペンション表示灯が点灯します。

ジャッキモードを解除するには、「ジャッキモード」を再度タッチします。

注：ジャッキモードは、走行速度が時速 7 km を越えると自動的に解除されます。

概要

ラジオやストリーム音楽、ポッドキャスト、あるいは携帯電話や接続した USB 装置の音楽ファイルの再生をするには、**メディアプレイヤー** アプリをタッチしてください。FM ラジオ (HD 含む) を再生できます。TuneIn などのインターネットラジオや Bluetooth 接続された装置や USB 接続のフラッシュドライブのオーディオファイルを再生できます。

利用可能なコンテンツがメディアプレイヤーの上部に表示されます。ラジオ、TuneIn、電話、フラッシュドライブを USB ポートに差し込むと、USB ソースが追加表示されます (**USB 接続** - 120 ページを参照)。ソースをタッチしてメディアプレイヤーで利用可能なコンテンツをブラウズしたり、検索して特定のコンテンツを検索することができます (**メディアプレイヤー内の検索** - 117 ページを参照)。

メディアプレイヤーの下側に表示される「再生中」ビューで、現在再生中のコンテンツをコントロールすることができます (一時停止/再生、次のトラック/局へスキップ等)。「再生中」ビューでは、現在再生されている曲をお気に入りの登録 (**お気に入り**と**最近の履歴** - 119 ページを参照) したり、最近聞いたお気に入りの放送局や音楽、ポッドキャストにアクセスすることができます。

再生中ビューは、メディアプレイヤーで選択したソース (ラジオ、TuneIn、電話、USB) に関係なく表示されます。タッチするだけで「再生中」ビューを最大化したり、最小化したりできます。

音量調節

メディアプレイヤーの再生音量を調節するには、ハンドルの左側にあるスクロールホイールを上下に回します。音量をミュートするには、スクロールホイールをタップしてください。

スクロール ホイールは、現在スピーカーで聞いているものにに応じて、メディア、ナビゲーションの指示や通話の音量を調整します。曲、オーディオファイル、またはポッドキャストを再生している時に、電話を受けた、あるいは Model X がトリッププランナーの進路変更をスピーカーから案内すると、曲、オーディオファイルまたはポッドキャストが一時的にミュートになります。

注: 通話中に音量をミュートすると、マイクロホンもミュートされます。

サウンド設定

フェードやバランス、トーンなどすべてを、ひとつのビューでコントロールしてお好みのサウンドにすることができます。メディアプレイヤーの右上隅にあるオーディオ設定アイコンを押します。低音、中音、高音の設定は、設定バーにそって現在の設定を上下にドラッグすることにより調整します。バランスは、サウンドを集中させたい車両の位置に、十字バーのセンターサークルを置くことにより調整します。

ウルトラ Hi-Fi サウンドオーディオパッケージを購入されている場合は、Dolby チェック ボックスをタッチして有効にすることと Dolby サラウンドがお楽しみいただけます。

メディアプレイヤー内の検索

メディアプレイヤー全体を検索することができます。検索は、全コンテンツ カテゴリに対して行ったり、特定のカテゴリに絞り込んで行うことができます。検索結果は以下のコンテンツを表示します:

- TuneIn
- USB コンテンツ

検索するには、メディアプレイヤーの検索バーをタッチし、曲名やアルバム名、アーティスト名、ポッドキャスト、プレイリスト、放送局などを入力して検索します。検索範囲を狭めるためのフィルターを選択するか、デフォルト設定のまま全カテゴリを検索します。

注: 音声コマンドによるハンズフリー検索も可能です (**音声コマンドの利用** - 43 ページを参照)。

TuneIn を使用している場合、TuneIn の一覧エリアからカテゴリ別にコンテンツをブラウズすることができます。コンテンツは、地域 (アフリカ、アジア、北米など)、ローカルラジオ局、トークラジオ、お気に入り、その他のカテゴリでブラウズすることができます。ブラウズを止める時や他のカテゴリをブラウズしたい場合は、メディアプレイヤー上部にある TuneIn をタッチしてください。

FM ラジオ

メディアプレイヤーでは FM の両方のラジオ サービスが使え、その選択はラジオ ソースで行います。ラジオを特定の周波数に合わせるには、周波数を選んでから、次への矢印あるいは戻るの矢印で周波数をひとつ次へ (または前へ) 移動させます。また、希望の周波数を合わせるには指でタップまたはドラッグしてください。周波数の数字の左にある 3 本のバーは、選択した周波数の信号強度を示します。利用できる周波数の場合は、HD をタッチすることにより高品位バージョンが再生されます。



ラジオ局をお気に入りとして登録すると、ラジオソースに表示され、アクセスしやすくなります(**お気に入り**と**最近の履歴** - 119 ページを参照)。

インターネット ラジオ

インターネット ラジオ サービスには、データ接続経由でアクセスします。インターネットラジオを使うには、メディアプレイヤーの **TuneIn** をタッチし、利用できるカテゴリや放送局をブラウズし、再生したいものをタッチします。ジャンルなどの大きなカテゴリを閲覧する時は、一覧が次のページに続きます。メディアプレイヤーの左側にある左矢印ボタンを使用して、一つ前のページに戻る、またはソースを再度押してメイン ブラウズ ページに戻ることができます。

インターネット ラジオ サービスで利用可能な次の(場合によっては前の) 局やエピソード、トラックを再生するには、再生中ビューにある次へ (あるいは前へ) の矢印をタッチするか、またはハンドル左側のボタンを押します (**ハンドルの左ボタンを使用する** - 42 ページを参照)。これらのコントロール機能は、お客様がお聞きになっているインターネット サービスによって様々です。

特定の局やアーティスト、アルバムなどをインターネット ラジオ サービスへの音声コマンド(英語のみ)で再生させることもできます (**音声コマンドの利用** - 43 ページを参照)。

インターネットラジオをお聞きになっている時は、「再生中」ビューから次のような操作が可能です。

- **お気に入り**アイコンをタッチすると、ラジオ局やポッドキャストをお気に入りとして保存できます。(**お気に入り**と**最近の履歴** - 119 ページを参照)
- デジタル ラジオ局をアクセスするには、数字をタッチします (利用できる場合)。デジタル ラジオ局は高品質のサウンドで、対応のアナログ版とは番組内容が異なる場合があります。
- **右矢印**をタッチして、ポッドキャストまたはプレイリストにある曲のリストを表示することができます。

デフォルトで、**TuneIn** はお客様向けにセットアップされた **Tesla** のアカウントを使用します。ご自身の **TuneIn** アカウントにサインインするには、**TuneIn** ソースの下までスクロールし、**Sign In** をタッチしてからご自身のアカウントのログイン情報を入力してください。

注: **TuneIn** ポッドキャストの再生中、ポッドキャストのどの位置からでも早送り、早戻しが可能です。再生中ビューで、スライダー バーの下にある矢印を好きな位置にドラッグしてください。

お気に入りと最近の履歴

お気に入りの局やオーディオ ファイル、さらに最近再生したものにいつでも簡単にアクセスできるようにするため、メディアプレイヤーの上部および再生中ビュー上にそれらが表示されます。どのソース（ラジオ、TuneIn、電話、または USB）を表示している場合でも、お気に入りと最近の履歴はすべてのビューから見ることができます。ソースコンテンツを素早く最大化や最小化することができます。

「USB お気に入り」は、お気に入りフォルダの再生中ビューから利用することができます。（スクロールしないとそのフォルダが見えない時があります。）「再生中」ビューで **Favorites** フォルダをタッチすると、USB の最初のお気に入り が再生されます。次の曲進む、あるいは前の曲に戻る矢印を使用して、「USB お気に入り」をスクロールしてください。



現在再生中のラジオ局やオーディオ ファイル、ポッドキャストまたはオーディオ ファイルを自分のお気に入りリストに追加するには、再生中ビューの**お気に入り**アイコンをタッチします。（お気に入りアイコンをタッチするには、再生中ビューをタッチして最大化します。）

お気に入りを削除するには、ステーション名の横でハイライト表示されている**お気に入り**アイコンをタッチしてください。また、お気に入りを長押しすると「再生中」ビューから1つまたはそれ以上のお気に入りを削除することができます。すべてのお気に入りに X が表示されます。X を再度タッチすると、選択したお気に入りを削除します。

最近再生したものを見るには、再生中ビューの**最近の履歴**をタッチします。最近再生したものは常時更新されますので、特に削除する必要はありません。

デバイスからメディアを再生

USB 接続されたフラッシュ ドライブや Bluetooth 接続されたデバイス（電話など）にあるオーディオ ファイルを再生することができます。USB フラッシュ ドライブを接続すると、メディアプレイヤーに USB ソースが表示されます。Bluetooth 機能をもつデバイスを接続すると、そのデバイスの名前が電話ソースに表示されます。USB フラッシュ ドライブまたは Bluetooth デバイスを接続してから、再生したい曲やアルバム、プレイリストをタッチしてください。

選択したプレイリストやアルバムの次の曲を再生するには、再生中ビューの前または次の矢印をタッチするか、ハンドルの左側にあるボタンを使用してください（**ハンドルの左ボタンを使用する** - 42 ページを参照）。アルバムカバー アート下に表示されるシャッフルリピートアイコンを用いて、プレイリスト内の曲をシャッフルしたり、プレイリストやトラックをリピートすることも可能です。

USB 接続されたフラッシュ ドライブ

いずれかの USB 端子（**USB 接続** - 120 ページを参照）にフラッシュ ドライブを接続します。**メディア プレイヤー** > **USB** をタッチし、再生したい曲が含まれているフォルダの名前をタッチします。USB 接続されたフラッシュ ドライブのフォルダ内のコンテンツが表示されたら、再生中ビューの右矢印をタッチしてリスト内の曲を表示できます。リストの中から再生する曲をタッチします。あるいは再生中ビューの前へまたは次への矢印で曲をスクロールします。

注：USB 接続したメディアを再生する場合、Model X が認識できるのはフラッシュ ドライブのみです。デバイスに Bluetooth で接続することにより、iPod など別のタイプのデバイスからメディアを再生することができます（後述）。

注：センターコンソール前部にある USB 接続を利用します（**USB 接続** - 120 ページを参照）。コンソールのリア側にある USB 接続は充電専用です。

注：メディアプレイヤーは、NTFS または FAT32 フォーマットが含まれます。（exFAT には現在対応していません）

Bluetooth® 接続された機器

電話などの Bluetooth 接続可能なデバイスを選択してペアリングして接続した場合、そこに格納されているオーディオ ファイルを再生できます（**Bluetooth 対応の携帯電話の接続** - 122 ページを参照）。そこから音楽サービスをストリーミングすることも可能です（たとえば、Pandora や Spotify）。メディアプレイヤーの Phone ソースを選んで Connect Phone をタッチし、Bluetooth 接続したご自分のデバイスの名前をタッチしてから **CONNECT** をタッチします。

ご自身の Bluetooth 装置が装置内で現在アクティブなオーディオファイルを再生し始め、メディアプレイヤーが「再生中」ビューを表示します。デバイス上のオーディオ ファイルが再生されていない場合は、視聴したいオーディオ ファイルをそのデバイスから選択してください。オーディオ ファイルがメディア プレイヤーで再生され始めたら、メディアプレイヤーのコントロールで別のトラックを再生することができます。

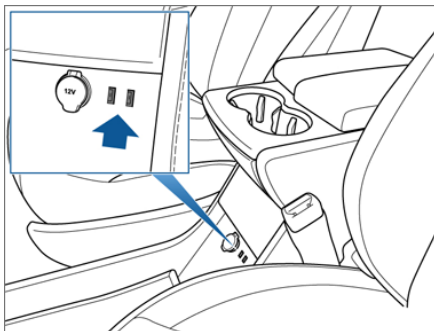
注：Bluetooth 接続された機器でメディアを再生するには、メディアへのアクセスが機器でオンになっ



ていることを確認してください(電話 - 122 ページを参照)。

USB 接続

Model X にはセンター コンソールの前面に 2 つの USB 接続端子があります。これらのポートに接続された USB ドライブに保存されているオーディオファイルを再生する方法については、[デバイスからメディアを再生](#) - 119 ページを参照してください。これらの端子を使用して USB 機器を充電することもできます。

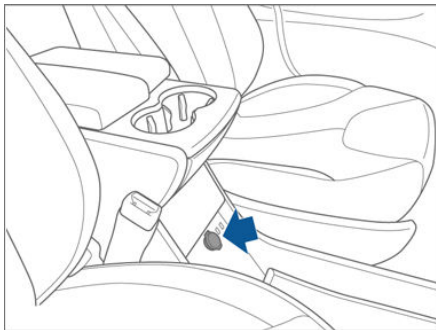


さらに、Model X にはセンターコンソールのリア側に充電専用の USB 接続が 2 つあり、もう一つの充電専用 USB 接続が 3 列目シートの間にあります。

注：センターコンソール前方の 2 ポートとコンソールリア側の 2 箇所を同時に使って 4 台の機器を充電できます。

12V 電源ソケット

Model X のセンター コンソールの前面に電源ソケットがあります。追加の 12V 電源ソケットはリア トランク内にあります。計器パネルとタッチスクリーンがオンになっていれば、電源を利用できます。



12V 電源ソケットは、11A までの連続通電 (最大 15A) または最大 150 持続 W (最大 180 W) までのアクセサリが適合します。

注: Model X が (バッテリー電圧低下、電波干渉などのために) キーを認識できない場合は、が最もキーを検出しやすいセンターコンソール内 Model X の 12 V 電源ソケットの真下にキーを置いてください。

⚠ 警告: 電源ソケットやアクセサリ端子は熱くなることがあります。



Bluetooth® 互換性

Model X では、通信範囲内にある Bluetooth 対応電話機をハンズフリーで使用できます。通常、Bluetooth はおよそ 9 メートルまでの距離の無線通信に対応していますが、通信の性能は使用している電話によって異なることがあります。

Model X で電話機を使用するには、あらかじめ登録しておく必要があります。登録をすることにより、Model X は Bluetooth 対応電話機を使えるようにセットアップされます ([Bluetooth 対応の携帯電話の接続](#) - 122 ページを参照)。

最大 10 台の Bluetooth 電話を登録できます。Model X は、常に最後に使用された電話機に自動的に接続します (その電話機が通信範囲内にあることが前提です)。別の電話に接続する方法については、[登録済みの電話との接続](#) - 123 ページを参照してください。

注: 多くの電話では、電話のバッテリー電圧が低下すると、Bluetooth がオフになります。

注: Model X は電話機以外の Bluetooth 対応機器も登録できます。たとえば、iPod Touch、iPad または Android タブレット端末の登録をして音楽をストリーミングすることができます。

Bluetooth 対応の携帯電話の接続

登録することにより、Model X は Bluetooth 対応電話機を使えるようにセットアップされます。登録済みの電話機が通信範囲内にあれば、Model X はその電話機にいつでも接続できます。

電話を登録するには、Model X の車内で以下の手順を実行します。

1. タッチスクリーンと電話の両方の電源がオンになっていることを確認します。
2. タッチスクリーンのステータスバーで、Bluetooth アイコンにタッチします。
3. 電話で Bluetooth を有効にして、電話を検出可能にします。
4. Model X のタッチスクリーンで「検索開始」にタッチします。タッチスクリーンが検索を開始し、動作範囲内にあるすべての利用可能な Bluetooth 機器のリストを表示します。
5. Model X のタッチスクリーンで、登録したい電話機にタッチします。数秒以内にランダムに生成された数字がタッチスクリーンに表示され、電話にも同じ数字が表示されます。
6. 電話に表示される数字がタッチスクリーンに表示される数字と同じであることを確認します。次に、電話で登録を確認します。

登録が完了すると、Model X は自動的に該当の電話機に接続し、タッチスクリーン上の電話機の名前の横に、接続されていることを示す Bluetooth マークが表示されます。

連絡先と通話履歴のインポート

ペアリングが完了すると、電話の連絡先と通話履歴へのアクセスを許可するかどうかを Bluetooth 設定画面を使用して指定できます。

アクセスをオンにすると、Model X のタッチスクリーンで連絡先のリストを見ることができます。

「Touch Phone」 > 「**連絡先**」の順にタッチします。連絡先にタッチして、連絡先の電話番号をダイヤルしたり、連絡先のアドレスを表示することができます。

注: 連絡先をインポートするには、同期を許可するように電話を設定するか、連絡先の同期に関する確認を求める電話のポップアップ画面に応答する必要があります。この方法は使用している電話の種類によって異なります。詳細については、ご使用の電話に付属しているマニュアルを参照してください。

アクセスがオンになっていれば、Phone アプリの連絡先タブにタッチするとインポートされた情報が表示されます。

注: 安全のため、Model X を売却する際は連絡先を削除してください ([個人情報の消去](#) - 109 ページを参照)。

Bluetooth 対応の携帯接続の登録解除

電話の接続を切断し、後で再び使用したい場合は、Bluetooth 設定画面で「切断」にタッチします。Model X でその電話機を再び使うことがない場合は、「このデバイスの登録を解除」にタッチします。登録を解除した電話機を Model X で使用するには、もう一度その電話機を登録する必要があります ([Bluetooth 対応の携帯電話の接続](#) - 122 ページを参照)。

注: Model X から離れると、電話機との接続は自動的に切断されます。

登録済みの電話との接続

最後に接続された電話機が通信範囲にあり、その電話機の Bluetooth 機能がオンになっている場合、Model X は自動的にその電話機に接続します。最後の電話が動作範囲内にない場合、Model S は登録されている次の電話との接続を試みます。

別の電話に接続するには、タッチスクリーンのステータスバーの Bluetooth アイコンにタッチします。Bluetooth ウィンドウに登録されている電話のリストが表示されます。接続したい電話を選択し、「**接続**」にタッチします。接続したい電話がリストにない場合は、[Bluetooth 対応の携帯電話の接続 - 122 ページ](#)の手順に従ってください。

Model X と電話機が接続されると、タッチスクリーン上の電話機の名前の横に、接続されていることを示す Bluetooth マークが表示されます。

電話をかける

以下の方法で電話をかけることができます。

- 音声コマンドを使用しています (英語) ([音声コマンドの利用 - 43 ページ](#)を参照)。
- 連絡先リストから連絡先を選択します。
- Model X のキーパッドを使用する。

キーパッドを使用して電話をかける:

- タッチスクリーンの電話のアプリにタッチしてから「キーパッド」にタッチします。
- キーパッドに電話番号を入力します。
- 「**発信**」にタッチします。タッチスクリーンに通話画面と通話相手の番号が表示されます。

連絡先を選択して電話をかける:

- タッチスクリーンの Phone アプリにタッチし、「**連絡先**」にタッチします。
注: 電話の連絡先へのアクセスがオンになっていることを確認します ([連絡先と通話履歴のインポート - 122 ページ](#)を参照)。
- 通話相手の連絡先名にタッチして、連絡先の詳細情報を表示します。
- ダイヤルしたい番号にタッチします (複数の番号が表示される場合があります)。タッチスクリーンに通話画面と通話相手の連絡先の名前が表示されます。

注: 安全上および法令上に問題がない場合は、電話機で直接番号をダイヤルするか、連絡先を選択することによって電話をかけることもできます。

電話に応答する

電話機に着信があると、計器パネルとタッチスクリーンの両方に発信者の番号または名前 (発信者が電話連絡先リストに含まれていて、Model X がその連絡先へアクセスできる場合) が表示されます。

「応答」するか、着信を「**無視**」します ([ハンドルの右ボタンを使用する - 43 ページ](#)を参照)。

通話中オプション

通話中、ハンドルの右側の最上部のボタンを押すことによって計器パネルに通話メニューを表示することができます。通話メニューが表示されたら、スクロールホイールを使用してメニューをスクロールし、オプションを選択することができます ([ハンドルの右ボタンを使用する - 43 ページ](#)を参照)。通話音量を調節するには、ハンドルの左側にあるスクロールホイールを上下に回します。



概要

「地図」（または「ナビ」）アイコンをタッチして Google Map™ 上で目的地を検索します。Model X にナビゲーションのオプションが装備されている場合は、アプリケーションに **ナビ** とラベルされ、オンボードマップが利用できます。場所を検索するには、通信接続が必要です。Model X にナビゲーション オプションが装備されていない場合、オンボードマップは使えません。しかし、データ接続を行えば、任意の場所を検索および表示できます。

場所を指定すると、タッチスクリーンにルートが表示され、進路変更ごとの指示が与えられます。各進路変更では、曲がり角までの距離が先に表示されます。充電量が充分ではなく、かつスーパーチャージャーが予定ルート上にない場合、ナビゲーション表示の上部に警告が表示され、目的地に到着するまでに充電が必要であることを知らせます。

目的地まで往復したあとのエネルギー残量が 10% 未満の場合、または目的地まで往復することで大量のエネルギーを消費する場合は、ナビゲーション表示の下部に、往復時に使用されるエネルギーの推定量が表示されます。バッテリーの使用エネルギーに関わらず、すべての往復時について必要なエネルギーの推定量を表示するには、マップとナビゲーションの設定で「**往復の推定所要電量を常に表示する**」を選択します。有効にすると、ナビゲーション表示の下部に、往復に必要なエネルギーの推定量が常に表示されます。ナビゲーション表示の下部までスクロールしないと、往復に必要なエネルギーの推定量が見えないことがあります。

地図を使用する

「ナビゲート」をタッチする、または音声コマンド（**音声コマンドの利用** - 43 ページを参照）を使用して、目的地を指定します。住所、建物名、会社名などを文字入力または音声入力します。あるいは「**ナビ**」をタッチして自宅または職場を選んだり、お気に入りの目的地のリスト（**お気に入り**、**自宅**、**勤務先** - 125 ページを参照）、検索履歴（最後に使用した場所が上に表示される）、行ったことのある充電ステーションをタッチします。

最近の履歴またはお気に入りにある場所についているピンをタッチすると、選択された場所が地図の中央に移動し、その場所の詳細情報（住所や電話番号など）がポップアップで表示されます。このポップアップから、その場所をお気に入りとして登録したり、ナビゲーション オプションが装備されている場合は、「**ナビ**」をタッチすることにより目的地までのナビゲーションを開始したり、「**発信**」をタッチしてその場所にいる人に電話をかけることもできます。ナビゲーション オプションが装備されている場合、最近の履歴やお気に入りリストにある目的地の名前をタッチすると（ピンのタッチと比較）、最近の履歴またはお気に入りからすぐにナビゲーションを起動することができます。Model X はそこまでのルートを計算し、そこまでの道順を表示します。

デフォルトでは、スーパーチャージャーの場所が表示されます（**充電ポイント** - 125 ページを参照）。Model X がナビゲーション オプションを装備している場合は、地図の任意の場所をタッチしたまま保持してそこにピンを立てることができます。

地図が表示するものをカスタマイズするには右下隅のアイコンを使用します。



衛星画像 - タッチして衛星画像をオン/オフします。



充電ポイント（**充電ポイント** - 125 ページを参照）。

現在位置あるいは指定の場所で地図をズームイン、ズームアウトするには、右上部のズームアイコンをタッチします。現在位置を地図の中央にすることや、地図の向きを変えるには、北/進行方向アイコンをタッチします。



北が上 - スクリーンは常に北が上になります。



進行方向が上 - スクリーンは常に進行方向が上になります。車両が向きを変えると地図が回転します。このアイコンには運転方向を示すコンパスが組み込まれています。

指で好きな方向に地図を回転できます。地図を回転させると、北/進行方向アイコンがグレーになり、地図は現在位置を追跡なくなります。アイコンを再度タッチして、方向を調整し、自分の現在地を捕捉します。

地図の大きさを最大にするため、タッチスクリーンのステータスバーとアプリエリアは、地図上のアイコンとともに数秒後に非表示になります。それらは、地図にタッチするだけで再表示されます。

充電ポイント

デフォルトで、スーパーチャージャーは地図上で赤いピンで表示されます。そのピンからスーパーチャージャーの詳細を表示したり、ナビゲーションで目的地に選択したり、お気に入りとして登録することができます。地図の右下隅の充電アイコンをタッチすることにより、スーパーチャージャーに加えてあらゆるタイプの充電ポイントを表示できます。

充電ポイントは、次のように地図上に表示されます。



スーパーチャージャーが稼働中。



スーパーチャージャーが稼働していないかまたは低容量で稼働中（ピンをタッチすると詳細が表示される）。



この場所には充電ステーション（高出力ウォールコネクター）が設置されています。タッチすると、充電ステーションの充電容量や使用制限など詳細な情報を表示します。



この場所には複数の充電ステーションが設置されています。アイコンに表示されている数字は、目的地にある充電ステーションの数を示します。ピンにズームインして充電ステーションを表示します（上で示す通り）。

地図上の対応するピンとともに、都市や周辺を含むポップアップリスト内にも充電器の場所が表示されます。これを行うには、「ナビ」をタッチして、「**充電ポイントを探す**」をタッチします。

ナビゲーションを開始する

1. 地図を表示するには、「ナビ」をタッチします。
2. 「ナビ」をタッチして、目的地を入力します。また、音声コマンド（**ハンドル** - 42 ページを参照）を使用する、「最近」または**お気に入り**リストにある場所をタッチする、もしくはマップにあるピンをタッチしてから、ポップアップにある「ナビ」をタッチすることもできます。

注： データ接続がある場合、目的地の入力を開始してオートコンプリートによって表示されるオプションから選択することができます。例えば、通りの名前、会社名、またはカテゴリー（ホテル、コーヒー等）を入力するだけです。データ接続がない場合、「ナビ」、「検索」フィールドを順にタッチし、「**オフライン時の住所入力**」をタッチしてオンボードマップを使用します。目的地の住所を完全に入力し、「**検索**」をタッチします。

注： 接続された電話機のカレンダーが Model X と連動するように設定されていて、カレンダーイベントに具体的な場所が含まれていれば、カレンダーからナビゲーションを起動することができます（**カレンダー** - 127 ページを参照）。

ナビゲーションの使用

ナビゲーション中、タッチスクリーンには、そこまでの道順が推定距離、所要時間、到着時刻、目的地到着時に予想されるエネルギー残量を伴って表示されます。

タッチスクリーンには地図上の現在位置も表示されます。地図のズームレベルによっては、ルート全体が見れない場合があります。ナビゲーションルートが有効になっている場合は、ルート概要アイコンをタッチすると完全なルートをいつでも表示することができます。



ナビゲーションルートが有効になっているときは、ルート概要アイコンが常に地図の右上隅に表示されます。このアイコンをタッチすることで、現在の行程の表示や、地図の向きを北向きと進行方向のいずれにするかの変更ができます（**地図を使用する** - 124 ページを参照）。

ナビゲーション中、計器パネルには進路変更ごとの指示が表示され、音声ガイダンスが聞こえます。音声ガイダンスの言語を変更するには、**コントロール > 設定 > 単位と形式**をタッチします。音声ガイダンスの音量を変更するには、進路変更ごとの指示の右上隅にある音量アイコンをタッチします。

ナビゲーションのルートで次の曲がり角が近づく、と、タッチスクリーン右側に縦に表示されるルート情報バーに詳細な道案内リストが表示されます。この縦に表示されるルート情報バーは、計器パネルにあるナビゲーション情報の右側にも表示されます。曲がるべき道に近づいていくと、バーの色が下から上へと変わっていきます。曲がり角に着くと、バーの色が完全に変わります。

お気に入り、自宅、勤務先



目的地までナビゲートしている際にピンをタッチするか、もしくは目的地を地図上に表示したピンをタッチすることで、お気に入り添加到することができます。ポップアップの画面が表示されたら、お気に入りアイコンをタッチしてから**お気に入り**に追加をタッチします。お気に入りの目的地を削除するには、マップ上でそれを選択し、表示されるポップアップにある**お気に入り**アイコンをタッチし、「**削除**」をタッチして削除を確認します。



ひんばんに利用する目的地は、そのつど目的地名や住所を入力することを避けるため、お気に入り追加することをおすすめします。目的地をお気に入りに追加すれば、「ナビ」>「お気に入り」をタッチしてリストから選択するだけで簡単にルートを表示することができます。

ナビゲート オプションには、自宅と勤務先用のプレースホルダーが含まれます。Model X は、使用パターンによって検索した目的地を自宅または勤務先として保存するように促すことがあります。自宅と勤務先を保存すると、Model X は、朝は勤務先、夕方は自宅にナビゲートするかどうかを促すようになります。現在地からの推定時間を表示するようになります。自宅または勤務先にナビゲートするには、**勤務先へ向かう**または**自宅に戻る**を押します。また、「設定」を押して、Model X が自宅または勤務先に目的地を変更する前に保存したい時間を指定します（5 分毎増加、最大 30 分）。

自宅や勤務先の住所を変更するには（他の住所変更も同じ手順）、「ナビ」をタッチし、自宅または勤務先の住所を長押しして、ポップアップに新しい住所を入力します。最近の履歴やお気に入りのリストにある住所を削除するには、その住所を長押しして、表示された X をタッチします。

注：安全のため、Model X を売却される際は、自宅や勤務先の住所、お気に入りの目的地を削除してください（**個人情報の消去** - 109 ページを参照）。

地図のアップデート

マップを更新するには、Model X を定期的に Wi-Fi ネットワーク（**Wi-Fi への接続** - 130 ページを参照）に接続してください。Wi-Fi を介して Model X にアップデートが送信されて、更新されたマップが利用可能になります。タッチスクリーンには、地図のアップデートがインストールされたことを示すメッセージが表示されます。

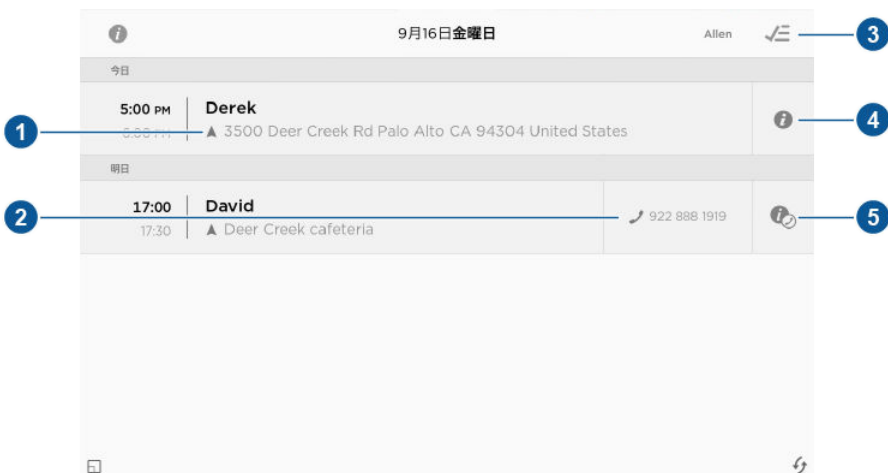
概要

カレンダー アプリにより、スマートフォン (iPhone[®] or Android[™]) のカレンダーを当日と翌日の分だけ見ることが出来ます。カレンダー アプリを使用するには、次の条件を満たす必要があります。

- Tesla Model X のモバイル アプリを起動し、すでにログインしていること。スマートフォン上で要求があれば、カレンダーのモバイル アプリへのアクセスを許可しなくてはなりません。そうすれば、カレンダーのデータがスマートフォンから Model X へ定期的 (かつ自動的) に送られるようになります。また、スマートフォンでモバイル アプリを表示させたときも、その都度最新のカレンダーのデータが Model X に送られます。カレンダー アプリのすべての機能を利用できるようにするには、モバイル アプリを最新のバージョンにする必要があります。
- スマートフォンと Model X が Bluetooth 経由で接続されていること (プライバシー保護のため、Bluetooth 接続されたスマートフォンからのカレンダー データのみが表示されます)。
- Model X へのリモート アクセスが有効になっていること (「コントロール」 > 「設定」 > 「安全とセキュリティ」 > 「リモート アクセス」 > 「On」の順にタッチしてください)。
- スマートフォンと Model X 双方の通信状態に問題がないこと。

Model X に乗ったとき、タッチスクリーンにその日のイベントのリマインダーを表示することができます。リマインダーを表示するかどうか、またいつ表示するかは「コントロール」 > 「設定」 > 「アプリ」 > 「カレンダー」 > 「乗車後カレンダーを表示」の順にタッチしてカスタマイズすることができます。

48 時間以内のスケジュールを表示するには、メイン タッチスクリーン ウィンドウからカレンダー アプリを選択します。カレンダー アプリにイベントが時系列順で表示されます。



1. カレンダー イベントに住所が含まれている場合は矢印が表示されます。住所にタッチすることで、そのイベントの場所までのナビゲーションを行わせることができます (Model X にナビゲーションが搭載されている場合)。
2. カレンダー イベントに電話番号が関連付けられている場合、数字にタッチすることで電話呼び出しを行うことができます。
3. 複数のカレンダーにあるイベントが表示されている場合、特定のカレンダーのイベントだけが表示されるようにフィルタリングできます。
4. カレンダー イベントにメモが関連付けられている場合、インフォメーション アイコンにタッチするとメモがポップアップ ウィンドウで表示されます。



5. イベントのメモに1つまたはそれ以上の電話番号が含まれている場合、インフォメーションアイコンと電話シンボルが表示され、イベント リストに最初の電話番号が表示されます。この番号で(上記の項目2で説明したように)電話を呼び出すことができます。また、メモのポップアップ ウィンドウにある他の番号からも電話を呼び出すことができます(特に電話会議に便利です)。メモにウェブ リンクが含まれている場合、タッチするとウェブ ブラウザー アプリを開くことができます。

カレンダーとナビゲーション

Model X にナビゲーションが搭載されており、カレンダー イベントに場所が指定されている場合、その場所までナビゲーションさせるオプション機能を使うことができます。



セキュリティ システムについて

Model X が近くにキーがあることを検出していない状態でドアやトランクのロックが解除されると、アラーム音が鳴り、ヘッドライトと方向指示器のランプが点滅します。アラームは、キーのボタンを押すと解除されます。

アラームシステムを手動でオン/オフするには、「コントロール」>「設定」>「安全とセキュリティ」>「アラーム」の順にタッチします。アラームシステムをオンにしておくと、Model X は、ドアがロックされてから、および認識されたキーが近くに検出されない状態になってから 1 分間後にアラームを動作させます。



データ接続方法として Wi-Fi が用意されており、携帯電話通信網よりも速い場合も多くあります。Wi-Fi 接続は携帯電話が通じにくい、または通じない地域で特に便利です。Model X のソフトウェアアップデートを高速かつ確実に行うため(ソフトウェアアップデート - 131 ページを参照)、Tesla は Wi-Fi をネットワークに接続した状態にしておくことをお勧めします。Wi-Fi ネットワークへの接続方法は以下の通りです:

1. タッチスクリーン ステータスバーにある **3G** (または **LTE**) アイコンをタッチしてください。Model X が圏内にある Wi-Fi ネットワークの検索と表示を開始します。
2. 使用したい Wi-Fi ネットワークを選択してパスワード (必要な場合) を入力してから、「**接続**」にタッチします。

検索したネットワークの一覧にない非表示のネットワークにも接続できます。「**Wi-Fi 設定**」にタッチし、表示されるダイアログ ボックスにネットワーク名を入力するだけです。

ネットワークにいったん接続すると、そのネットワークが圏内にあるかぎり Model X は自動的に同じネットワークに接続されます。過去に接続したことのあるネットワークが圏内に複数ある場合、Model X は直近に使用したネットワークに接続されます。

注: モバイル ホットスポットや Wi-Fi テザリングを経由したインターネット接続も使用できます。

注: Tesla サービス センターでは、Model X は Tesla サービス Wi-Fi アクセス ポイントに自動的に接続されます。

新しいソフトウェアの読み込み

Model X のソフトウェア アップデートはワイヤレスで行われ、車両所有期間中は新機能の提供が継続的に行われます。ソフトウェアのアップデートがリリースされ次第インストールすることが推奨されます。アップデートが利用可能な状態になった後、初めて Model X に乗り込むと、タッチスクリーン上に予約ウィンドウが表示されます。最初の運転期間が終了した時点で、再度スケジューリング ウィンドウが表示されます。

注: ソフトウェア アップデートの中には完了までに 2 ～ 3 時間かかるものもあります。新しいソフトウェアのインストール中は、Model X のギアを P (パーキング) に入れておく必要があります。ソフトウェア アップデートを最も速くそして確実に受け取るには、できる限り Wi-Fi に常時接続した状態にしておきます ([Wi-Fi への接続](#) - 130 ページを参照)。

ソフトウェア アップデートが利用可能な状態になると、タッチスクリーンのステータス バーに黄色の時計アイコンが表示されます。アップデート ウィンドウを表示するには、このクロックアイコンをタッチします。次に、以下のどちらかを行います。

- アップデートを開始したい時刻を設定することにより、アップデートの予約をします。次に「この時間に設定」にタッチします。予約すると、タッチスクリーンのステータス バーの黄色の時計アイコンが白色に変わります。アップデートの開始前であれば、いつでもアップデートの再予約を行うことができます。

または

- 「今すぐインストール」をタッチすると、アップデート プロセスが直ちに開始されます。

ソフトウェア アップデートの開始時に Model X が充電中の場合、充電は中止されます。アップデートが完了すると、充電が自動的に再開します。予約したアップデート時刻に Model X が走行中の場合は、アップデートがキャンセルされますので、再予約する必要があります。

注: 特定の状況においては (たとえば、Tesla がソフトウェア アップデートを非常に重要と判断し、お客様が一定期間それをインストールしなかった等)、大きなソフトウェア アップデートについて「今すぐインストールする」よう (アップデートを一定時間後に行うことはできません) 促す表示が出ることがあります。引き続き Model X を運転し続けられ、すべてのコントロールを使えますが、この大きなソフトウェア アップデートのウィンドウはお客様がアップデートをインストールするまで消えないためじやまになります。車両のソフトウェアを最新の状態を維持しないことによって発生した損害または故障は保証の対象にならない場合があります。

タッチスクリーンにソフトウェア アップデートが完了しなかった旨のメッセージが表示された場合は、Tesla にご連絡ください。

リリース ノートの表示

ソフトウェア アップデートが完了したら、リリース ノートを表示させて新機能を確認してください。リリース ノートを任意のタイミングで表示させるには、タッチスクリーンの最上部中央の Tesla の「T」をタッチしてから、「リリースノート」をタッチします。



Model X のモバイルアプリ

Tesla Model X モバイル アプリにより、Model X は iPhone® または Android™ 携帯とリモート通信することができます。モバイル アプリを使用すると次のことができます:

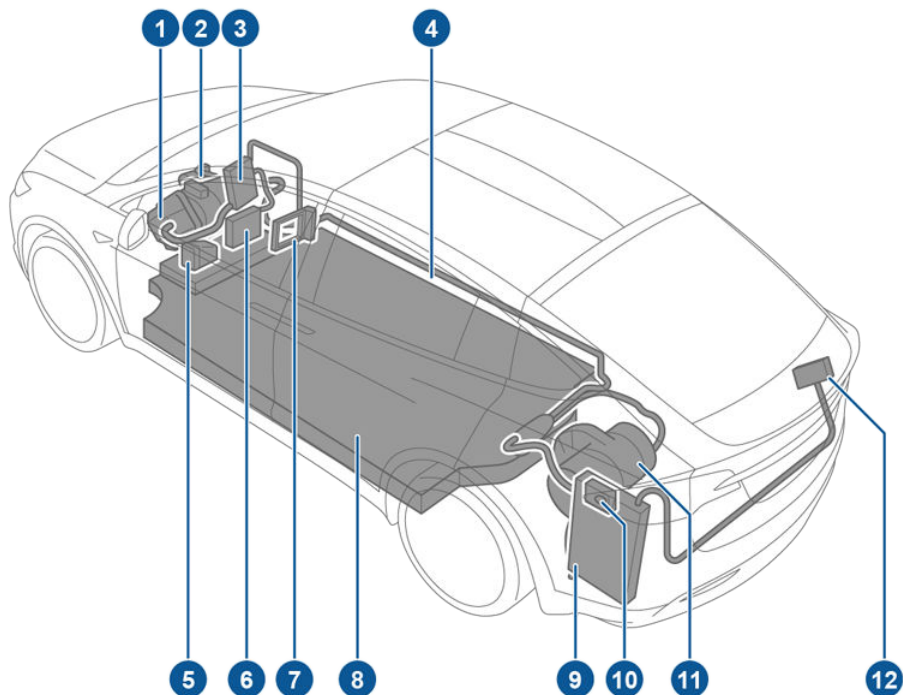
- 充電の進行状況をチェックしたり、充電の開始時や停止時、完了時に通知を受け取る。
- 運転前に Model X の暖房/冷房を入れる (ガレージ内でも可能)。
- Model X の位置と方向を特定し、マップ上で動きを追跡する。
- 駐車中で Model X のライトを点滅させたり、ホーンを鳴らさせて車両を見つける。
- 遠くから Model X をロックまたはアンロックする。
- Model X を始動させる。
- Model X のカレンダー アプリをサポートし、モバイル アプリを使ってスマートフォンのカレンダー データを Model X に転送する。
- カーアラームが発動したときや、Model X の新しいソフトウェアが更新可能なときに通知を受け取る。
- スケジュールされているソフトウェアのアップデートの通知を受信する。

お使いのスマートフォンに Tesla Model X モバイル アプリをダウンロードして、マイ TESLA ログイン情報を入力します。また、リモートアクセスの設定をオンにして Model X がモバイル アプリと通信できるようにしておく必要があります。「コントロール」>「設定」>「安全とセキュリティ」>「リモートアクセス」>「On」の順にタッチしてください (設定 - 106 ページを参照)。

注: Tesla は、Model X との連絡に第三者アプリを使用することをサポートしていません。

注: 新機能や改良機能にアクセスするためには、最新バージョンのモバイルアプリがリリースされたらすぐにダウンロードしてください。

高電圧コンポーネント



1. フロント モーター
2. AC コンプレッサー
3. 前方ジャンクション ボックス
4. 高電圧ケーブル配線
5. バッテリークーラントヒーター
6. DC-DC コンバーター
7. キャビンヒーター
8. バッテリー
9. 車載充電器
10. 充電ポート
11. リヤ モーター
12. 高電圧ケーブル - リア HVAC アセンブリ

⚠ 警告： 高電圧システムにはユーザーが整備可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーはオレンジ色になっており、容易に見分けることができます。

⚠ 警告： Model X に貼ってあるラベルの注意を読み、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。

⚠ 警告： 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。



充電機器

Model X の充電専用設計された充電機器は Tesla から入手できます。Tesla ウォール コネクタはガレージに取り付けるタイプで、Model X をご自宅で最も高速に充電することができます。

一部の国・地域では、Model X にモバイル コネクタとアダプターが装備され、一般的に使用される電源コンセントに挿して使います。モバイル コネクタを使用するときは、まずそのモバイル コネクタを電源コンセントに挿し、次に Model X に接続します。モバイル コネクタの詳細については、モバイル コネクタのオーナーズ マニュアル (タッチスクリーンで閲覧可能) を参照してください。追加アダプターの購入は、Tesla にお問い合わせください。

Tesla では各種アダプターを販売しており (J1772、Mennekes Type 2、CHAdeMO など)、Model X をお使いの地域で最も一般的に使用されている公共充電ステーションに接続することができます。アダプターを充電ステーションの充電ケーブルに接続し、タッチスクリーンを使って充電ポート扉を開けてから (充電方法 - 136 ページを参照)、Model X に接続します。

お使いの地域の充電機器の詳細な情報については、www.teslamotors.com/ - にアクセスし、利用可能な充電オプションをご確認ください。



バッテリーについて

Model X は世界最高クラスの高性能バッテリーを搭載しています。バッテリーを長持ちさせるために最も重要なのは、使用していない間も Model X に**充電プラグを挿し込んだままにしておく**ことです。特に数週間以上 Model X を運転する予定がない場合、これは重要です。Model X が充電状態になっていれば、バッテリーの寿命を最大にする充電レベルを自動的に維持することが必要になったときにスリープ状態から復帰します。

バッテリーのレベルが低下するまで充電を待つ必要はありません。実際、バッテリーは定期的に充電されていると最高の性能を発揮します。

注: Model X のバッテリーが完全に放電し、牽引が必要になった場合は、オーナーが牽引の費用を負担しなければなりません。放電が原因による牽引の費用はロードサイドアシスタンス契約の対象になりません。

バッテリーの保護

バッテリーを完全放電させないでください。Model X を運転していない間も、バッテリーは車載電子回路に電源を供給するために非常にゆっくり放電しています。バッテリーは平均して 1 日 1% の割合で放電します。Model X が充電できない状態が長期間続くような場合もあります（たとえば、空港の駐車場に車を置いて旅行に出かけるなど）。バッテリーを十分な充電レベルに保つために、前述の 1% について留意してください。たとえば、2 週間 (14 日) 充電しないと、バッテリーはおおよそ 14% 放電します。

バッテリーを 0% まで放電すると、バッテリーを恒久的に損傷するおそれがあります。完全放電からバッテリーを保護するために、充電レベルが 5% に低下すると、Model X は低消費電力モードに入ります。このモードでは、1 か月当たりの放電速度をおおよそ 4% にまで下げるため、バッテリーは車載電子回路への電源供給を停止します。低消費電力モードに入った場合は、バッテリーを損傷しないように、2 か月以内に Model X を充電することが重要です。

注: 低消費電力モードに入っていると、補助 12V バッテリーの充電は停止し、12V バッテリーは 12 時間以内に完全放電します。そのような状態になった場合、ジャンプスタートさせるか、12V バッテリーを交換しないと充電できなくなるおそれがあります。その場合はテスラにご連絡ください。

温度の限界

常に良好な性能を維持するため、Model X を 60° C 超または -30° C 未満の環境に 24 時間以上連続して置かないでください。

省エネ機能

Model X には省エネ機能があり、Model X を使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。「**コントロール**」 > 「**スクリーン**」 > 「**省エネモード**」の順にタッチします。航続距離を最大限に伸ばし、かつエネルギーを削減することについての詳細情報は [航続距離を最大限に伸ばす](#) - 67 ページをご参照ください。

バッテリーに関する警告と注意事項

⚠ 警告: バッテリーには、オーナーまたはテスラにより認定されていないサービステクニクが整備できる部品はありません。どのような状況下においても、バッテリーのフタを開けたり、バッテリーを改造したりしないでください。必ずテスラに連絡して、バッテリーの修理を依頼してください。

⚠ 注意: バッテリーの充電レベルが 0% になった場合は、バッテリーを充電する必要があります。長期間にわたってバッテリーを充電せずに放置した場合は、ジャンプスタートさせるか 12 V バッテリーを交換しないと Model X を充電できなくなったり、使用できなくなったりするおそれがあります。Model X を長期間にわたって充電せずに放置すると、恒久的にバッテリーを損傷することもあります。Model X を充電できない場合は、ただちに Tesla にご連絡ください。

⚠ 注意: バッテリーはオーナーによるメンテナンスを必要としません。フィルター キャップを開けたりバッテリー液を補充したりしないでください。バッテリー液のレベルが低いという警告が計器パネルに表示された場合は、ただちにテスラにご連絡ください。

⚠ 注意: このバッテリーは固定電源として使用しないでください。固定電源として使用した場合は、保証が無効になります。



充電ポートを開ける

充電ポートは Model X の助手席側に位置し、リア テール ランプ アセンブリの一部になっているドアの後ろにあります。

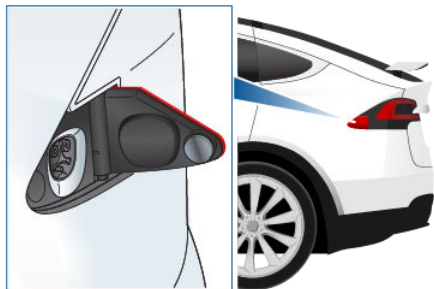
充電ケーブルが充電ポートに届きやすいように、Model X を駐車します。

Model X のロックが解除されている状態または認識済みのキーがそばにある状態で Tesla 充電ケーブルのボタンを押して離し、充電ポート扉を開きます。



お使いのケーブルにボタンがない場合、以下の方法のいずれかで充電ポート ドアを開くことができます。

- タッチスクリーンで、「コントロール」>「ドア」>「充電ポート」の順でタッチします。
- リア トランク ボタンを1～2秒間押し続けます。



公共の充電スタンドで充電するには、スタンドの充電コネクタにアダプターを接続します。Model X には、販売地域でよく使われているアダプターが付属しています。使用している充電器によっては、充電器の制御装置を使用して充電を開始、停止する必要があります。

注: 充電ポート扉を開けると、充電ポートのライトが白色に点灯します。充電ケーブルが接続されていないと、やがてライトが消灯します。

注: 充電ポート扉を開いてから数分以内に充電ケーブルを充電ポートに接続しないと、ラッチが閉じます。その場合は、タッチスクリーンを使用して充電ポート扉を開けます。

⚠ 注意: 充電ケーブルのコネクタ側を Model X の上に落とすと、塗装が損傷することがあります。

⚠ 注意: 充電ポートを無理に開けようとししないでください。ラッチが損傷することがあります。ラッチが損傷すると、ドアが閉まらなくなります。

挿し込む

必要場合は、タッチスクリーンを使用して充電上限と充電電流を変更します。

モバイル コネクタを使用している場合は、先にそれを電源コネクタに挿してから Model X につなぎます。

コネクタと充電ポートの向きを合わせて、コネクタを奥まで挿し込みます。コネクタが正しく挿し込まれている場合に Model X が以下の状態になると、自動的に充電が開始されます。

- ラッチによってコネクタが所定の位置に固定されたとき。
- パーキングにシフトしたとき (他のギアに入っていた場合)。
- 必要に応じてバッテリーを加熱または冷却したとき。バッテリーを加熱または冷却する必要がある場合は、充電が開始されるまでに遅れが生じる場合があります。

注: Model X に充電ケーブルが差し込まれている状態で充電が行われていないときは、バッテリーに蓄積されたエネルギーではなく、コンセントからエネルギーが引き出されます。たとえば、ギアをパーキングに入れ、充電ケーブルを差し込んだ状態で、Model X の座席に座ってタッチスクリーンを操作している間、Model X が消費するエネルギーはバッテリーではなく電源コンセントから取り込まれます。



充電中

充電中、充電ポートは緑色に点滅し、計器パネルに充電ステータスが表示されます。充電レベルがフルに近づくにつれて、充電ポートのライトが点滅する周期が遅くなります。充電が完了すると、ライトの点滅が停止し、緑色の点灯になります。

注: Model X がロックされている場合、充電ポートの周囲のライトは点灯しません。

充電ポートの周囲のライトが充電中に赤く点灯する場合は、故障が検出されています。計器パネルまたはタッチスクリーンで故障に関するメッセージを確認してください。故障は、停電などのよくある障害が原因で発生する可能性があります。停電が発生した場合は、電力が復旧すると自動的に充電が再開されます。

注: 特に大電流で充電する場合は、必要に応じて冷媒コンプレッサーとファンが動作し、バッテリーを冷却します。したがって、充電中に音が聞こえるのは正常な状態です。

充電の停止

充電ケーブルを取り外すか、タッチスクリーンで「充電を停止」にタッチすることにより、いつでも充電を停止できます。

注: 充電ケーブルの不正な取り外しを防止するため、ロックが解除されるか、Model X がキーを認識しない限り、充電ケーブルは取り外せないようになっています。

充電ケーブルを取り外す

1. Tesla コネクターのボタンを長押ししてラッチを解除します。また、充電画面から「**充電を停止**」をタッチすることもできます。([充電設定の変更](#) - 140 ページを参照)。
2. コネク터를充電ポートから引き抜きます。
3. 充電ポート扉を押して閉めます。

注: Model X が電動式の充電ポート扉を装備している場合は、充電ケーブルを外すとそれが自動的に閉じます。

注意: Tesla では、Model X を使用していない場合でも、充電ケーブルを挿し込んだままにしておくことを強く推奨します。そうすることで、バッテリーの充電レベルが最適に保たれます。



充電ポート ライト

- 白：充電ポート扉が開き、Model X に充電できるようになります。コネクタはまだ接続されていないか、ラッチがリリースされ、コネクタを取り外せる状態です。
- 緑色点灯：充電完了。
- 緑色点滅：充電中。Model X の充電が終了に近いほど、点滅の頻度が遅くなります。
- 青色：Model X はコネクタが接続されていることを認識していますが、充電を開始していません。Model X が充電の準備をしているか、特定の時間に充電を開始する予定があるかのいずれかの状態です。
- オレンジ色点灯：コネクタが完全に差し込まれていません。コネクタと充電ポートの向きを合わせて、コネクタを奥まで挿し込んでください。
- オレンジ色点滅：Model X は少ない電流で充電中です (AC 充電のみ)。
- 赤色：故障が検出され、充電が停止しました。計器パネルまたはタッチスクリーンで故障に関するメッセージを確認してください。

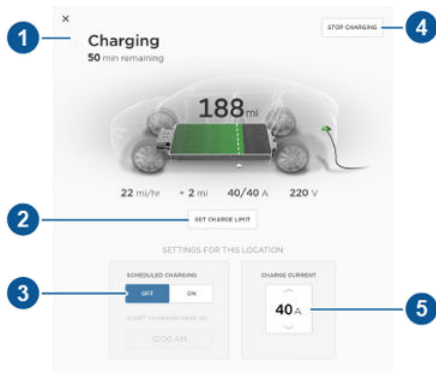


充電設定の変更

充電ポート扉が開いていると、タッチスクリーンに充電設定画面が表示されます。

充電設定画面を表示するには、タッチスクリーン最上部のバッテリー アイコンにタッチするか、「コントロール」>「充電中」（「コントロール」画面の右上）の順にタッチします。

注：以下の図は説明目的で掲載されており、Model X のソフトウェアのバージョンおよび販売地域によって異なる場合があります。



1. 充電ステータス メッセージ（「予約充電」、「充電中」など）はここに表示されます。
2. 充電限度を調整するには、**充電限度設定** をタッチしてから、矢印をタッチして日常運転では 10%、長距離運転では 2% 刻みで充電限度設定を変えます。選択した設定は、即充電と予約充電の両方に適用されます。
3. 特定の場所の予約充電: Model X がパーキングの状態のとき、現在の場所で Model X の充電開始時刻を設定します。予定時刻に指定場所にある Model X に充電ケーブルが接続されていない場合は、予定時刻経過後 6 時間以内に充電ケーブルを接続するとすぐに充電が開始されます。予定時刻から 6 時間経過した後で充電ケーブルを接続した場合、Model X の充電は翌日の予定時刻になるまで開始されません。この設定を変更するには、「充電開始」または「充電を停止」にタッチします（第 4 項を参照）。充電予定時刻を設定すると、Model X の計器パネルとタッチスクリーンに設定された時刻が表示されます。
4. タッチして充電ポート扉を開けるか、充電を開始（または停止）します。
5. あらかじめ低い電流レベルに設定されていない限り、接続されている充電ケーブルから得られる最大電流に電流が自動的に設定されます。

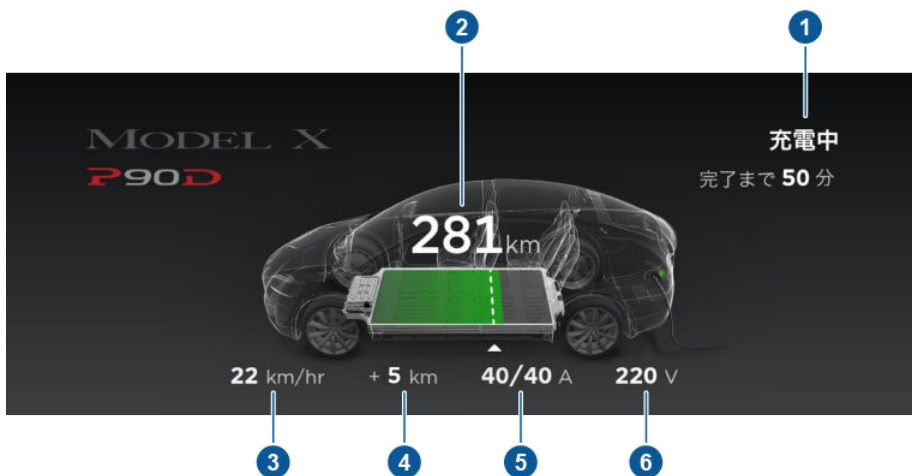
必要な場合は、上下矢印にタッチして電流を変更します（たとえば、他の機器と屋内配線を共有している場合に屋内配線が過負荷にならないように電流を下げる場合があります）。接続されている充電ケーブルから得られる最大電流を上回るレベルに充電電流を設定することはできません。

電流を変更すると、Model X はそのときの場所を記憶します。したがって、その後、同じ場所で充電するときに電流を再度設定する必要はありません。

注：入力電力の変動により、Model X が充電場所の電流設定値を自動的に低下させた場合は（**充電ステータス** - 141 ページの注記を参照）、問題が解決して充電場所の電力が安定するまで、低い電流で充電することをお勧めします。

充電ステータス

以下の図は説明目的で掲載されており、Model X のソフトウェアのバージョンおよび販売地域によって異なる場合があります。



1. 充電ステータス情報。たとえば、Model X が充電中の場合は、現在選択されている充電レベルで充電したときのフル充電までの残り時間が表示されます。充電セッションが予定されると、充電開始される時間を表示します。
 2. 推定航続可能距離 (エネルギー)。ここで示すように走行距離で示す代わりに、「コントロール」 > 「設定」 > 「言語と単位」 > 「エネルギーと充電」をタッチしてバッテリーの充電残量をパーセントで表示することができます。
- 注：**バッテリーの図の一部が青くなることがあります。これは、バッテリーが冷えているため、バッテリーに蓄えられているエネルギーのごく一部が運転に利用できないことを示しています。これは正常な動作で、問題はありません。バッテリーが温まると、青い部分が消えます。
3. 1 時間当たりの充電量。
 4. 現在の充電で増加した推定航続距離 (またはエネルギー)。上図で示すように走行距離で示す代わりに、「コントロール」 > 「設定」 > 「言語と単位」 > 「エネルギーと充電」をタッチして充電されたエネルギーを表示することができます。
 5. 供給中の電流/接続されている電源から利用可能な総電流 (充電設定の変更 - 140 ページを参照)。
 6. 充電ケーブルから供給されている電圧。

注：Model X が充電中のとき、入力電力に予期せぬ変動が検出されると、充電電流が自動的に 25% 減少します。たとえば、40 アンペアの電流が 30 アンペアに減少します。この自動電流減少機構によって、Model X の外部またはその充電回路に問題があるときの安定性と安全性が向上します。このような問題の例として、家庭の屋内配線、コンセント、アダプター、コードが定格電流容量を満たしていないことがあります。しかし、Model X が、あるロケーションの入力電力を自動的に減少するとき、その充電ロケーションの入力電力の減少分をそのまま保存するので注意が必要です。減少した電流を手動で増やすこともできますが、Tesla としては、根本的な問題が解決して充電場所の電力が安定するまで、低い電流で充電することをお勧めします。



定期サービス

ご利用の Model X の信頼性と効率を長期にわたって維持するには、定期的なメンテナンスが重要となります。

維持維持して、Model X を Tesla で 12 か月に一度、または 20,000 キロを走行したら（いずれか先に到達する期間）、定期的にメンテナンスを行ってください。また、毎日および毎月、下記のようなチェックを行うことも重要です。

Model X の保守は Tesla 認定の整備士によって実施される必要があります。Tesla 認定の整備士以外が行ったメンテナンスまたは修理で生じた損傷または故障は保証の対象となりません。

毎日のチェック

- 計器パネルに表示されるバッテリーの充電レベルをチェックします。
- 外装のライト、ホーン、方向指示ライト、ワイパー、ウォッシャーの動作をチェックします。
- パーキング ブレーキも含め、ブレーキの動作をチェックします。
- シートベルトをチェックします（シートベルト - 22 ページを参照）。
- Model X の車体の下に液体が漏れていないかチェックします。少量の水がたまっている（空調システムの除湿プロセスによる）、異常ではありません。

毎月のチェック

- 各タイヤの状態と空気圧をチェックしてください（**タイヤの手入れと保守** - 143 ページを参照）。
- ウォッシャーの液位をチェックし、必要なら液を補充します（**ウォッシャー液の補充** - 157 ページを参照）。
- 空調システムの動作をチェックします（**温度調整** - 110 ページを参照）。

警告： 液位の大幅または急激な低下、あるいはタイヤの局部的な摩耗に気づいたら、ただちに Tesla にご連絡ください。

定期液交換

バッテリー冷却剤やブレーキフルードはご自分で交換したり補充したりしないでください。液は Tesla サービス技術者が以下の間隔で定期的に交換いたします。

- ブレーキフルード: 2 年ごとあるいは 40,000 km のいずれか早い方。
- バッテリー冷却剤: 4 年ごとあるいは 80,000 km のいずれか早い方。

注： バッテリー冷却剤タンクを開けたために生じた損害は保証の対象外です。

高電圧安全性

お客様の Model X は安全性を最優先して設計・製造されています。しかし、どのような高電圧システムにも負傷のリスクはつきものであるため、安全のため、以下の注意事項に留意してください。

- Model X に貼ってあるラベルの注意をお読みになり、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。
- 高電圧システムには、ユーザーがサービス可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーはオレンジ色になっており、容易に見分けることができます。
- 事故発生時は、高電圧配線、コネクタ、配線に接続された部品に一切手を触れないでください。
- 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。

警告： Model X の下で作業をする場合は、充電中でなくても、必ず事前に充電ケーブルを抜いておいてください。

警告： 冷却ファンの吹き出し口を、手や衣類などでふさがないようにください。冷却ファンの中には、Model X がパワー オフの状態でも動作するものがあります。

注意： 自動車で使用される液体（バッテリー酸、バッテリー冷却剤、ブレーキフルード、フロントガラス ウォッシャー添加剤など）の中には有毒なものがあり、これらの液を吸入または嚥下したり、傷口に接触させたりしないでください。安全のため、液体の容器に表示されている説明を必ず読み、守るようにしてください。

タイヤ空気圧の保守

タイヤと荷重情報ラベルに印刷されている空気圧が、タイヤ自信に記載されている空気圧とは異なる場合でも、このラベルに表示される空気圧に従ってください。「タイヤと荷重情報」ラベルは、中央のドアピラー上にあり、運転者の側のドアを開くと確認することができます。



1つまたは複数のタイヤの空気圧が低すぎるまたは高すぎる場合、計器パネル上のタイヤ空気圧表示灯が警告します。

タイヤ空気圧表示灯は、空気圧を調整してもすぐには消えません。タイヤを推奨空気圧にした後、タイヤ空気圧表示灯を消すタイヤ空気圧監視システム (TPMS) を作動させるには、時速 40 km を超える速度で 10 分以上運転する必要があります。

Model X の電源を入れるたびに表示灯が 1 分間点滅する場合は、タイヤ空気圧監視システム (TPMS) が故障を検出しています (TPMS 故障 - 146 ページを参照)。

タイヤ空気圧の点検と調整

タイヤが冷えており、Model X が 3 時間以上静止しているときに以下の手順に従ってください。

1. バルブキャップを取り外します。
2. 圧力を測定するため、正確なタイヤ空気圧ゲージをバルブにしっかりと押しつけます。
3. 必要に応じて、推奨空気圧にするために空気を追加します。
4. タイヤゲージを取り外して再び取り付けることにより、圧力を再度チェックします。
5. 空気を入れすぎた場合は、バルブ中央の金属ステムを押すことによって空気を逃がします。
6. タイヤゲージの圧力を再チェックし、必要に応じて調整します。
7. ほこりが侵入しないよう、バルブキャップを再び取り付けます。バルブに損傷や漏れがないかを定期的に点検します。



警告：タイヤの低空気圧は、タイヤ温度の上昇、深刻なひび割れ、突然のトレッド剥離やパンクを引き起こすなど、タイヤの不具合の最も一般的な原因です。この結果、車両制御が予期せず失われ、けがや事故につながる危険性が高まります。低空気圧はバッテリー耐走行距離およびタイヤのトレッド寿命に影響を及ぼします。



警告：タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用して圧力をチェックしてください。現在のタイヤ空気圧でタイヤをなじませるには、タイヤを温めるため約 1.6 kms ほど運転すれば十分です。直射日光や高温場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になり大変危険です。



警告：Tesla 修理キットに用意されているタイプ以外のタイヤシーラントは使用しないでください。他のタイプを使用すると、タイヤ空気圧センサーが故障する可能性があります。Model X にタイヤ修理キットが含まれていない場合は、Tesla から購入できます。



タイヤの点検と保守

トレッドとサイドウォールにゆがみ(膨らみ)、切り込み、または摩耗の兆候がないか定期的に点検してください。

警告: タイヤが損傷している、摩耗しすぎている、またはタイヤの空気圧が不適切な場合は、Model X を運転しないでください。タイヤの摩耗を定期的に点検し、切り込み、膨らみ、またはブライ / コード構造の露出がないことを確認してください。

タイヤ摩耗

適切なトレッド溝の深さはタイヤの性能発揮に重要なものです。トレッドの深さが 3 mm 以下のタイヤは濡れた路面でハイドロプレーン現象を引き起こしやすいため、使用しないでください。トレッドの深さが 4 mm 以下のタイヤは雪道やスラッシュ状態の道で性能を発揮できないため、冬期には使用しないでください。

納車時の Model X には、トレッドパターンにウェアインジケーターが鑄込まれたタイヤが取り付けられています。トレッドが 3 mm まで摩耗すると、トレッドパターンの表面にタイヤ幅にわたって連続する輪ゴムのように見えるウェアインジケーターが現れます。最適な性能と安全性を保つため、Tesla ではウェアインジケーターが現れる前のタイヤ交換を推奨しています。

ローテーション、バランス、ホイールアライメント

使用されているタイヤは非対称パターンで前後でサイズも異なるため、Model X のタイヤはローテーションすることができません。

ホイールバランスが悪い場合(ステアリングホイールからの振動によって気付くことがあります)は、車両の操作とタイヤの寿命に影響します。通常の使用であっても、ホイールはバランスを失うことがあります。したがって、必要に応じてバランスを調整する必要があります。

タイヤの摩耗が均でない場合(タイヤの片側のみ摩耗)または異常なほど摩耗しすぎている場合は、ホイールアライメントを点検してください。

注: 2 つのタイヤのみを交換する場合は、常に新しいタイヤを後部に取り付けてください。

パンクしたタイヤ

タイヤはパンクすると、最終的には圧力を失います。タイヤ空気圧を頻繁に点検することが重要な理由はここにあります。パンクしたタイヤまたは損傷したタイヤは、できるだけ速やかに永久的修理をほどこすかまたは交換してください。

チューブレスタイヤは、物が刺さったとき、それがタイヤ内に残っていれば空気が漏れないことがあります。ただし、運転中に突然の振動や乗り心地の低下を感じた場合、またはタイヤの損傷が疑われる場合は、ただちに速度を落としてください。低速で走行し、急ブレーキや急なステアリングを避けながら、安全を確認して車両を停止します。Model X を Tesla サービスセンターまたは最寄りのタイヤ修理センターに輸送するよう手配します。

注: 場合によっては、Tesla から購入可能なオプションのタイヤ修理キットを使用して、軽度のパンク(6 mm)を応急修理することもできます。これにより、Model X を Tesla または最寄りのタイヤ修理施設に低速で移動させることができます。

警告: パンクでタイヤの空気が抜けていなくても、パンクしたタイヤで運転しないでください。パンクしたタイヤは突然空気が抜けてしまう可能性があります。

フラットスポット

Model X を高温下で長期間駐車しておくと、タイヤにフラットスポットが発生することがあります。Model X を運転すると、このフラットスポットが原因で振動が発生します。タイヤが温まるにつれ、しだいにこの振動は消え元の形状に戻ります。

駐車中にフラットスポットの発生を最小限にするには、タイヤウォールに示されている最大圧まで空気圧を入れておいてください。その後、運転する前に空気を抜いてタイヤの空気圧を推奨レベルに調整します。

タイヤの走行距離の改善

タイヤの走行距離を伸ばすには、タイヤの推奨空気圧を維持し、速度制限および推奨速度を順守し、以下の点にご注意ください。

- 急発進または急加速を避ける。
- 急に曲がったり急ブレーキを避ける。
- 陥没している道路、障害物のある道路を避ける。
- 駐車時に縁石にぶつからないようにする。
- タイヤに腐食性の高い液体が付着しないようにする。

タイヤとホイールの交換

タイヤは、紫外線、極端な高温・低温、高負荷、および環境条件によって時間とともに劣化します。タイヤは 6 年ごと、必要に応じてはそれ以前に交換するようにしてください。

ホイールリムとタイヤは、車両のハンドリング特性に合うように組み合わせられています。交換用タイヤは、元の仕様に適合する必要があります。指定された以外のタイヤを使用する場合は、タイヤにマーキングされた定格荷重および定格速度が、元の仕様と等しいかあるいはそれを上回っていることを確認してください。

4 本すべてのタイヤを一度に交換することが理想的ですが、これができない場合は、タイヤをペア単位で交換してください（フロントまたはリアのペア）。タイヤを交換する場合は、必ずリバランスを行いホイールのアライメントを点検します。

⚠ 警告：安全のため、元の仕様と一致するタイヤおよびホイールのみを使用してください（**ホイールとタイヤ** - 168 ページを参照）。元の仕様と一致しないタイヤは、タイヤ空気圧監視システム（TPMS）の動作に影響を与える可能性があります。

⚠ 警告：タイヤの定格速度を超えて運転しないでください。定格速度はタイヤのサイドウォール（**タイヤのマーキングについて** - 169 ページを参照）に表記されています。

非対称タイヤ

Model X のタイヤは非対称であり、正しいサイドウォールが外側を向くようにホイールに取り付ける必要があります。タイヤのサイドウォールに OUTSIDE/OUTSIDE と表示されています。新しいタイヤを取り付ける際は、タイヤにホイールを正しく取り付けてください。



⚠ 警告：タイヤにホイールが正確に取り付けられないと、ロードホールディング性能が著しく損なわれます。

季節別タイヤ保管

サマー タイヤ

Model X に最初から高性能夏季用タイヤまたはオールシーズンタイヤのいずれかが装着されている場合があります。これらのタイヤは、ドライとウェットの道路状況で性能を最大限に発揮しますが、冬季の道路状況で十分な性能を発揮するには作られていません。Tesla は低温下、あるいは雪や氷が存在する路面での運転にはスタッドレスタイヤの使用を推奨しています。冬季タイヤが装着されていない場合は、Tesla に連絡し推奨されるタイヤをご確認ください。

⚠ 警告：低温下、あるいは雪や氷の存在する路面では、サマータイヤは十分なトラクションを発揮しません。デュアルモーター搭載の場合でも、安全と Model X の十分な性能発揮のためには、冬期用の適切なタイヤ選びを行い、装備することが必要です。

オール シーズン タイヤ

ご購入直後の Model X にはオール シーズン タイヤが装備されている場合があります。これらのタイヤは年間を通じて適切なトラクションを発揮できるように設計されていますが、雪氷下ではウィンタータイヤほどのトラクションを発揮できない場合があります。オール シーズン タイヤは、タイヤのサイドウォールに「ALL SEASON」および/または「M+S」（mud and snow）と表記されています。

スタッドレスタイヤ

雪道や凍結路面でトラクションを高めるにはスタッドレスタイヤを使用してください。スタッドレスタイヤを装備する際は、必ず 4 輪一組で同時に装備してください。スタッドレスタイヤは、4 つの車輪とも同一のサイズ、メーカー、構造およびトレッドパターンを使用してください。Tesla に連絡し、スタッドレスタイヤに関する推奨事項を確認してください。



スタッドレスタイヤは、タイヤのサイドウォールに山/雪のシンボルが表記されています。

スタッドレスタイヤを装備している場合、より大きな走行音が発生し、トレッド寿命が短くなるほか、乾いた路面ではトラクションが減少する場合があります。



低音での運転

タイヤの性能は低周囲温度では低下し、そのためグリップが低下して、衝撃による損傷をより受けやすくなります。パフォーマンス タイヤは冷えた場合一時的に固くなることがあり、タイヤが温まるまでの最初の数 km は回転ノイズが聞こえます。

タイヤチェーンの使用

Tesla では、雪の交じる状況でのトラクションを高めるための Maggie Group Trak Special LT51 スノーチェーンを試験し、認定しています。このチェーンは、リアの 19 または 20 インチ タイヤにのみ装着できます。22 インチ タイヤや 前輪には使用しないでください。認定済スノーチェーンは Tesla で販売しています。

タイヤチェーンを取り付ける際は、タイヤチェーン製造元の取扱説明書の指示に従ってください。チェーンはできるだけしっかり取り付けてください。

チェーンを使用する際は、次の点にご注意ください。

- ゆっくり運転します。時速 48 km を超えないようにしてください。
- Model X に重量物を積載しないでください (重量物はタイヤとボディ間のクリアランスを減少させる可能性があります)。
- タイヤチェーンは状況が許せばただちに取り外してください。

注: タイヤチェーンの使用は一部の地域では禁止されています。タイヤチェーンを取り付ける前に当該地域の法律を確認してください。

注意: 非推奨タイヤチェーンの使用、サイズ違いのタイヤチェーンの使用は、サスペンション、ボディ、ホイール、またはブレーキラインを損傷する可能性があります。非推奨タイヤチェーンの使用により発生した損傷は、保証の対象外です。

注意: Model X22 インチタイヤにはチェーンは装着せず、前輪にもタイヤチェーンは使用しないでください。

注意: チェーンがサスペンションコンポーネントやブレーキラインに触れないようにしてください。チェーンから Model X との接触を示す異常なノイズが聞こえたらただちに停車して、確認してください。

タイヤ空気圧監視

タイヤが冷えている状態、および運転席の側ドアピラーにある「タイヤと荷重情報」ラベルに記載された推奨空気圧の状態、毎月点検する必要があります ([タイヤ空気圧の保守](#) - 143 ページを参照)。車両のラベルまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されたサイズと異なるサイズのタイヤが取り付けられている場合は、それらのタイヤの適正空気圧を確認してください。

追加の安全機能として、車両にはタイヤ空気圧監視システム (TPMS) が装備されています。TPMS は、1 本または複数のタイヤの空気圧が著しく低すぎる、または高すぎる場合に、計器パネルに警告 (タイヤ空気圧警告) を表示します。これに応じて計器パネル上のタイヤ空気圧インジケーターがタイヤ空気圧の警告を表示する場合は、ただちに停車してタイヤを点検し、適正な空気圧に調整してください ([タイヤ空気圧の保守](#) - 143 ページを参照)。タイヤの空気圧が著しく低い状態で運転すると、タイヤが過熱しタイヤの不具合につながる可能性があります。低空気圧は、燃料の効率とタイヤのトレッド寿命に悪影響を与え、車両のハンドリングおよび停止能力にも影響を及ぼす可能性があります。



Model X のタイヤ空気圧監視システム (TPMS) が不具合を検出した場合、Model X の電源を入れるたびにこのインジケーターが 1 分間点滅します。

注: Tesla が承認していないアクセサリを取り付けた場合、TPMS と干渉する可能性があります。



警告: TPMS は、タイヤ空気圧の手動による点検およびタイヤの定期検査などのタイヤの適切な保守に代わるものではありません。TPMS が計器パネル上にタイヤ空気圧の警告を表示していない場合でも、常に適正なタイヤ空気圧を維持するようにしてください。

タイヤセンサーの交換

タイヤ空気圧警告インジケーターが頻繁に表示される場合は、Tesla に連絡してタイヤセンサーを交換する必要があるかどうかを確認してください。タイヤセンサーは、簡略セットアップを行える Tesla のサービス技術者が交換する必要があります。Tesla 以外の修理施設でがタイヤを修理または交換した場合、タイヤセンサーは Tesla がセットアップを実行するまで作動しません。

TPMS 故障

Model X には、システムが正しく作動していないときに知らせる TPMS 故障インジケーターも搭載されています。



TPMS 故障インジケーターは、タイヤ空気圧インジケーターライトに組み込まれています。システムが故障を検出すると、Model X の電源を入れてから約 1 分間の間インジケーターが点滅し、その後点灯したままの状態になります。このシーケンスは、故障が存在する限りその後も車両を始動するたびに繰り返されます。TPMS 故障インジケーターがオンの状態では、タイヤ空気圧の異常を通常通りに検出できない場合があります。

TPMS の故障は、交換用または代替タイヤまたはホイールの取り付けを含む、TPMS の正しい作動を阻害するさまざまな要因によって発生します。1 本または複数のタイヤまたはホイールを交換した後は、必ず TPMS 故障インジケーターをチェックして、交換用または代替のタイヤおよびホイールで TPMS が引き続き正しく機能することを確認してください。

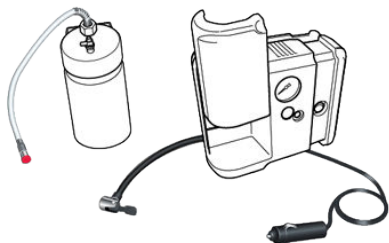
注: Tesla が提供するタイヤシーラントと異なるシーラントを使用してタイヤを交換または修理した後に、低タイヤ空気圧が検出された場合は、タイヤセンサーが損傷している可能性があります。できるだけ早く Tesla に連絡し、修理を依頼してください。



タイヤ修理キット

Model X にはスペア タイヤが付属していません。Model X を購入した地域の法令に応じて、タイヤ修理キットは付属していることも付属していないこともあります。Model X の納車時にタイヤ修理キットが付属していなかった場合は、Tesla からタイヤ修理キットを購入できます。

タイヤ修理キットはコンプレッサーとタイヤ シーラント缶 (1 本のタイヤのタイヤ修理に十分な量) から構成されます。シーラントをタイヤに注入すると、6 mm 以下の小さい穴にシーラントが浸透し、応急処置が行われます。



注: 6 mm より大きい穴が開いた場合、トレッドがひどく損傷している場合、タイヤが裂けている場合、タイヤがリムから外れている場合は、ロードサイドアシスタンスを呼んでください。

- 警告:** タイヤ修理キットは応急処置のみに利用できます。損傷したタイヤはただちに修理または交換する必要があります。
- 警告:** シーラントで応急処置をしたタイヤで運転する場合は、時速 48 km 以下の速度で運転してください。
- 警告:** 修理を始める前に、タイヤ修理キットに関するすべての指示と警告を守ってください。
- 注意:** 大きな損傷をきたすことがあるので、タイヤがパンクしたまま運転しないでください。

タイヤ シーラント缶

Tesla タイヤ修理キットに含まれているタイヤ シーラントは Model X での使用が承認されており、タイヤ圧監視システム (TPMS) のセンサーを損傷しないように作られています。したがって、シーラント缶を交換するときは、必ず同じ種類と容量のシーラント缶に交換する必要があります ([シーラント缶の交換 - 151 ページ](#)を参照)。タイヤ シーラント缶は Tesla からご購入できます。

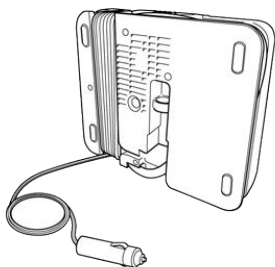
タイヤ シーラントの有効期限は缶の外側に表示されています。有効期限の過ぎたシーラントは本来の性能を発揮できない可能性があります。有効期限の過ぎたタイヤ シーラント缶は必ず交換してください。

- 警告:** Tesla から購入できるもの以外のタイヤ シーラントは使用しないでください。他のタイヤ シーラントを使用するとタイヤ圧センサーの故障の原因になります。
- 警告:** シーラント缶に記載されている安全と取り扱いに関する説明を必ず読み、守ってください。
- 警告:** タイヤ シーラントはお子さまの手が届かないところに保管してください。
- 警告:** タイヤ シーラントが目に入ったり、タイヤ シーラントを飲み込んだり、吸い込んだりすると、人体に有害な作用をもたらすおそれがあります。シーラントが目に入った場合は、ただちに水で洗い流し、炎症が治まらない場合は、医師の診察を受けてください。飲み込んだ場合は、無理に吐かせようとせずに、ただちに医師の診察を受けてください。吸い込んだ場合は、新鮮な空気を吸ってください。吸い込むと眠気や目まいを起こすことがあります。呼吸に障害が出た場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

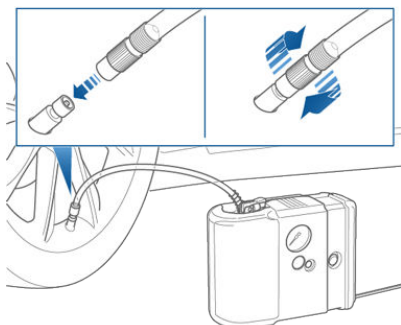
シーラントと空気でふくらませる

Tesla タイヤ修理キットがある場合は、以下の手順に従って小さいタイヤの穴 (6 mm 未満) をふさぐ、応急修理してください。

1. Model X を交通量の少ない安全な場所に停めて、乗員を安全な場所で待機させます。
2. ハザードランプをオンにして、他の車に警告します。
3. できれば、穴が下になるようにホイールの位置を調整します。
4. コンプレッサーの背面の電源コネクタを取り外し、センター コンソール前面にある 12V 電源ソケットに接続します。

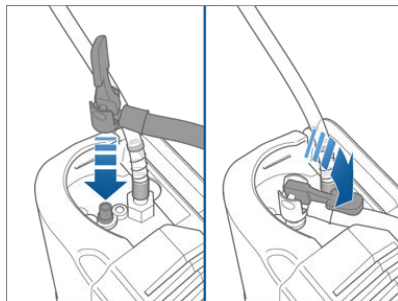


5. タイヤ コンプレッサーからプラスチックの透明なホースを取り外します。



6. 赤いキャップを取り外し、ホースの先端をタイヤのバルブにねじ込みます。

7. シーラント キットの黒い空気ホースをシーラントのバルブに取り付け、レバーを押下げてしっかりと固定します。



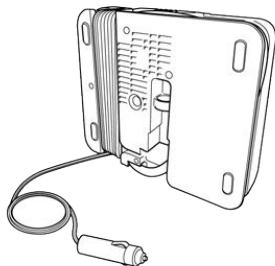
8. コンプレッサーが平らな面に置かれており、手順 5 に示すように圧力ゲージが横を向いていることを確認します。
9. コンプレッサーをオンにします。
10. 推奨空気圧までタイヤをふくらませます。
11. コンプレッサーをオフにして、ホースをタイヤのバルブから取り外します。タイヤバルブやホイール リムからはみ出た余分なシーラントを拭き取ります。
12. ただちに 8 km ほど走行してシーラントをタイヤ全体に行き渡らせませす。時速 48 km を超えないようにしてください。
13. 車を止めてタイヤの空気圧をチェックします。必要に応じて、黒の空気ホースを使用してタイヤをふくらませます。
14. なるべく早くタイヤを修理または交換します。
15. タイヤ修理シーラント缶を交換します (シーラント缶の交換 - 151 ページを参照)。



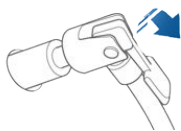
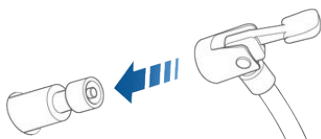
空気のみでふくらませる

Tesla タイヤ修理キットがある場合は、以下の手順に従って空気でタイヤを膨らませます。

1. コンプレッサーの背面の電源コネクターを取り外し、Model X の前面にある 12 V 電源ソケットに接続します。

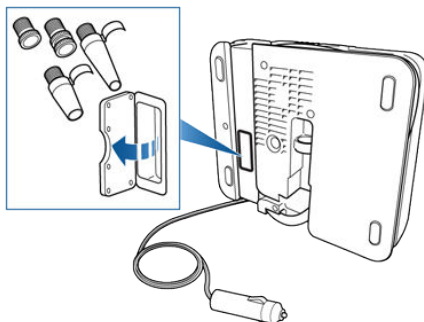


2. コンプレッサーから黒い空気ホースを取り外します。
3. 空気ホースをバルブに取り付け、レバーを押し下げてしっかり固定します。



4. コンプレッサーが平らな面に置かれており、空気圧を読むように圧力ゲージが横を向いていることを確認します。
5. 空気を追加するには、コンプレッサーをオンにし、目的の空気圧になるまでタイヤをふくらませます。
6. 空気を抜くには、コンプレッサーをオフにして、目的の空気圧になるまで赤いボタンを押したままにします。

注：タイヤ修理キットには、タイヤ以外の空気入れに使えるアダプターが含まれています。これらのアダプターはコンプレッサーの後面の仕切りに入っています。



注意：過熱を防ぐために、コンプレッサーを 8 分以上続けて使用しないでください。コンプレッサーを冷ますために、コンプレッサーを使用してから次回使用するまでに 15 分の間隔を置いてください。

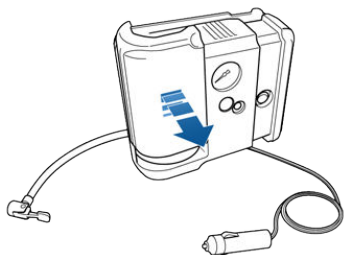
注意：長時間の使用により過熱した場合、コンプレッサーの動作速度が遅くなります。その場合はコンプレッサーをオフにして冷ましてください。

シーラント缶の交換

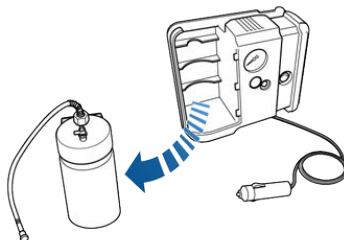
Tesla タイヤ修理キットがある場合は、Tesla から追加または交換用のタイヤ シーラント缶を購入できます。

Tesla タイヤ修理キットのシーラント缶を交換するには、以下の手順を実行します。

1. 透明なホースをコンプレッサーから取り外します。このホースはタイヤ修理シーラント缶に付属しています。
2. 缶のカバーを上スライドさせてコンプレッサーから取り外します。



3. 缶を取り外します。



4. 新しい缶を挿入し、カバーを取り付けます。



外装のクリーニング

腐食性物質（鳥のフン、樹液、虫の死骸、コールトール、道路塩、大気中降下物など）が付着した場合は、塗装の損傷を防ぐためにただちに除去してください。Model X の次の洗車時期まで待たないでください。必要に応じて変性アルコールを使用してください。コールトールや頑固な油汚れを除去し、その後ただちに水と界面活性剤を含まないマイルドな石けんでアルコールを除去してください。

Model X の外装を洗うときは以下の手順に従ってください。

1. 徹底的に洗い流す

洗車する前に、ホースを使用してボディに付着した汚れや砂粒を洗い流します。異物がたまりやすい場所（ホイール アーチやパネルの継ぎ目など）にたまっている泥を洗い流します。冬の間など、道路で塩が使用された場合は、車両の下に付着している道路塩をすべて除去します。

2. 手洗い

きれいでやわらかい布と中性の良質のカーシャンプーを加えた冷水またはぬるま湯を使用して Model X を手洗いします。

3. 清潔な水ですすぐ

洗車した後、洗剤が表面に残ったまま乾かないように清潔な水ですすぎます。

4. 完全に乾燥させてガラスの外側を拭く

洗車とすすぎが終わったら、セーム革で水分をしっかりと拭き取ります。

自動車のガラス クリーナーで窓ガラスとミラーをクリーニングします。ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗淨液を使ったりしないでください。

外装のクリーニングに関する注意事項

⚠ 注意：フロントガラスにはっ水処理液を使用しないでください。はっ水処理液を使用すると、ワイパーとフロントガラスとの摩擦によってびびり音が発生することがあります。

⚠ 注意：温水と洗剤を使用しないでください。

⚠ 注意：気温が高いときに直射日光下で洗車しないでください。

⚠ 注意：高压洗淨機を使用する場合は、ノズルを Model X の表面から 30 cm 以上離してください。ノズルを動かし続け、水流を一箇所に集中させないでください。

⚠ 注意：ホースの水をウィンドウ シール、ドア シール、ボンネット シールに直接当てたり、ホイールの開口部を通してブレーキ部品に当てたりしないでください。

⚠ 注意：洗淨ミットなどの毛羽だった布や目の粗い布を使わないでください。

⚠ 注意：自動洗車機で洗車する場合は、タッチレス洗車機以外は使用しないでください。タッチレス洗車機は Model X の表面に（ブラシなどが）一切触れないで洗車します。他のタイプの洗車機を使用して車両が損傷しても保証の対象にはなりません。

⚠ 注意：化学物質系のホイール クリーナーを使用しないでください。ホイールの表面が損傷することがあります。

⚠ 注意：高压洗淨機をリア ビュー カメラやパーキング センサー（装備している場合）に使用しないでください。レンズの表面を傷つけたり損傷したりするおそれのある尖った物や研磨剤でセンサーやカメラのレンズをクリーニングしないでください。

内装のクリーニング

内装の美しさを保ち、早期の摩耗を防止するために、頻繁に内装を点検し、クリーニングしてください。可能であれば、こぼれた物をただちに拭き取り、シミを取ってください。一般的なクリーニングでは、ぬるま湯にマイルドな非界面活性剤クリーナーを混ぜた液体で湿らせたやわらかい布（マイクロファイバーなど）を使用して内装の表面を拭き取ります（クリーナーを使用する前に、内装の目に見えない部分でクリーナーを試してください）。拭き跡が残らないように、糸くずの出ないやわらかい布でただちに水分を拭き取ります。

内側のガラス

ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。鏡の反射面やリアウィンドウの発熱体が損傷することがあります。

エアバッグ

エアバッグカバーに洗剤などの物質が入り込まないように注意してください。エアバッグの動作に支障をきたすおそれがあります。

ダッシュボードとプラスチックの表面

ダッシュボードの上面を磨かないでください。表面を磨くと光が反射し、運転時の視界を妨げるおそれがあります。

レザーシート

レザーは染料が付着しやすく、そのため、特に明るい色のレザーは変色するおそれがあります。ホワイトレザーとタンレザーには汚れ防止処理が施されています。ぬるま湯と非界面活性剤洗剤で湿らしたやわらかい布を使用して、こぼれた物をできるだけ早く拭き取ります。円を描くようにして軽く拭きます。その後、糸くずの出ないやわらかい布で水分を拭き取ります。洗剤や市販のレザークリーナーとコンディショナーは、レザーを変色させたり乾燥させたりするおそれがあるため、お勧めできません。

ポリウレタンシート

ぬるま湯と非界面活性剤洗剤で湿らしたやわらかい布を使用して、こぼれた物をできるだけ早く拭き取ります。円を描くようにして軽く拭きます。ウルトラホワイトシートについているシミには、イソプロピルアルコールを使用してから湿った布でふき取ります。クリーニングした後は、自然乾燥してください。

布シート

ぬるま湯と非界面活性剤洗剤で湿らしたやわらかい布を使用して、こぼれた物をできるだけ早く拭き取ります。円を描くようにして軽く拭きます。その後、糸くずの出ないやわらかい布で水分を拭き取ります。必要に応じてシートにたまったほこりを掃除機で吸い取ります。

カーペット

カーペットを濡らしすぎないように注意してください。汚れがひどい部分には希釈した布製家具クリーナーを使用します。

シートベルト

ベルトを引き出して拭き取ります。種類のいかんに関わらず、洗剤や化学洗浄剤は使用しないでください。可能であれば直射日光を避けて、ベルトを引き出したまま自然乾燥させます。

タッチスクリーンと計器パネル

モニターやスクリーンのクリーニング用として市販されている糸くずの出ないやわらかい布を使用してタッチスクリーンと計器パネルを清掃します。クリーナー（ガラスクリーナーなど）を使用しないでください。濡れた布や静電気を帯びた乾いた布（洗ったばかりのマイクロファイバーなど）を使用しないでください。ボタンを作動させて設定を変えてしまうことがないように、タッチスクリーンを清掃するときはクリーニングモードに切り替えます。「コントロール」>「スクリーン」>「クリーニングモード」の順にタッチします。ディスプレイが暗くなり、ホコリや汚れが見やすくなります。

クロームや金属の表面

光沢剤、研磨クリーナー、かたい布は、クロームや金属の表面を傷つけるおそれがあります。

内装のクリーニングに関する注意事項

-  **警告：** エアバッグやシートベルトの損傷に気付いたら、ただちに Tesla にご連絡ください。
-  **警告：** 水、クリーナー、布がシートベルト機構に入り込まないように注意してください。
-  **注意：** 溶剤（アルコールを含む）、漂白剤、柑橘系、ナフサまたはシリコン系の製品や添加剤を内装部品に使用すると、損傷をきたすことがあります。
-  **注意：** 静電気を帯びた物質はタッチスクリーンまたは計器パネルを損傷する恐れがあります。



つや出し、補修塗り、ボディの修理

ボディの外観の美しさを保つには、以下のものを含む承認済みの光沢剤で塗装面を処理します。

- 塗装をはがしたり傷つけたりしないで表面の汚れを落とすための非常にマイルドな研磨剤。
- 傷を埋めて目立たなくする充填剤。
- 塗装を自然環境から保護する被膜を形成するためのワックス。

定期的に外装の塗装を点検し、損傷の有無を確認します。タッチアップペン (Tesla から購入可能) を使用して小さい欠けや傷を修復します。洗車した後、つや出しやワックスをかける前に、タッチアップペンを使用します。

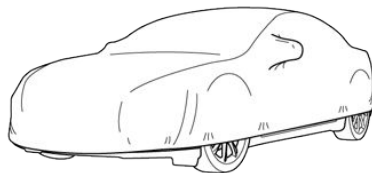
石による欠け、割れ、傷を修復します。ボディの修理は、Tesla 認定のボディショップ以外では行わないでください。認定ボディショップのリストについては、Tesla にお問い合わせください。

注意: カッティングペースト、色補修剤、粗い研磨剤が含まれた光沢剤は使用しないでください。表面が傷つき、塗装が恒久的に損傷するおそれがあります。

注意: クローム光沢剤やその他の研磨剤入りクリーナーは使用しないでください。

自動車用カバーの使用

Model X を使用していない間、車体の外観の美しさを保つために、Tesla 正規品の自動車用カバーを使用してください。自動車用カバーは Tesla から購入できます。



注意: Model X に充電ケーブルを接続しているときは、Tesla 承認済みの自動車用カバーのみを使用してください。Tesla 以外の自動車用カバーを使用すると、充電中にバッテリーを適切に冷却できないおそれがあります。

フロアマット

カーペットを長持ちさせ、カーペットのクリーニングを簡単にするために、Tesla 正規品のフロアマットを使用してください。マットは定期的にクリーニングし、正しく取り付けられていることを確認してください。摩耗のひどいフロアマットは交換してください。

警告: マットがフットペダルに干渉しないように、運転席のフロアマットがしっかりと固定されていることを確認してください。フロアマットの上に別のフロアマットを絶対に置かないでください。フロアマットは必ず車両のカーペット用の表面に敷き、別のフロアマットやその他のカバーの上には敷かないでください。

とワイパーの点検と交換

ワイパー ブレードに触りやすくするため、ワイパーをオフにし、Model X をパーキングにシフトしてから、タッチスクリーンを操作して、ワイパーを整備位置に動かします。「**コントロール**」 > 「**設定**」 > 「**サービスとリセット**」 > 「**サービスモード**」 > 「**ON**」の順にタッチします。

注：Model X をパーキング以外にシフトすると、ワイパーは自動的に通常の位置に戻ります。

ワイパー ブレードのエッジを定期的に点検、清掃し、ゴムにひび割れや裂け目、表面の荒れが生じていないか確認してください。損傷している場合は、Tesla サービスに連絡しブレードを交換してください。

フロントガラスやワイパー ブレードが汚れていると、ワイパー ブレードの効果が損なわれる可能性があります。汚れには、氷や洗車スプレーのワックス、防虫、防水対応のウォッシャー液、鳥のフン、樹液その他の有機物質などがあります。

以下のクリーニングのガイドラインに従ってください。

- 非研磨系のガラス クリーナーでフロントガラスをクリーニングします。
- ワイパー アームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。イソプロピル (消毒用) アルコールまたはウォッシャー液でブレードを拭きます。

クリーニング後もワイパーの効果が無い場合は、ワイパーを交換する必要があるかもしれません。ワイパーの洗浄システムはワイパー ブレードと一体化しているため、ワイパー ブレードだけを交換することはできません。ワイパー交換については、Tesla サービスにお問い合わせください。

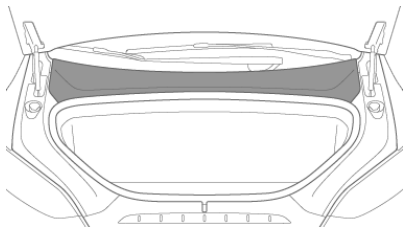
⚠ 注意：自動車のガラスおよびゴム清掃用の製品以外は使用しないでください。不適切な製品は、損傷や汚れ、フロントガラスのざらつきを引き起こす可能性があります。



メンテナンス パネルの取り外し

フルードのレベルを確認するときは、メンテナンス パネルを取り外します。

1. メンテナンス パネルの後ろの端を上につけ、クリップを外します。
2. メンテナンス パネルをフロント ガラスに向かって動かし、取り外します。



注意：メンテナンス パネルはフロント トランクを水から保護する役割を果たしています。メンテナンス パネルを再び取り付けるときは、完全に取り付けられていることを確認してください。

バッテリー冷却剤の確認

冷却システムのフルード レベルが推奨レベルより低下すると、計器パネルに警告メッセージが表示されます。その場合は、周囲の安全を確認して Model X を停車させ、Tesla にご連絡ください。

フルードレベルチェック

Tesla は定期メンテナンスのときにバッテリー冷却剤の量をチェックします。

フルードを追加したりしないでください。その場合は、保証の対象にならない損傷をきたすことがあります。

バッテリー冷却剤の補充

どのような状況でも冷却剤を補充しないでください。バッテリー液のレベルが低いという警告が計器パネルに表示された場合は、ただちに Tesla にご連絡ください。

バッテリーの性能と寿命を最大限にするために、冷却システムでは特定の種類の G-48 エチレングリコール冷却剤 (HOAT) を使用しています。冷却剤の詳しい情報については、Tesla にお問い合わせください。

ブレーキフルードのチェック

警告：ブレーキ ペダルの遊びが大きくなったりブレーキフルードが大幅に減ったりした場合は、ただちに Tesla にご連絡ください。その状態で運転すると、制動距離が長くなったりブレーキが完全に壊れたりするおそれがあります。



ブレーキ リザーバ内のフルードレベルが推奨レベルより低下すると、計器パネルの「ブレーキ」インジケーターが警告を発します。運転中にブレーキの警告が表示された場合は、周囲の安全を確認しながらゆっくりブレーキを踏んで停車してください。そのまま運転を続けしないでください。ただちに Tesla にご連絡ください。

フルードレベルチェック

Tesla は定期メンテナンスのときにブレーキフルードのレベルをチェックします。

ブレーキフルードの補充

ブレーキフルードを補充しないでください。Model X の定期点検時に Tesla がブレーキフルードを補充します。以下の説明は今後の参考のためにのみ記載されています。

1. リザーバにゴミが入らないように、取り外す前にフィルターキャップを掃除します。
2. キャップを回して取り外します。
3. DOT3 規格に適合するブレーキフルードを MAX マークまでリザーバに補充します。
4. フィルター キャップを元に戻します。

警告：必ず密封された未開封の容器に入っている新しいフルードを使用してください。フルードが水分を吸収し、ブレーキ性能が低下するため、使用済みのブレーキフルードや開封済みの容器に入っているブレーキフルードは使用しないでください。

警告：ブレーキフルードには強い毒性があります。容器を密封して、お子さまの手の届かないところに保管してください。ブレーキフルードを誤飲した場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

注意：ブレーキフルードは塗装面を損傷します。こぼした場合は、吸収性のある布でただちにフルードを吸い取り、カーシャンプーと水を混ぜたもので液が付着した部分を洗い流してください。

ウォッシャー液の補充

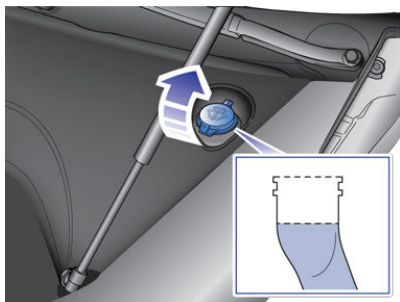
お客様がフルードを補充できる Model S のリザーバは 1 つだけで、フロントトランクの下にあるウォッシャーフルードリザーバです。ウォッシャーフルードのレベルが低下すると、計器パネルにメッセージが表示されます。

はっ水剤や虫洗浄剤が含まれた特殊なウォッシャー液は使用しないでください。この種のウォッシャー液は、汚れの筋、しみ、キーキー音やその他の騒音の原因になることがあります。

定期的にウォッシャーを動作させて、ノズルに詰まりがなく、ウォッシャー液が正しい方向に出ることを確認してください。

ウォッシャー液を補充する

1. リザーバにゴミが入らないように、キャップを開ける前にフィルター キャップを掃除します。
2. フィラー キャップを開けます。



3. 給水口のすぐ下にウォッシャー液が来るまで、リザーバに補充してください。
4. フィラー キャップを元に戻します。

注: 国や地方によっては、揮発性有機化合物 (VOC) の使用が制限されています。VOC はウォッシャー液の不凍剤としてよく使われます。Model X がさらされるあらゆる気候でウォッシャー液が適切な耐凍性を持っている場合にのみ VOC の含有量が限られたウォッシャー液を使用してください。

⚠ 注意: どのような状況でも、ウォッシャー液以外のフルードリザーバを点検したり液を補充したりする必要はありません。ウォッシャー液の横に 2 つのフルードリザーバがありますが、メンテナンス パネルの下です。万一計器パネルにこれらのリザーバのどちらかの液レベルが低下したことを知らせるメッセージが表示された場合は、周囲の安全を確認しながら Model X を停車させ、Tesla にご連絡ください。

⚠ 注意: ウォッシャー液をボディ パネルにこぼさないように注意してください。それ以上の荷物を積むと、車に損傷を与える可能性があります。

ます。ただちに液を拭き取り、液が付着した部分を水で洗い流してください。

⚠ 警告: 気温が 4° C 以下の場合は、不凍剤の含まれたウォッシャー液を使用してください。寒冷地で不凍剤が入っていないウォッシャー液を使用すると、フロント ガラスの視界が妨げられることがあります。



ジャッキ アップの手順

Model X の引き上げは以下の手順で行います。

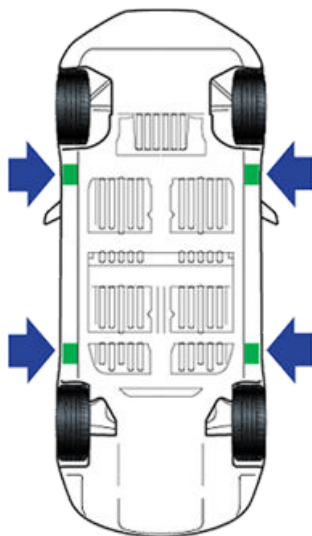
Tesla 以外の修理施設で行う場合は、以下の引き上げ作業の要点が理解されていることを確認してください。

1. Model X をリフト ポストの間に置きます。
2. Model X にスマートエアサスペンションが搭載されている場合、電源がオフのときでも自動的にセルフレベルリングします。タッチスクリーンでサスペンションを以下のように設定します。
 - 「コントロール」 > 「車高」の順にタッチします。
 - ブレーキ ペダルを押してから「極高」にタッチし、サスペンションの高さを最大にします。
 - 「ジャッキモード」にタッチしてセルフレベルリングを無効にします。



ジャッキ モードが有効になると、Model X は計器パネルにこのモードのインジケーターを表示し、さらにアクティブ サスペンションが無効になっていることを通知するメッセージも表示します。

3. ファルコン ウィングドアを閉じてください。
4. リフトのアーム パッドをボディ レールの下、図に示す位置に当てます。リフトのアーム パッドは、バッテリーの下には当てないでください。
5. リフトのアーム パッドの高さと位置を適切に調整します。
6. 手を添えて、リフトを上げ、アーム パッドが正しい位置にとどまることを確認します。



注：ジャッキ モードは Model X が時速 7 km を超える速度で走行すると解除されます。

⚠ 警告：Model X にスマート エアサスペンションが搭載されている場合、電源がオフのときでも自動的にセルフレベルリングします。引き上げやジャッキ アップを行うときは、Model S をジャッキ モードにしてこのシステムを無効にしておく必要があります。スマート エアサスペンションを無効にしておかないと、Model X がセルフ レベルリングを行い、重大な損傷や負傷事故、死亡事故が発生する可能性があります。

⚠ 警告：充電ケーブルを接続しているときは、たとえ充電中でなくても絶対に Model X を持ち上げないでください。

⚠ 警告：正しく支持されていない車両で作業を行わないでください。重大な損傷、負傷事故、死亡事故につながる可能性があります。

⚠ 注意：バッテリーの下から引き上げないでください。リフトアームパッドはボディレールの下以外には当てないでください。Model X のリフトポイントとして認められているのは図の位置だけです。これ以外のポイントで引き上げようすると、損傷が発生する可能性があります。Model X の輸送中に発生した損傷は保証対象にはなりません。

部品、アクセサリ、改造

Tesla 正規品の部品/アクセサリのみをお使いください。Tesla は部品に厳しい試験を実施し、その適合性、安全性、信頼性を確認しています。これらの部品は Tesla から購入してください。Tesla では、専門的な経験を積んだプロがこれらの部品の取り付けを行い、また Tesla からは Model X の改造について専門的なアドバイスを受けることができます。

Model X に Tesla 製ではない部品を使用する場合、Tesla は他の業者が製造した部品を評価することができず、したがって一切責任は負いません。

警告： 無認可の部品/アクセサリの取り付け、または無認可の改造を行うことにより、Model X の性能やその乗員の安全が損なわれる可能性があります。無認可の部品の使用または取り付け、あるいは無認可の改造によって生じた損害は、保証の対象となりません。

警告： 無認可のアクセサリの使用または取り付け、あるいは無認可の改造があった場合の死亡、負傷、または損害について、Tesla は一切責任を負いません。

車体の修理

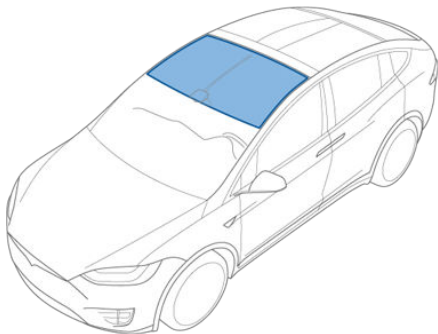
Model X が衝突した場合は、必ず Tesla の正規部品で修理できるように Tesla にご連絡ください。

Tesla は、訓練、設備、仕事の質、顧客満足度などの厳しい要求水準を満たすボディ ショップを選定しています。

場合によっては、費用節約のため、修理業者や保険会社が正規部品以外の使用や破損した車体の中でまだ使える部品の再利用を勧めることがあります。しかし、それらの部品は品質、適合性、耐腐食性などの面で Tesla の高い基準に適合しません。また、正規部品以外の部品や再利用した部品は（それらによって生じる損害または故障とともに）保証の対象とはなりません。

RFID トランスポンダーの利用

RFID トランスポンダー（多くの自動料金徴収システムで利用されます）を Model X の内部に取り付ける場合、ここに示すようにフロント ガラスの最上部にトランスポンダーをつけてください。これによって、運転時の視界を妨げる要因が最小化できます。

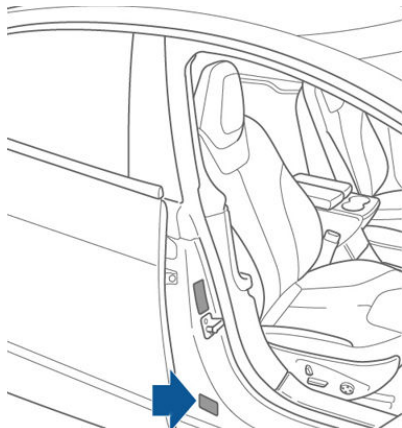




車両識別番号

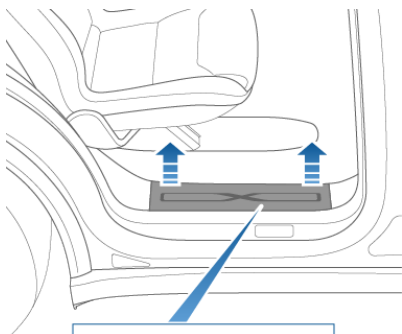
VIN は以下の場所に表示されています。

- タッチスクリーンの最上部中央にある Tesla の「T」にタッチします。ポップアップ ウィンドウに VIN が表示されます。
- ダッシュボードの上にあるプレートに刻印。外からフロントガラス越しに見えます。
- 運転席側のドア ピラーの法定プレートに印刷。運転席側のドアを開くと見えます。



- 車両の 2 列目運転席側ドアのシル パネル下のシャーシに刻印されています。シル パネルを取り外すには、それをマイナス ドライバー状のもので慎重に引き上げてください。

⚠ 注意： 損傷の可能性があるため、VIN を見るためにシル パネルを取り除くことはお勧めしません。このパネルは、壊れやすいクリップで固定されています。シル パネルを取り除くことによって生じた損傷は保証対象にはなりません。

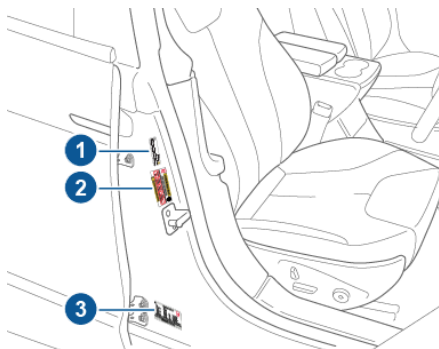


5YJXCAE44GF000000

積載量ラベル

Model X が安全に運搬できる重量を知ることは重要です。この重量は車両の積載容量といい、すべての乗員、積載物、および Model X の製造後に追加されたすべての付加装備の重量を含みます。

Model X には、安全に運搬可能な重量を記載したラベルが最大 3 枚貼り付けられています。これらのラベルは、中央のドアピラー上にあり、フロントドアを開くと確認することができます。



1. けん引ラベル（装備されている場合）
2. タイヤと荷重載情報ラベル
3. 法定プレート

注：Model X のけん引機能はオプションでけん引パッケージを購入されている場合のみご利用になれます。

⚠ 警告：Model X を過重量にすると、ブレーキとハンドリングに悪影響を及ぼし、安全性が低下し、Model X が損傷する可能性があります。

⚠ 注意：Model X に大量の液体を絶対に保存しないでください。大量の液体の流出は、電気製品の誤動作の原因になることがあります。

牽引ラベル

オプションのけん引パッケージが装備されている場合、トレーラーをけん引する際に適用すべきタイヤ空気圧についてはオーナーズマニュアルを参照せよという指示がけん引用ラベルに記載されています。タイヤと荷重載情報ラベルに印刷されているタイヤ空気圧を適用しないでください。



IMPORTANT!

For towing and high speed driving, please refer to  owner's manual for tire inflation pressure requirements.

注：Model X のけん引機能はオプションでけん引パッケージを購入されている場合のみご利用になれます。お客様の市場地域でけん引パッケージがご利用

になれる場合、タイヤ空気圧情報は、その他けん引に関連する情報と合わせて、オーナーズマニュアルの運転セクションにある「トレーラーの牽引」トピックで参照してください。



タイヤと荷重情報ラベル

タイヤと荷重情報ラベルは以下の情報を記載しています。

- 車両の最大座席数。
- 車両の最大可搬重量。
- 元のタイヤのサイズ。
- 元のフロントおよびリアタイヤのタイヤ空気圧 (冷間時)。乗り心地とハンドリング特性を最適化するため、これらの圧力が推奨されます。

タイヤと荷重情報			
定員	計5名	前席2名	後席3名
乗客と積載物の合計重量は絶対に下記を超えないこと			
タイヤ	フロント	リア	予備タイヤ
標準タイヤサイズ			適用外
タイヤ空気圧 (冷間時)			適用外
詳細はオーナーマニュアルを参照			

将来異なるタイヤを使用しても、このラベルを変更しないでください。

注: Model X の容量一杯に積載した場合は、すべてのタイヤを確認して、空気圧が推奨圧力レベルであることを確認してください。

法定プレート

法定プレートには、車両識別番号に加えて以下が記載されています。

- GVWR - 定格車両総重量。Model X の最大許容総質量。この値は、Model X、すべての乗員、液体および積載物の重量として計算されます。
- GAWR - フロントアクスルとリアアクスルの定格総軸荷重。GAWR は各アクスルが許容できる最大分散荷重です。

TESLA MOTORS, INC.	
XXXXXXXXXXXXXXXXXX	VIN
XXXX kg	GVWR
1- XXXX kg	GAWR (Front)
2- XXXX kg	GAWR (Rear)
PAINT CODE: XXXX	

- 注意:** 損傷を防止するため、Model X に対して車両が GVWR より重くなったり、個別の GAWR の重量を上回るような積載を行うことは絶対に避けてください。

積載制限の計算

1. 「タイヤと積載情報」ラベル上にある「乗員と積載物の重量の合計が xxx kg を超えないようにしてください。」の記載を見つけます。
2. 乗車するすべての乗員の総重量を求めます。
3. 乗員の総重量を xxx kg から引きます (ステップ 1 を参照)。

4. 差し引いた結果の重量が積み込める積載物の重量です。例えば、「xxx」の重量が 635 kg の場合に、1 人 68 kg の人が 5 人乗車すると、最大積載重量は 295 kg (635 - 340 (5 x 68) = 295 kg) となります。
5. 車両に積み込む積載物の総重量を求めます。その重量がステップ 4 で算出した重量を超えてはいけません。

警告: 物品を運ぶときはなるべくトランクに入れてください。事故、または急ブレーキや急なカーブの際、車内で固定されていない荷物によって、乗員が怪我を負う危険性があります。

積載制限計算の例

Model X が運べる積載物の重量は、乗員の数と体重に応じて変わります。以下は、体重が 68 kg の人が乗車すると仮定した場合の積載量制限の計算例です。乗員の体重の増加または減少により、積み込める積載物の重量が減少または増加します。

運転者と 1 人の乗員

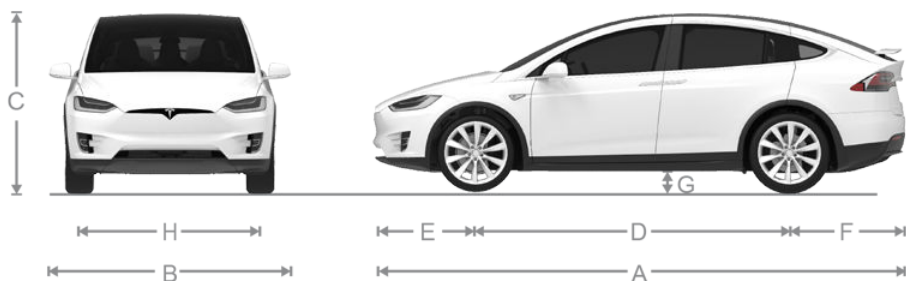
詳細	合計
車両の積載容量	954 lbs (433 kg)
乗員の体重を減算する (2 x 68 kg/150 ポンド)	300 lbs (136 kg)
利用可能な積載物重量	654 lbs (297 kg)

運転者と 4 人の乗員

詳細	合計
車両の積載容量	954 lbs (433 kg)
乗員の体重を減算する (5 x 68 kg/150 ポンド)	750 lbs (340 kg)
利用可能な積載物重量	204 lbs (93 kg)

積載物の重量は、前と後ろのトランクに分散されるようにしてください。

外形寸法



A	全長	199 in	5052 mm
B	全幅 (ミラー含む)	89 in	2272 mm
	全幅 (折り畳み時ミラー含む)	82 in	2017 mm
	全幅 (ミラー含まず)	79 in	1999 mm
C	全高	66 インチ*	1684 mm*
D	ホイールベース	117 in	2965 mm
東	オーバーハング - フロント	39 in	989 mm
F	オーバーハング - リア	43 in	1098 mm
G	最低地上高：		
	標準 (スキーラック含む)	7 in	171 mm
	標準 (スキーラック含まず)	7 in	183 mm
	最大高 (スキーラック含む)	8 in	211 mm
	最大高 (スキーラック含まず)	9 in	223 mm
H	トレッド - フロント	67 in	1711 mm
	トレッド - リア	68 in	1723 mm
*値は概算値です。寸法は車両の構成やその他の要因によって変わります。			



インテリア寸法

ヘッド ルーム	フロント	41.7 インチ	1059 mm
	リア	40.9 in	1039 mm
	3 列目	37.1 in	942 mm
レッグ ルーム	フロント	40.3 in	1023 mm
	リア	38.4 インチ	975 mm
	3 列目	32.7 インチ	831 mm
ショルダー ルーム	フロント	60.7 インチ	1542 mm
	リア	56.8 インチ	1442 mm
	3 列目	40 インチ	1016 mm
ヒップ ルーム	フロント	55.6 インチ	1412 mm
	リア	59 インチ	1498 mm
	3 列目	38.5 in	978 mm

重量

車両重量* - 90D	5267 lbs	2389 kg
車両重量* - P90D	5377 lbs	2439 kg
GVWR ** - 90 D	6658 lbs	3020 kg
GVWR ** - 90 D	6768 lbs	3070 kg
車両総重量配分 - 90D	フロント: 2976 lbs リア: 3682 lbs	フロント: 1350 kg リア: 1670 kg
車両総重量配分 - P90D	フロント: 2976 lbs リア: 3792 lbs	フロント: 1350 kg リア: 1720 kg
総軸重定格 - フロント	3241 lbs	1470 kg
定格総軸荷重 - リア (公称タイヤ圧 42 psi)	3792 lbs	1720 kg
*車両重量 = 正規のフルードレベルで乗員、積載物を除く重量		
**GVWR = Gross Vehicle Weight Rating (車両総重量)		

モーター

タイプ	AC インダクション モーター、液冷式、可変周波数ドライブ
定格	320 ボルト
大型モーターの最大回転数（高性能車両のリアモーター）。	18700 rpm
小型モーターの最大回転数（全車種のフロントモーター、通常車両のリアモーター）。	18200 rpm
* ECE R85 に準拠したテスト済	

トランスミッション

タイプ	単速固定ギア
全体のファイナル ドライブ比	小型モーター: 9.34:1 大型モーター: 9.73:1
リバース ギア	モーター逆回転、時速 24 km まで

ステアリング

タイプ	ラック アンド ピニオン電気式パワー ステアリング バリアブル レシオ、速度感応型
ロック ツー ロック回転数	2.45
最小回転半径（最外輪外面）	12.4 メートル



ブレーキ

タイプ	電子制御制動力配分/統合アドバンスド スタビリティ コントロール/電子アクセラレーターペダル作動回生ブレーキ システム付き 4 輪アンチロック ブレーキ システム (ABS)
キャリパー	4 ピストン固定
ローター径 (ベンチレーテッド)	フロント: 13.98"/355 mm リア: 14.37"/365 mm
フロント ローター厚	新品: 1.26"/32 mm サービス限界: 1.18"/30 mm
リア ローター厚	新品: 1.10"/28 mm サービス限界: 1.02"/26 mm
フロント ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	新品: 0.354"/9.0 mm サービス限界: 0.078"/2 mm
リア ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	新品: 0.315"/8.0 mm サービス限界: 0.078"/2 mm
電気式パーキング ブレーキ (EPB) パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)。パッド摩耗電子キャリパー自動調整	新品: 0.216"/5.5 mm サービス限界: 0.039"/1 mm
パーキング ブレーキ	電気式作動パーキング ブレーキ キャリパー

車高

フロント	独立、ダブルウィッシュボーン、エアスプリング、スウェイパー
リア	独立、マルチリンク、エアスプリング、スウェイパー

バッテリー - 12 V

定格	33 amp-hr 以上
電圧と極性	12 V 負極 (-) グランド

バッテリー - 高電圧

タイプ	液冷式リチウム イオン (Li-ion)
定格	60、70、75、85、90、100 kWh (使用開始時)
定格電圧 - 85 kWh、90 kWh および 100 kWh 定格電圧 - 60 kWh、70 kWh、75 kWh	DC 350 V DC 300 V
温度範囲	常に良好な性能を維持するため、Model X を 60° C を越える温度環境または -30° C を下回る温度環境に 24 時間以上連続して置かないでください。



ホイールの仕様

ホイールの種類	サイズ	オフセット
20 インチ - オールシーズン - フロント	9.0J x 20	1.378 インチ 35 mm
20 インチ - オールシーズン - リア	9.5J x 20	1.575 インチ 40 mm
20 インチ - サマー - フロント	9.0J x 20	1.378 インチ 35 mm
20 インチ - サマー - リア	10.0J x 20	1.378 インチ 35 mm
22 インチ - サマー - フロント	9.0J x 22	1.378 インチ 35 mm
22 インチ - サマー - リア	10.0J x 22	1.378 インチ 35 mm

タイヤの仕様

タイヤの種類	規模	荷重指数 / 速度定格
20 インチ - Continental - フロント	265/45R20	108 / V
20 インチ - Continental - リア	275/45R20	110 / V
20 インチ - Michelin - フロント	255/45R20	105 / Y
20 インチ - Michelin - リア	275/45R20	110 / Y
22 インチ - Goodyear または Pirelli - フロント	265/35R22	102 / W
22 インチ - Goodyear または Pirelli - リア	285/35R22	106 / W
タイヤと荷重情報ラベルに印刷されたタイヤ空気圧を参照してください。このラベルは運転席側のドアピラーにあり、運転席側ドアを開けると確認することができます (タイヤ空気圧の保守 - 143 ページを参照)。		
スタッドレス タイヤはテスラ ストアより購入できます。		

タイヤのマーキングについて

タイヤ メーカーは、標準化された情報をタイヤのサイドウォールに記載することを法律で義務付けられています。これらは、タイヤの特性を含むさまざまな情報を表示します。





1	タイヤの分類。P は乗用車用のタイヤであることを示しています。
2	タイヤ幅。この 3 桁の数字は、タイヤのサイドウォールの端から端までの幅をミリ単位で表した値です。
3	アスペクト比。この 2 桁の数字は、パーセントで表したトレッド幅に対するサイドウォールの高さの比です。したがって、トレッド幅が 205 mm でアスペクト比が 50 であれば、サイドウォールの高さは 102 mm です。
4	タイヤの構造。R はタイヤの構造がラジアル プライであることを示しています。
5	ホイール径。この 2 桁の数字はインチ単位で表したホイール リムの径です。
6	荷重指数。この 2 桁または 3 桁の数字は、タイヤ 1 本で支えることのできる重量です。この数字は記載されていないことがあります。
7	速度記号。記載されている場合は、タイヤを長期にわたって使用できる最高速度 (マイル毎時) を示します。Q=99 mph (160 km/h)、R=106 mph (170 km/h)、S=112 mph (180 km/h)、T=118 mph (190 km/h)、U=124 mph (200 km/h)、H=130 mph (210 km/h)、V=149 mph (240 km/h)、W=168 mph (270 km/h)、Y=186 mph (300 km/h)。
8	タイヤの構成と材質。トレッド エリアとサイドウォール エリアの両方のプライ数は、タイヤを構成するゴム被覆材料の層の数を示しています。使用されている材料の種類に関する情報も表示されています。
9	最大タイヤ荷重。タイヤで運搬できる最大荷重。
10	最大許容タイヤ空気圧。通常の運転でこの空気圧を使用しないでください。
11	U.S. DOT タイヤ識別番号 (TIN)。先頭の文字 DOT は、タイヤがすべての米連邦基準に適合していることを示します。それに続く 2 桁の文字はタイヤが製造された工場を表す記号であり、末尾の 4 桁は製造された週と年を表しています。たとえば、1712 は 2012 年の第 17 週を表しています。その他の番号は、メーカーが任意に決めている販売記号です。タイヤの欠陥に伴うリコールを行う際には、この情報を利用して消費者に連絡することができます。
12	トレッド磨耗。この数字はタイヤの摩耗等級を示します。グレードが高いほど耐磨耗性に優れていることを示します。たとえば、等級 400 のタイヤは、等級 200 のタイヤの 2 倍の耐磨耗性があります。
13	トラクション。タイヤが濡れた路面で停止する能力を示します。タイヤのグレードが高いほど、車を停止するまでの距離が短くなります。トラクションのグレードは、高い順に AA、A、B、C です。
14	温度。タイヤの熱に対する耐性が A、B、C に等級分けされており、A が最も高い耐性を示します。この等級分けは、速度および荷重の限度内で正しい空気圧のタイヤを使用することを前提としています。



Tesla は、保証期間中に限り年中無休 24 時間いつでもご利用いただけるロードサイドアシスタンスを提供しております。

ロードサイドアシスタンスの連絡先：

0120 975 214 -

車両識別番号 (VIN)、ナンバープレート番号、走行距離、現在地、問題の特徴をお知らせください。VIN はダッシュボードの運転席側上部に表示されており、外からでもフロントガラスを通して見ることができます。

車両輸送者には、お客様の責任で Model X の輸送方法を指示していただきます ([ロードサービスご利用の注意 - 172 ページ](#)を参照)。



平台のみを使用する

Tesla が他に指定しない限り、プラットフォームのみを使用してください。タイヤが直接地面に接した状態で Model X を輸送しないでください。



注意：輸送中に発生した損傷は保証対象にはなりません。

注意：Model X を輸送する際は、以下の詳細な指示に従ってください。

セルフレベリングを無効にする（エアサスペンション車両のみ）

Model X にスマートエアサスペンションが搭載されている場合、電源がオフのときでも自動的にセルフレベリングします。損傷を防止するため、ジャッキモードにしてセルフレベリングを無効にする必要があります。

1. タッチスクリーンで「コントロール」>「車高」の順にタッチします。
2. ブレーキペダルを押してから、「極高」にタッチして高さを最大にします。
3. 「ジャッキアップ」にタッチします。



ジャッキモードが有効になると、Model X は計器パネルにこのモードのインジケータを表示し、さらにアクティブサスペンションが無効になっていることを通知するメッセージも表示します。

注：ジャッキモードは Model X が時速 7 km を超える速度で走行すると解除されます。

警告：スマートエアサスペンションが搭載された Model X の場合、ジャッキモードを有効にしないと輸送中に車両が緩む可能性があり、重大な損傷を引き起こす危険があります。

牽引モードを有効にする

Model X は、ニュートラルにシフトされた直後でも運転者が車両を離れたことを検知すると、自動的にパーキングにシフトすることがあります。Model X をニュートラルに維持するには（この場合パーキングブレーキが解除されます）、タッチスクリーンを使用して牽引モードにする必要があります。

1. パーキングにシフトします。
2. ブレーキペダルを踏み、次にタッチスクリーンで「コントロール」>「設定」>「サービスとリセット」>「ニュートラルモード」の順にタッチします。



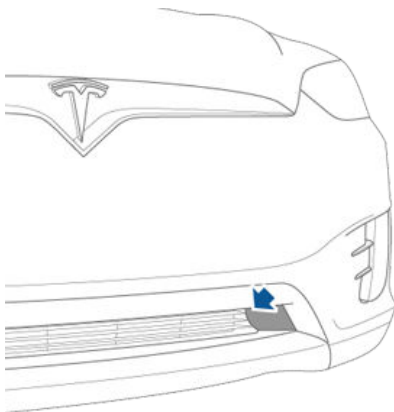
牽引モードが起動していると、Model X の計器パネルにこの表示灯と同時に Model X のホイールがフリー状態であることを知らせるメッセージが表示されます。

注：牽引モードは、Model X がパーキングにシフトすると解除されます。

注意：電気系統が機能していないために電気パーキングブレーキを解除できない場合は、12V バッテリーのクイックスタートを試みてください。手順については Tesla に電話でお問い合わせください。パーキングブレーキを解除できない状況が発生した場合は、タイヤスキッドを使用するかホイールドローリーを使用して Model X を搬送します。その場合、搬送距離はできるだけ短くしてください。これを実行する前に、必ずドローリー製造元の仕様および推奨積載重量を確認してください。

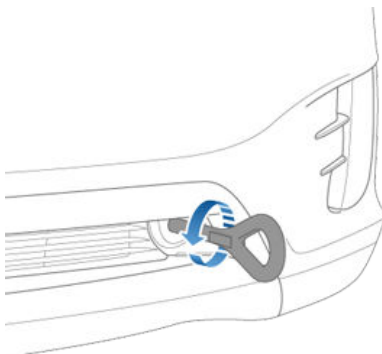
牽引ボルトを接続します。

1. フロントトランク内の牽引ボルトの場所を確認します。
2. 牽引フック カバーの上部にあるスロットに小さなマイナスドライバーを差し込み、ゆっくりと引いて上部の留め具を外します。



3. 牽引穴を挿入します。

牽引ボルトを右側の開口部に完全に挿入し、しっかりと固定されるまで反時計回りに回します。



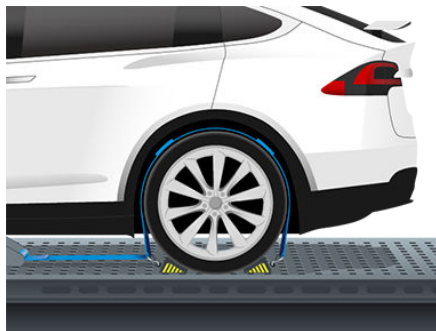
4. 牽引ボルトにウィンチ ケーブルを取り付けます。

⚠ 注意: 引く前に、牽引穴がしっかりと締まっていることを確認します。

トレーラー上に引っ張り、車輪を固定する

バスケット ストラップあるいは固定用ストラップで 8 箇所固定法を用いてホイールを固定します。

- 固定用ストラップの金属部品が、車輪の塗装面または面に接触しないようにしてください。
- ボディパネル上または車輪内に固定用ストラップを置かないでください。



⚠ 注意: 固定用ストラップを車両ボディのシャーシ、サスペンション、その他の部品に取り付けると、車に損傷を与える可能性があります。

⚠ 注意: 損傷を防止するため、タイヤが直接地面に接した状態で Model X を輸送しないでください。



イラスト

イラストは説明目的のためにだけ掲載されています。車両オプション、ソフトウェアバージョン、購入地域、および特定の車両設定によって、Model Xの外観は異なる場合があります。

この所有者情報は RHD (右ハンドル車) 車両と LHD (左ハンドル車) 車両の両方に適用されますが、多くの図は LHD 車両のみを示しています。ただし、図が示している重要な情報はすべて正しい情報です。

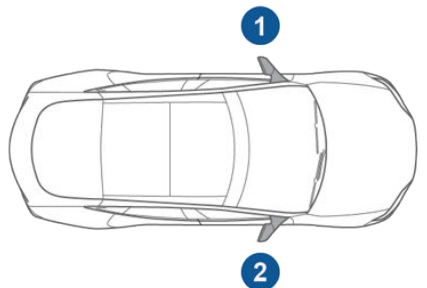
誤りまたは不正確な記述

すべての仕様および記述は、公開の時点で正確であることを確認済みです。ただし、改良を続けることが Tesla の目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。不正確な記述や誤字・脱字、またはオーナーズマニュアルの内容に関するお問い合わせについては、

ownersmanualfeedback@teslamotors.com にご連絡ください。

コンポーネントの位置

本書では、コンポーネントの位置を車両の左側または右側に示すことがあります。ここに示すとおり、左 (1) と右 (2) は Model X の前向きシートに座っているときの車両の左側、右側を示します。



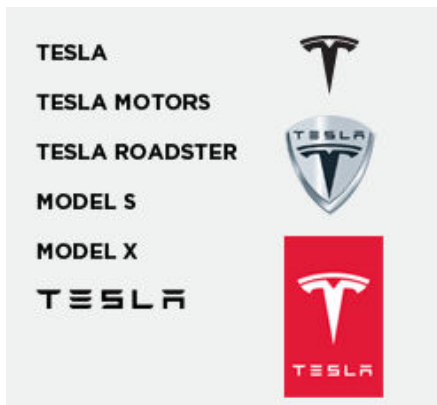
文書の適用可能性

オーナーズマニュアルは、Model X への更新を反映するために定期的に更新されます。しかしながら、直近のリリースで搭載された機能は記載されない場合もあります。最近リリースされた機能についての情報を表示するには、Model X タッチスクリーン上でリリースノートをご覧ください。リリースノートはソフトウェア更新後にタッチスクリーンに表示されます。また、タッチスクリーンの上部中央にある Tesla の「T」にタッチしてからリリースノートリンクにタッチすればいつでも表示できます。Model X タッチスクリーンの使用方法に関する情報とリリースノートの情報が矛盾する場合は、リリースノートが優先します。

著作権および商標

本書のすべての情報およびすべての Model X[®] ソフトウェアは、Tesla Motors, Inc. とそのライセンサの著作権およびその他の知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla Motors, Inc. およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報はリクエストにより入手可能です。Tesla はオープンソースのコミュニティによって制作されたソフトウェアを使用しています。

Tesla のオープンソースソフトウェアについてはウェブサイト参照してください <http://www.teslamotors.com/opensource> - 。この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用しています。(承認番号 平 27 情使、第 74 号)。地図にデータに関する所有権（以下に掲げるものを含むがそれに限定されない）は、Increment P Corporation (IPC) が所有しています。Copyright © 2009-2014 Japan Digital Road Map Association および Copyright © 2015 Increment P Corp (免責事項 - 176 ページ参照)。以下は、Tesla Motors, Inc. の米国またはその他の国における商標または登録商標です。



本ガイドに含まれる他のすべての商標はそれぞれの所有者の財産であり、係る商標の本ガイドにおける使用は、これら製品またはサービスを推奨または承認するものではありません。本書または車両に表示されている商標を不正に使用することを固く禁じます。



車両テレマティクス/ データレコーダー

本車両には、モーター、バッテリー、ブレーキシステム、および電気システムを含むさまざまな車両システムからのデータを監視および記録する電子モジュールが搭載されています。これらの電子モジュールは、ブレーキング、加速、距離およびその他車両に関連する情報を含む、さまざまな運転および車両の状態に関する情報を記録します。これらのモジュールは、充電イベントとステータス、各種システムの有効化/無効化、診断問題コード、VIN、速度、方向および場所など車両独自の情報も記録します。

車両に保存されるこのデータは、車両の整備中に Tesla サービス技術者によってアクセス、使用、保存することができます。または、車両のテレマティクスシステムを通じて Tesla にワイヤレスで定期的に送信することができます。このデータは次のようなさまざまな目的で Tesla が使用します。お客様に Tesla テレマティクスサービスを提供すること。トラブルシューティング、車両の品質、機能、性能の評価。Tesla およびそのパートナーが車両の改善と設計のために実施する分析および調査。法律で要求される可能性がある事項。車両の整備中、車両のデータログを調査することによって、簡単にリモートで問題を解決できる可能性があります。

Tesla のテレマティクスシステムは、定期的に情報を Tesla にワイヤレス送信します。データは上述の通りに使用され、車両を適切に保守するのに役立ちます。Model X の追加機能により、車両のテレマティクス システムおよび提供される情報を使用することがありますが、これら追加機能には充電リミッター、ソフトウェア更新、車両のさまざまなシステムに対するリモートアクセスおよび制御が含まれます。

Tesla は、以下の場合を除き車両に記録されたデータを第三者に開示することはありません：

- 車両の所有者（またはリース車両の場合はリース会社）からの同意または合意が得られている場合。
- 警察またはその他の当局により正式に要求された場合。
- 訴訟で Tesla を弁護するために使用する場合。
- 裁判所により命令された場合。
- 車両所有者の詳細情報または識別情報を開示せずに調査目的で使用する場合。
- 継承者または譲受人を含む Tesla の子会社、もしくは情報システム、およびデータ管理プロバイダーに開示する場合。

さらに、非保証修理サービスに関係する場合を除き、Tesla は記録されたデータを所有者に開示しません。非保証修理サービスに関係する場合は、修理に関係するデータのみを開示します。

品質管理

オドメーターの表示は Model X の納車時に若干の数値（数 km）を示していることがあります。これは、Model X の品質を保証するための包括的テストプロセスの結果です。

テストプロセスには、生産中および生産後の広範囲な検査が含まれます。最終検査は Tesla Motors で実施され、技術者が実施するロードテストが含まれます。

地図データ

次の所有権表示は、お客様の車両のソフトウェア (Map Data) に含まれる地図データおよびその利用に適用されます。

- Increment P Corporation (IPC) とそのライセンス許諾者は、Map Data に関する著作権と商標権を含むがそれらに限定されないすべての所有権を所有しています。
 - Copyright © 2009-2014 JAPAN DIGITAL ROAD MAP ASSOCIATION
 - Copyright © 2015 INCREMENT P CORP
- IPC は明示的か黙示的かを問わず、いかなる装置の正確性、完全性、合目的性、通常動作、機能性を含むがそれらに限定されない Map Data に関する一切の保証をいたしません。IPC は、Map Data の利用によって生じたいかなる損害に対しても責任を負いません。
- Map Data は、日本デジタル道路地図協会によって発行された全国デジタル道路地図データベースを用いて作られています。



- Map Data は、日本の測量法第 44 項に従い、次の表に記された組織が発行した都市計画図を用いて作られ、その利用はそれぞれの組織によって承認されています。

組織	承認日	承認番号
神奈川県小田原市	1998 年 4 月 2 日	小田原市指令第 52 号
岐阜県養老町	2000 年 3 月 13 日	平成 12 年 養建第 1902 号
愛知県知多市	2000 年 5 月 16 日	平 10.近公.第 34 号
和歌山県貴志川市	2001 年 3 月 13 日	平成 12 年度 知都発第 170 号
福岡県隠岐町	2004 年 3 月 3 日	15 大木建第 734 号
長野県堀金町	2005 年 3 月 1 日	16 堀第 5417 号
滋賀県東近江市	2006 年 2 月 28 日	東開第 111 号
群馬県伊香保町	2005 年 7 月 14 日	伊建農発 229 号
Tokyo Digital Map Corporation	2007 年 2 月 8 日	18 東デ共 041 号 ※契約番号
東京都	2007 年 2 月 7 日	18 都市基交第 478 号
岡山県津山市	2006 年 2 月 17 日	平成 17 年津山市使用承認第 5 号
山口県宇部市	2006 年 5 月 15 日	指令宇都第 13 号
山口県宇部市	2006 年 5 月 31 日	指令宇都第 14 号
山口県周防大島町	2006 年 5 月 12 日	周防建設第 56 号
香川県東かがわ市	2006 年 5 月 2 日	18 建第 107 号
愛媛県東温市	2006 年 5 月 16 日	H18 東温都第 174 号
宮城県	2006 年 9 月 19 日	林振第 350 号
宮城県	2007 年 2 月 28 日	林振第 611 号
秋田県	2007 年 3 月 7 日	指令水緑-1258
山形県	2006 年 12 月 6 日	森第 18-10 号
新潟県長岡市	2006 年 3 月 28 日	長都政第 477 号
山梨県	2007 年 3 月 1 日	森整第 1561 号
長野県	2007 年 2 月 14 日	18 森政第 5-5 号
島根県	2006 年 11 月 24 日	森第 1286 号
島根県	2007 年 2 月 27 日	森第 1736 号
広島県	2007 年 2 月 15 日	林振第 115 号
徳島県	2007 年 1 月 30 日	林振第 484 号
佐賀県	2006 年 10 月 4 日	森整第 010634 号
長崎県	2006 年 10 月 6 日	18 林第 492 号
熊本県	2007 年 2 月 14 日	森整第 993 号
熊本県	2007 年 3 月 7 日	森整第 1079 号



- **Map Data** に含まれる交通規制データは 2014 年 9 月現在のもので、かかる交通規制データと実際に掲示されている交通標識や交通規制表示に相違がある場合、**Map Data** の使用においては実際に掲示されている交通標識や交通規制表に従ってください。
- この交通規制データは、2 輪や大型商用車（モーターサイクルや商用トラック等）には適用されません。



テスラに連絡する

Model X の詳細な情報は、www.teslamotors.com - にアクセスし、My TESLA リンクをクリックしてからログイン認証を入力してください（または新規登録して認証を行ってください）。

Model X に関して質問や疑問がある場合は、Tesla までお電話でご連絡ください。お客様の地域の番号は、www.teslamotors.com - にアクセスし、連絡先情報よりご確認ください。

キーおよびパッシブロック解除システム

FCC 認証

モデル番号	製造者	GHz	テスト済み
キーフォブ 1048598	Tesla Motors	2.4	米国 カナダ

FCC ID 2AEIM-1048598 により、上記装置は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明確に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

IC 認証

以下の装置がカナダ国内で使用される車両内で使用されます。

- キーフォブモデル番号: 1048598 (2.4 GHz)
- キーフォブ製造業者: Tesla Motors

IC 20098-1048598 により、本装置はカナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準に適合しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

中央ボディ コントローラー

FCC 認証

モデル番号	製造者	MHz / GHz	テスト済み
中央ボディ コントローラー 1031503	Tesla Motors	315 / 2.4	米国 カナダ

FCC ID 2AEIM-1031503 により、上記装置は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明確に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

IC 認証

以下の装置がカナダ国内で使用される車両内で使用されます。

- 中央ボディ コントローラー モデル番号: 1031503 (315 MHz / 2.4 GHz)
- 中央ボディ コントローラー 製造者: Tesla Motors

IC 20098-1031503 により、本装置はカナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準に適合しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

一体化コンポーネント

中央ボディコントロールは、その他のインテリアトリム コンポーネントの周囲に固定された車両に主要な部分の一つです。中央ボディコントロールは、一体化コンポーネントとして使用するよう設計されており、個別の販売や取引はできません。

タイヤ空気圧監視システム

FCC ID : TZSTPMS201、Z9F-201FS43X

IC ID : 11852A-201FS4X



タイヤ空気圧監視システム (TPMS) は FCC 規則のパート 15 およびカナダ政府産業省の RSS-210 に準拠しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明確に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

装置認可 - 日本



Ⓜ 001-A00198

無線周波数情報

本装置はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B デジタル装置の制限に準拠することが確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対して適切な保護を行うことを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、また放射することがありますので、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に対して有害な干渉を発生する可能性があります。ただし、特定の設備において干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に対して有害な干渉を発生する場合 (本装置のスイッチのオンオフで判断可能)、ユーザーは以下の方法の 1 つまたは複数を行って干渉の修正を試みるよう勧奨されます。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 本装置と受信機との距離を広げる。
- 装置を受信機が接続されている回路と別の回路のコンセントに接続する。
- ディーラーまたは経験のあるラジオ / テレビ技術者に相談する。



記号

RFID トランスポンダー 159
料金徴収システム トランスポンダー、取り付け 159
トランスポンダー、取り付け 159

A

ABS (アンチロック ブレーキシステム) 59

B

Bluetooth
一般情報 122
デバイス、オーディオ ファイルの再生 119
電話、ペアリングと利用 122

C

CE の認証 181
CHAdemo 134

F

FCC の認証 181

G

GAWR 162
GVWR 162

I

IC の認証 181
ISOFIX 対応チャイルドシート、取り付け 29

J

J1772 134

N

NCC の認証 181

P

PIN 40

R

RF アンテナ 10

T

TPMS
FCC の認証 181
概要 146

U

USB ポート 120
USB 機器
オーディオ ファイルの再生 119
接続中 120

W

Wi-Fi への接続 130

あ

アクセサリ
電源ソケットへの差し込み 121
取り付け 159
アクセスパネル、取り外し 156
アダプティブ ヘッドライト 56
アラーム 129
アンチロック ブレーキ (ABS) 59
アンテナ 10
アンロック
トランク、フロント 14
トランク、リア 12

い

インセイン設定 (デュアルモーター) 102
インターネット ラジオ 118
インテリア
温度コントロール 110
概要 2
クリーニング 153
寸法 164
ライト 53
イベントデータ記録 176

う

ワイパーとウォッシャー 58



ウィンカー 56
ウインド ウォッシャー液、補充 157
ウォール コネクター 134
ウォッシャー、使用 58
ウォッシャー液、補充 157

え

エア サスペンション 116
エアバッグ 35
エアバッグ、助手席、無効化 37
エア フィルター 114
エクステリア
概要 3
クリーニング 152
自動車用カバー 154
寸法 163
つや出し、補修塗り、修理 154
ライト 53
エネルギー
回生ブレーキの効果 60
航続距離情報 48
Energy アプリ 67
エネルギーと充電設定 106
エネルギー節約モード 67

お

追い越し加速 77
オーディオ
音量調節 117
ハンドルのボタン 42
ファイルの再生 117
オートハイビーム 56
オートステアリング 82
オートパーキング 87
オートブレーキホールド 64
オーバーハング寸法 163
オール シーズン タイヤ 145
お気に入り 124
お気に入り (メディアプレイヤー) 119
お気に入りの目的地 125
オドメーター 66
音声コマンド 42
音量調節 (メディア) 117
音量調節 97

か

カーペット、クリーニング 153
回生ブレーキ 60
改造 159
荷重限度 161
加速 (デュアルモーター) 102

傾き検出 129
カップホルダー 17
加熱 110
カメラ (リア ビュー) 68
画面の明るさ 106
カレンダーアプリ 127
換気 114
寒冷地設定 102

き

ギア 47
ギアシフト 47
キー
FCC および IC の認証 181
キーが車内にない 46
使用法 4
追加の注文 6
バッテリーの交換 5
キーが動作しないときのアンロック 10
キーレスエントリー 4
機能、新しいものをダウンロード 131
キャビン過熱保護設定 106
勤務先位置 125

く

空気循環 111
空気分散 111
空調 110
空調コントロール 110
クリーニング 152
クリープ 102
クルーズ コントロール 77
グローブボックス 16

け

警告用フラッシャー 57
牽引 172
牽引に関する指示 172
牽引ボルト、設置 173
牽引モード 70, 172
言語設定 106

こ

公共充電ステーション 134
降車後オートロック 9
工場出荷デフォルト、復元 109
工場出荷時リセット 109
交通状況に基づいたルート 125
後方カメラ 68



個人情報、消去 109
コンソール
 12V 電源ソケット 121
 USB ポート 120
 カップホルダー 17
コンディショニング 106

さ

最近の履歴 124
最近の履歴 (メディアプレーヤー) 119
最低地上高 163, 164
再ルーティング 125
坂道, で停止する 64
サスペンション 116
サスペンションの仕様 166
サマー タイヤ 145
サモン 87
3 列目シート、折りたたみと引き上げ 20

し

しーと
 調整 18
シート
 ヒーター 110
シート, 2 列目 19
シートカバー 21
シートヒーター 110
シートベルト
 概要 22
 クリーニング 153
 衝突した場合 23
 妊娠中の女性が着用するとき 22
 ブリテンショナー 23
識別ラベル 160
自宅位置 125
始動 46
自動運転 75
自動車用カバー 154
車線変更の点滅 57
車体の修理 159
ジャッキアップ 158
ジャッキモード 116
車内温度コントロール 110
車両識別番号 160
車両積載量 161
車両総重量定格 162
充電ポイント、検索 125
充電ポート 136
充電ポート ライト 139
重量の仕様 164
瞬間値 67
消去とリセット 109
詳細、設定 106

消費量チャート 67
所有権の変更 109
侵入検出 129

す

スタッドレス タイヤ 145
スタビリティ コントロール 61
ステアリング、自動 82
ステアリングの仕様 165
スポイラー 69
スマートエアコンディショニング 106
スリップスタート 61
寸法 163

せ

整備データ記録 176
セキュリティ設定 129
設定 106
設定、消去 109
センサー 75
洗車 152

そ

走行時オートロック 9
総軸重定格 162
ソフトウェア アップデート 131
ソフトウェア リセット 109

た

タイ ダウン ストラップ 173
タイヤ
 オール シーズン 145
 空気圧、チェック方法 143
 交換 145
 サマー 145
 仕様 168
 スタッドレス 145
 タイヤ シーラント 148
 タイヤ センサーの交換 146
 タイヤのマーキング 169
 チェーン 146
 点検と保守 144
 バランス調整 144
 ローテーション 144
タイヤ空気圧、牽引時 70
タイヤ空気圧、チェック 143
タイヤ修理キット
 空気のみでふくらませる 150
 シーラント缶の交換 151



タイヤ修理キット(続く)
シーラントでふくらませる 149

タイヤと荷重情報ラベル 162

タイヤのノイズ 146

タイヤのローテーション 144

タイヤ空気圧監視システム

FCC の認証 181

概要 146

ダッシュボードの概要 2

タッチスクリーン

概要 97

クリーニング 153

クリーン モード 153

コントロール 102

設定 106

ソフトウェア アップデート 131

単位と形式 106

ち

地域別形式 106

チェーン 146

地上高自動上昇 115

地図 124

地図データ, 所有権表示 177

地図の更新 126

チャイルドロック

リアウィンドウ スイッチをロックする 11

リフトゲートとリア ドア ハンドルの無効化 9

チャイルドシート

取り付けと利用 25

助手席用フロントエアバッグ無効化 37

TuneIn ラジオ 118

超音波センサー 75

つ

通気口 114

通勤経路アドバイスの表示 125

て

定員 162

定格範囲 106

定期サービス 142

データ記録 176

適合宣言 181

デバイス

Bluetooth、オーディオ ファイルの再生 119

オーディオ ファイルの再生 119

接続中 120

テレマティクス 176

電気式パーキングブレーキ 60

電源ソケット 121

電源のオン/オフ 46

電波干渉 10

と

ドア 4

ドア アンロックモード 9

ドア, 開く 4

ドアのロックとロック解除 4

ドアのロック解除とロック 4

ドア ラベル 161

ドライビングアシスト

オートステアリング 82

オートパーキング 87

トラフィックアウェア クルーズコントロール

77

ブラインドスポット警報 91

概要 75

自動車線変更 85

車線を逸脱しないようにする 91

衝突回避アシスト: 93

正面衝突警告 93

設定 106

側方衝突回避 91

側方衝突警告 91

追い越し加速 77

ドライブ

シートの調整 18

プロフィール 40

ドライブ ギア 47

トラクションコントロール 61

トラフィックアウェア クルーズ コントロール 77

トランク、フロント 14

トランク、リア

チャイルドロック 9

内部ハンドルの無効化 9

トランスミッションの仕様 165

トリップ メーター 66

トリップ概要 125

トリッププランナー 125

トルクの仕様 165

トレーラー, 牽引 70

トレーラーの牽引 70

な

ナビゲーション 124

名前付け 109

に

ニュートラル ギア 47



の

納車走行距離 176
 納車後の走行距離 176
 ノーズコーン、取り外し 173

は

パーキング、自動 87
 パーキングアシスト 62
 パーキングギア 47
 パーキング時のロック解除 4
 パーキングブレーキ 60
 ハイビームヘッドライト 56
 ハザードランプの点滅 57
 バッテリー (12V)
 完全放電 135
 仕様 166
 バッテリー (キー)、交換 5
 バッテリー (高電圧)
 温度限界 135
 仕様 167
 注意 135
 冷却剤 156
 バッテリー出力最大化 102
 バレー モード 40
 パワーウィンドウ 11
 パンク修理 148
 ハンドル
 加熱式 42
 感度調節 42
 スクロールバー 42
 調節位置 42
 ボタン 42

ひ

ヒートドワイパー 58
 非常灯 57
 日中モード 106
 標準値 106

ふ

ファームウェア (ソフトウェア) アップデート 131
 ファンの速度、内部 111
 フェリー、使わない 125
 フォグランプ 53
 部品の交換 159
 ブラインドスポット警告 91
 フラッシュャー、警告 57
 フラッシュドライブ、オーディオファイルの再生 119

フルード
 交換間隔 142
 リザーバ、点検 156
 ブレーキ液交換 142
 ブレーキをかける
 概要 59
 緊急時自動作動 93
 仕様 166
 フルードレベル 156
 フロアマット 154
 フロントトランク 14

へ

平均値 67
 ペースメーカーへの配慮 10
 ヘッド拘束装置 20
 ヘッドライト
 アダプティブ 56
 降車後 56
 ハイビーム 56

ほ

ホイール
 アライメント 144
 交換 145
 仕様 168
 法定プレート 162
 ホーン 42, 44
 ボディ補修塗り 154
 ボディの補修塗り 154
 ボンネット 14

ま

マット 154

み

ミラー 45

む

無線周波数情報むせんしゅうはすうじょうほう 181

め

メディア 117



も

モーターの仕様 [165](#)
モバイル アプリ [132](#)
モバイルコネクタ—
 使用 [136](#)
 説明 [134](#)

や

夜間モード [106](#)

ゆ

有料道路、使わない [125](#)
輸送 [172](#)

ら

ライト [53](#)
ラジオ [117](#)
ラベル
 タイヤと荷重情報 [162](#)
 法定プレート [162](#)
ランパー サポート [18](#)

り

リアウィンドウ スイッチ、ロックする [11](#)
リアシート, アクセス [19](#)
リア ビュー カメラ [68](#)
リバース ギア [47](#)
リフトゲート
 開放時の高さ調整 [12](#)
 開く [12](#)
リリース ノート [131](#)

る

LUDICROUS 設定 (デュアルモーター) [102](#)
ルート概要 [125](#)
ルーム (マップ) ライト [53](#)

れ

レイン センサー [58](#)
レーダー [75](#)
レーンアシスト [91](#)
レンジプランナー [67](#)
レンジモード [67](#)

レンジ モード [102](#)

ろ

ロードサイドアシスタンス [171](#)
ローンチモード [65](#)
ロケーションベース サスペンション [115](#)

わ

ワイパー, 交換する [155](#)
ワイパー、除氷 [58](#)

TESLA